



インフュージョン

クラウド/SaaS 在庫管理システム

「在庫スイートクラウド Pro」

本体マニュアル

改訂履歴

版数	発行日	改訂履歴
		改定時対応アプリケーション・資料
第 1.3 版	2014 年 10 月 23 日	初版
		本アプリケーションバージョン Ver 1.20
第 1.4 版	2014 年 12 月 16 日	入荷予定・検品への対応 ネクストエンジン向けファイル対応 モバイルオプション向け作業状況対応 現品票発行画面変更 ファイルフォーマット追加・統合
		本アプリケーションバージョン Ver 1.30
第 1.5 版	2015 年 02 月 10 日	出荷仮引当への対応 振替-破棄、ロット 1、ロット 2、汎用変更への対応 実績ファイルインポート追加 メモリ HT オプション対応 ファイルフォーマットの別資料化
		本アプリケーションバージョン Ver 1.40 ファイルフォーマット資料 1.0 版
第 1.6 版	2015 年 04 月 06 日	集計・分析の追加 出荷引当のロケーション別優先順位設定の追加
		本アプリケーションバージョン Ver 1.50 ファイルフォーマット資料 1.1 版
第 1.7 版	2015 年 05 月 18 日	セット品への対応（セット品台帳、在庫参照（構成品）、セット展開入力）
		本アプリケーションバージョン Ver 1.60 ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 1.8 版	2015 年 10 月 28 日	サービス内容のセキュリティ更新 ロケーションの文字種訂正 帳票追加（一部帳票名変更） 一括引当対象外ゾーン対応、一括引当の順次モード対応 一括引当時の発行ピッキングリストの選択対応 一括引当結果画面の変更 品目台帳一覧の画像対応と品目画像ポップアップ強化 入荷予定／出荷指示／品目台帳インポートと履歴・品目台帳エクスポート 10 万件対応

		本アプリケーションバージョン Ver 1.70 ファイルフォーマット資料 1.3 版
第 1.9 版	2015 年 12 月 21 日	備考 500 桁 各伝票一覧や履歴一覧の条件初期値が「伝票日付 = 先月 ~」に 各画面の最大表示件の初期値の記載ミス修正 エクスポートと帳票の最大件数の記載ミス修正 棚卸画面デザイン変更 モバイル機器での検品（仮引当）の記載モレ修正 在庫参照（品目別）で、一括引当対象外ゾーンの在庫を出荷不能数とするかどうかの設定追加 本アプリケーションバージョン Ver 1.80 ファイルフォーマット資料 1.4 版
第 2.0 版	2016 年 01 月 25 日	・棚卸インポート最大 10 万件対応 ・棚卸画面での明細の列名クリックによる全体ソートに対応 本アプリケーションバージョン Ver 1.90 ファイルフォーマット資料 1.4 版
第 2.1 版	2016 年 03 月 16 日	・品名 1・2、摘要、備考の'（シングルクォーテーション）対応 ・入力補助ボタンの追加 ・ポップアップ画面（品目台帳情報）への対応 ・数量入力補助画面の変更 本アプリケーションバージョン Ver 1.92 ファイルフォーマット資料 1.5 版
第 2.2 版	2016 年 04 月 27 日	・ユーザーによるパスワード再設定機能 ・入荷系/出荷系伝票一覧での一括処理ボタンの追加・統合と選択画面変更 ・入荷系/出荷系伝票一覧全てに「現品票へ転記」機能追加 ・入荷予定伝票/出荷指示伝票/出荷引当伝票一覧に「伝票一括削除」機能追加 ・品目台帳表示ポップアップの画像クリックによる画像ポップアップ対応 ・入力補助ボタン押下による明細入力補助(在庫)表示 本アプリケーションバージョン Ver 2.00 ファイルフォーマット資料 1.5 版
第 2.3 版	2016 年 10 月 06 日	・Windows10 対応 ・入荷予定/出荷指示エクスポートに対応 ・伝票登録日時および担当者による伝票検索に対応 ・出荷引当伝票からの出荷実績明細書の印刷に対応 ・インポート／エクスポート 10 万件に対応

		本アプリケーションバージョン Ver 2.10 ファイルフォーマット資料 1.6 版
第 2.4 版	2017 年 01 月 11 日	・在庫参照 品目名 AND・OR 検索対応 ・サムネイル画像サイズ可変対応 ・帳票名変更 入荷欠品リスト→未入荷リスト 出荷欠品リスト→未出荷リスト ・システム設定-モバイル設定-手動による検品済み設定追加
		本アプリケーションバージョン Ver 2.30 ファイルフォーマット資料 1.6 版
第 2.5 版	2017 年 06 月 07 日	・IP アドレス制限対応 ・送り状ソフト連携対応 ・出荷指示拡張インポートフォーマット追加 ・出荷指示残クリア対応 ・シリアル現品票対応
		本アプリケーションバージョン Ver 2.40 ファイルフォーマット資料 1.7 版
第 2.6 版	2017 年 09 月 20 日	・動作環境から WindowsVista を対象外に
		本アプリケーションバージョン Ver 2.42 ファイルフォーマット資料 1.8 版
第 2.7 版	2017 年 11 月 15 日	・現品票ラベルプリンター対応 ・棚卸 実棚入力対応
		本アプリケーションバージョン Ver 2.43 ファイルフォーマット資料 1.9 版
第 2.8 版	2017 年 12 月 13 日	・注意付き現品票ラベル発行対応 ・独自バーコード対応 ・QR コード現品票の利用有無設定に対応(システム設定) ・動作環境に QR コード印刷時の DPI 設定の注意点を追加。
		本アプリケーションバージョン Ver 2.50 ファイルフォーマット資料 1.9 版
第 2.9 版	2018 年 02 月 21 日	・伝票コピー対応 ・伝票画面エクスポート対応 ・品目台帳 GS1→EAN/JAN 抽出 ・拡張項目記載モレ対応 ・検索時の文字の区別について追記
		本アプリケーションバージョン Ver 2.60 ファイルフォーマット資料 2.0 版
第 3.0 版	2018 年 11 月 20 日	・システム設定 システム運用タブ内の設定名称変更と移動 項目の表示・入力→使用項目

		流通バーコード→品目バーコード読み取り 検索項目 (システム運用タブから入力タブへ移動) ・システム設定 モバイル (拡張) タブの追加
		本アプリケーションバージョン Ver 2.64 ファイルフォーマット資料 2.0 版
第 3.1 版	2019 年 03 月 13 日	・動作環境 Windows DPI スケーリング設定変更 ・ユーザー権限『仕入先権限』追加 ・在庫管理の基本 棚卸を改訂 ・JAN(bowl)と ITF 専用項目追加
		本アプリケーションバージョン Ver 2.70 ファイルフォーマット資料 2.1 版
第 3.2 版	2019 年 06 月 26 日	・ログイン用バーコードラベルの帳票種別・レイアウト名変更 ・ユーザーの複数所属倉庫対応
		本アプリケーションバージョン Ver 2.80 ファイルフォーマット資料 2.2 版
第 3.3 版	2019 年 10 月 30 日	・倉庫間出荷／入荷の対応チェックの強化 ・倉庫間出荷検品対応 ・インポート時のセット品展開対応(入荷予定/出荷指示)
		本アプリケーションバージョン Ver 2.90 ファイルフォーマット資料 2.3 版
第 3.4 版	2020 年 02 月 19 日	・ロット・ロケーションの指定なし検索に対応(在庫参照/履歴参照/棚卸) ・倉庫間入荷ロットクリア対応
		本アプリケーションバージョン Ver 2.93 ファイルフォーマット資料 2.3 版
第 3.5 版	2020 年 04 月 15 日	・画像ストレージオプション対応 ・入荷実績伝票 (伝票区分 = 入荷) / 入荷検品での在庫状態の入力対応 ・品目台帳 略称の説明の改訂 ・ガイドメニューが「履歴・その他」に変更
		本アプリケーションバージョン Ver 3.00 ファイルフォーマット資料 2.4 版
第 3.6 版	2020 年 06 月 03 日	・PC 入力での GS1 対応廃止 ・専用検索項目のシステム設定タブを変更&UPC・GS1 対応追加
		本アプリケーションバージョン Ver 3.03 ファイルフォーマット資料 2.5 版
第 3.7 版	2020 年 09 月 16 日	・棚卸モバイル入力履歴対応 ・棚卸外部データ比較対応

		・在庫状態拡張対応 ・日付形式への整形対応 ・UPC-A 読み取り先頭 0 付加対応 ・動作環境の Windows7 削除 ・権限に関する記載ミス修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.10 ファイルフォーマット資料 2.6 版
第 3.8 版	2020 年 10 月 21 日	・入荷日自動入力対応 ・品目コードのバーコード出力対応 ・帳票明細バーコードあり時の Key コード表示対応 ・棚卸外部データ比較に関する補足説明の追加 ・2 行目からのインポート方法に関する説明の追加 ・「第 4 章 在庫管理の基本」の説明の一部修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.12 ファイルフォーマット資料 2.7 版
第 3.9 版	2021 年 01 月 13 日	・現品票機能強化 ・使用期限管理対応 ・元伝票番号桁数拡張 ・一覧表示最大件数拡張 ・帳票「品目コード一覧表（旧）」廃止 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.20 ファイルフォーマット資料 2.8 版
第 4.0 版	2021 年 02 月 17 日	・注意メッセージ対応 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.22 ファイルフォーマット資料 2.9 版
第 4.1 版	2021 年 03 月 17 日	・移動&在庫状態変更対応 ・在庫参照から履歴参照を開く機能に対応 ・一括処理最大件数拡張 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.25 ファイルフォーマット資料 3.0 版
第 4.2 版	2021 年 04 月 22 日	・動作環境 ネットワークの説明更新 ・品目別のロット入力設定対応 ・品目別のトレース情報入力対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.26 ファイルフォーマット資料 3.1 版
第 4.3 版	2021 年 06 月 16 日	・トータルピッキング対応

		・ログイン時のアプリバージョンチェック対応 ・品目台帳エクスポートの項目行出力対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.33 ファイルフォーマット資料 3.3 版
第 4.4 版	2021 年 9 月 28 日	・在庫参照(品目別)発注点割れの機能改善 ・バックアップ名の最大文字数の修正 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.40 ファイルフォーマット資料 3.4 版
第 4.5 版	2021 年 11 月 10 日	・数量自動カウントアップ対応 ・品目入力についての説明を追加
		本アプリケーションバージョン Ver 3.41 ファイルフォーマット資料 3.4 版
第 4.6 版	2021 年 12 月 15 日	・エクスポートの項目行出力対応 ・システム設定 検品設定-表示数量を廃止
		本アプリケーションバージョン Ver 3.42 ファイルフォーマット資料 3.5 版
第 4.7 版	2022 年 03 月 02 日	・HT のオープン化対応 ・品目入力強化対応 ・Windows11 対応 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.50 ファイルフォーマット資料 3.5 版
第 4.8 版	2022 年 04 月 26 日	・発注点割れ通知対応 ・棚卸対象の複数分類選択対応 ・マルチデバイスオプションのヘッダ入カスキップ設定対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.51 ファイルフォーマット資料 3.5 版
第 4.9 版	2022 年 08 月 03 日	・倉庫間入出荷機能強化 ・マルチデバイスオプションの自動ログアウト時間制御対応 ・各一覧画面のソート順を記載
		本アプリケーションバージョン Ver 3.54 ファイルフォーマット資料 3.6 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.1 版
第 5.0 版	2022 年 09 月 21 日	・QR コード現品票の入数印字対応 ・通常品以外の出荷対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.55 ファイルフォーマット資料 3.7 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.1 版

第 5.1 版	2022 年 12 月 13 日	・在庫マイナス警告抑制対応 ・スマレジ連携オプション対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.56 ファイルフォーマット資料 3.8 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 5.2 版	2023 年 06 月 14 日	・使用期限の末日自動付加対応 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.58 ファイルフォーマット資料 3.8 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 5.3 版	2023 年 07 月 19 日	・マルチデバイスオプションのヘッダ入力強化対応 ・GTIN-14 インジケータ違いの検索対応 ・アクセスログ画面の表示項目に「処理時間」追加
		本アプリケーションバージョン Ver 3.59 ファイルフォーマット資料 3.8 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 5.4 版	2023 年 09 月 20 日	・説明の補足、不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.59 ファイルフォーマット資料 3.8 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 5.5 版	2024 年 02 月 07 日	・独自バーコード強化対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.62 ファイルフォーマット資料 3.8 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 5.6 版	2024 年 07 月 18 日	・マルチデバイスオプションの在庫状態変更対応 ・カメラ読み取り時の読み取りシンボル制御対応 ・カメラアイコン表示対応 ・現品票発行テンプレート対応 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.70 ファイルフォーマット資料 3.9 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 5.7 版	2024 年 10 月 23 日	・Android の HID スキャナー読み取り改善対応 ・棚卸の論理現品数の表示制御対応 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.71 ファイルフォーマット資料 3.9 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版

第 5.8 版	2024 年 11 月 27 日	・ロケ前回値入力強化に伴うシステム設定の説明内容を変更 ・その他不備の修正
		本アプリケーションバージョン Ver 3.72 ファイルフォーマット資料 3.9 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 5.9 版	2024 年 12 月 18 日	・インポートでの使用期限エラーメッセージを変更 ・その他不備の修正、説明の補足、一部画像の更新
		本アプリケーションバージョン Ver 3.72 ファイルフォーマット資料 3.9 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 6.0 版	2025 年 04 月 23 日	・CSV インポートマッピング対応 ・一覧画面の検索方法についての説明を追加 ・その他不備の修正、説明の補足
		本アプリケーションバージョン Ver 3.80 ファイルフォーマット資料 4.0 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 6.1 版	2025 年 06 月 11 日	・マルチデバイスオプションの出荷検品(本引当)における伝票検索時の複数伝票ヒット対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.81 ファイルフォーマット資料 4.0 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 6.2 版	2025 年 07 月 16 日	・CSV インポートマッピング機能強化
		本アプリケーションバージョン Ver 3.82 ファイルフォーマット資料 4.0 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版
第 6.3 版	2025 年 09 月 03 日	・全台帳で一括削除機能に対応
		本アプリケーションバージョン Ver 3.83 ファイルフォーマット資料 4.0 版 項目 ID ファイルフォーマット資料 1.2 版

はじめに

この度は、「在庫スイートクラウド Pro」をご利用いただきありがとうございます。

本書は、「在庫スイートクラウド Pro」の使用方法について説明しています。ご使用になる前に本書ならびに関連マニュアルをご覧ください、十分に理解した上でご使用ください。

本サービスの利用については、予め約款に同意いただくことを条件とします。

本文中の表記について

本文中では次のような表記を使っています。

- 在庫スイートクラウド
在庫スイートクラウド Pro を指します。
特に機能に関する記述の際に用います。
- 本サービス
在庫スイートクラウド Pro を指します。
特にサービスに関する記述の際に用います。
- 本アプリケーション
本サービスを利用するため各 PC に配布・インストールされるアプリケーションを指します。
- オンラインサポート
本サービスを快適にご利用いただくためのサポート情報を提供しているサイトです。
(URL) <http://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/index.htm>
- PC
クライアントアプリが配布・インストールされたパーソナルコンピュータです。
- バーコードスキャナー
バーコードを読み取るリーダーで、PC と USB ケーブルや Bluetooth などと接続します。読み取ったバーコードデータは、PC ではキーボードで入力したものと同様に扱われます。
- アカウント
Windows の（ユーザー）アカウントを指します。
- 在庫スイートクラウド ユーザーアカウント
本サービスにログインする為のアカウントを指します。
- 社内品番
基幹システム（上位システム）における品目を特定するキーコードを指します。
- モバイル機器
無線ハンディターミナルなど、モバイルオプションまたはマルチデバイスオプションを利用する機器を指します。

本書の表記規則

- 「在庫スイートクラウド」の専門用語は初出箇所では『 』で囲み、それ以降は『 』なしで表記します。
- メニューバーやダイアログの項目名、ボタンなど、画面上の語句は [] で囲みます。
- メニューコマンドはメニューバーの [メニュー名] → [サブメニュー名] という形で表記します。
- ユーザーが入力する文字列、数値は「 」で囲みます。
- コンボボックス（プルダウンメニュー）からユーザーが選択する選択肢も「 」で囲みます。
- 複数のキーを押しながら行うキーボードショートカットでは “Alt + W” のように、「 + 」で表記します。
- ファイル名やフォルダ名は “setup.msi” のように “ ” で囲みます。
また、ファイル名は拡張子を含めた形式で表記します。Windows の設定によってはエクスプローラ等の画面上で拡張子が表示されない場合がありますのでご注意ください。

目次

第1章 概要	29
1-1 サービス内容・動作環境	30
1-2 主要スペック	31
[1] 標準項目	31
[2] 標準拡張項目	32
[3] ネクストエンジン拡張項目（出荷）	33
[4] ネクストエンジン拡張項目（入荷）	35
[5] 文字の区別について	35
[6] 半角カナの扱いについて	35
1-3 機能一覧	36
1-4 帳票一覧	37
1-5 インポート／エクスポートファイル一覧	41
[1] 固定ファイルフォーマット一覧	41
[2] 項目 ID ファイルフォーマットとマッピング	42
1-6 「在庫スイートクラウド」と「オプション」の構成	43
第2章 使ってみよう	44
2-1 インストール	45
2-2 起動とログイン	48
2-3 各機能の呼び出し方	49
2-4 台帳登録	51
2-5 スタート在庫の登録、入出荷・振替登録	52
2-6 在庫・履歴の確認	53
2-7 困ったときは	54
[1] まずはオンラインサイト	54

[2] 弊社へのお問合せにつきまして	54
----------------------------	----

第3章 基本操作の確認 **55**

3-1 画面の基本構成..... **56**

[1] 3部構成の画面	56
---------------------	----

[2] 2部構成の画面	57
---------------------	----

3-2 伝票形式の基本操作..... **58**

[1] 伝票形式の3つのモード	58
-------------------------	----

[2] 伝票の呼び出し方	60
----------------------	----

[3] 伝票画面がすでに起動している時の呼び出し	60
----------------------------------	----

[4] 伝票番号	60
------------------	----

[5] 新規モードの伝票日付	60
------------------------	----

[6] カーソルの移動と明細行の指定	61
----------------------------	----

[7] 品目入力	61
------------------	----

[8] 数量入力	62
------------------	----

[9] 明細空白行と登録について	63
--------------------------	----

[10] 日付のカレンダー入力について	63
-----------------------------	----

[11] ロット1・2日付形式への整形	64
-----------------------------	----

[12] F4キーによる入力補助画面呼び出し	66
--------------------------------	----

[13] F4キーによるセット品展開入力	67
------------------------------	----

[14] F3キーによる明細入力補助	68
----------------------------	----

[15] 入力補助ボタンによる明細入力補助	69
-------------------------------	----

[16] バーコードスキャナーによる入力	70
------------------------------	----

[17] バーコードスキャナーによる品目入力	71
--------------------------------	----

[18] 品目入力の判定順	73
-----------------------	----

[19] 印刷とエクスポート	74
------------------------	----

[20] [閉じる] と [キャンセル]	74
------------------------------	----

[21] 伝票コピー	75
--------------------	----

3-3 一覧形式の基本操作..... **78**

[1] 一覧の呼び出し方.....	78
[2] 表示の更新.....	80
[3] 検索条件の変更.....	80
[4] 明細行の指定と参照.....	80
[5] 明細行の並べ替え.....	81
[6] インポート.....	82
[7] エクスポート.....	83
[8] 一括処理.....	84
[9] 印刷.....	84
[10] 入力補助画面.....	85
3-4 台帳の基本操作.....	86
[1] 台帳の呼び出し方.....	86
[2] 台帳一覧画面の機能について.....	87
[3] 台帳一覧画面のラベル印刷と標準ラベル仕様.....	89
[4] 台帳一覧画面の F4 キーによる入力補助画面呼び出し.....	90
[5] 台帳画面について.....	90
[6] 台帳の参照・修正.....	92
[7] 台帳の削除と削除データを含む伝票.....	93
[8] 台帳の一括削除.....	94
3-5 件数が多い場合の操作.....	96
[1] 最大表示件数.....	96
[2] インポートファイルの最大件数.....	97
[3] エクスポートと帳票の最大件数.....	97
[4] 一括処理の最大件数.....	97
[5] セット品の最大構成数.....	97
[6] 集計について.....	97
3-6 同時インポートの制限.....	98
[1] 同時インポートの制限.....	98

第4章 在庫管理の基本 99

4-1 在庫スイートクラウドの管理項目	100
[1] 日常の運用と在庫の増減	100
[2] 在庫の増減は在庫管理項目ごと	101
[3] モノに関する管理項目	102
[4] 保管場所に関する管理項目	106
[5] ロットやロケーションの「なし」について	107
4-2 自社に合わせたシステム設定	108
4-3 スマートフォンやハンディターミナルごとの設定	109
[1] 2つのバーコード取込方式とバーコード種による違い	109
[2] デバイスのモデル名称による個別設定	111
4-4 モノの動きとデータ登録	112
[1] 入荷	112
[2] 出荷	112
[3] 振替	112
[4] 入荷返品／出荷返品	113
[5] 返品と在庫状態	113
4-5 入荷検品	114
[1] 作業の流れと作成データ	114
[2] 入荷予定の作業状態	115
4-6 出荷検品の仮引当と本引当	116
[1] 仮引当とは	116
[2] 本引当とは	116
[3] どちらを選択すべきか	117
4-7 出荷検品（仮引当）	118
[1] 作業の流れと作成データ	118
[2] 出荷指示の作業状態	119

4－8 モバイル機器での検品（仮引当）	120
[1] データの流れ.....	120
4－9 出荷検品（本引当）	121
[1] 作業の流れと作成データ	121
[2] 出荷指示の作業状態について	122
[3] 自動引当ルール	123
[4] 一括引当の2つの動作モード	123
[5] 一括引当対象外ゾーン	124
[6] 一括引当のピッキングリスト発行（トータルピッキング＝旧／なし）	125
[7] ピッキング方式の選択とピッキングリスト発行（トータルピッキング＝あり）	126
4－10 一括処理.....	127
[1] 各伝票一覧画面にある一括処理機能	127
[2] 自動検品.....	128
[3] 一括引当.....	128
[4] 指示残クリア.....	128
[5] 現品票へ転記.....	129
[6] 欠品完了.....	129
[7] 一括削除.....	130
[8] ピック No.セット&発行、ピック No.削除	130
4－11 モバイル機器での検品（本引当）	131
[1] データの流れ.....	131
4－12 ネクストエンジン連携	132
[1] システム設定条件.....	132
[2] 連携データ	132
[3] 操作.....	133
[4] 標準項目と拡張項目	134
[5] 他システムとの連携	135

4－13 振替	136
[1] 移動	136
[2] 在庫状態変更	136
[3] 破棄	136
[4] 在庫調整	136
[5] ロット1変更	136
[6] ロット2変更	136
[7] 汎用変更	137
4－14 倉庫と倉庫ごとの入力項目	138
[1] 倉庫台帳について	138
[2] 全倉庫共通の入力項目設定	138
[3] 倉庫ごとの入力項目設定	139
[4] 倉庫ごとの入力項目と数量自動カウントアップ	140
4－15 倉庫と倉庫間入出荷	141
[1] 倉庫間の在庫移動	141
[2] 倉庫間入荷の同時登録	142
[3] 倉庫間入荷の整合性チェックとロットクリア	143
[4] 未入荷の倉庫間出荷の参照と在庫について	144
4－16 送り状連携	146
[1] 概要	146
[2] 出荷指示への必要情報のセット	146
[3] 配送予定データのエクスポート	147
[4] 配送予定データ設定の対象機能について	149
[5] 配送予定データ設定のお客様管理番号について	150
[6] 配送予定データ設定の送り状種別	151
[7] 配送番号の反映	152
4－17 棚卸	153
[1] 棚卸の流れ	153

[2] 一部棚卸.....	154
[3] 日次棚卸.....	154
[4] 棚卸開始ユーザーと PC 棚卸数.....	154
[5] すべてのユーザーとモバイル棚卸数	154
[6] モバイル棚卸数（詳細）	155
[7] 外部システムの在庫データとの比較	156
[8] 棚卸確定と棚卸中の入出荷について	158
[9] 棚卸日付について.....	158
4－18 在庫参照と在庫数について	159
[1] 在庫参照画面で確認可能な情報	159
[2] 品目別の現品数と出荷可能数の算出方法	159
4－19 セット品について.....	160
[1] セット品とは.....	160
[2] セット品台帳の登録イメージ	160
[3] セット品の展開入力について	161
[4] 在庫参照（構成品）の出荷可能数について.....	162
4－20 発注点割り込み警告と在庫マイナス警告	163
[1] 数量入力時の警告.....	163
[2] 在庫マイナス警告の制御と想定運用	163
[3] 警告のタイミングとチェック対象.....	164
[4] 伝票登録時の警告.....	164
[5] 数量入力時の発注点割り込み警告	165
[6] 数量入力時の在庫マイナス警告	166
[7] 在庫参照（品目）での発注点割り込み品目の確認	167
[8] 在庫参照（品目）「本日割り込んだ品目のみ表示」につ いて	167
[9] 発注点割れ品目の通知メール.....	167
[10] セット構成品における発注点割り込み警告について	168
4－21 ユーザー台帳と権限.....	169

[1] ユーザーの登録	169
[2] 権限と実行可能な機能	169
[3] システム管理者権限ユーザーの削除について	170
[4] 仕入先担当者権限について	171
[5] ユーザー権限設定のポイント	172
4-22 品目を特定するバーコードとその設定	173
[1] 標準検索項目と専用検索項目	173
[2] 品目台帳への JAN の設定項目	176
[3] 専用検索項目へのデータ設定	177
[4] GS1 アプリケーション識別子への対応	177
[5] 本アプリで発行する品目バーコード	178
4-23 現品票	179
[1] 現品票とは	179
[2] 現品票の発行方法	181
[3] シリアル現品票	183
4-24 独自バーコード	184
[1] 独自バーコードとは	184
[2] 対応項目	184
[3] データ加工	185
4-25 推奨ロケーション	186
[1] 推奨ロケーションとは	186
[2] 推奨ロケーションの設定	186
4-26 荷姿管理と入数	187
[1] 荷姿管理と品目台帳	187
[2] 荷姿の変更	187
4-27 画像表示と設定	188
[1] 表示できる画像数と表示領域	188
[2] リンク画像	189

[3] ストレージ画像	190
[4] 画像へのリンク	191
[5] サムネイル画像とポップアップ画面	192
4-28 使用期限管理.....	195
[1] 使用期限とは.....	195
[2] 使用期限の前提条件・判定条件	195
[3] 使用期限に関する設定	196
[4] 出荷での使用期限切れチェック	197
[5] 在庫参照と使用期限切れ在庫	198
[6] 使用期限切れ在庫の通知メール	199
[7] 使用期限切れ在庫の自動振替	199
4-29 注意メッセージ	200
[1] 注意メッセージとは.....	200
[2] 4種類のメッセージと印字・表示箇所.....	200
[3] メッセージ印字サンプル.....	201
[4] メッセージ表示サンプル.....	202
4-30 その他の便利な機能.....	203
[1] 空ロケーション	203

第5章 日常操作 _____ 204

5-1 入荷（出荷）実績伝票と返品	205
[1] 入荷（出荷）実績伝票の登録.....	205
[2] 倉庫間出荷の登録.....	207
[3] 倉庫間入荷の登録.....	208
[4] 入荷伝票一覧について	209
[5] 現品票発行	212
5-2 入荷予定と入荷検品.....	215
[1] 入荷予定の登録.....	215
[2] 入荷予定一覧について	218

[3] 入荷検品の進捗状況確認	220
[4] 入荷予定の手動完了操作	221
[5] 入荷検品用の帳票印刷	221
[6] 入荷検品伝票の登録	222
[7] 入荷検品の削除	223
5－3 未入荷の倉庫間出荷の参照	224
[1] 参照方法について	224
[2] 未入荷の倉庫間出荷伝票一覧について	225
5－4 出荷指示	227
[1] 出荷指示の登録	227
[2] 出荷指示一覧	230
5－5 出荷検品（仮引当）	233
[1] 出荷検品伝票の登録・削除	233
5－6 出荷引当と出荷検品（本引当）	234
[1] 一括引当の流れ	234
[2] 個別での出荷引当伝票の登録	237
[3] 出荷引当伝票一覧とピッキングリストの再発行	238
[4] 出荷検品の登録	240
[5] 出荷引当／出荷検品の削除	241
[6] 検品開始後の出荷引当の修正・削除	242
5－7 配送番号反映	243
[1] 配送番号の反映	243
5－8 振替	244
[1] 登録	244
[2] 振替伝票一覧について	246
5－9 在庫参照	249
[1] 在庫参照画面	249
[2] 絞込条件指定画面	251

[3] 在庫参照（構成品）画面	253
5－10 履歴参照	255
[1] 履歴参照画面	255
[2] 絞込条件指定画面	256
5－11 在庫移動表	259
[1] 在庫移動表画面	259
[2] 在庫移動表グラフ画面	260
[3] 絞込条件指定画面	261
5－12 在庫高集計	263
[1] 在庫高集計画面	263
[2] 集計方法について	264
[3] 絞込条件指定画面	264
5－13 出荷高（単価）別 A B C 分析	266
[1] 出荷高（単価）別 A B C 分析画面	266
[2] 集計方法について	267
[3] 絞込条件指定画面	267
5－14 出荷高（標準原単価）別 A B C 分析	269
[1] 出荷高（標準原単価）別 A B C 分析画面	269
[2] 集計方法について	270
[3] 絞込条件指定画面	270
5－15 出荷頻度別 A B C 分析	272
[1] 出荷頻度別 A B C 分析画面	272
[2] 集計方法について	273
[3] 絞込条件指定画面	273
5－16 在庫高別 A B C 分析	275
[1] 在庫高別 A B C 分析画面	275
[2] 集計方法について	276
[3] 絞込条件指定画面	276

5－17 滞留在庫	278
[1] 滞留在庫画面	278
[2] 最終入荷日と最終出荷日について	279
[3] 絞込条件指定画面	279
5－18 在庫回転率	280
[1] 在庫回転率画面	280
[2] 回転率と回転期間について	281
[3] 絞込条件指定画面	281
5－19 ストレージ画像メンテナンス	283
[1] ストレージ画像メンテナンス画面	283

第6章 運用管理のための操作 _____ **284**

6－1 棚卸	285
[1] 棚卸と状態	285
[2] 棚卸対象選択	288
[3] 複数分類選択画面	289
[4] 絞込条件指定画面	290
[5] 行追加	291
[6] 実棚入力	293
[7] モバイル棚卸数（詳細）	295
[8] 棚卸外部データ項目指定	297
[9] 棚卸外部データ比較	298
[10] 棚卸一覧	300
6－2 品目台帳	302
[1] 品目台帳画面	302
[2] 品目台帳一覧画面	305
6－3 品目分類台帳	306
[1] 品目分類台帳画面	306
[2] 品目分類台帳一覧画面	307

6－4 セット品台帳	308
[1] セット品台帳画面	308
[2] セット品台帳一覧画面	309
6－5 倉庫台帳	310
[1] 倉庫台帳画面	310
[2] 倉庫台帳一覧画面	311
6－6 ゾーン台帳	312
[1] ゾーン台帳画面	312
[2] ゾーン台帳一覧画面	313
6－7 ロケーション台帳	314
[1] ロケーション台帳画面	314
[2] ロケーション台帳一覧画面	315
6－8 出荷先台帳	316
[1] 出荷先台帳画面	316
[2] 出荷先台帳一覧画面	318
6－9 直送先台帳	319
[1] 直送先台帳画面	319
[2] 直送先台帳一覧画面	321
6－10 仕入先台帳	322
[1] 仕入先台帳画面	322
[2] 仕入先台帳一覧画面	324
6－11 理由台帳	325
[1] 理由台帳画面	325
[2] 理由台帳一覧画面	326
6－12 ユーザー台帳	327
[1] ユーザー台帳画面	327
[2] 複数倉庫選択画面	329
[3] ユーザー台帳一覧画面	330

6-13	データベースのメンテナンス	331
[1]	バックアップ	331
[2]	リストア	332
[3]	初期化	332
[4]	データ整理	333
6-14	運用状況確認	335
6-15	クライアントログ保存	336
6-16	アクセスログ	337
第7章 システム設定・ユーザー別設定		338
7-1	システム設定	339
[1]	自社情報	340
[2]	システム運用	341
[3]	項目名	344
[4]	表示	346
[5]	入力	347
[6]	帳票	349
[7]	モバイル（オプション）	351
[8]	モバイル（拡張）（オプション）	353
[9]	権限	358
7-2	その他管理者設定	359
[1]	IP アドレス制限設定	359
[2]	配送予定データ設定	360
[3]	配送番号反映設定	362
[4]	定期処理設定	363
[5]	CSV インポートマッピング設定	365
7-3	ユーザー別設定	366
[1]	最大表示件数	366
[2]	パスワード再設定	367

第 1 章 概要

1 - 1 サービス内容・動作環境

■ サービス内容

	在庫スイートクラウド
システム提供時間	24 時間 365 日 *1
ヘルプデスク提供時間	当社営業日 9:00-12:00 13:00-17:30
データセンター	Microsoft Azure 日本データセンター *2
データベース容量	1GByte (標準) *3
セキュリティ	SSL/TLS 256bit
アクセスログ保存期間	1 年間

*1. 保守の為に中断する場合があります。

*2. サーバーの冗長化とデータ保護、サーバー監視と障害対応は Microsoft Azure に依存

*3. オプションで 5GByte へ変更可

■ 動作環境

		在庫スイートクラウド
ウ ソ フ ア ト	OS	Windows 10 (*1) Windows 11
	その他	Microsoft Edge(最新版を推奨) (*2)
ハ ー ド ウ ェ ア	CPU	x86/x64 プロセッサ: 1.0 GHz 以上
	メモリー	32bit : 1.0GB 以上 64bit : 2.0GB 以上
	HDD	100MB 以上
	ディスプレイ	上記動作 OS に対応したディスプレイ (*3) XGA(1024×768)以上 (*4)
ワ ネ ッ ク ト		常時接続可能なインターネット回線 (1.5Mbps 以上の回線を推奨) HTTPS(ポート 443)による、インターネット経由での弊社クラウドアプリケーションサーバーへのアクセスが可能なこと

*1. Windows10 ではデスクトップモードでの使用のみサポート。

*2. 初回インストール時のみ使用します。

*3. 画面の DPI スケーリング設定は、100%・125%・150%・175%・200% のいずれかでご使用ください。(通常は OS の既定でいずれかに設定されています。)

*4. 解像度が XGA 以上であっても、上記 DPI スケーリングとの組合せにより画面内に表示が収まらないことがあります。

1 - 2 主要スペック

[1] 標準項目

本サービスで扱う各項目の主要スペックは以下の通りとなっています。

項目	文字種	最大桁数	備考
Keyコード	半角*1	32 桁	
品目コード	半角*2	50 桁	
品目名 1・2	全角・半角とも	500 桁	
略称(品目)	全角・半角とも	60 桁	
品目分類コード	半角*1	4 桁	
品目分類名	全角・半角*3 とも	30 桁	
入数	整数 + 小数	6 桁(整数) 4 桁+3 桁(小数)	システム設定で数量小数 点設定時も整数 6 桁
箱数	整数	5 桁	
数量	整数 + 小数	9 桁+3 桁	システム設定で小数桁数 選択可
単位	全角・半角*3 とも	8 桁	
金額(単価・標準原単価)	整数 + 小数	14 桁 + 2 桁	
品目台帳 予備項目	全角・半角*3 とも	1000 桁	
画像 URL、画像リンク URL	全角・半角*3 とも	1000 桁	
倉庫コード	半角*4	6 桁	
倉庫名	全角・半角*3 とも	20 桁	
ゾーンコード	半角*1	2 桁	
ゾーン名	全角・半角*3 とも	20 桁	
ロケーションコード	半角*1	17 桁	
出荷先コード 仕入先コード 直送先コード	半角*1	15 桁	
出荷先名 1・2 仕入先名 1・2 直送先名 1・2	全角・半角*3 とも	100 桁	
略称 (出荷先/仕入先/直送先)	全角・半角*3 とも	16 桁	
ユーザーID	英数字・記号*5	20 桁	
パスワード	半角*3	20 桁	
ユーザー名前	全角・半角*3 とも	30 桁	
理由コード	半角*1	4 桁	
理由内容	全角・半角*3 とも	20 桁	
ロット 1・2	全角・半角*3 とも	40 桁	
摘要 (伝票ヘッダ)	全角・半角とも	500 桁	
備考 (伝票明細)	全角・半角とも	500 桁	
伝票番号	数字	12 桁	システム自動付番

第1章 概要

作業番号	全角・半角*1とも	35 桁	
元伝票番号	全角・半角*1とも	100 桁*7	
一伝票当たりの明細数	999 行		
出荷先住所 1・2 仕入先住所 1・2 直送先住所 1・2	全角・半角*6とも	[全]255	
電話番号 FAX 番号	全角・半角*6とも	[全]20 桁	
伝票日付 入荷予定日 出荷予定日 納期	半角	10 桁	YYYY/MM/DD

※全項目共通で制御文字は入力不可です。

- *1・・・先頭及び末尾のスペース、及び「'」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。先頭及び末尾のスペースは削除して入力されます。
- *2・・・末尾のスペース、及び「'」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。末尾のスペースは削除して入力されます。
- *3・・・「'」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。
- *4・・・先頭及び末尾のスペース、および「/」(シングルクォーテーション)、「/」(スラッシュ)のみ入力不可です。先頭及び末尾のスペースは削除して入力されます。
- *5・・・数字(0～9)、英字(大文字/小文字は区別されません)、「-」「_」「.」が入力可能です。
- *6・・・「'」(シングルクォーテーション)および改行文字は入力不可です。
- *7・・・2021 年 01 月 13 日(Ver.3.20) 以前にリリースされたアプリの最大桁数は 35 桁です。

[2] 標準拡張項目

送り状ソフトとの出荷連携を想定した拡張項目は以下の通りとなっています。

送り状ソフト以外のシステムでも、ファイルフォーマットを合わせていただくことでご利用頂けます。

項目	文字種	最大桁数	備考
送り状種別	全角・半角とも*1	4 桁	
代引金額	全角・半角とも*1	9 桁	

- *1・・・「'」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。

※ 拡張項目は次のいずれかの場合に画面に表示されます。

- ・標準拡張項目またはネクストエンジン拡張項目のいずれかが設定されている。
- ・システム設定「送り状ソフト連携機能」が ON になっている。

また、拡張項目はインポートと API でのみ設定出来ます。

(※拡張項目がセットされた出荷指示の画面上での修正は不可)

[3] ネクストエンジン拡張項目（出荷）

ネクストエンジンとの連携を想定した拡張項目のスペックは以下の通りとなっています。

ネクストエンジン以外のシステムでも、ファイルフォーマットを合わせていただくことでご利用頂けます。

項目	文字種	最大桁数	備考
店舗コード	半角数字	2 桁	
店舗名	全角・半角*1	20 桁	
受注番号	全角・半角*1	35 桁	
データ抽出日	日付	10 桁	
時間指定	半角*1	10 桁	
発送代	半角数字	9 桁	
手数料	半角数字	9 桁	
税金	半角数字	9 桁	
他費用	半角数字	9 桁	新フォーマットのみ
ポイント数	半角数字	9 桁	
総合計	半角数字	9 桁	
支払方法	全角・半角*1	20 桁	
発送方法	全角・半角*1	20 桁	
支払区分	半角数字	2 桁	
発送区分	半角数字	2 桁	
発送伝票番号	半角*1	500 桁	
購入者メール	半角*1	100 桁	
納品書特記事項			
売単価	半角数字	9 桁	
発送伝票備考欄	全角・半角*1	16 桁	
ギフトフラグ	半角数字	1 桁	
顧客区分	半角数字	2 桁	0: 一般顧客、9: 卸、99: ブラック
卸先コード	半角*1	4 桁	

*1・「」（シングルクォーテーション）のみ入力不可です。

※ 拡張項目は次のいずれかの場合に画面に表示されます。

- ・標準拡張項目またはネクストエンジン拡張項目のいずれかが設定されている。
- ・システム設定「送り状ソフト連携機能」が ON になっている。

また、拡張項目はインポートと API でのみ設定出来ます。

（※拡張項目がセットされた出荷指示の画面上での修正は不可）

なお、ネクストエンジン側項目のうち、本サービスの標準項目に対応するものは以下の通りです。

ネクストエンジン側項目	本サービス側項目	備考
送り先名	直送先名 1	
送り先郵便番号	直送先〒	
送り先住所 1	直送先住所 1	
送り先住所 2	直送先住所 2	
送り先電話番号	直送先 TEL	

第 1 章 概要

ピッキング指示	摘要	
配達希望日	納期	
伝票番号	元伝票番号	
購入者名	出荷先名 1	
購入者フリガナ	出荷先名カナ	
購入者郵便番号	出荷先〒	
購入者住所 1	出荷先住所 1	
購入者住所 2	出荷先住所 2	
購入者電話番号	出荷先 TEL	
商品名	品目名 1	
商品コード	Key コード	
JAN	品目コード	JAN が未設定の場合は 商品コードを設定
商品オプション	品目名 2	
受注数	数量	

[4] ネクストエンジン拡張項目（入荷）

ネクストエンジンとの入荷連携を想定した拡張項目のスペックは以下の通りとなっています。

ネクストエンジン以外のシステムでも、ファイルフォーマットを合わせていただくことでご利用頂けます。

拡張項目は、インポートでのみ設定出来ます。

項目	文字種	最大桁数	備考
発注単価	半角数字	11 桁	
発注金額	半角数字	11 桁	

[5] 文字の区別について

検索や在庫更新などのデータを比較時、

アルファベットは大文字・小文字、全角・半角を区別しません。

数字とカナは、全角・半角を区別しません。

また、ひらがなとカタカナも区別しません。

[6] 半角カナの扱いについて

Key コードやロケーションコードなどバーコード発行可能な項目で半角カナを使用した場合、そのデータについてはバーコードを発行できません。

QR コードは発行可能ですが、iOS 及び Android アプリでは読み取ることができませんのでご注意ください。

（Android(BHT)アプリ搭載の BHT-1700/1800 では、ロケーション QR コードのみ読み取り可能です）

1-3 機能一覧

本サービスの機能一覧です。

権限管理	ログイン認証
出荷	出荷指示伝票
	出荷引当伝票
	出荷検品／出荷実績伝票（出荷/倉庫間/返品）
	配送予定データエクスポート、配送番号反映
入荷	入荷予定伝票／未入荷の倉庫間出荷伝票
	入荷検品／入荷実績伝票（入荷/倉庫間/返品）
	現品票発行（バーコード／QRコードラベル）
振替	振替実績（移動/在庫状態変更/破棄/在庫調整/ロット1変更/ロット2変更/汎用変更）
在庫参照	在庫参照 品目別
	在庫参照 詳細
履歴・その他	履歴参照
	在庫移動表、在庫高集計
	出荷高(単価)別 ABC 分析、出荷高(標準原単価)別 ABC 分析、出荷頻度別 ABC 分析
	滞留在庫、在庫回転率
	ストレージ画像メンテナンス（オプション）
棚卸	棚卸（一斉棚卸、循環棚卸、日次棚卸）、モバイル棚卸数（詳細）、棚卸外部データ比較
台帳管理	品目台帳
	品目分類台帳
	セット品台帳
	倉庫台帳
	ゾーン台帳
	ロケーション台帳
	出荷先台帳
	直送先台帳
	仕入先台帳
	ユーザー台帳
	理由台帳
ツール	システム設定／ユーザー別設定
	IPアドレス制限設定／配送予定データ設定／配送番号反映設定／定期処理設定／スプレッド連携設定（オプション）
	データバックアップ／リストア／データ整理
	運用状況確認／クライアントログ保存／アクセスログ

1-4 帳票一覧

本サービスの帳票一覧です。該当画面より発行します。

No.	帳票種別	レイアウト
1	入荷予定一覧	入荷予定一覧表
2	入荷予定明細書	入荷予定明細書（バーコードなし）
3		入荷予定明細書（バーコードあり）
4	QR メモリーHT 検品用入荷予定明細書 *1	入荷予定明細書（バーコードなし）
5		入荷予定明細書（バーコードあり）
6	入荷検品リスト	入荷検品リスト
7		入荷検品リスト（品目のみ）
8	未入荷リスト	未入荷リスト
9		未入荷リスト（品目のみ）
10	入荷一覧	入荷一覧表
11	入荷明細書	入荷明細書（バーコードなし）
12		入荷明細書（バーコードあり）
13	出荷指示一覧	出荷指示一覧表
14	出荷未引当リスト	出荷未引当リスト
15		出荷未引当リスト（品目のみ）
16	出荷検品リスト	出荷検品リスト
17		出荷検品リスト（品目のみ）
18	未出荷リスト	未出荷リスト
19		未出荷リスト（品目のみ）
20	出荷指示書	出荷指示書（バーコードなし）
21		出荷指示書（バーコードあり）
22	QR メモリーHT 検品用出荷指示書 *1	出荷指示書（バーコードなし）
23		出荷指示書（バーコードあり）
24	出荷引当一覧	出荷引当一覧表
25	出荷一覧	出荷一覧表
26	トータルピッキングリスト	トータルピッキングリスト
27	ピッキングリスト	ピッキングリスト（バーコードなし）
28		ピッキングリスト（バーコードあり）
29		出荷明細書（バーコードなし）
30		出荷明細書（バーコードあり）
31	QR メモリーHT 検品用ピッキングリスト *1	ピッキングリスト（バーコードなし）
32		ピッキングリスト（バーコードあり）
33	出荷一覧	出荷一覧表
34	出荷明細書	出荷明細書（バーコードなし）
35		出荷明細書（バーコードあり）
36	振替一覧	振替一覧表
37	振替明細書	振替明細書（バーコードなし）
38		振替明細書（バーコードあり）
39	在庫一覧（品目別）	在庫一覧（全体・品目別）
40		在庫一覧（倉庫別・品目別）

第1章 概要

41	未入出荷内訳	入荷予定残内訳
42		出荷指示内訳
43	在庫一覧（詳細）	在庫一覧（詳細）
44	履歴参照	履歴参照
45	入出荷一覧	入出荷一覧表
46		入出荷一覧表（詳細）
47	棚卸表	棚卸表
48		棚卸準備表
49		棚卸差異表
50	棚卸表（品目別）	棚卸表（品目別）
51		棚卸差異表（品目別）
52	品目一覧	品目一覧表
53		品目バーコード一覧表
54	品目バーコードラベル	品目バーコードラベル 24 面（枠線あり）
55		品目バーコードラベル 24 面（枠線なし）
56		品目バーコードラベル 44 面（枠線あり）
57		品目バーコードラベル 44 面（枠線なし）
58	品目分類一覧	品目分類一覧表
59	セット品一覧表	セット品一覧表
60	セット品一覧表（製造数付き）	セット品一覧表（製造数付き）
61	倉庫一覧	倉庫一覧表
62		倉庫 QR コード一覧表
63	ゾーン一覧	ゾーン一覧表
64	ロケーション一覧	ロケーション一覧表
65		ロケーションバーコード一覧表
66		ロケーション QR コード一覧表
67	ロケーションバーコードラベル	ロケーションバーコードラベル 24 面（枠線あり）
68		ロケーションバーコードラベル 24 面（枠線なし）
69		ロケーションバーコードラベル 44 面（枠線あり）
70		ロケーションバーコードラベル 44 面（枠線なし）
71		ロケーション QR コードラベル（枠線あり）
72		ロケーション QR コードラベル（枠線なし）
73	ロケーションロングレンジ用ラベル	ロケーション QR コードラベル（枠線あり）
74		ロケーション QR コードラベル（枠線なし）
75	出荷先一覧	出荷先一覧表
76		出荷先バーコード一覧表
77		出荷先 QR コード一覧表
78	直送先一覧	直送先一覧表
79		直送先バーコード一覧表
80		直送先 QR コード一覧表
81	仕入先一覧	仕入先一覧表
82		仕入先バーコード一覧表
83		仕入先 QR コード一覧表
84	理由一覧	理由一覧表
85		理由バーコード一覧表

第1章 概要

86		理由 QR コード一覧表
87	ユーザー一覧	ユーザー一覧表
88		メモリ HT 用 ID バーコード一覧表 *1
89		メモリ HT 用 ID QR コード一覧表 *1
90	ログイン用バーコードラベル	バーコードログインラベル 24 面（枠線あり）
91		バーコードログインラベル 24 面（枠線なし）
92		バーコードログインラベル 44 面（枠線あり）
93		バーコードログインラベル 44 面（枠線なし）
94	ログイン用 QR コードラベル	QR コードログインラベル 24 面（枠線あり）
95		QR コードログインラベル 24 面（枠線なし）
96		QR コードログインラベル 44 面（枠線あり）
97		QR コードログインラベル 44 面（枠線なし）
98	QR コード現品票ラベル	QR コード現品票 10 面（枠線あり）
99		QR コード現品票 10 面（枠線なし）
100		QR コード現品票 24 面（枠線あり）
101		QR コード現品票 24 面（枠線なし）
102		QR コード現品票 44 面（枠線あり）
103		QR コード現品票 44 面（枠線なし）
104	QR コード現品票ラベル（ロングレンジ用）	QR コード現品票 4 面（枠線あり）
105		QR コード現品票 4 面（枠線なし）
106	QR コード現品票ラベル（ラベルプリンター）	QR コード現品票ラベル 52×29mm
107		QR コード現品票ラベル 62×29mm
108		注意付き QR コード現品票ラベル 62mm
109	バーコード現品票ラベル	バーコード現品票 10 面（枠線あり）
110		バーコード現品票 10 面（枠線なし）
111		バーコード現品票 24 面（枠線あり）
112		バーコード現品票 24 面（枠線なし）
113		バーコード現品票 44 面（枠線あり）
114		バーコード現品票 44 面（枠線なし）
115	バーコード現品票ラベル（ラベルプリンター）	バーコード現品票ラベル 52×29mm
116		バーコード現品票ラベル 62×29mm
117		注意付きバーコード現品票ラベル 62mm
118	シリアルバーコード現品票ラベル	シリアルバーコード現品票 10 面（枠線あり）
119		シリアルバーコード現品票 10 面（枠線なし）
120		シリアルバーコード現品票 24 面（枠線あり）
121		シリアルバーコード現品票 24 面（枠線なし）
122		シリアルバーコード現品票 44 面（枠線あり）
123		シリアルバーコード現品票 44 面（枠線なし）
124	シリアル QR コード現品票ラベル	シリアル QR コード現品票 10 面（枠線あり）
125		シリアル QR コード現品票 10 面（枠線なし）
126		シリアル QR コード現品票 24 面（枠線あり）
127		シリアル QR コード現品票 24 面（枠線なし）
128		シリアル QR コード現品票 44 面（枠線あり）
129		シリアル QR コード現品票 44 面（枠線なし）
130		シリアルバーコード現品票ラベル 52×29mm

第1章 概要

131	シリアルバーコード現品票ラベル（ラベルプリンター）	シリアルバーコード現品票ラベル 62×29mm
132	シリアル QR コード現品票ラベル（ラベルプリンター）	シリアル QR コード現品票ラベル 52×29mm
133		シリアル QR コード現品票ラベル 62×29mm

*1・・・メモリ HT 用の帳票は、メモリ HT オプションにご加入の場合のみ印刷可能です。

1-5 インポート／エクスポートファイル一覧

[1] 固定ファイルフォーマット一覧

本サービスの固定ファイルフォーマット一覧です。該当画面よりインポートまたはエクスポートを実行します。

No.	機能	種別	インポート	エクスポート
1	入荷予定	[標]入荷予定伝票	○	○
2		[NE]入荷予定データ	○	—
3	入荷実績	[標]入荷実績伝票	○	○
4		[NE]入荷実績データ	—	○
5	出荷指示	[標]出荷指示伝票	○	○
6		[拡]出荷指示伝票	○	—
7		[NE]出荷指示データ	○	—
8	出荷引当	出荷引当伝票	—	○
9	出荷実績	[標]出荷実績伝票	○	○
10		[NE]出荷実績データ	—	○
11	振替実績	振替実績伝票	○	○
12	現品票発行	枚数繰返し形式	—	○
13		枚数項目付加形式	○	○
14	棚卸	棚卸 品目別	—	○
15		棚卸 詳細	○	○
16		モバイル棚卸入力履歴 *1	—	○
17		棚卸外部データ比較	—	○
18	在庫参照	在庫参照 品目別	—	○
19		在庫参照 詳細	—	○
20	履歴参照	履歴参照	—	○
21		入出荷一覧	—	○
22		入出荷一覧（詳細）	—	○
23	集計	在庫移動表	—	○
24		在庫高集計	—	○
25	分析	出荷高(単価)別 ABC 分析	—	○
26		出荷高(標準原単価)別 ABC 分析	—	○
27		出荷頻度別 ABC 分析	—	○
28		在庫高別 ABC 分析	—	○
29		滞留在庫	—	○
30		在庫回転率	—	○
31	台帳	[標]品目台帳一覧	○	○
32		[NE]商品マスタ	○	—
33		分類台帳	○	○
34		セット品台帳一覧	○	○
35		倉庫台帳	○	○
36		ゾーン台帳	○	○
37		ロケーション台帳	○	○

第1章 概要

38	出荷先台帳	○	○
39	直送先台帳	○	○
40	[標]仕入先台帳一覧	○	○
41	[NE]仕入先マスタ	○	—
42	理由台帳	○	○
43	ユーザー台帳	○	○

*1・・・マルチデバイスオプションに加入またはシステム設定で「実棚入力を使用する」が有効な場合のみ
エクスポート可能です。

[2] 項目 ID ファイルフォーマットとマッピング

本サービスの CSV ファイルの対応は固定ファイルフォーマットの他に、項目 ID ファイルフォーマットとマッピングもあります。

項目 ID ファイルフォーマット

項目 ID 指定によるインポートでは、CSV ファイルに必要な項目だけを指定してインポートすることができます。指定しなかった項目は変化しないため、一部の項目だけを更新したい場合に便利です。

機能 : 品目台帳（インポート）、倉庫台帳（インポート）

該当マニュアル : <https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/manual.htm>
: 「別紙 項目 ID ファイルフォーマット」

マッピング

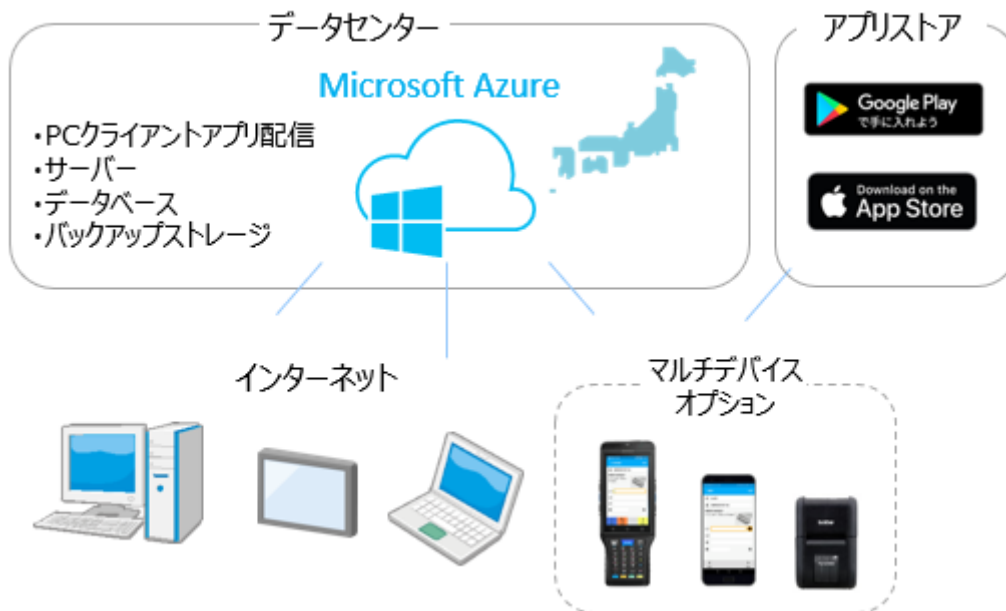
あらかじめ取り込む CSV ファイルの形式や取り込む方法を設定しておくことで、外部システムが出力した CSV ファイルを直接インポートする機能です。

機能 : 入荷予定・入荷実績伝票（インポート）、
出荷指示・出荷実績伝票（インポート）、
振替伝票（インポート）、棚卸詳細（インポート）、
品目台帳（インポート）、仕入先・出荷先・直送先台帳（インポート）

該当マニュアル : <https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/manual.htm>
: 「CSV インポートマッピング」

1 – 6 「在庫スイートクラウド」と「オプション」の構成

「在庫スイートクラウド」の構成を示します。



インターネットに接続された機器でご利用頂けます。

詳しくは、在庫スイートクラウドと、モバイルオプションまたはマルチデバイスオプションの動作環境をご確認ください。

第2章 使ってみよう

本章では、在庫スイートクラウドの基本的な操作について簡単に説明します。

2-1 インストール

お使いの PC で本サービスを初めて利用する場合は、ブラウザ経由でインストールを行います。

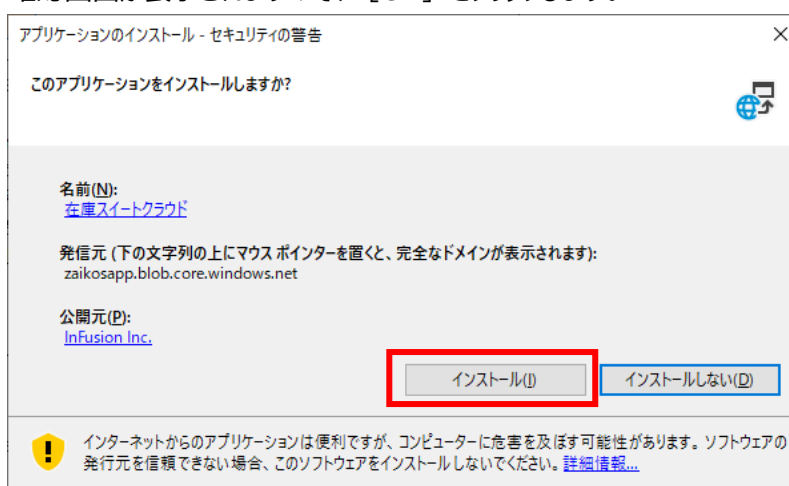
①インストールページでボタンをクリック

ブラウザ（Microsoft Edge ※最新版を推奨）で在庫スイートクラウドサポートサイトのインストールページにアクセスし、[インストール開始] ボタンをクリックします。



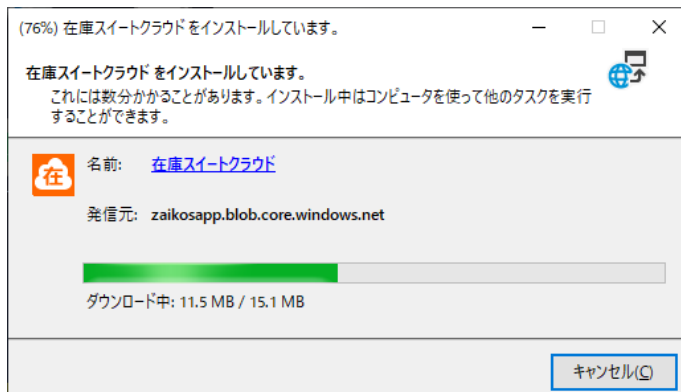
②インストール確認

確認画面が表示されますので、[OK] をクリックします。



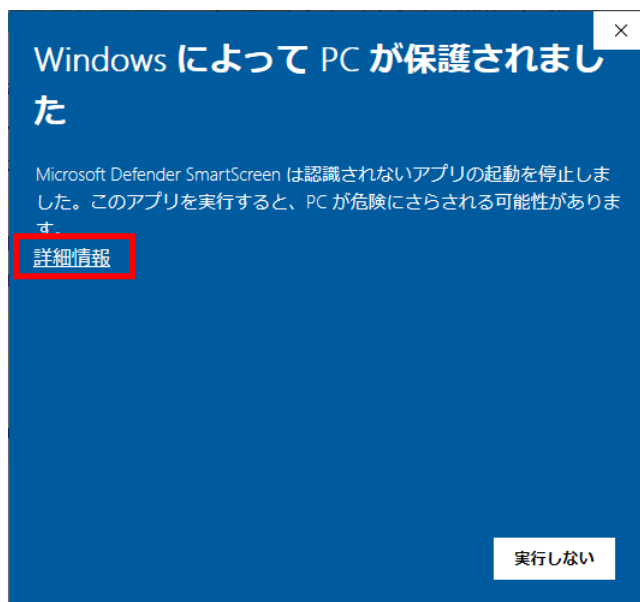
第2章 使ってみよう

ダウンロード中は以下の画面が表示されます。



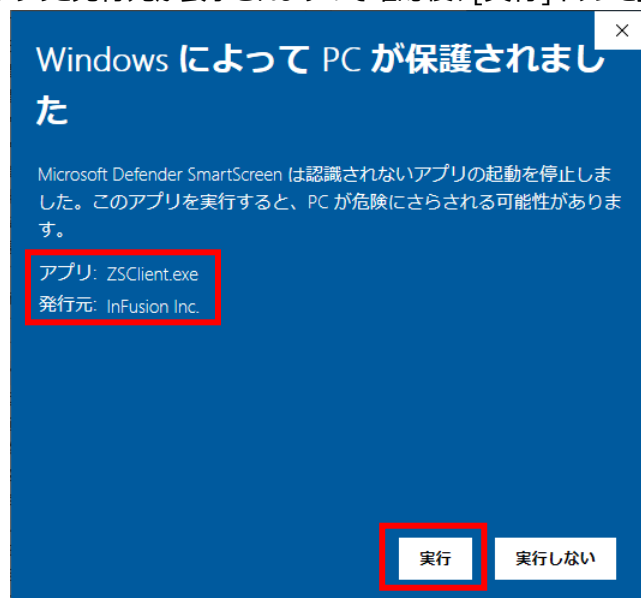
※ Windows8/8.1/10 では、安全性を確認されていないソフトを容易に起動できないようにする「Windows Defender SmartScreen」機能があります。

在庫スイートクラウドのインストールやバージョンアップの際、本機能がブロックしてしまうことがあります。



この画面が表示された場合、帯の中にある「詳細情報」をクリックします。

アプリと発行元が表示されますので確認後、[実行]ボタンを押すことで普通に起動できます。



第2章 使ってみよう

③起動

ダウンロード後はインストール・起動まで自動的に進みます。

在庫スイートクラウド

在庫スイートクラウド Ver.3.24

グループID ☐ 保存

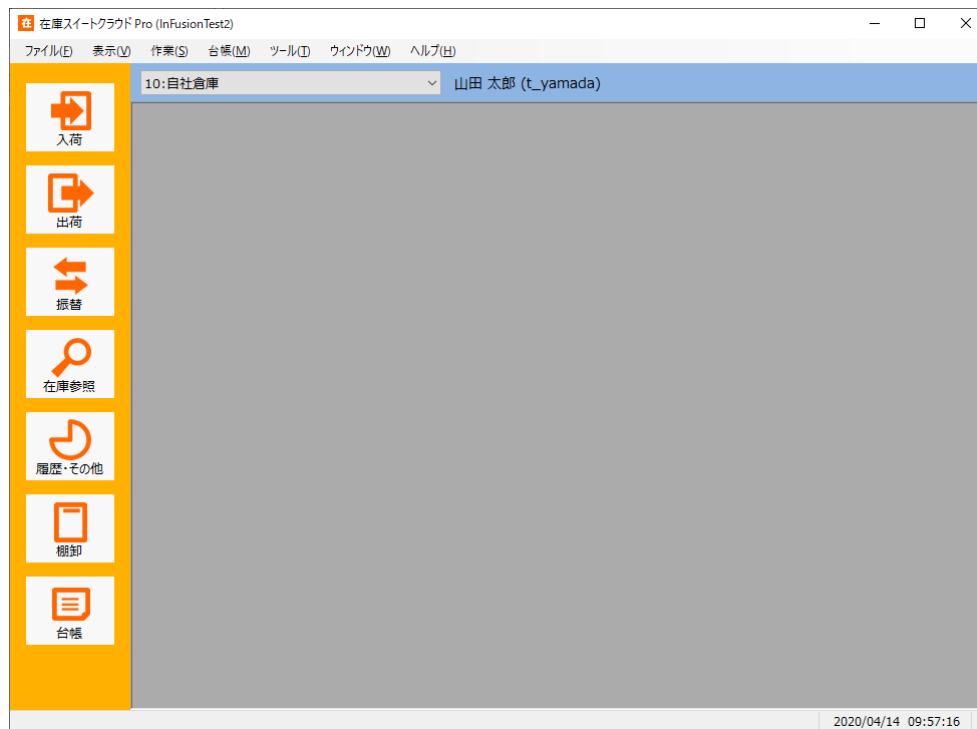
ユーザー ☐ 保存

パスワード

ヒント！

[ユーザー] = ユーザーID です。

[グループ ID] [ユーザー] [パスワード] を入力し [ログイン] ボタンをクリックしてください。ログインに成功すると、メイン画面が表示されます。



2-2 起動とログイン

インストール完了後、次回からはデスクトップアイコンのダブルクリックなど、一般的な Windows プログラムと同じ方法で起動できます。

その際、サーバーとバージョン確認を行い、更新されていれば自動アップデートします。

起動後、ログイン画面が表示されます。

【グループ ID】 【ユーザー】 【パスワード】 を入力し 【ログイン】 ボタンをクリックしてください。ログインに成功すると、メイン画面が表示されます。

グループ ID とユーザーは大文字・小文字の区別はしません。

パスワードは大文字・小文字の区別をします。

グループ ID とユーザーは【保存】にチェックすることで、次回は同じ内容が初期値としてセットされている状態でログイン画面が起動します。

なお、多重ログインが発生すると、先にログインしている方がログアウトします。

注意！

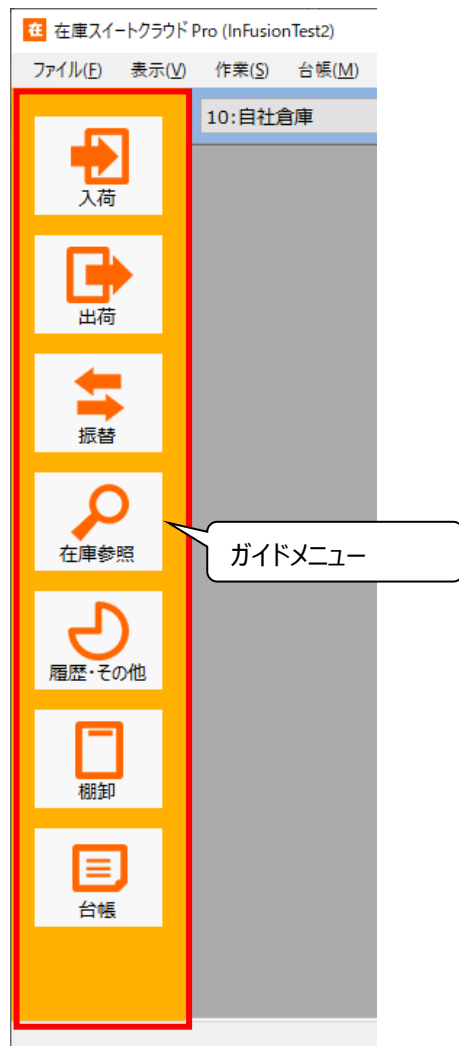
起動時の自動アップデートをキャンセルしたり、ZIP ファイルでダウンロードしたアプリを実行しているなどの理由で、ご利用中の本アプリケーションが最新でない場合、ログイン後にバージョンアップを促すメッセージを表示します。

メッセージに従い、速やかにバージョンアップを実施してください。

※バージョンがあまりに古い場合など、ログインができなくなる場合があります。

2-3 各機能の呼び出し方

本アプリケーションでは、頻繁に利用する機能を『作業アイコン』やボタンで表現した、『ガイドメニュー』を用意しています。



ガイドメニューはメインウィンドウの左端に表示しています。

ヒント！

【表示】→【ガイドメニュー】で、ガイドメニュー表示のON／OFFが設定できます。初期状態ではガイドメニューが表示されています。

第2章 使ってみよう

(1) ガイドメニューの操作方法

利用したい作業アイコンをクリックします。選択した作業だけがアイコン表示された状態に変わります。さらにその作業にサブメニュー([一覧] 、 [伝票] など)がある場合は、ガイドメニュー下部にボタンで表示されます。



(2) ログイン倉庫

メイン画面上部にはログイン倉庫が表示されています。
ログイン倉庫の初期値はユーザーの所属倉庫で異なります。

- 1つの特定倉庫に所属しているユーザーであれば所属倉庫
- 複数倉庫に所属しているユーザーであれば所属倉庫の中で先頭の倉庫
- 全倉庫所属ユーザーは [ログイン倉庫なし]

2-4 台帳登録

本サービスを利用するには、台帳（マスター）登録する必要があります。

台帳には必須台帳と、使い方によって必要になる任意台帳があります。

台帳は CSV ファイルのインポートによる一括登録が可能です。

必須台帳	品目台帳	管理する品目は、予め登録されている必要があります。
	倉庫台帳	少なくとも 1 つの倉庫は登録されている必要があります。
	ユーザー台帳	利用する人毎にユーザーを設定する必要があります。 ひとつのユーザーアカウント（ユーザーID とパスワード）を複数人で 使いまわすことは約款違反となります。また、セキュリティ面でも危険 ですのでおやめください。
任意台帳	品目分類台帳	複数の品目が属する単位を『分類』と呼びます。 品目分類は、主に各種検索条件や集計にて使用します。分類の 入力必須ではありませんが、絞込みを行う時などに便利です。
	セット品台帳	複数の品目で構成される品目を『セット品』と呼びます。 セット品台帳を登録すると、本アプリケーションでの伝票入力時に 展開入力が出来ます。また、構成品の在庫一覧が確認できます。
	ゾーン台帳 *1	複数のロケーションが属する単位を『ゾーン』と呼びます。 ロケーション管理を行わない場合や、ロケーション管理は行うがゾ ーン単位での管理を行わない場合はゾーン台帳を登録する必要は ありません。
	ロケーション台帳 *1	在庫品目の置き場所のことを『ロケーション』と呼び、在庫品目の置 き場所も管理することを『ロケーション管理』と呼びます。 ロケーション管理を行う場合は、ロケーション台帳を登録する必要 があります。 ロケーション管理を行わない場合はロケーション台帳を登録する必 要はありません。
	出荷先台帳	出荷関連の伝票では、出荷先は必要に応じて入力します。 入力する場合、台帳を利用して入力することも、台帳に登録され ていない内容を入力することも出来ます。
	直送先台帳	出荷関連の伝票では、直送先は必要に応じて入力します。 入力する場合、台帳を利用して入力することも、台帳に登録され ていない内容を入力することも出来ます。
	仕入先台帳	入荷関連の伝票では、仕入先は必要に応じて入力します。 入力する場合、台帳を利用して入力することも、台帳に登録され ていない内容を入力することも出来ます。
	理由台帳	返品や振替において、明細ごとに理由を登録する事ができます。 理由を登録するには理由台帳に予め登録する必要があります。 なお、台帳に登録された理由は、返品や振替において全て利用可 能です。

*1…倉庫毎の台帳

2-5 スタート在庫の登録、入出荷・振替登録

運用開始時のスタート在庫は通常、棚卸で登録します。

在庫が何もないところから運用を開始する場合は、棚卸する在庫がありませんので、初めから入荷・出荷・振替を登録してください。

入荷には「入荷予定」「入荷検品」「入荷実績」「入荷返品」「倉庫間入荷」、
出荷には「出荷指示」「出荷引当」「出荷検品」「出荷実績」「出荷返品」「倉庫間出荷」、
振替には「移動」「在庫状態変更」「破棄」「在庫調整」「ロット1変更」「ロット2変更」「汎用変更」があります。

これらの機能を利用して、在庫管理を実施します。

なお、入荷、出荷、振替、棚卸はログイン倉庫を対象に実施されます。

「ログイン倉庫なし」または別倉庫になっている場合は、まずはログイン倉庫を対象の倉庫に変更してから、登録を行ってください。

なお、入荷メニューには「現品票発行」機能もあります。

バーコードや QR コードラベルを発行し、効率的な在庫管理を実施頂けます。

2-6 在庫・履歴の確認

在庫数の確認は在庫参照画面を用います。

在庫参照（詳細）画面では、ロットやロケーション・在庫状態別の在庫数が確認できます。



入出荷・振替・棚卸の登録履歴は、履歴参照画面で確認できます。

- ・特定商品の入出荷履歴
- ・特定ロットの出荷トレーサビリティ
- ・特定の取引先への出荷一覧

といった使い方が出来ます。

在庫参照、履歴参照ともに、いずれかの倉庫をログイン倉庫としている場合、絞込検索条件の初期値としてログイン倉庫が指定されます。別倉庫参照権限があれば、参照する倉庫の変更や、倉庫を「条件なし」とし全倉庫の参照が可能です。

2-7 困ったときは

[1] まずはオンラインサイト

本サービスはオンラインサポートサイトを用意していますので、まずはご確認ください。

<http://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/index.htm>

[2] 弊社へのお問合せにつきまして

セキュリティ上のリスク及び情報の混乱をさけるため、電話・メール・FAXでのサポート対応は、事前に申請いただきました管理者の方に限定して対応しております。

別の方からのお問合せには対応致しかねますのでご確認ください。

(詳しくはサービス契約約款をご覧ください。)

第3章 基本操作の確認

運用する前に、本アプリケーションの基本的な操作方法について説明します。

3 – 1 画面の基本構成

[1] 3 部構成の画面

伝票や一覧形式の画面は『ヘッダ部』『明細部』『フッタ部』から構成されています。

ヘッダ部は伝票番号や日付など、その画面のヘッダ情報が表示されています。

明細部は繰り返し同じパターンで表示される情報が表示されます。

フッタ部は操作のボタンやヘッダ情報の一部が表示されます。

在 入荷実績伝票 - 新規

ヘッダ部

伝票ヘッダー

伝票番号

作業番号

元伝票番号

伝票区分

入荷

伝票日付

2016/03/11

入荷予定日

2016/03/11

入力区分

PC

倉庫

10:自社倉庫

作業担当者

山田 太郎 (t_yamada)

仕入先

摘要

入荷実績明細

明細部

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	ロット 1	ロット 2	ロケーション	数量	単位	備考
*									

登録(U)

行挿入(I)

行削除(R)

フッタ部

キャンセル(C)

〔2〕2部構成の画面

台帳画面や導入設定画面は『メイン部』『フッタ部』から構成されています。

メイン部では該当画面のメイン情報が表示されています。

フッタ部は操作用のボタンが表示されます。

3-2 伝票形式の基本操作

在庫スイートクラウドには出荷実績伝票・入荷実績伝票・振替伝票などの伝票形式があります。ここでは伝票形式画面の基本操作を、ガイドメニューによる入荷実績伝票の操作に基づいて説明します。

[1] 伝票形式の3つのモード

伝票形式の画面には『新規モード』『参照モード』『修正モード』という3つのモードがあります。ガイドメニューの「入荷」の「伝票」ボタンをクリックすると、入荷実績伝票が新規モードで呼び出されます。

在庫スイートクラウド Pro (InFusionTest2)

ファイル(F) 表示(V) 作業(S) 台帳(M) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

10: 自社倉庫 山田 太郎 (t_yamada)

入荷実績伝票 - 新規

伝票ヘッダー

伝票番号 作業番号 元伝票番号 伝票区分 入荷

伝票日付 2021/03/15 入荷予定日 2021/03/15 入力区分 PC

倉庫 10: 自社倉庫 作業担当者 山田 太郎 (t_yamada)

仕入先

摘要

入荷実績明細

Keyコード	品目名	品目名 2	入庫日	原反No	ロケーション	数量	単位	備考
*								

登録(U) 行挿入(I) 行削除(D) 入力補助(E) キャンセル(C)

2021/03/15 15:17:53

第3章 基本操作の確認

伝票入力を行い、登録すると新規モードから参照モードに変わります。

〔キャンセル〕すると、新規モードの場合はウィンドウを閉じ、修正モードの場合は参照モードに戻ります。

新規モードと修正モードでは〔登録〕〔行挿入〕〔行削除〕〔キャンセル〕ボタンが有効になります。

〔登録〕 ボタンをクリックして、入力中のデータを登録します。

〔行挿入〕 ボタンをクリックして、選択している行の上に1行挿入します。

〔行削除〕 ボタンをクリックして、選択している行を削除します。

〔キャンセル〕 ボタンをクリックして、入力中のデータを登録せずに画面を閉じます。

参照モードでは〔新規〕〔削除〕〔修正〕〔一覧〕〔印刷〕〔閉じる〕ボタンが有効になります。

〔新規〕 ボタンをクリックすると、新規モードに変わります。

〔削除〕 ボタンをクリックすると、参照中の伝票を削除します。

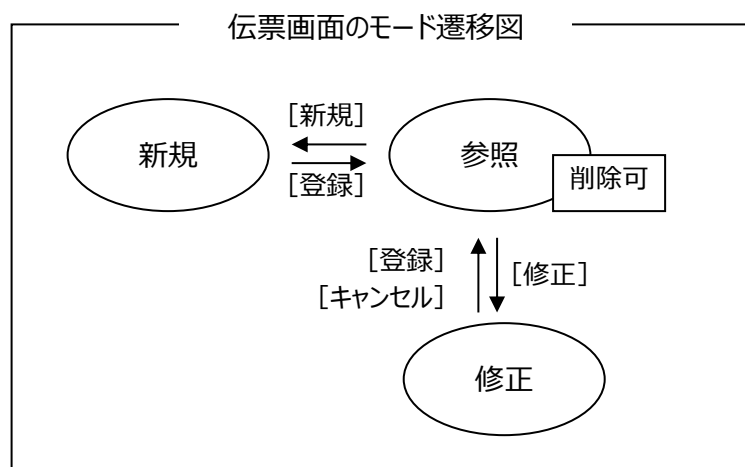
〔修正〕 ボタンをクリックすると、参照中の伝票の修正モードに変わります。

〔一覧〕 ボタンをクリックすると、伝票画面を閉じて一覧画面を表示します。

〔印刷〕 ボタンをクリックすると、参照中の伝票明細書を印刷します。

〔閉じる〕 ボタンをクリックすると、参照中の伝票を閉じます。

※伝票の登録・修正・削除はユーザー権限が必要です。詳しくは「4-2-1 ユーザー台帳と権限」をご覧ください。



〔2〕伝票の呼び出し方

伝票の呼び出し方にはいくつかの方法があります。

(1) 新規モードの呼び出し

次のいずれかの方法で、伝票を新規モードで呼び出せます。

- ・ガイドメニューで〔入荷〕→〔伝票〕をクリックして伝票を呼び出すと、新規モードで呼び出されます。
- ・メニューバーで〔作業〕→〔入荷〕→〔入荷実績新規伝票〕を選択すると、新規モードの伝票が呼び出されます。
- ・入荷実績伝票一覧や参照モードの入荷実績伝票における、〔新規〕ボタンのクリックでも新規モードを呼び出せます。なお、一覧画面より伝票画面を呼び出すと、一覧画面は自動的に閉じます

(2) 参照モードの呼び出し

次のいずれかの方法で、伝票を参照モードで呼び出せます。

- ・入荷実績伝票一覧で、参照したい伝票を選択し〔参照〕ボタンをクリック、又は参照したい伝票をダブルクリック。なお、一覧画面より伝票画面を呼び出すと、一覧画面は自動的に閉じます
- ・履歴参照画面で、参照したい伝票を選択し〔対応伝票〕ボタンをクリック、又は参照したい伝票をダブルクリック

〔3〕伝票画面がすでに起動している時の呼び出し

伝票画面が新規モードまたは修正モードで起動している場合、別の伝票を呼び出すことができません。一旦伝票画面を参照モードにするか、伝票画面を終了した後に再度呼び出してください。

〔4〕伝票番号

全ての伝票番号は、システムによって自動的に付番されます。

各伝票の伝票番号は「00000000001」から始まり、その後1ずつ加算されます。

削除した伝票番号は欠番となります。

〔5〕新規モードの伝票日付

新規モードでの伝票日付の初期値には、PCのシステム日付がセットされます。

その後画面上で変更可能です。

[6] カーソルの移動と明細行の指定

Tab キーまたは矢印キーを押下するとカーソルが次の項目に移動します。またマウスでもカーソルの移動は可能です。

明細行にカーソルがある時は、該当項目が選択され、Key コード欄を入力すると、行番号が左側に表示されます。[行挿入] [行削除] ではカーソルが位置する行が対象となります。

なお、該当項目が選択された状態の場合、Enter キーを押下すると、項目の編集状態となります。編集状態で Enter キーを押下すると入力を確定し、次の項目に移動します。

[7] 品目入力

Key コードを入力すると、該当する品目の品目コード・品目名・単位が表示されます。
品目名・単位は変更が可能です。

伝票ヘッダー

伝票番号 作業番号 元伝票番号 伝票区分

伝票日付 入荷予定日 入力区分

倉庫 作業担当者

仕入先

摘要

入荷実績明細

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	ロット 1	ロット 2	ロケーション	数量	単位	備考
009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1					個	

登録(U) 行挿入(I) 行削除(R) 入力補助(E) キャンセル(C)

ヒント！

Key コードは大文字・小文字を区別せずに入力することが可能です。

入荷・出荷・振替伝票画面では入力した Key コードがそのまま伝票へ登録されます。

また、現品票発行画面では入力した Key コードがそのまま現品票に印字されます。

なお、在庫参照や棚卸、集計・分析画面では品目台帳の Key コードが表示されます。

【8】数量入力

数量は、直接数字を入力する以外に、数量入力補助画面を利用することもできます。

品目が指定されている状態で、数量欄でスペースキー押下、マウスでダブルクリック、F4 キー押下、[入力補助]クリックのいずれかで次のような数量入力補助画面が表示されます。

(1) 数量入力補助画面

品目の入数が表示され、箱数とバラ数が入力できます。

「テンキー」を押すと、ソフトウェアテンキーが表示され、もう一度押すと閉じます。

ソフトウェアテンキーが非表示の場合は、キーボードやマウスで入力します。

ソフトウェアテンキーが表示されている場合は、ソフトウェアテンキーで入力します。

入力した結果、合計数

($= \text{入数} \times \text{箱数} + \text{バラ数}$) が表示されます。

(品目台帳で入数を設定していない品目の場合、バラ数のみ入力可能です。)

「OK」を押すと合計数が数量欄に

セットされます。

数量入力

品目名	兼用ビット22m
入数	0
箱数	0
バラ数	0
合計	0
本	
切替	テンキー
OK(Q)	キャンセル(C)

数量入力

品目名	兼用ビット22m		
入数	0		
箱数	0		
バラ数	0		
合計	0		
本			
切替	テンキー		
1	2	3	
4	5	6	
7	8	9	
-	0	.	
クリア			
OK(Q)			キャンセル(C)

[9] 明細空白行と登録について

伝票登録時、空白の明細行は無視され、行番号を詰めて登録されます。

[1 0] 日付のカレンダー入力について

日付の入力は、直接入力の他にカレンダーでの入力方法があります。

ヘッダ部と明細部では入力の方法が少し異なります。

ヘッダ部は、左側のチェックボックスをクリックしてから、右側の ☐ をクリックしカレンダーを表示させることで入力可能になります。

右側の ☐ を直接クリックしてもカレンダーを開く事が出来ます。



削除の方法は、左側のチェックボックスをクリックし、チェックを外すことです。

明細部は、カーソルがロット1、ロット2にある状態で F4 キーを押下、またはマウスのダブルクリックで下図のような日付入力補助画面が表示されます。

但し、システム設定の「日付入力-ロット1」、「日付入力-ロット2」が「なし」の場合は表示されません。

削除の方法は、他の項目と同様、Delete キーを押下します。



[1 1] ロット 1・2 日付形式への整形

システム設定の「日付入力-ロット1」、「日付入力-ロット2」で、「YYYY/MM/DD」、「YYYY/MM」、「YYYY/MM/DD & YYYY/MM」のいずれかを指定することで、入力された内容について日付形式への整形が有効になります。

ロット1 200916

↓

ロット1 2020/09/16

「YYYY/MM/DD & YYYY/MM」指定で、どちらにも合致する場合は選択画面が出ます。

ロット1 1111

↓

在 日付形式選択

日付形式を選択してください

2020/11/11

2011/11

日付形式への整形を有効にした場合、日付とみなされない入力はエラーとなります。

なお、以下の入力／登録方法は日付形式への整形はされません。

- ・在庫転記での入力
- ・ファイルインポート

ヒント！

日付形式への整形を有効にした場合、カレンダー入力補助は常に有効となります。

ヒント！

日付入力でロットの形式を「YYYY/MM/DD」、用途を「使用期限」に設定した場合、ロットに年月形式の値を入力すると、その月の末日を付加して自動整形されます。

例：“202011”を入力 → “2020/11/30”に整形

ヒント！

現品票 QR コードや独自バーコードの読み取りについても、ロットの情報が含まれている場合は指定の形式に自動整形されます。

[1 2] F4 キーによる入力補助画面呼び出し

入力補助画面は仕入先コードやKeyコードなど、台帳に登録された項目を入力する際に利用できます。該当項目で F4 キーを押下するか、マウスでダブルクリックするか、スペースキーを押下する(項目に何も表示されていない状態のみ)か、[入力補助]ボタンがある場合はクリックすることで呼び出すことができます。

仕入先CD	名称	住所
S1001	和泉製作所 ③	大阪府和泉市テクノステージ1-1-0 第一ビル 1F
S1002	株式会社高槻商会	大阪府高槻市唐崎中2-2-0 第二ビル 2F
S1003	西日本物流 堺支店	大阪府堺市大野芝町3-3-0 第三ビル 3F
S1004	寝屋川工業	大阪府寝屋川市太秦元町999-0 第四ビル 4F
S1005	株式会社NNC	大阪府吹田市樫切山2-3-8 樫切山ビル 5F

入力補助画面使用方法

- ① 検索を行う項目名を選択します。
- ② 検索条件を入力して [検索] ボタンを押します。
項目にコード（仕入先コード等）を指定した場合は、入力した条件に前方一致するレコード以降のデータを表示します。
名称等のコード以外の項目を指定した場合は、入力した条件に一部一致するデータに絞り込んで表示します。
空欄で [検索] ボタンを押すとすべてのデータを表示します（検索状態解除）。
- ③ 目的の行を選択して [OK] ボタン、ダブルクリック、または Enter キーで決定すると、元の画面の該当箇所を選択した項目が入力されます。

[1 3] F4 キーによるセット品展開入力

セット品台帳を登録しておく、F4 キーによる品目入力補助画面に『セット品のみ』に絞り込み条件が表示されます。

明細入力補助 - 1/2 (品目)

検索(K)

Keyコード 検索(S) ☒ セット品のみ

Keyコード	品目コード	単位	品目名	分類CD	分類名
SET007030		セット	兼用ビットセット (4.5×3/22/36mm入り)	02	工具・電材
SET007031		セット	兼用ビットセット (4.5/22/36mm入り)	02	工具・電材
SET007032		セット	兼用ビットセット (4.5/22×2/36mm入り)	02	工具・電材

全3件 : 1~3件 (3件分) 1 / 1ページ 先頭 ←前へ 次へ→ 最後

在庫選択へ(F3) OK(O) キャンセル(C)

また、セット品を選択し [OK] ボタンをクリックすると、展開入力の有無を確認されます。
展開入力する場合は、セット数を指定して[OK]ボタンをクリックします。

セット品入力

セット品です。構成品に展開しますか？

☒ 展開する セット数

☐ 展開しない

OK キャンセル

なお、セット展開入力の詳細については、「4 - 1 9 [3] セット品の展開入力について」をご覧ください。

[1 4] F3 キーによる明細入力補助

伝票入力の明細において、品目が指定されている状態で、明細行入力時に F3 キーを押下すると該当品目に絞り込んだ詳細な在庫情報が表示されます。

Keyコード	品目コード	単位	品目名1/品目名2	分類
009331011A	SB001NS001	個	シリンダーブロック FJ4-1	01:自動車部品

ロット 1	ロット 2	在庫状態	ゾーン	ロケーション	現品数	出荷引当数	残数
140718		通常品		A-02	45	38	7
140719		通常品		A-02	450	262	188
140721	①	通常品		A-01	1,000	0	1,000
140718		不良品		A-02	1	0	1
140718		修理中		A-02	1	0	1
140718		確保		A-02	1	0	1

全6件: 1~6件 (6件分) 1 / 1ページ 先頭 ←前へ 次へ→ 最後

OK(O) キャンセル(C)

明細入力補助 – 在庫画面の使用方法

- ①目的の行を選択して【OK】ボタン、ダブルクリック、または Enter キーで決定すると、元の画面の該当箇所を選択した項目が入力されます。

その際、入力として適正でないデータだった場合、以下のようなエラーまたは警告が出ます。

出荷実績伝票（伝票区分＝出荷） 出荷指示伝票（伝票区分＝出荷） 出荷引当伝票（伝票区分＝出荷） 出荷検品伝票（伝票区分＝出荷）	システム設定で在庫状態の明細入力が OFF の場合、 在庫状態が「通常品」以外であればエラー
入荷実績伝票（伝票区分＝入荷）	システム設定で在庫状態の明細入力が OFF の場合、 在庫状態がシステム設定の「入荷後の在庫状態」での設定値以外であれば、 「入荷後の在庫状態」の設定値に転記（警告）

<連続補助入力>

なお、伝票から F4 キーにより Key コードの入力補助画面を呼び出した場合、【在庫選択へ】ボタンを押下することで、連続して本入力補助画面を呼び出しことが可能です。

[1 5] 入力補助ボタンによる明細入力補助

「入力補助」ボタンをクリック（またはタッチ）すると、基本的に F4 キーによる入力補助画面呼び出しと同じ動作となります。

明細入力補助 - 1/2 (品目)

検索(K) Keyコード 0070 検索(S) セット品のみ

Keyコード	品目コード	単位	品目名	分類CD	分類名
00703012	4962660660474	本	兼用ビット4.5	02	工具・電材
00703014	4962660062278	本	兼用ビット22m	02	工具・電材
00703017	4962660063640	本	兼用ビット36m	02	工具・電材
009331011A	SB001NS001	個	シリンダーブロック FJ4-1	01	自動車部品
009332011A	SD001NS001	個	シリンダーライナー FJ4-1	01	自動車部品
009332102A	EB001NS001	個	エンジンバルブ H50	01	自動車部品
009333011A	SH001NS001	個	シリンダーヘッド FJ4-1	01	自動車部品
009333102A	BS001NS001	個	バルブスプリング H10	01	自動車部品

全29件: 1~8件 表示件数 自動 1/4ページ 先頭 前へ 次へ 最後

在庫選択(F3) OK(O) キャンセル(C)

登録(U) 行挿入(I) 行削除(R) 入力補助(F) キャンセル(C)

但し、Key コードが入力済みかつ Key コードが選択されている状態で「入力補助」ボタンをクリックすると、F3 キー押下と同様、該当品目に絞り込んだ詳細な在庫情報が表示されます。この画面には「品目へ戻る」ボタンもありますので、品目入力補助画面も利用できます。

明細入力補助 - 2/2 (在庫)

Keyコード	品目コード	単位	品目名	分類
009331011A	SB001NS001	個	シリンダーブロック FJ4-1	01:自動車部品

ロット1	ロット2	在庫状態	ゾーン	ロケーション	現品数	出荷引当数	残数
		通常品			129	0	129

全1件: 1~1件 表示件数 自動 1/1ページ 先頭 前へ 次へ 最後

品目へ戻る(F4) OK(O) キャンセル(C)

登録(U) 行挿入(I) 行削除(R) 入力補助(F) キャンセル(C)

[1 6] バーコードスキャナーによる入力

PC に接続されたバーコードスキャナーを使用して、品目やロケーションのデータを入力することができます。なお、伝票明細にデータを入力する際は、Enter キーを押下して入力する項目を編集状態にしてから読み取りを行ってください。

注意！

バーコードスキャナーでの入力は、キーボードでの手入力と同様、CAPS ロックやかな漢字変換(IME)の状態に影響を受けます。在庫スイートクラウドでは基本的にそれらがオフの状態である必要があります。もしバーコードスキャナーでの入力がうまく行かない場合は、CAPS ロックとかな漢字変換の状態を確認してください。

ヒント！

PC に接続されたバーコードスキャナーは終端に「TAB」を付加することをお勧めします。

[1 7] バーコードスキャナーによる品目入力

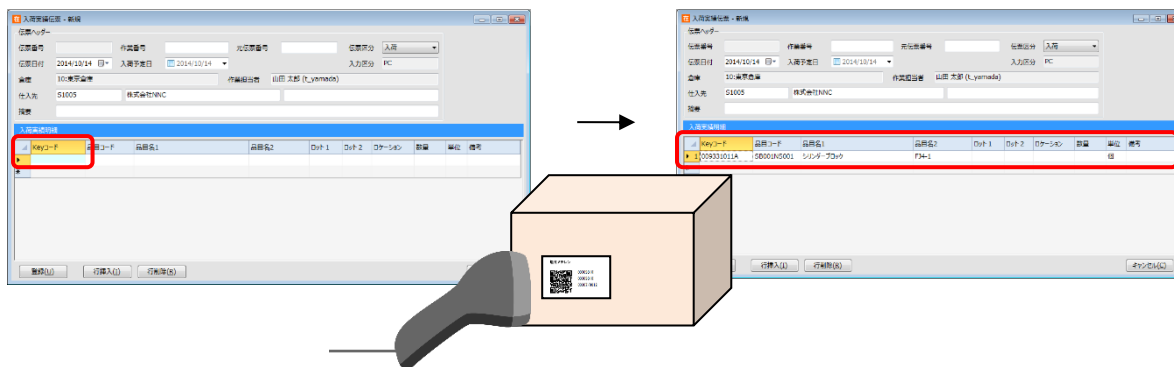
PC に接続されたバーコードスキャナーで品目を特定するためのバーコードや QR コードを読み取ることで、伝票明細に品目を入力することができます。

運用（＝システム設定の内容）により、2 通りの入力方法を提供します。

(1) [Key コード] のみ入力可能

システム設定のシステム運用タブの使用項目で [品目コード] が OFF、またはシステム運用タブの使用項目で [品目コード] が ON で入力タブの品目バーコード読み取り [検索項目] が「Key コード」の場合は、[Key コード] のみ入力が可能です。

明細の [Key コード] 欄にカーソルを置いた状態で品目を特定するバーコードや QR コード現品票を読み取ってください。



ヒント！

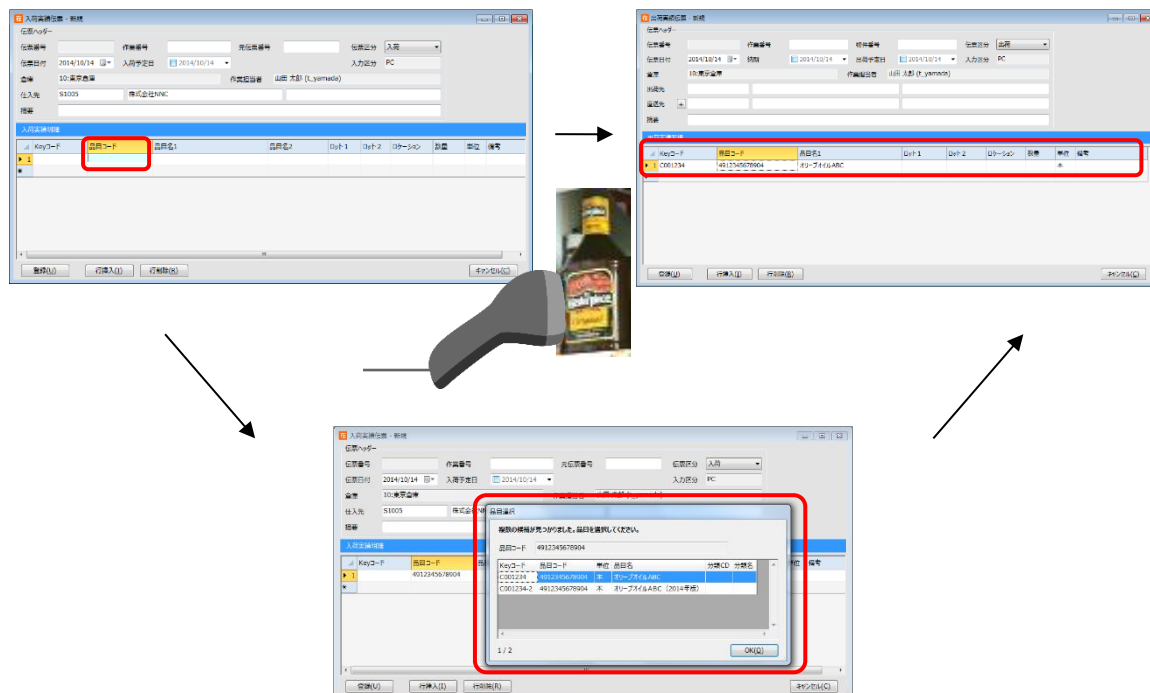
システム設定と入力項目の対応については「4 - 1 [3] モノに関する管理項目」をご覧ください。

第3章 基本操作の確認

(2) [Keyコード] と [品目コード] が入力可能

システム設定のシステム運用タブの使用項目で [品目コード] が ON で、入力タブの品目バーコード読み取りの [検索項目] が「品目コード」の場合、[Keyコード] の他に [品目コード] も入力が可能です。

この設定では、社内品番を [Keyコード] に、JAN や I T F などの品目を特定するバーコード（以後、「品目バーコード」と呼びます）の内容を [品目コード] に設定する運用を想定しています。品目バーコードを読み取る場合は [品目コード] 欄にカーソルを置いた状態で読み取ってください。複数の [Keyコード] が該当する場合は、選択画面が現れますので [Keyコード] を指定します。



入力した[品目コード]に複数の[Keyコード]が該当する場合は、選択画面が表示されます。

なお、バーコード化された [Keyコード] を読み取る場合は、直接 [Keyコード] 欄にカーソルを置いて読み取ります。

ヒント！

本アプリケーションで発行するバーコードの内容は [Keyコード] です。

[1 8] 品目入力の判定順

入力された内容は以下の順でチェックが行われ、先に判定されたものとして処理されます。

QRコード現品票 > 独自バーコード > 単独のバーコード (Keyコードまたは品目コード)

ヒント！

QRコード現品票、独自バーコードはシステム設定により *OFF* にできます。*OFF* にすると判定されません。

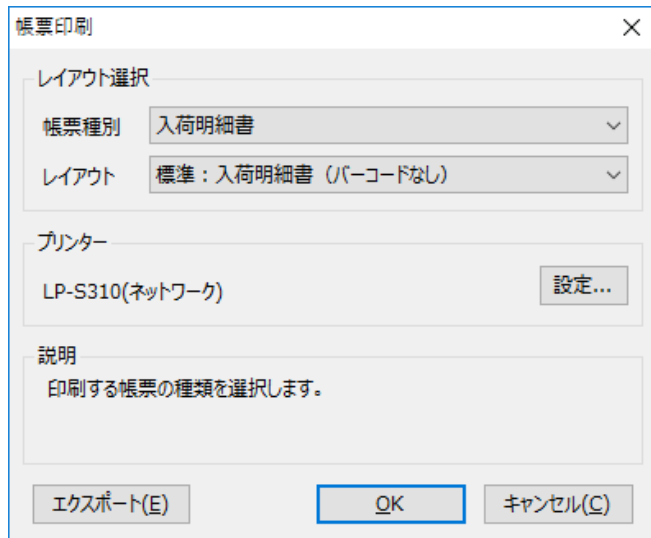
【19】印刷とエクスポート

参照モードでは【印刷】ボタンが使用できるものもあります。

印刷ボタンをクリックすると「帳票種別」や「レイアウト」が選択でき、対応した帳票を印刷できます。

プリンターの【設定】ボタンをクリックすると、印刷に使用するプリンターを選択できます。

また、エクスポートも可能です。



帳票印刷

レイアウト選択

帳票種別 入荷明細書

レイアウト 標準：入荷明細書（バーコードなし）

プリンター

LP-S310(ネットワーク) 設定...

説明

印刷する帳票の種類を選択します。

エクスポート(E) OK キャンセル(C)

ヒント！

プリンターは初期状態では PC の「通常使うプリンター」を表示します。

変更すると本アプリケーション実行中のみ記憶されます。

但し、ラベルプリンター用帳票（帳票種別名に "ラベルプリンター" と付くもの）の場合は各 PC でレイアウトごとにプリンターを記憶し、再起動後も保持されます。

カスタム帳票の場合は、レイアウト名に "ラベルプリンター" または "指定プリンター" の文字を含むものをラベルプリンター用帳票として扱います。

【20】【閉じる】と【キャンセル】

参照モードでは【閉じる】ボタン、新規モード・修正モードでは【キャンセル】ボタンとなります。

新規モードで登録前に【キャンセル】ボタンをクリックした場合は、登録の有無を確認します。修正モードで修正内容を反映させたくない場合は登録せずに、【キャンセル】ボタンをクリックします。

[2 1] 伝票コピー

参照モードで伝票を表示している状態からデータをコピーした新規伝票画面を開くことができます。
伝票コピーは、システム設定の「伝票コピー機能を有効にする」をONにします。
設定方法は「7 - 1 [5] 入力」をご覧ください。

(1) 伝票コピーの基本操作

基本操作は以下のとおりです。

① 元となる伝票を呼び出し、
[新規]をクリック

② 確認画面で[はい]をクリック

③ 新規モードで呼び出し。元となる伝票の内容が初期値としてセット済。

④ [登録]をクリック
でコピー完了。

第3章 基本操作の確認

(2) 対応伝票

伝票コピーは、以下の伝票画面と伝票区分に対応しています。

対応画面	伝票区分
入荷予定伝票画面	全てに対応
入荷実績伝票画面	倉庫間入荷は除く
出荷指示伝票画面	全てに対応
出荷実績伝票画面	全てに対応
振替伝票画面	全てに対応

(3) コピーできない条件

対応伝票でも、元の伝票に登録されている内容によってはコピーできない場合があります。

対象伝票	コピーできない条件
対応伝票すべて	現在のログイン倉庫とは別倉庫の伝票
入荷予定伝票画面	手入力できない以下の項目がセットされている伝票 <明細> 発注単価、発注金額
出荷指示伝票画面	「ネクストエンジン拡張項目」または「標準拡張項目」（具体的には以下の項目）がセットされている伝票 <ヘッダ> 店舗コード、店舗名、受注番号、データ抽出日、税金、手数料、発送代、他費用、ポイント数、総合計、支払区分、支払方法、納品書特記事項 メール、顧客区分、卸先コード 送り状種別、発送区分、発送方法、時間指定、代引金額、ギフトフラグ、発送伝票備考欄 <明細> 売単価
振替伝票画面	積送中メンテナンスで登録した在庫調整の伝票

第3章 基本操作の確認

(4) コピーされない項目

以下の項目はコピーの際、項目毎に決められた固定値や台帳データなどがセットされます。

対象伝票	部	項目	セットされる値
対応伝票すべて	ヘッダ	伝票番号	登録時に新規付番
		伝票日付	当日の日付
		入力区分	「PC」固定
		倉庫名	登録時の倉庫台帳の内容
		登録担当者	ログインユーザー
		登録日時	登録時の日時
	明細	品目コード	登録時の品目台帳の内容
・入荷実績伝票画面 ・出荷実績伝票画面 ・振替伝票画面	明細	在庫状態 ※1	入荷実績伝票（伝票区分＝入荷）において、システム設定で在庫状態の明細入力が OFF の場合は、システム設定「入荷時の在庫状態」の値。他の伝票の場合、登録時の項目名設定の在庫状態名。
		理由名 ※2	登録時の理由台帳の内容
・入荷予定伝票画面 ・出荷指示伝票画面	ヘッダ	作業状態	未作業
		差異	差異あり
		対応伝票番号	なし
		検品（明細）	なし

※1 システム設定で「出荷時の在庫状態 明細入力」が OFF の場合は、

出荷実績伝票（伝票区分＝出荷）の在庫状態は非表示・通常品固定です。

※2 入荷／出荷実績伝票は、伝票区分＝入荷／出荷返品のみ理由項目があります。

(5) その他特記事項

・Key コード等ですでに台帳に無いデータを含む場合でも、新規登録画面への転記は行われます。

但し、修正せずそのまま登録しようとすると、登録時のチェックでエラーとなります。

・下記項目は、元の伝票の内容のまま転記されます。

仕入先名、出荷先各項目（名称・住所など）、直送先各項目（名称・住所など）、品目名、単位

3-3 一覧形式の基本操作

在庫スイートクラウドには入荷実績伝票や在庫参照などの一覧形式があります。ここでは一覧形式画面の基本操作を、ガイドメニューによる入荷実績伝票の一覧操作に基づいて説明します。

[1] 一覧の呼び出し方

一覧画面は、メニューバー・ガイドメニューから呼び出すことができます。

また、伝票画面の参照モードにおける「一覧」ボタンのクリックで呼び出すことも可能です。

なお、伝票画面より一覧画面を呼び出すと、伝票画面は自動的に閉じます。

一覧画面を呼び出すと、はじめに検索条件画面が表示されます。

ここで、絞り込む条件を入力します。

ヒント！

入力項目は、先頭及び末尾のスペースは削除して検索します。但し、品目コードの先頭スペースは削除しません。

各伝票一覧や履歴一覧では、「伝票日付 = 先月～」が、条件指定の初期値となっています。

第3章 基本操作の確認

検索条件画面の入力欄には、主に4種類の入力方式があります。

(1) リスト

リスト選択でのみ条件を設定できます。

例) 伝票区分、倉庫、在庫状態など

(2) テキスト

テキストの入力が可能です。

例) 伝票番号、品目名など

(3) 入力補助画面付きテキスト

テキストの入力が可能です。

また、何も入力されていないときにスペースキーを押下するか、ダブルクリック又は F4 キーを押下すると入力補助画面が表示されます。条件を指定して検索を実行することで、さらに候補を絞り込むことも可能です。

※入力補助画面については「3-2 [1 2] F4 キーによる入力補助画面呼び出し」をご覧ください。

例) 仕入先コード、出荷先コード、Key コードなど

(4) カレンダー

日付を指定する場合は、カレンダーからの入力が可能です。

左側のチェックボックスをクリックするか、右側の  をクリックしカレンダーを表示することで入力可能になります。

例) 伝票日付、納期、入荷予定日、登録日時など

各項目の検索方法は以下の通りです。

入力方式	検索項目	検索方法
リスト	伝票区分、倉庫、在庫状態など	完全一致
テキスト/ 入力補助画面 付きテキスト	伝票番号、明細番号	範囲検索
	仕入先コード、出荷先コード、Key コードなど ロット 1/ロット 2(システム設定[日付入力]>[形式] で「なし」以外を指定)	範囲検索 (前方一致)
	摘要、備考、仕入先名、出荷先名など ロット 1/ロット 2(システム設定[日付入力]>[形式] で「なし」を指定)	一部一致
	品目名	一部一致 (AND/OR 検索可能*1)
カレンダー	伝票日付、納期、入荷予定日、登録日時など	範囲検索

*1・・・AND/OR 検索は在庫参照(品目別/詳細)のみ対応

第3章 基本操作の確認

必要に応じて検索条件画面で条件を設定し〔OK〕ボタンをクリックします。
その条件で絞り込まれた一覧画面が表示されます。

倉庫	登録日時	伝票番号	伝票区分	仕入先CD	仕入先名	伝票日付	入荷予定日	作業番号	元伝票番号	対応入荷日
10: 自社倉庫	2015/02/09 11:57	0000000000005	入荷	S1003	西日本物流 堺支店	2015/02/09				
10: 自社倉庫	2015/02/09 11:57	0000000000004	入荷	S1002	株式会社高槻商会	2015/02/09				
10: 自社倉庫	2015/02/09 11:57	0000000000003	入荷	S1001	和泉製作所	2015/02/09				

〔2〕表示の更新

一覧画面の〔更新〕を押すと、同一の条件で再表示を行います。
その他、並べ替えや、インポートを行ったあとにも最新のデータに更新されます。

〔3〕検索条件の変更

別条件で表示したいときは、〔絞り込検索〕ボタンをクリックすると、再度検索条件画面が表示されます。

〔4〕明細行の指定と参照

一覧では、明細行に伝票のヘッダ情報が表示されます。マウスで明細行をクリックすると、その明細行が指定されたことを反転表示で表します。指定された明細行が〔参照〕の対象となります。

[5] 明細行の並べ替え

一覧の行の項目名をクリックすると、その項目で並べ替えを行います。並び順は項目名の横に [▲] (昇順)、または [▼] (降順) で表示されます。

ヒント！

一覧画面を開いた直後や絞り込み検索直後はデフォルトの並び順になります。

詳細は第5章～第6章の各一覧画面の説明の「ソート順」をご確認ください。

また、エクスポートデータのレコードの並び順は別途規定されており、一覧画面のソート順と一致する場合とそうでない場合があります。

詳細は別紙「ファイルフォーマット」または「項目 ID ファイルフォーマット」をご覧ください。

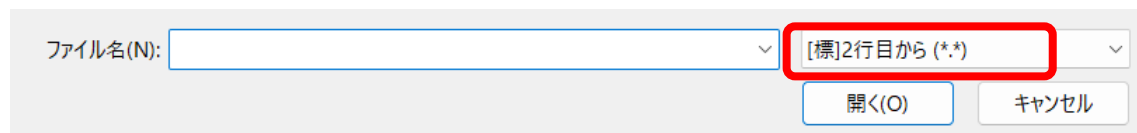
〔6〕インポート

在庫スイートクラウドでは、基幹システムなどから台帳データなどを取り込んで使用することが出来ます。

〔インポート〕 ボタンを押下するとファイル選択ダイアログが表示されますので、インポートしたい「ファイル」を指定し「ファイルの種類」を選択してください。

1 行目が項目行かどうか、ファイル名右の「ファイルの種類」での選択となります。

〔開く〕 ボタンを押下することで、インポートが実行されます。



ファイル名(N): [標]2行目から (*.*)

開く(O) キャンセル

インポート可能なファイルフォーマットについては「1 - 5 インポート／エクスポートファイル一覧」をご覧ください。

インポートの最大件数については「3 - 5 〔2〕インポートファイルの最大件数」をご覧ください。

ヒント！

インポート完了後は再度絞込条件に基づき表示が更新されます。インポートデータが表示される条件で実施することをお勧めします。

注意！

インポート中にエラーが発生した場合は、画面に説明が表示され、エラー発生箇所以前の部分も含めてインポートファイル全体がキャンセルされます。なお、「発注点割れ」などの警告箇所が存在した場合は、正常な場合と同様にインポートされます。

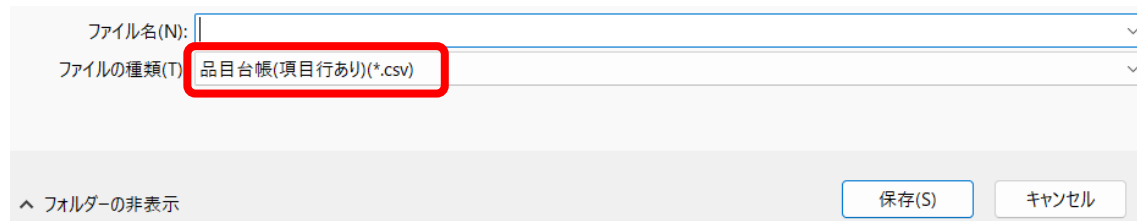
〔7〕エクスポート

エクスポート機能を使って、データをファイルに書き出すことができます。ファイルは CSV 形式ですので、表計算ソフトなどで読み込んで再利用することもできます。

〔エクスポート〕 ボタンを押下するとファイル選択ダイアログが表示されますので、エクスポートしたい「ファイル」を指定し「ファイルの種類」を選択してください。

1 行目が項目行かどうか、ファイル名下の「ファイルの種類」での選択となります。

〔保存〕 ボタンを押下すると、絞込条件でデータが生成され、出力されます。



ファイル名(N):

ファイルの種類(T) **品目台帳(項目行あり)(*.csv)**

へ フォルダーの非表示

保存(S) キャンセル

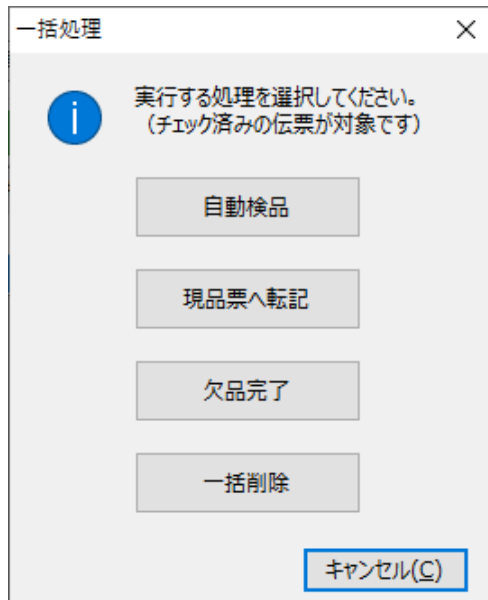
エクスポート可能なファイルフォーマットについては「1 - 5 インポート／エクスポートファイル一覧」をご覧ください。

エクスポートの最大件数については「3 - 5 〔3〕エクスポートと帳票の最大件数」をご覧ください。

[8] 一括処理

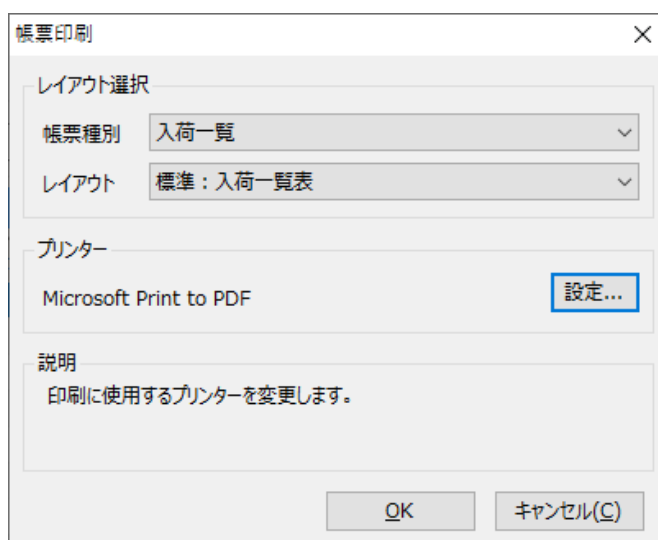
一括処理ボタンをクリックすると一括処理画面が表示され、各画面で用意された一括処理を実施出来ます。

なお、一覧画面でチェックされた伝票が対象となります。



[9] 印刷

印刷ボタンをクリックすると「帳票種別」や「レイアウト」が選択でき、対応した帳票を印刷できます。プリンターの「設定」ボタンをクリックすると、印刷に使用するプリンターを選択できます。



ヒント！

プリンターは初期状態では PC の「通常使うプリンター」を表示します。

変更すると本アプリケーション実行中のみ記憶されます。

但し、ラベルプリンター用帳票（帳票種別名に "ラベルプリンター" と付くもの）の場合は各 PC でレイアウトごとにプリンターを記憶し、再起動後も保持されます。

カスタム帳票の場合は、レイアウト名に "ラベルプリンター" または "指定プリンター" の文字を含むものをラベルプリンター用帳票として扱います。

[1 0] 入力補助画面

伝票入力同様、一覧の条件指定では、仕入先コードや Key コード入力などの台帳に登録された項目を入力する際に入力補助画面が利用できます。

詳しくは「3 - 2 [1 2] F4 キーによる入力補助画面呼び出し」をご覧ください。

3-4 台帳の基本操作

在庫スイートクラウドにはユーザー台帳・出荷先台帳・仕入先台帳・直送先台帳・品目台帳・ゾーン台帳・ロケーション台帳などの台帳があります。ここでは台帳画面の基本操作を、ガイドメニューによる出荷先台帳の操作に基づいて説明します。

※台帳の登録・修正・削除はユーザー権限が必要です。詳しくは「4-2-1 ユーザー台帳と権限」をご覧ください。

[1] 台帳の呼び出し方

台帳の呼び出し方には、メニューバーから呼び出す方法とガイドメニューから呼び出す方法とがあります。台帳の呼び出しを行うと、はじめに台帳一覧画面が表示されます。

バーコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	カナ	分類	推奨ロケーション	入数	単位	単価	標準原単価	発注点
009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	シリンダーブロックFJ4-1	01:自動車部品			個			
009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	シリンダーライナーFJ4-1	01:自動車部品			個			
009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	エンジンバルブH50	01:自動車部品			個			
009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	シリンダーヘッドFJ4-1	01:自動車部品			個			
009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	バルブスプリングH10	01:自動車部品			個			

1 ページあたりの表示件数は、画面サイズに合わせてスクロールしないよう自動調整されます。

① には一覧表示対象の全件数と 1 ページあたりの表示件数を表示します。

② には全ページ中の何ページ目かを表示します。

【←前】・【→次】 ボタンでそれぞれ前ページや次ページを表示します。

【先頭】・【最後】 ボタンでそれぞれ先頭ページや最後のページを表示します。

注意！

台帳一覧画面は、項目名をクリックしても並べ替えを行いません。

〔2〕台帳一覧画面の機能について

台帳一覧画面の機能について説明します。

〔絞込検索〕

検索条件画面を表示します。条件を指定して表示したい時に使用します。

〔更新〕

同一の絞り込み条件で再表示を行います。

なお、登録や削除、インポートを行ったあとには自動的に表示が更新されます。

〔新規〕

台帳の新規モードを表示します。

〔コピー〕

一覧画面で品目を選択し〔コピー〕ボタンをクリックすると、選択した品目情報が転記された状態で新規モードが表示されます。

第3章 基本操作の確認

[参照]

台帳一覧画面では、明細行に登録情報が表示されます。マウスで明細行をクリックすると、反転表示され、その明細行が指定されたことを表します。指定した明細行をダブルクリックするか、[参照] ボタンをクリックすることでその明細行の台帳画面を開いて参照することができます。

[インポート]

基幹システム等から台帳データをインポートすることで登録することもできます。

一覧画面で [インポート] ボタンをクリックすると、CSV ファイルから一括登録を行います。但し、データに不備がある場合はエラーを表示し、ファイルのインポートを全てキャンセルします。インポートファイルのフォーマットは「別紙 ファイルフォーマット」をご覧ください。

[エクスポート]

台帳一覧画面上では表示中のデータを書き出すことができます。

一覧画面で [エクスポート] ボタンをクリックすると、表示内容を CSV ファイルへ出力します。

エクスポートファイルのフォーマットは「別紙 ファイルフォーマット」をご覧ください。

[印刷]

台帳一覧画面には [印刷] ボタンが用意されています。

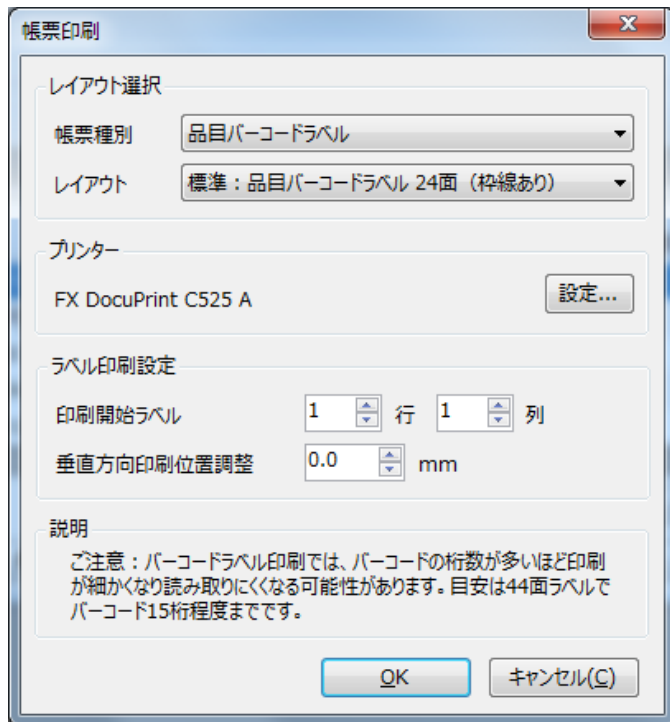
[印刷] ボタンを押下すると各台帳に対応した帳票やラベルが印刷できます。

[閉じる]

台帳の一覧画面を閉じます。

[3] 台帳一覧画面のラベル印刷と標準ラベル仕様

いくつかの台帳一覧画面にはラベル印刷機能があります。
印刷範囲は、その時に一覧に表示されている範囲となります。



標準ラベル仕様は、以下の2タイプとなります。

- 44 面：レーザーラベル A4 11 行 4 列 1 片：48.3×25.4mm
 - 24 面：レーザーラベル A4 8 行 3 列 1 片：70.0×33.9mm
 - 4 面：レーザーラベル A4 2 行 2 列 1 片：105×148.5mm (*1)
- (*1) ロケーションロングレンジ用ラベルのみ対応

詳しくはお問合せください。

また、ラベル印刷では印刷開始ラベルの位置や垂直方向の印刷位置の微調整ができます。

ラベル位置は一番左上を1行目の1列目として指定します。

垂直方向位置調整は0.1mm単位で指定し、値は次の印刷のために保存されます。

注意！

ラベル印刷ではバーコードがラベル幅に収まるようにサイズを自動調整して印刷します。このため、バーコードの桁数が多いほど印刷が細くなり、スキャナーで読み取れなくなる可能性があります。プリンターの印字品質や読み取り機器の性能によるため一概には言えませんが、44面ラベルではバーコード15桁程度までを目安としてください。

[4] 台帳一覧画面の F4 キーによる入力補助画面呼び出し

伝票一覧同様、台帳一覧の条件指定では、出荷先や Key コード入力などの台帳に登録された項目を入力する際に入力補助画面が利用できます。

詳しくは「3 - 2 [12] F4 キーによる入力補助画面呼び出し」をご覧ください。

[5] 台帳画面について

台帳の呼び出しを行うと、はじめに台帳一覧画面が表示されます。

台帳一覧画面の「新規」ボタンをクリックすると、台帳画面が新規モードで呼び出されます。

第3章 基本操作の確認

[登録]

入力したデータを登録します。登録後台帳画面は自動的に閉じます。

コード項目については、入力した値の先頭及び末尾のスペースは登録時に削除されます。

(品目コードについては、末尾のスペースのみ削除されます。)

[コピー]

参照モード中のみ有効です。

「コピー」ボタンをクリックすると、参照中の品目情報を転記した状態で新規モードに変わります。

[削除]

参照データの削除を行うことができます。

詳しくは「3 - 4 [7] 台帳の削除と削除データを含む伝票」をご覧ください。

[閉じる]

新規モードで登録前に「閉じる」ボタンをクリックした場合は、登録の有無を確認します。

修正モードで修正内容を反映させたくない場合は登録せずに、「閉じる」ボタンをクリックします。

[6] 台帳の参照・修正

参照モードでは〔コピー〕と〔削除〕ボタンが有効です。

参照モードで何か変更を行うと自動的に修正モードになります。但し、既存のデータに影響を及ぼすような修正は不可能です。(コードの変更など)

修正内容を反映させる場合は〔登録〕ボタンをクリックしてください。登録せずに終了したい場合は〔閉じる〕をクリックしてください。

在 出荷先台帳 - 参照

登録内容

出荷先コード C1001

名称1 和幸商事株式会社

名称2

名称カナ ワコウショウジ

略称 和幸商事

出荷先担当者 青木

敬称 殿

郵便番号 589-0021

住所1 大阪府大阪狭山市今熊1-1-1

住所2 第一ビル 1F

電話番号 06-3111-1111 FAX番号 06-3555-1112

説明
このウィンドウを閉じます。

登録(R) コピー(Q) 削除(D) 閉じる(C)

[7] 台帳の削除と削除データを含む伝票

台帳の削除は参照モードで行います。

台帳データが削除できない条件は以下の通りです。

- ・ システムで定義されているデータ
- ・ 関連する台帳で使用されている台帳
(例えば、1つ以上の品目が属している品目分類やゾーン・ロケーションが登録されている倉庫)
- ・ ログイン中のユーザー、倉庫
- ・ 在庫が存在する品目、倉庫、ロケーション
(在庫参照の品目別・詳細にその品目の行が表示される状態。現品数マイナスや予定残も含む)
- ・ 棚卸中の品目・ロケーション・ユーザー・倉庫
- ・ 定期処理設定のメール通知先に設定されているユーザー

台帳削除された品目やロケーションを含んだ伝票は、参照は可能ですが、修正や削除はできません。

台帳に再登録してから、修正・削除をしてください。

なお、「データ整理」は、台帳から削除された品目やロケーションを含んだ伝票でも一括で削除されます。

[8] 台帳の一括削除

各台帳には、一括削除機能があります。

以下の手順で一括削除を行います。

(1) 台帳一覧への削除可能なものの表示

台帳一覧の条件指定で「削除可能なものを表示する」にチェックを入れます。

必要に応じて、他の条件も合わせて指定し、[OK]をクリックします。

品目台帳 - 条件指定

検索条件

Keyコード: [] ~ []

品目コード: [] ~ []

品目名: []

カナ: [] ~ []

品目分類: <条件なし>

推奨ロケーション: [] ~ []

☒ 削除可能なものを表示する ☐ 画像を表示する

条件クリア(R) OK キャンセル(C)

(2) 一括削除の実行

条件に沿った内容が一覧表示され、左端にはチェックボックスも表示されます。

削除したい対象にチェックを入れ、[一括削除]をクリックします。

品目台帳一覧

検索

絞り込み検索(L) 更新(R) Keyコード: 0094~0094 / 削除可能なものを表示

品目台帳 - 検索結果 (7件)

	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	カナ	分類	推奨ロケーション	入数	単位	単価
☐	009431011A	SB001NS001	シリンダーブロック FJ4-1	FJ4-1	シリンダーブロックFJ4-1	01:部品		5	個	
☒	009432011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	シリンダーライナーFJ4-1	01:部品		100	個	
☒	009432102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	エンジンバルブH50	01:部品			個	
☒	009433011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	シリンダーヘッドFJ4-1	01:部品			個	
☒	009433102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10		01:部品		10	個	
☐	009434502A	BT001NS001	バルブタペット	H10		01:部品		50	セット	
☐	00943202A	CS101NS001	カムシャフト	FJ4-1		01:部品			本	

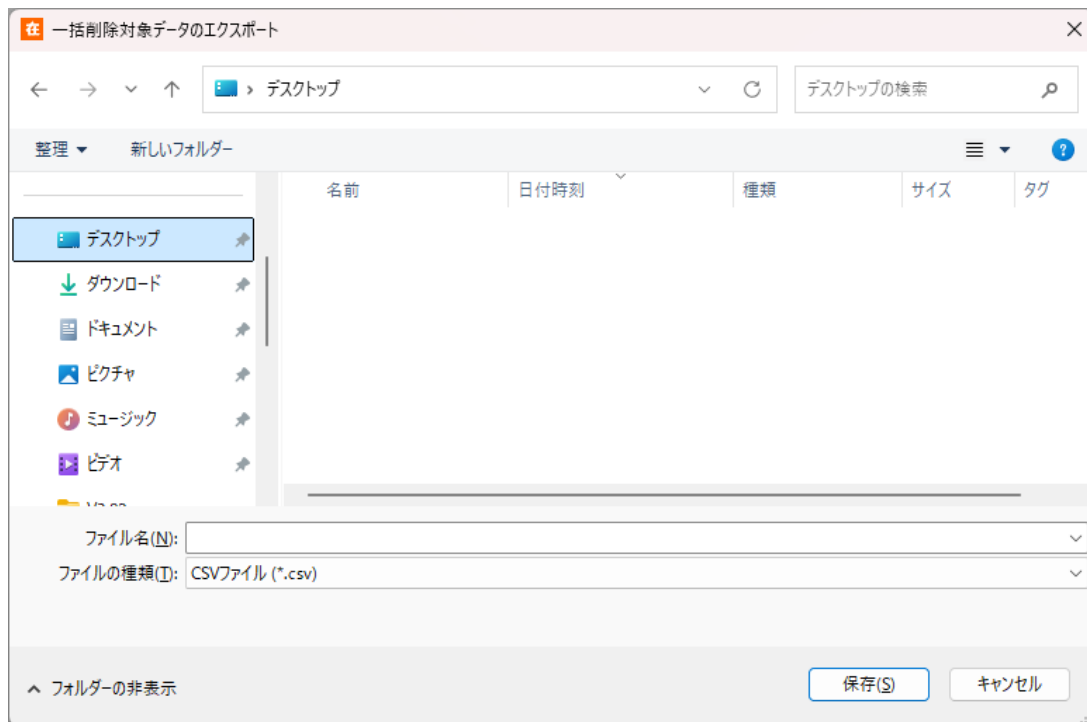
全7件: 1~7件

表示件数 自動 1/1ページ 先頭 ←前へ 次へ→ 最後

☒ 一括削除(D) 新規(N) コピー(Q) 参照(B) インポート(I) エクスポート(E) 印刷(P) 閉じる(C)

第3章 基本操作の確認

なお、一括削除を実行する前に一括削除対象データのエクスポートを行います。
誤って削除した場合は、エクスポートファイルをインポートし戻してください。



エクスポートファイルの内容は以下の通りです。
インポートする際はファイルの種類で「2 行目から」を指定してください。

<YYYY/MM/DD HH:MM:SS ○○台帳一括削除リスト>
選択された一括削除対象の CSV データ（通常のエクスポートと同じフォーマット）
:
:
:

3-5 件数が多い場合の操作

処理件数が多い場合の動作を説明します。

[1] 最大表示件数

「伝票一覧」「台帳一覧」「在庫参照」「履歴参照」では、表示件数に上限があります。各画面の表示最大件数は、ユーザー毎に設定することが可能です。PC のスペックや通信スピードに応じて適宜設定してください。

	初期値	最大値
伝票一覧	100 件	3,000 件
台帳一覧	10,000 件	1,000,000 件
在庫参照	300 件	3,000 件
履歴参照	300 件	3,000 件

ヒント！

最大表示件数を超えた場合は、メッセージを表示し可能な範囲で表示します。

ヒント！

「伝票一覧」「在庫参照」「履歴参照」では、クリックされた項目で並び替えが出来ますが、表示されたデータ内での並び替えとなります。

ヒント！

ファイルエクスポートと帳票印刷は、最大表示件数の制限に関係なく、指定された範囲を対象に処理されます。但し、対応可能な件数には上限があります。詳しくは、「3-5 [3] エクスポートと帳票の最大件数」をご覧ください。

〔2〕インポートファイルの最大件数

一度に取り込めるインポートファイルは最大 100,000 件（100,000 件レコード/明細）です。

※項目行がある場合、項目行（1 行目）を除いて最大 100,000 件となります。

それを超える場合は分割してインポートしてください。

タイムアウトが頻繁に発生する場合も分割してインポートしてください。

ヒント！

インポートファイルが最大件数を超えている場合は、エラーが発生しインポートは行われません。

〔3〕エクスポートと帳票の最大件数

一度に処理できるファイルのエクスポートや帳票出力は、表示最大件数には関係なく、最大 100,000 件（100,000 件レコード/明細）です。

それを超える場合は分割してエクスポートまたは帳票出力してください。

タイムアウトが頻繁に発生する場合も分割してエクスポートまたは帳票出力してください。

ヒント！

エクスポートまたは帳票出力が最大件数を超えている場合は、エラーが発生しエクスポートは行われません。

〔4〕一括処理の最大件数

一括処理画面で一度に処理できる最大件数は 3,000 伝票です。

（3 - 5 [1] 最大表示件数 の設定に従います。）

〔5〕セット品の最大構成数

1 つのセット品に対する構成品は最大 200 品目です。

〔6〕集計について

集計・分析機能と現品票発行画面、棚卸外部データ比較画面は、最大表示件数もエクスポートと帳票の最大件数もありません。

タイムアウトエラーが頻繁に発生する場合は、回線スピードや PC スペックの高い環境でお試しいただくか、条件を限定して実施ください。

3－6 同時インポートの制限

ファイルインポートの同時処理の制限について説明します。

[1] 同時インポートの制限

同一機能のインポートは同時にはできません。

例 1) 入荷予定インポート処理中には、他の人は入荷予定インポートができません。

例 2) 品目台帳インポート処理中には、他の人は品目台帳インポートができません。

ヒント！

同一機能のインポートで複数のフォーマットをもつものがあります。（出荷指示など）
フォーマットが違っていても、同一機能のインポートは同時にはできません。

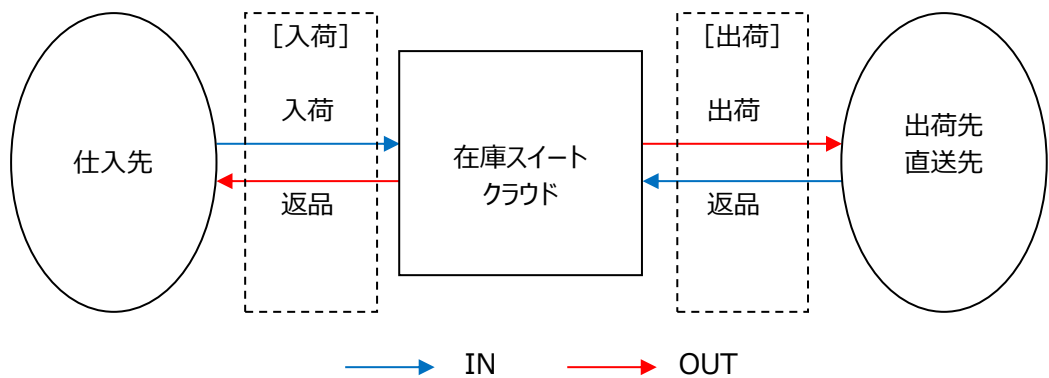
第4章 在庫管理の基本

本サービスにおける在庫管理の基本的な概念をご紹介します。

4－1 在庫スイートクラウドの管理項目

[1] 日常の運用と在庫の増減

IN の（モノが入って来る）登録を行うと在庫が増え、OUT の（モノが出ていく）登録を行うと在庫が減ります。



	日常の運用（伝票登録）
IN	入荷実績（伝票区分：入荷、倉庫間入荷） 入荷検品（伝票区分：入荷） 出荷実績（伝票区分：出荷返品）
OUT	入荷実績（伝票区分：入荷返品） 出荷実績（伝票区分：出荷、倉庫間出荷） 出荷検品（伝票区分：出荷、倉庫間出荷）
IN/OUT	振替（破棄は OUT だけ）

[2] 在庫の増減は在庫管理項目ごと

在庫スイートクラウドは以下の在庫管理項目を持っています。

- ・モノに関する管理項目として「品目（＝Keyコード）」「ロット1」「ロット2」「在庫状態」
- ・保管場所に関する管理項目として「倉庫」「ロケーション」

この6項目を複合キーとして「数量」の増減を行います。

ヒント！

モノの動きを登録する伝票登録では、常に6項目の在庫管理項目を指定しています。

「倉庫」はログイン倉庫が自動的にセットされています。

「在庫状態」はシステム設定により、出荷などの一部メニューは「通常品」が自動セットされます。

その他、転記等で入力が必要になっている場合も指定していることに変わりはありません。

[3] モノに関する管理項目

品目

モノに関する管理項目の基本情報は「品目」に関する情報です。

本サービスでは、品目を特定するキー項目は「Key コード」です。品目台帳には社内品番を「Key コード」に設定し、入出荷登録でも「Key コード」を入力し運用します。

「Key コード」より品目が決まり、「品目コード」や「品目名」「単位」などが呼び出されます。

J A N や I T F などの品目を特定するバーコード（品目バーコード）を読み取って運用する際、社内品番と品目バーコードの内容が異なる場合は、品目台帳では社内品番を「Key コード」にセットし、品目バーコードの内容を「品目コード」または専用検索項目にセットし運用します。

また、システム設定でそうした運用であることを示します。

＜運用方法の違いによるシステム設定と品目台帳登録＞

運用方法		品目台帳への データセット	システム設定 品目バーコード読み取り検索項目
品目バーコード を使わない	—	社内品番を「Key コード」にセット	「Key コード」 * 1
品目バーコード を使う	社内品番 = 品目バーコード		
	社内品番 ≠ 品目バーコード	社内品番を「Key コード」に、品目バーコードを「品目コード」にセット	「品目コード」 * 2
		社内品番を「Key コード」に、品目バーコードを専用検索項目にセット	「Key コード」 * 1、* 3

* 1・・・システム設定のシステム運用タブの使用項目で「品目コード」= O N の場合のみ、本設定が必要です。

* 2・・・システム設定のシステム運用タブの使用項目で「品目コード」= O N となっていることが前提です。

* 3・・・マルチデバイスオプションのみ。

ヒント！

PC + バーコードスキャナーによる入力については「3 - 2 [17] バーコードスキャナーによる品目入力」をご覧ください。

ヒント！

品目台帳への品目バーコードの設定については「4 - 2 2 品目を特定するバーコードとその設定」をご覧ください。

第4章 在庫管理の基本

■ 社内品番（Key コード）を入力する運用での品目台帳の設定

＜基幹システムの商品マスター＞

【品目バーコードを使わない場合】

社内品番(key)	品目名
C0123	〇〇〇
C0124	△△△
C0125	□□□
C0126	◎◎◎



＜在庫スイートクラウドの品目台帳＞

Key コード(key)	品目コード	品目名
C0123	任意	〇〇〇
C0124	任意	△△△
C0125	任意	□□□
C0126	任意	◎◎◎

【社内品番 = 品目バーコードの場合】

社内品番(key)	品目名
4912345000019	〇〇〇
4912345000026	△△△
4912345000033	□□□
4912345000040	◎◎◎



Key コード(key)	品目コード	品目名
4912345000019	任意	〇〇〇
4912345000026	任意	△△△
4912345000033	任意	□□□
4912345000040	任意	◎◎◎

＜システム設定＞

システム運用タブの使用項目で「品目コード」がONの場合は、
入力タブの品目バーコード読み取り検索項目を「Key コード」に設定します。

第4章 在庫管理の基本

■ 社内品番（Key コード）と品目バーコードが異なる運用での品目台帳の設定

<基幹システムの商品マスター>

<在庫スイートクラウドの品目台帳>

【社内品番と品目バーコードが異なる場合】

社内品番(key)	JAN	品目名
C0123	4912345000019	〇〇〇
C0124	4912345000026	△△△
C0125	4912345000033	□□□
C0126	4912345000040	◎◎◎



Key コード(key)	品目コード／専用 検索項目	品目名
C0123	4912345000019	〇〇〇
C0124	4912345000026	△△△
C0125	4912345000033	□□□
C0126	4912345000040	◎◎◎

<システム設定>

システム運用タブの使用項目で「品目コード」がONとし、
入力タブの品目バーコード読み取り検索項目を「品目コード」に設定します。

<社内品番（Key コード）と品目バーコードが異なる運用における設定項目による違い>

	品目コード	専用検索項目
扱えるバーコード種	制限なし *1	UPC/JAN *2 GS1-128/GS1-Dababar *3
扱えるバーコードの数	1	最大 3 (新・旧に対応可)
表示	常に表示	マルチデバイスオプションでは読んだ直後は表示。 それ以外は表示なし

*1・・・アプリケーションでの制限はありませんが、使用するバーコードリーダーに制限がある場合があります。

*2・・・GTIN-12,GTIN-13 を扱うバーコード種

*3・・・GTIN-14 を扱うバーコード種

ヒント！

UPC/JAN などの流通用バーコードは、メーカー判断により途中で切り替わることがあります。
そのため、新・旧いずれも扱える専用検索項目をお勧めします。

第4章 在庫管理の基本

ロット1、ロット2

製造ロットや賞味期限など、同一品目内で別管理したい項目を入力します。「ロット1」

「ロット2」には台帳は存在しませんので、自由に入力できます。なお、「ロット1」「ロット2」の項目名称はシステム設定にて変更することが可能です。

日付形式の場合、データ形式や用途も設定できます。

在庫状態

同一品目内で別管理したい在庫状態情報を入力します。「在庫スイートクラウド」には在庫状態として、[通常品] [不良品] [修理中] [確保] があります。

通常の入荷時（入荷実績伝票（伝票区分＝入荷））では、在庫状態は[通常品]として扱われます。システム設定でいずれかの在庫状態に固定することも、伝票画面上で指定することもできます。

通常の出荷時（出荷指示伝票（伝票区分＝出荷）、出荷引当伝票（伝票区分＝出荷）、出荷検品伝票（伝票区分＝出荷）、出荷実績伝票（伝票区分＝出荷））では、在庫状態は[通常品]として扱われます。システム設定により、伝票画面上で指定することができます。

<各登録での在庫状態の扱い>

対象の登録	在庫状態の 明細入力	登録内容
通常の入荷 ※入荷実績伝票（伝票区分＝入荷） ※入荷検品伝票	システム設定で あり／なし	入力なしの場合、 システム設定で指定された 在庫状態
		入力ありの場合、 入力された在庫状態
通常の出荷 ※出荷実績伝票（伝票区分＝出荷） ※出荷指示伝票（伝票区分＝出荷） 出荷引当伝票（伝票区分＝出荷） 出荷検品伝票（伝票区分＝出荷）	システム設定で あり／なし	入力なしの場合、 [通常品] のみ
		入力ありの場合、 入力された在庫状態
その他	あり	入力された在庫状態

ヒント！

通常の入出荷で[通常品]以外の在庫を扱う場合は、在庫状態の明細入力＝ありで運用します。

ヒント！

[通常品]以外の在庫状態は、システム設定で3つから最大9つまで追加が可能です。
また、名称の変更も可能です。
具体的な設定方法は「7-1 [2] システム運用」「7-1 [3] 項目名」をご覧ください。

[4] 保管場所に関する管理項目

倉庫

「在庫スイートクラウド」は複数の倉庫に対応します。

ログイン倉庫を指定して運用しますので、必ず1つ以上の倉庫を倉庫台帳へ登録する必要があります。

倉庫の数に上限はありません。

ロケーション

ロケーションとは、倉庫内の保管場所を示す情報です。

ロケーションも含めて運用する場合、予めロケーション台帳に各ロケーションを登録する必要があります。

なお、ロケーション台帳は倉庫ごとに設定する台帳です。

任意台帳ですので、各倉庫で必要な場合に設定してください。

ヒント！

「ゾーン」は複数のロケーションをグループ化する際に用います。

ゾーンを活用した一部棚卸や特定エリアの在庫参照、一括引当対象外ゾーンの設定が可能です。

なお、ゾーン台帳は倉庫ごとに設定する台帳です。

任意台帳ですので、各倉庫で必要な場合に設定してください。

<運用イメージ>

倉庫 A



2-A-1	2-A-2	} 2F ゾーン
1-A-1	1-A-2	

倉庫 B



ロケーションなし

[5] ロットやロケーションの「なし」について

「ロット1」「ロット2」「ロケーション」は必要な場合に入力する任意項目です。
入力しない場合、実績伝票と予定・指示伝票では異なります。

各実績伝票

「ロット1」「ロット2」「ロケーション」を空で登録すると、在庫管理項目として「なし」という情報がセットされます。「なし」も1つのロットやロケーションとして扱われます。

ヒント！

各実績伝票とは以下の伝票です。

- ・入荷実績伝票、入荷検品伝票
- ・出荷実績伝票、出荷引当伝票、出荷検品伝票
- ・振替伝票、棚卸伝票

入荷予定伝票／出荷指示伝票

「ロット1」「ロット2」「ロケーション」を入力すると、それらを指定した予定・指示となります。
指定する必要がない場合は、ロットやロケーションは空で登録します。

ヒント！

各実績伝票でのロットやロケーションの「なし」は、「なし」というロットやロケーションとして扱われます。

入荷予定や出荷指示のロットやロケーションの「なし」は「指定なし」の意味であり、どのようなロットやロケーションでもエラーにはなりません。

4-2 自社に合わせたシステム設定

自社に合った運用を行うため、初めにシステム設定を行います。

タブ名	主な設定内容
自社情報	グループ名と自社情報を設定します。 グループ名はタイトルバーに表示されます。 自社情報は現状、帳票印刷に利用しています。
システム運用	数量の小数点の扱いや表示する項目、メニュー表示や入荷や出荷、棚卸での動作について設定します。
項目名	項目名を変更したい場合に利用します。
表示	棚卸差異を履歴エラーとして赤く表示するかを設定します。
入力	推奨ロケーションや日付入力補助を設定します。
帳票	入荷実績明細書、出荷実績明細書の内容を設定します。
モバイル	※モバイルオプションまたはマルチデバイスオプション加入時のみ表示 モバイルオプション及びマルチデバイスオプション用アプリケーション向けの設定を行います。
モバイル(拡張)	※マルチデバイスオプション加入時のみ表示 品目バーコード読み取り時の検索項目の自動切替を設定します。
権限	仕入先担当者について設定します。

特に重要なのはシステム運用と項目名の設定です。

表示（利用）する機能や項目はどれなのか、また各項目は自社のどのデータに対応するのかを設定することで、適切に運用いただくことが出来ます。

<システム設定例>

- ・自社の基幹システムでは品名欄は1つなので、品目名2を非表示にする。
- ・アイテムに関するコード系情報は【Keyコード】だけなので【品目コード】を非表示にする。
- ・ロット1に設定している使用期限を元に先入れ先出しを行うため【ロット1を引当条件に含める】をONにする。
- ・棚卸は（モバイル機器を用いず）紙で行うので、予め論理現品数を棚卸初期値としてセットしておき、差異のあったものだけ修正する。

4-3 スマートフォンやハンディターミナルごとの設定

「マルチデバイスオプション」に加入すると各種スマートフォンやハンディターミナルが利用できます。バーコードの読み取り方法や、テンキーやファンクションキーの有無など、デバイスごとに機能が異なります。各デバイスに適した動作となるための設定について説明します。

〔1〕2つのバーコード取込方式とバーコード種による違い

バーコードの読み方は複数ありますが、読み取り方により情報の取り込み方が決まります。大きく「直接取込」と「キー取込」に分かれ、直接取込では JAN や CODE-128、QR コードといったバーコード種の情報も取り込まれます。

	直接取込	キー取込
読み取り方法	・カメラ読み取り  ・BHT-1700/1800 での読み取り 	・HID スキャナーでの読み取り  ・BHT-1700/1800 以外のハンディターミナルでの読み取り 
バーコード種	あり	なし

第4章 在庫管理の基本

バーコード取込方式の違いで意識すべき点は3点です。

(1)読み取るバーコード種の設定

●直接取込（カメラ読取）

- ・マルチデバイスオプションの M アプリでは、バーコード種毎に読み取り ON/OFF を設定できます。
（その他のアプリは全バーコード種で読み取り ON）

●キー取込

- ・デバイスが提供する読み取り設定に依存します。

(2)読取データのチェックや加工

●直接取込

- ・「CODE39」はバーコード内にチェックデジットが含まれているかどうか、含まれている場合にチェックデジットを出力するかどうかはユーザーに委ねられます。
- ・UPC-A は 12 桁ですが、先頭に 0 を付加し 13 桁にしたいという要望があります。
- ・「NW7」はスタートストップキャラクタの出力の有無を設定したいという要望があります。

直接取込では、これらをマルチデバイスオプションのアプリで行うため関連設定を提供しています。

（NW7 の設定は M アプリのみ、その他のアプリはスタートストップキャラクタの出力あり）

●キー取込

- ・デバイスが提供する読み取り設定に依存します。

(3)専用検索項目の検索

専用検索項目は、流通用バーコード（JAN や ITF、GS1-128 や GS1-Databar など）の場合に検索される項目です。

●直接取込

- ・バーコード種が認識できるため、流通用バーコードの場合は専用検索項目が検索されます。

●キー取込

- ・バーコード種に関する情報がないため、専用検索項目は検索されません。
但し、流通用バーコードはデータ形式が決まっており、データでバーコード種が判定（類推）できます。
キー取込でのバーコード種の判定を有効にすることで、流通用バーコードを読むと専用検索項目が検索されます。

ヒント！

上記関連設定は、システム設定のモバイル(拡張)タブに用意しています。詳細は、「7-1 [8] モバイル（拡張）（オプション）」をご覧ください。

[2] デバイスのモデル名称による個別設定

ハンディターミナルは（スマートフォンにはない）専用の読み取りモジュールを持ちます。

また、ハンディターミナルの中にはスマートフォンと同じくキーを持たないものもあれば、テンキーやファンクションキーを持つものもあります。

異なるデバイス毎に適した画面・動作となるよう3つの設定を用意しています。

①読み取り用「カメラアイコン表示」の ON/OFF

ハンディターミナルでは OFF をお勧めします。



②「数量入力ソフトウェアキー自動起動」の ON/OFF

テンキーを持つ場合は OFF をお勧めします。



左：テンキーありのデバイス
右：テンキーなしのデバイス

③「フッターメニュー背景色」の設定

フッターメニューは F1～F4 に割り当てられています。

F1～F4 に色が付いている場合は、キーに合わせた背景色の指定をお勧めします。



ヒント！

デバイス毎に指定するには「モデルの名称」を入力します。

モデルの名称は、マルチデバイスオプション Android アプリの設定・確認＞デバイス情報で確認できます。

4-4 モノの動きとデータ登録

在庫スイートクラウドで行う日常作業には、大まかに分けて「入荷」「出荷」「振替」という3つの業務があります。

- ・ 入荷 : 商品を仕入先から入荷します。
- ・ 出荷 : 在庫品を出荷先へ出荷します。
- ・ 振替 : 在庫品に対する内部的な処理を行います。

[1] 入荷

入荷には伝票区分として「入荷」「入荷返品」「倉庫間入荷」があります。

「入荷」処理では予めシステムで設定された在庫状態として処理することも、在庫状態を表示させ明細毎に入力することも可能です。

検品の場合には、事前に入荷予定伝票を登録後、それに沿っているかチェックしながら入荷作業を行います。

なお、「入荷返品」「倉庫間入荷」には検品はありません。

[2] 出荷

出荷には伝票区分として「出荷」「出荷返品」「倉庫間出荷」があります。

「出荷」「倉庫間出荷」には実績をダイレクトに登録する方法と、検品を伴った登録方法があります。検品の場合には、事前に出荷指示伝票を登録後、それに沿っているかチェックしながら出荷作業を行います。

なお、「出荷返品」には検品はありません。

[3] 振替

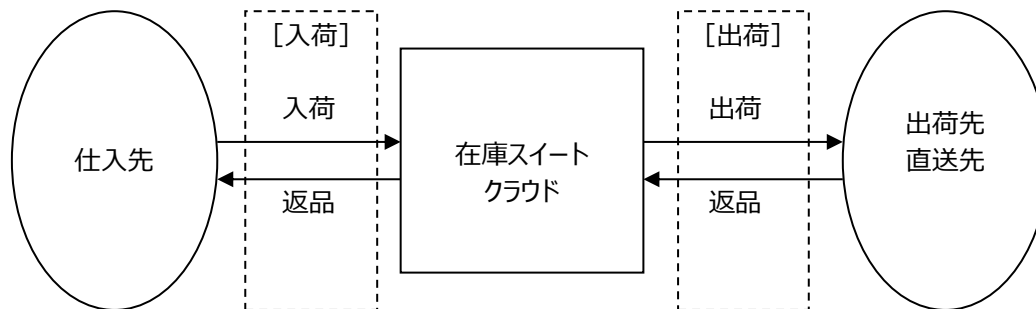
振替には伝票区分として「移動」「在庫状態変更」「破棄」「在庫調整」「ロット 1 変更」「ロット 2 変更」「汎用変更」があります。

振替には、出荷にあるような「検品を伴う作業」はありません。

[4] 入荷返品／出荷返品

「入荷返品」は、一旦入荷した商品を仕入先へ送り返し在庫を減算します。

「出荷返品」は、一旦出荷した商品を、出荷先・直送先から受け入れ在庫を加算します。



[5] 返品と在庫状態

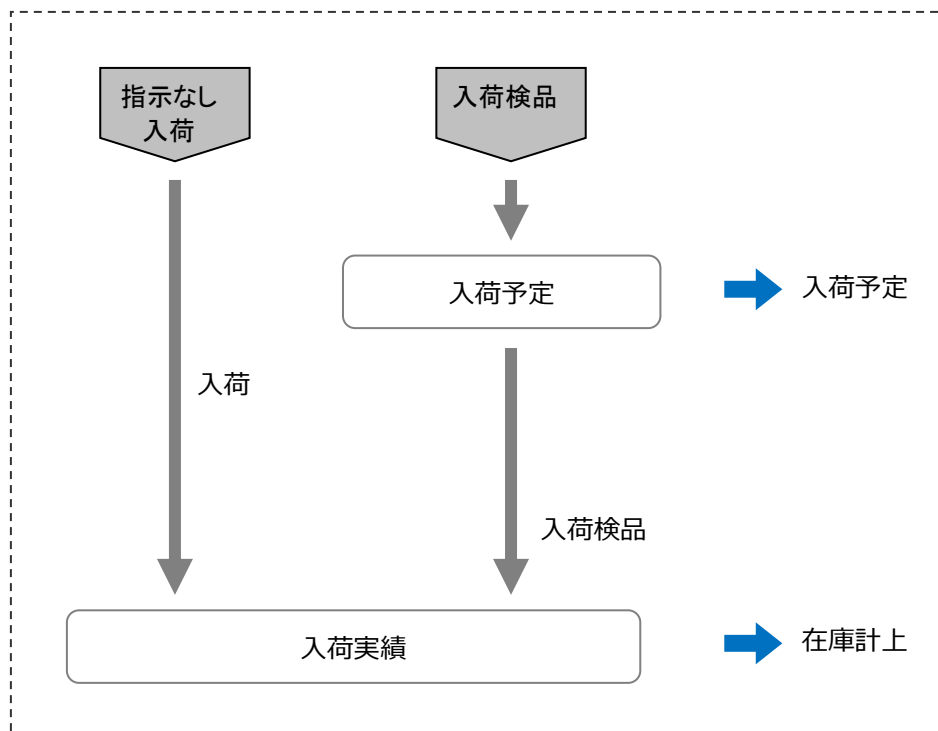
入荷返品・出荷返品ともに、全ての在庫状態に対して処理する事が可能です。登録する場合は明細毎に在庫状態を指定します。

4-5 入荷検品

本サービスには2通りの入荷がありますが、特に入荷検品について説明します。

[1] 作業の流れと作成データ

具体的な作業の流れと作成されるデータを説明します。



入荷予定伝票

入力方法は、画面からの入力とファイルインポートの2つの方法があります。

入荷予定伝票を登録すると、在庫参照の「入荷予定数」に反映されます。

入荷検品伝票

実際の入荷作業の内容が登録されます。

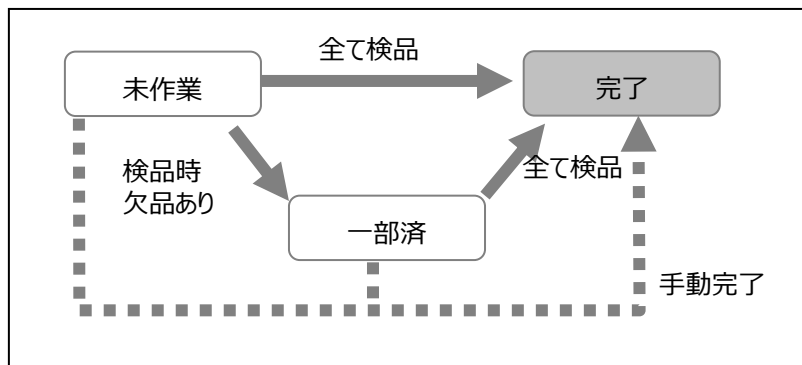
入荷予定数がクリアされ、在庫参照の「現品数」から入荷数が計上されます。

1つの入荷予定に対して、2つ以上に分けて入荷検品伝票を登録することも可能です。

〔2〕入荷予定の作業状態

入荷予定の作業状態には、以下の3つの状態があります。

- 『未作業』：実績（検品）が登録されていない状態です。
- 『一部済』：実績が登録された状態です。入荷予定に対して欠品のある実績ができれば自動的に「未作業」→「一部済」に変更されます。
- 『完了』：その入荷予定の作業をそれ以上行わない状態です。実績と予定に差異がない場合、自動的に「完了」となります。
また、完了操作を手動で行った場合も「完了」となります。



入荷予定伝票で完了操作を手動で行う場合、未処理の明細が残っていても、入荷予定数はカウントされず、残はクリアされます。

なお、一旦完了した状態を取り消すことは可能です。その際に未処理の明細が残っていれば、入荷予定数がカウントされます。

4-6 出荷検品の仮引当と本引当

出荷（倉庫間出荷含む）には、直接出荷実績を登録する「出荷実績」の他に、予め出荷指示を登録し、照合しながら出荷を行う「出荷検品」があります。

出荷検品にも「仮引当」と「本引当」2つの方法があり、自社に合った方式を選択することが出来ます。

[1] 仮引当とは

出荷検品の仮引当は、「出荷指示」→「出荷検品」の2段階の処理となります。出荷指示と照合しながら出荷内容を登録しますが、指示に従った在庫が複数ある場合、どれを出荷するかは作業者が判断します。

メリットは、柔軟な出荷判断が出来ること。一番古いロットの在庫が取り出しにくい場所にあるので別ロットの在庫を出荷する、といった現場対応が出来ます。

原料出庫の様に、出荷する数量が指示の数量と一致しない場合にも対応します。

また、PC在庫の精度が少し悪くても何とか出荷は出来ます。

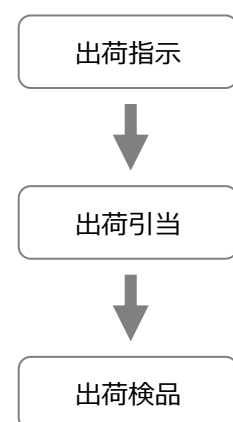


[2] 本引当とは

出荷の本引当は、「出荷指示」→「出荷引当」→「出荷検品」という流れとなり、間に「引当」という段階が入ります。引当とは、出荷指示に対し在庫を確保すること。手動で引き当てることも出来ますが、多くはシステムが出荷指示と在庫データより、先入れ先出しに基づき自動的に引き当てを行う「一括引当」機能で作成します。

メリットは、出荷の標準化・自動化が進むこと。作業の前に、出荷引当＝作業計画が作られていますので、作業者は何ら判断する必要がなく、指示に沿って出荷するだけとなります。また、一筆書きの導線になるよう指示しますので、効率的な作業が目指せます。

出荷引当の通りに作業する運用ですので、PC在庫精度が高いことが前提の方式です。



[3] どちらを選択すべきか

出荷検品において、仮引当・本引当どちらを採用するかを判断するために、それぞれの特性をまとめました。これらを参考に、自社にあった方式を選択してください。

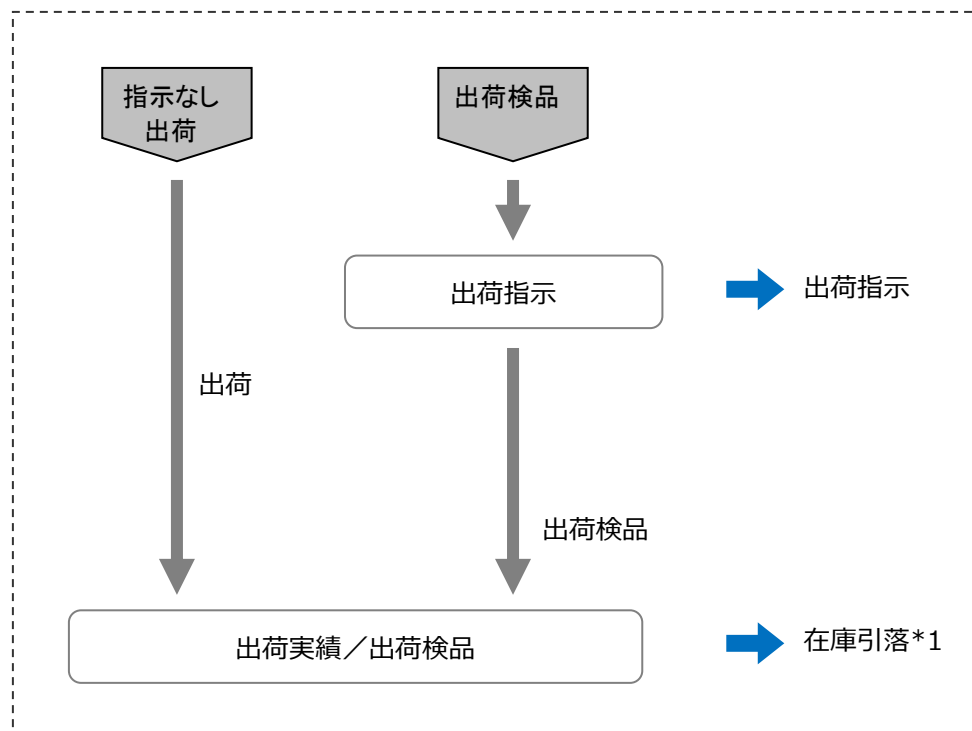
	出荷検品（仮引当）	出荷検品（本引当）
内容	指示に沿っていれば、どの在庫を出荷しても良い。	指示と在庫データより、出荷すべき在庫を決定してから出荷します。
在庫精度に関する注意	ズレが多少あっても、何とか出荷できる。	ズレがない（少ない）ことが前提
適した在庫や現場	・システムに沿った出荷をしようとする不都合が起こる在庫（取り出しにくい、探しにくい） ・指示数と出荷数で、異なることがある在庫（液体原料など） ・ロット別で管理する場合、出荷すべきロットは先入れ先出しでは決まらない。	・システムに沿った出荷が出来る在庫 ・指示数と出荷数は必ず一致する在庫 ・ロット別で管理する場合、出荷すべきロットは先入れ先出しで決まる。

4-7 出荷検品（仮引当）

出荷検品（仮引当）について説明します。

[1] 作業の流れと作成データ

具体的な作業の流れと作成されるデータを説明します。



出荷指示伝票

入力方法は、画面からの入力とファイルインポートの2つの方法があります。

出荷指示伝票を登録すると、在庫参照の「出荷指示数」に反映されます。

出荷検品伝票

実際の出荷作業の内容が登録されます。

出荷指示数がクリアされ、在庫参照の「現品数」から出荷数が引落されます。*1

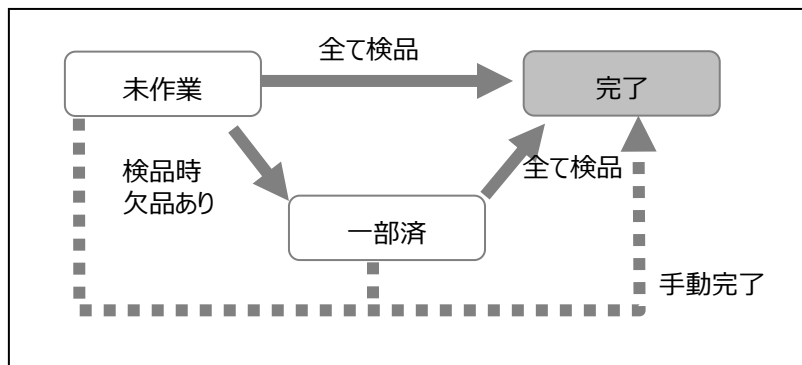
1つの出荷指示に対して、2つ以上に分けて出荷検品伝票を登録することも可能です。

*1 倉庫間出荷の場合は、積送中ロケーションへの移動となります。

[2] 出荷指示の作業状態

出荷指示の作業状態には、以下の3つの状態があります。

- 『未作業』：実績（検品）が登録されていない状態です。
- 『一部済』：実績が登録された状態です。出荷指示に対して欠品のある実績ができれば自動的に「未作業」→「一部済」に変更されます。
- 『完了』：その出荷指示の作業をそれ以上行わない状態です。
実績と指示に差異がない場合、自動的に「完了」となります。
また、完了操作を手動で行った場合も「完了」となります。



出荷指示伝票で完了操作を手動で行う場合、未処理の明細が残っていても、出荷指示数はカウントされず、残はクリアされます。

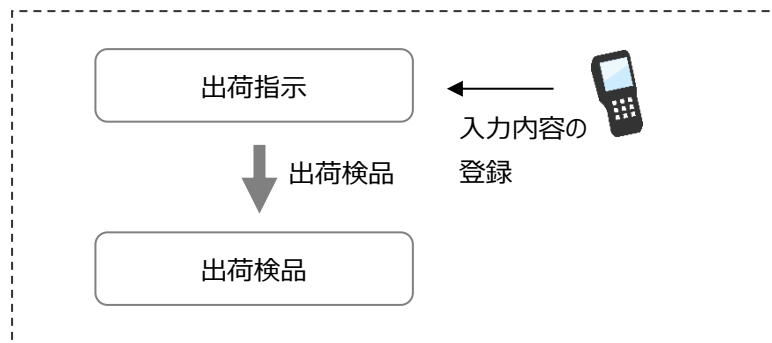
なお、一旦完了した状態を取り消すことは可能です。その際に未処理の明細が残っていれば、出荷指示数がカウントされます。

4-8 モバイル機器での検品（仮引当）

仮引当における、モバイルオプションまたはマルチデバイスオプションを使った検品について説明します。

[1] データの流れ

モバイルオプションまたはマルチデバイスオプションを使った出荷検品では、入力内容がリアルタイムに登録されます。



処理中は作業状態の変更はありません。

明細行単位で、出荷検品伝票が随時作成され、在庫が引落されます。

1つの出荷検品伝票として登録されるのは、1つの出荷指示に対し、同じ作業員・同じ日付の入力した内容です。

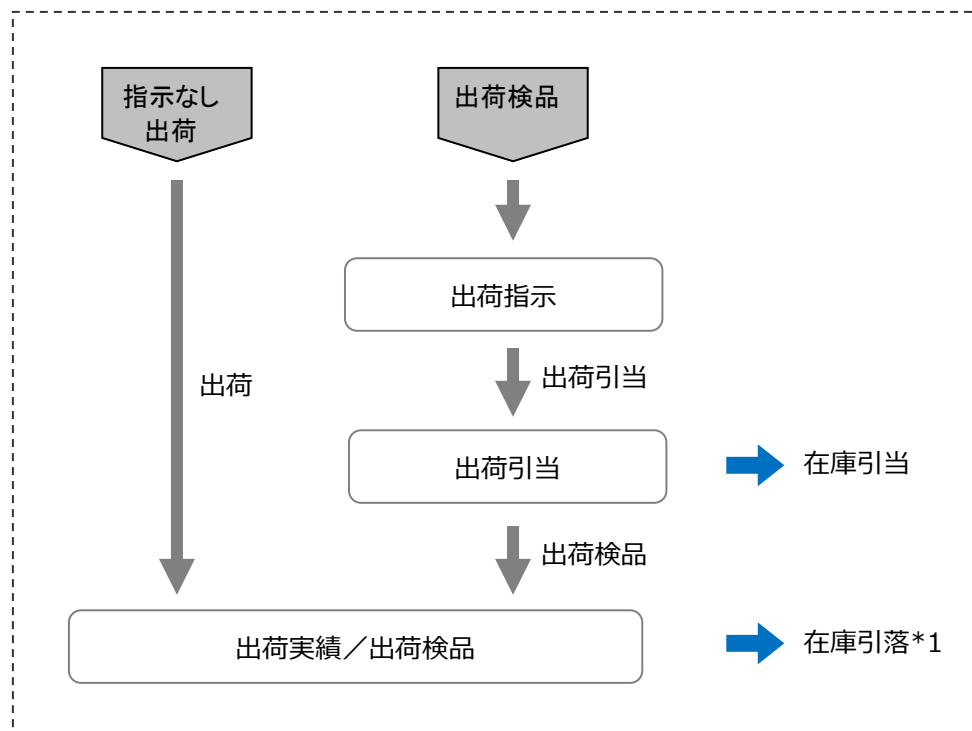
作業状態は「一部済」または「完了」となります。

4-9 出荷検品（本引当）

出荷検品（本引当）について説明します。

[1] 作業の流れと作成データ

具体的な作業の流れと作成されるデータを説明します。



出荷指示伝票

入力方法は、画面からの入力とファイルインポートの2つの方法があります。

出荷指示伝票を登録すると、在庫参照の「出荷指示数」に反映されます。

出荷引当伝票

出荷指示伝票から出荷引当伝票を登録すると、在庫が引き当てられ、在庫参照の「出荷引当数」に反映されます。1つの出荷指示に対して、2つ以上に分けて出荷引当伝票を登録することも可能です。

出荷検品伝票

出荷引当伝票の内容で実績を登録します。出荷検品伝票を登録すると、この出荷引当伝票の出荷引当数がクリアされ、在庫参照の「現品数」から出荷数が引き落とされます。*1

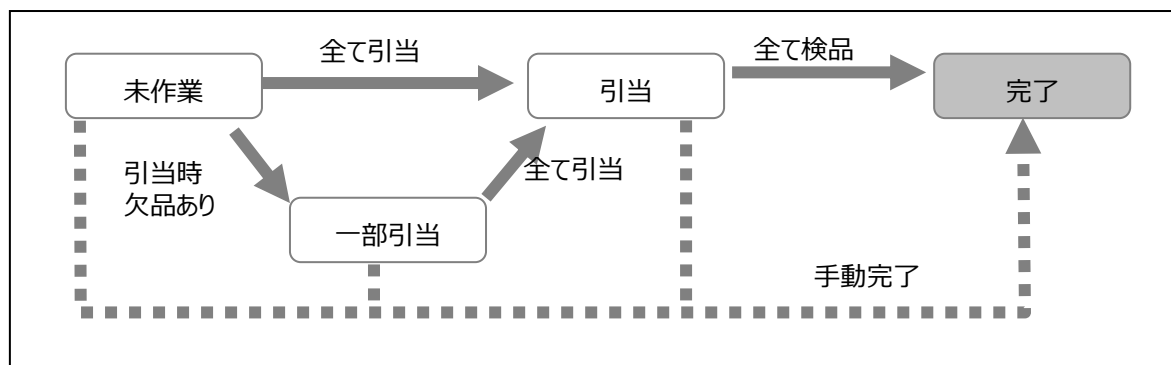
出荷検品伝票では、伝票明細の編集が不可のため明細の内容を変更する場合は、出荷引当伝票を修正から出荷検品伝票を登録してください。

*1 倉庫間出荷の場合は、積送中ロケーションへの移動となります。

[2] 出荷指示の作業状態について

出荷指示の作業状態には、以下の4つの状態があります。

- 『未作業』 : 引当が登録されていない状態です。
- 『一部引当』 : 引当が登録された状態です。出荷引当伝票登録時、出荷指示に対して欠品のある場合は自動的に「未作業」→「一部引当」に変更されます。
- 『引当』 : 引当が登録された状態です。出荷引当伝票登録時、出荷指示に対して満数が引き当てられていれば自動的に「未作業」→「引当」、または「一部引当」→「引当」に変更されます。
- 『完了』 : その出荷指示の作業をそれ以上行わない状態です。出荷検品伝票登録時、実績と指示に差異がない場合、自動的に「引当」→「完了」となります。また、出荷指示伝票で完了操作を手動で行った場合も「完了」となります。



出荷指示伝票で完了操作を手動で行う場合、対応する出荷引当伝票が存在すれば、その出荷引当伝票は削除されます。（対応する出荷検品伝票は削除されません。）

出荷指示が完了状態になると、未処理の明細が残っていても、出荷指示数はカウントされず、残はクリアされます。

なお、一旦完了した状態を取り消すことは可能です。その際に未処理の明細が残っていれば、出荷指示数がカウントされます。

[3] 自動引当ルール

自動引当とは、指示数になるまで、または引当可能な在庫がなくなるまで、引当条件に基づいて自動的に在庫を引き当てる機能です。出荷引当伝票作成時に自動引当を行います。

引当条件の優先順位は以下の通りです。

- ① ロット1（昇順） *1
 - ② ロット2（昇順） *1
 - ③ 推奨ロケーションがある品目の場合、ロケーションが推奨ロケーションの在庫
 - ④ ロケーション別の引当残数（昇順）（*3）
または（*2）
ロケーションの昇順
- *1… システム設定で引当条件に含まれている場合
 *2… システム設定により決定します。
 *3… 引当残数 = 現品数 - 出荷引当数
- ※以下のような在庫は引当対象から除外されます。
- ・引当残数が0以下の在庫
 - ・在庫状態
「出荷」：在庫状態の明細入力がないでは「通常品」以外の在庫、
在庫状態の明細入力がありでは指示の在庫状態と異なる在庫
「倉庫間出荷」：指示の在庫状態と異なる在庫
 - ・一括引当対象外ゾーンの在庫（手動での強制引当は可能）

[4] 一括引当の2つの動作モード

一括引当とは、複数の出荷指示伝票を選択し一括で自動引当を行います。

出荷指示伝票の内容が全て引当されると、一括引当処理の流れの中でピッキングリストが発行されます。

一括引当には「満数」「順次」の2つの動作モードがあります。

一括引当の動作	内容
満数モード	出荷指示伝票単位で、一部でも欠品があれば引当を行いません。 商品回転数を重視し、可能な出荷指示から対応する場合に向いています。
順次モード	出荷指示伝票単位で、欠品が発生しても可能な限り、順次引き当てます。 キャンセル防止を重視し、受注順に出荷する場合に向いています。 基幹システム側に引当機能がない場合も、順次モードが適しています。

なお、順次モードの場合、出荷引当伝票一覧画面は作業状態＝「引当」に絞り込んで表示されます。
絞込条件を変更すれば、作業状態＝「一部引当」の出荷引当伝票も表示可能です。

また、満数引当になるまで順次引当ますが、その都度古い出荷引当伝票は削除され、新たな出荷引当伝票が作成されます。

[5] 一括引当対象外ゾーン

ゾーン台帳に、引当対象外ゾーンを設定することが出来ます。

一括引当では、対象外ゾーンのロケーションの在庫は引当対象外となります。

個別での引当でも、出荷引当伝票の初期値では引当対象外となっています。

その後手動で指定すれば、対象外ゾーンのロケーションの在庫も引き当て出来ます。（警告は発生）

ヒント！

ゾーン台帳でゾーンコード＝半角ハイフン「-」のゾーンを登録すると、ロケーションなしが一括引当対象外となります。

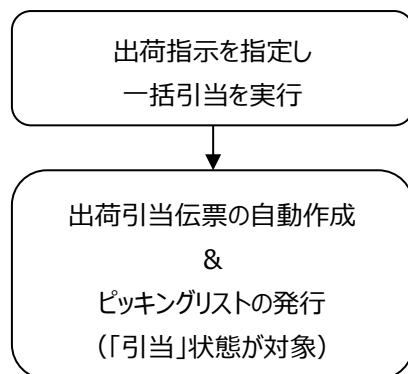
〔6〕一括引当のピッキングリスト発行（トータルピッキング＝旧／なし）

システム設定でトータルピッキング＝旧／なしでは、引当後にピッキング方式を選択する必要がなく、一括引当の際に引当結果をピッキングリストとして発行できます。

指示に対し全て引当が済んだ出荷引当伝票は、作業状態が「引当」となりますが、それらが一括引当におけるピッキングリストの発行対象です。

ピッキングリストの帳票種別は、システム設定で指定することが出来ます。

トータルピッキングリストとシングルピッキングリスト、両方指定することも可能です。



ヒント！

「順次」モードでは、一括引当処理で作業状態が「一部引当」の出荷引当伝票が作成されることがありますが、それらは、一括引当処理ではピッキングリストの発行対象外です。

その後の一括引当処理で満数引当となり、「一部引当」→「引当」状態となった段階で、発行対象となります。

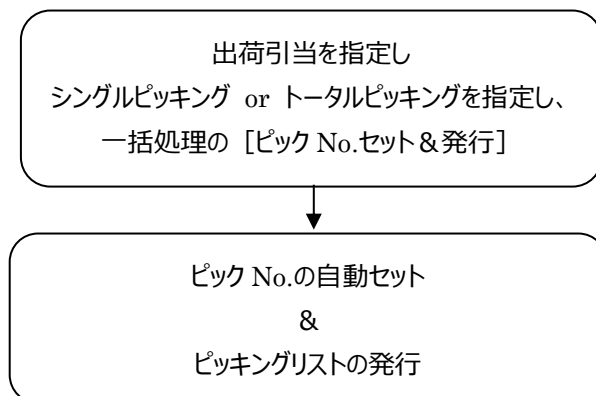
注意！

出荷引当伝票一覧画面と出荷引当伝票画面からも、ピッキングリストを発行することが可能ですが、それらは指定範囲が発行対象となります。

出荷引当伝票一覧画面において、「一部引当」の出荷引当伝票を発行対象外としたい場合は、作業状態＝「引当」を指定し、絞込検索した後に、発行を行ってください。

[7] ピッキング方式の選択とピッキングリスト発行（トータルピッキング＝あり）

システム設定でトータルピッキング＝ありでは、引当後にピッキング方式を選択する必要があります。
出荷引当伝票一覧で対象の出荷引当伝票を選択し、一括処理で、シングルピッキングかトータルピッキングかを指定したうえで【ピック No.セット&発行】を実行します。
ピック No.が自動セットされ、システム設定で指定したピッキングリストを発行します。



ヒント！

ピック No.の発番ルールは以下の通りです。

トータルピッキング：T+倉庫コード+「-」+YYMMDD(サーバーの当日日付)+「-」
+通し番号 3 桁(001~999)

シングルピッキング：出荷引当伝票番号

注意！

現時点では「トータルピッキング＝あり」の PC・ハンディターミナル・スマートフォンの検品機能に対応していません。

トータルピッキングを行う際は「トータルピッキング＝旧」を指定してください。

4-10 一括処理

伝票一覧画面にある〔一括処理〕ボタンと各一括処理について説明します。

一括処理は一覧画面でチェックされた伝票が対象です。

〔1〕各伝票一覧画面にある一括処理機能

各伝票一覧画面で用意された一括処理機能は以下の通りです。

画面	一括処理機能
入荷予定伝票一覧画面 出荷指示伝票一覧画面（仮引当）	自動検品
	現品票へ転記
	欠品完了
	一括削除
出荷指示伝票一覧画面（本引当）	一括引当
	指示残クリア
	現品票へ転記
	欠品完了
	一括削除
出荷引当伝票一覧画面	自動検品
	現品票へ転記
	ピック No.セット&発行
	ピック No.削除
	一括削除
入荷実績伝票一覧画面 出荷実績伝票一覧画面	現品票へ転記

注意！

ユーザーの権限やログイン倉庫、システム設定により、データの登録や削除ができないことがあります。

その場合、該当する一括処理機能も利用できません。

[2] 自動検品

自動検品は、予定された内容と同じ内容の検品（実績）伝票を自動作成する機能です。

極力、入出荷の実績入力を省きたい場合に利用します。

システム設定で、自動入出荷検品機能がONになっている場合に利用できます。

画面	検品伝票の自動作成のポイント
入荷予定伝票一覧画面 出荷指示伝票一覧画面（仮引当）	システム設定で伝票入力時の推奨ロケーションの適用がONかつ推奨ロケーションが設定されている品目では、推奨ロケーションが自動入力されます。 既に一部検品されて、残数がある場合では、残数で自動作成します。
出荷引当伝票一覧画面（本引当）	出荷引当伝票どおりの内容で自動作成します。

[3] 一括引当

一括引当は、出荷指示伝票から出荷引当伝票を自動作成する機能です。

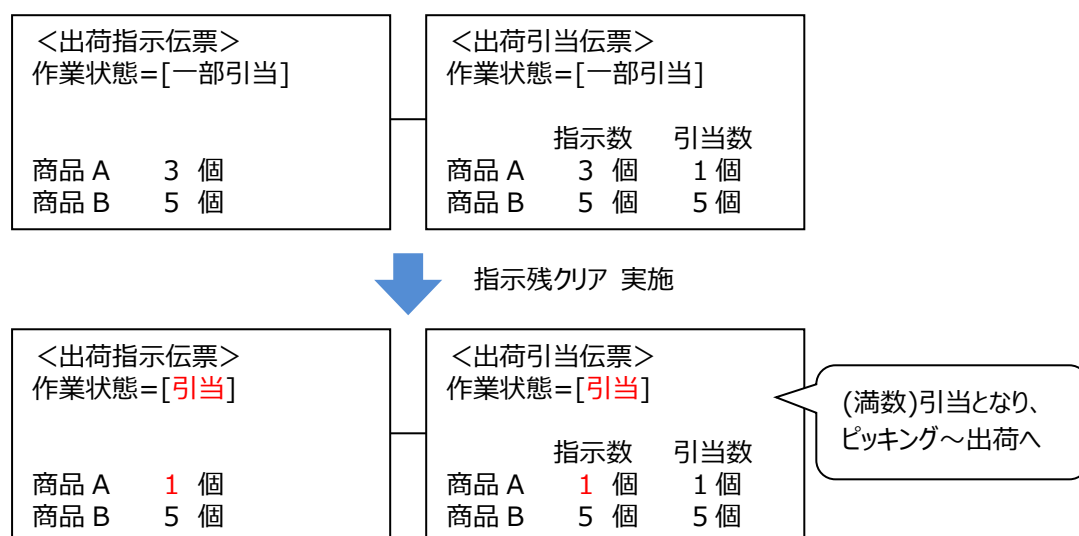
詳しくは、「4-9 出荷検品（本引当）」をご覧ください。

[4] 指示残クリア

指示残クリアは、出荷引当＝本引当において、出荷指示伝票から指示残を自動的にクリア（削除）する機能です。

特に一括引当時の動作モード＝順次の場合、欠品の際は在庫のある分だけ順次引き当てます。

出荷指示残の内容を出荷指示からクリア（削除）し、引き当たっている内容ですぐに出荷する際に利用します。



[5] 現品票へ転記

選択された伝票の内容を「現品票へ転記」画面の選択に基づき、現品票画面へ転記する機能です。
入出荷データを活用し、現品票を発行する場合に利用します。

バーコード現品票へ転記

品目の集計

あり

OK

キャンセル(C)

QRコード現品票へ転記

品目の集計

あり

ラベル入数

現品票画面の設定

OK

キャンセル(C)

メイン部		
品目の集計	リスト	品目の集計を「あり」「なし」から設定します。
ラベル入数	リスト	ラベル入数に入力される数値を「現品票画面の設定」「数量をセット」から設定します。バーコード現品票、シリアル現品票へ転記を行う場合は非表示となります。
フッタ部		
[OK]	—	設定に基づき選択された伝票の内容を、現品票画面へ転記します。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

ヒント！

品目の集計が「あり」の場合、対象伝票の明細の品目、ロット 1、ロット 2 で集計し、以下の優先順位並べ替えた順序で転記されます。

① 品目（昇順）

② ロット 1（昇順）

③ ロット 2（昇順）

品目の集計が「なし」の場合、対象の伝票の明細を集計せずに明細順を維持したまま転記されます。

[6] 欠品完了

欠品完了は、予定／指示残を残したままキャンセルします。
数量不足で入出荷を行い、残数は作業しなかったことを記録しておきたい場合に利用します。

[7] 一括削除

登録された予定伝票を削除する場合に利用します。

[8] ピック No.セット&発行、ピック No.削除

「出荷引当 = 本引当」かつ「トータルピッキング = あり」において、出荷引当伝票番号一覧で該当の伝票を選択し、シングルピッキングまたはトータルピッキングかを指定すると、システムで自動発番されたピック No. がセットされ、ピッキングリストが発行されます。

なお、トータルピッキングを指定した場合、同じピック No. がセットされ、同じトータルピッキング作業の対象となります。

ピック No. 削除は、一旦セットしたピック No. を一括で削除する機能です。

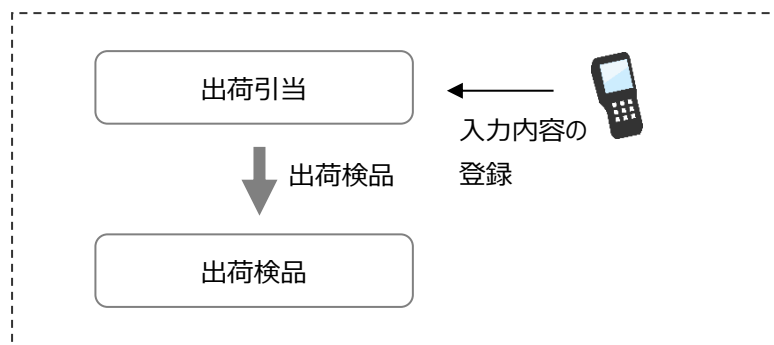
なお、ピック作業が始まっていると削除できません。

4-1-1 モバイル機器での検品（本引当）

本引当における、モバイルオプションまたはマルチデバイスオプションを使った検品について説明します。

[1] データの流れ

モバイルオプションまたはマルチデバイスオプションを使った出荷検品では、入力内容がリアルタイムに登録されます。



処理中は作業状態の変更はありません。

全ての明細行が処理済になった段階で出荷が確定し、出荷引当伝票の内容が出荷検品伝票となり、出荷が確定します。この時点で、在庫が引落されます。

PC 側の出荷引当伝票や出荷検品伝票画面では、「作業状況」タブで、モバイル機器での処理内容を確認出来ます。

出荷引当伝票 - 参照 [登録日時 2014/12/15 13:22]

標準 | 出荷先 | 直送先 | 作業状況

作業状況

ピッキング 開始日時 2014/12/16 11:37:29 担当者 鈴木 一郎 (l_suzuki)

作業済明細数 1/2

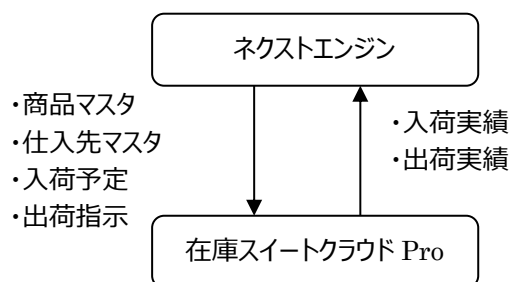
出荷引当明細

指示 明細	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	指示 数量	引当 合計	ロット 1	ロット 2	ロケーション	引当 数量	単位	備考	ピッキング日時	ピッキング担当者
▶ 1	00703012	4962660660474	兼用ビット4.5		2	2				2	本		2014/12/16 11:37:38	鈴木 一郎 (l_suzuki)
2	00703014	4962660062278	兼用ビット22m		1	1				1	本			

新規(N) 削除(D) 修正(E) 一覧(L) 検品(K) 印刷(P) 閉じる(C)

4-12 ネクストエンジン連携

本サービスは Hamee 株式会社製 EC プラットフォーム「ネクストエンジン」と CSV ファイルを通じて連携が可能です。連携機能を活用することで、ファイルコンバートの必要なく、直接ネクストエンジンの商品マスタや出荷指示の取込が可能となります。また、実績を戻すことで、ネクストエンジン側の登録を省略することが出来ます。



[1] システム設定条件

ネクストエンジンとの連携の際は、以下のシステム設定として運用してください。

タブ	設定項目	設定内容
システム運用	使用項目 > 品目コード	ON
入力	品目バーコード読み取り > 検索項目	品目コードに設定

[2] 連携データ

ネクストエンジンの倉庫連携「ロジスティクスサポート」にて連携します。連携ファイルは以下の通りです。

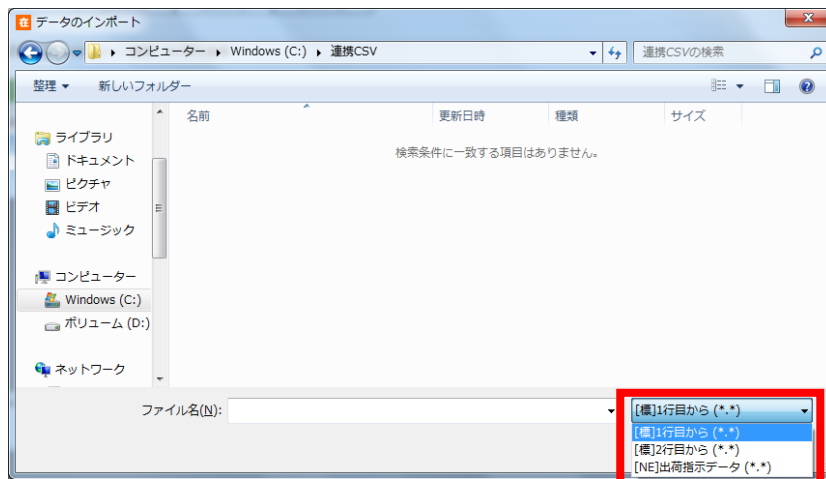
データの連携方向	ネクストエンジン側データ名	本サービス側操作画面
ネクストエンジン → 本サービス	商品マスタ	品目台帳一覧
	仕入先マスタ	仕入先台帳一覧
	入荷予定	入荷予定伝票一覧
	出荷指示	出荷指示伝票一覧
本サービス → ネクストエンジン	入荷実績	入荷実績伝票一覧
	出荷実績	出荷実績伝票一覧

[3] 操作

・ネクストエンジン → 本サービスのデータ連携方法

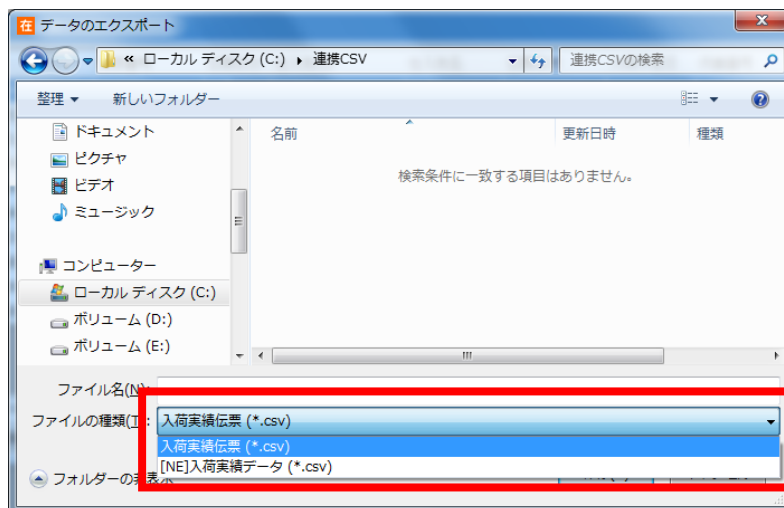
本サービスのインポート機能を使い CSV ファイルを取り込みます。

インポートの際に、ファイルフォーマットを選択できますが、ファイルフォーマット名に [NE] と付いているのがネクストエンジン用のフォーマットです。そちらを選択し、取り込んでください。



・本サービス → ネクストエンジンのデータ連携方法

本サービスのエクスポート機能を使い CSV ファイルを出力します。エクスポートの際に、ファイルフォーマットを選択できますが、ファイルフォーマット名に [NE] と付いているのがネクストエンジン用のフォーマットです。そちらを選択し、出力してください。



[4] 標準項目と拡張項目

ネクストエンジンからの出荷指示には、本サービスの標準フォーマットよりも多くの項目（情報）が含まれます。本サービスでは標準的に用意している項目を『標準項目』、ネクストエンジン向けに用意した項目を『拡張項目』と呼びます。

標準項目	標準タブ	伝票番号、作業番号、元伝票番号、伝票日付、納期、出荷予定日、倉庫、登録担当者、出荷先コード、出荷先名 1・2、直送先コード、直送先名 1・2、摘要
	出荷先タブ	出荷先コード、出荷先名 1・2、出荷先名カナ、郵便番号、住所 1・2、電話番号、FAX 番号
	直送先タブ	直送先コード、直送先名 1・2、直送先名カナ、郵便番号、住所 1・2、電話番号、FAX 番号、担当者、敬称
拡張項目	受注タブ	受注伝票番号（元伝票番号）、店舗コード、店舗名、受注番号、データ抽出日、発送代、手数料、税金、他費用、ポイント数、総合計、支払区分、支払方法、納品書特記事項
	出荷先タブ	メール、顧客区分、卸先コード
	直送先タブ	配送希望日（納期）、発送区分、発送方法、時間指定、ギフトフラグ、発送伝票備考欄

※ 1 出荷先コード、出荷先名 1・2、直送先コード、直送先名 1・2 は複数のタブに表示されます。

※ 2 受注伝票番号は元伝票番号、配送希望日は納期と同じ内容となります。

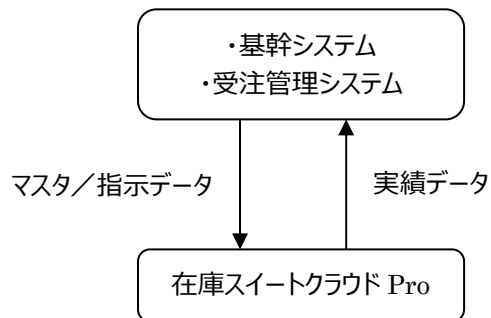
通常は標準項目のみ表示されますが、ネクストエンジンフォーマットのインポートで登録された出荷指示伝票を参照すると、拡張項目も表示され「受注」タブも追加されます。

ヒント！

拡張項目がセットされた出荷指示伝票を修正することはできません。（API での修正は可能）

[5] 他システムとの連携

ネクストエンジン以外の受注管理システムや基幹システムでもネクストエンジンフォーマットのファイルをご利用頂けます。両方のフォーマットが用意されている機能については、それぞれ用意された項目を確認の上、いずれか適したフォーマットをお選びください。



ヒント！

出荷指示の場合、本サービスは、拡張項目に何らかの値が設定されていれば、ネクストエンジンフォーマットのインポートで登録された出荷指示伝票と判断し、拡張項目を表示します。

4－13 振替

振替では、在庫の「移動」、「在庫状態変更」、「破棄」、「在庫調整」、「ロット 1 変更」、「ロット 2 変更」、「汎用変更」を提供します。

〔1〕移動

在庫品のロケーションの変更を行います。

ヒント！

一旦入荷場で荷物を受け取りその後正しい保管場所へ移動する場合など、在庫登録する段階では保管するロケーションが決まらない場合があります。その場合は、一旦「ロケーション無し」で入荷を行い、保管するロケーションが決定した段階でロケーション移動を行うとよいでしょう。

〔2〕在庫状態変更

在庫品の状態を変更します。

〔3〕破棄

破損した場合などに在庫の破棄を行います。

〔4〕在庫調整

在庫が合わない場合など、例外処理として在庫情報の増減を行います。

〔5〕ロット 1 変更

在庫品のロット 1 情報を変更します。

〔6〕ロット 2 変更

在庫品のロット 2 情報を変更します。

[7] 汎用変更

バーコードやロケーション、ロット、在庫状態など全ての情報を変更できます。

4-14 倉庫と倉庫ごとの入力項目

本システムは複数倉庫に対応しています。

[1] 倉庫台帳について

倉庫は、遠隔地にある別々の拠点を表します。

倉庫は在庫スイートクラウドにおける「場所」を表す最も大きな単位です。

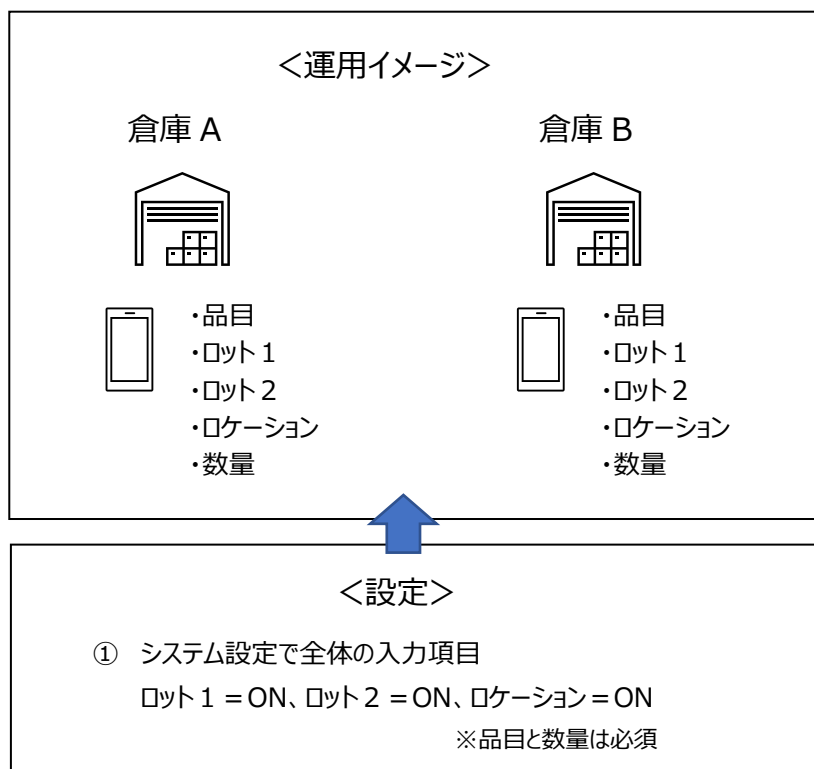
倉庫は1つ以上、設定する必要があります。

倉庫の数に上限はありません。

[2] 全倉庫共通の入力項目設定

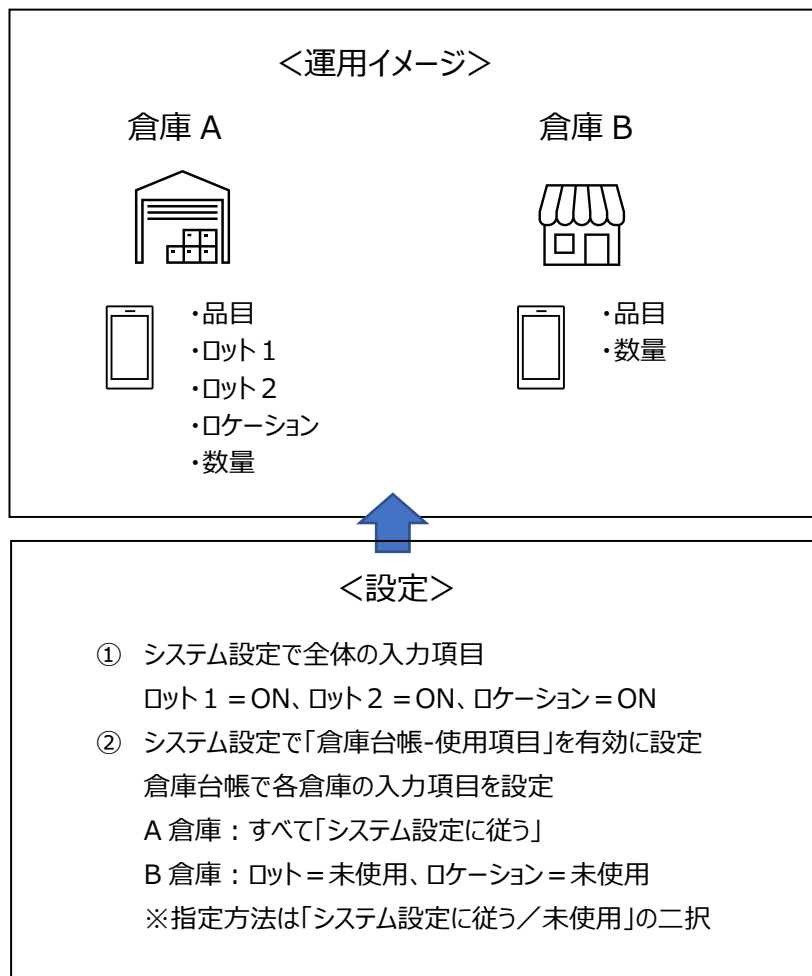
マルチデバイスオプションによるハンディターミナルやスマートフォンは、設定に沿って入力項目が決まります。

システム設定に入力項目を設定すれば、全倉庫に適用されます。



[3] 倉庫ごとの入力項目設定

マルチデバイスオプションによるハンディターミナルやスマートフォンにおいて、
「A 倉庫ではロケーションやロット管理もするけれど、B 倉庫ではシンプルに品目だけで在庫管理をしたい」
そんな時は、システム全体の入力設定の他に、倉庫ごとの入力設定も行います。

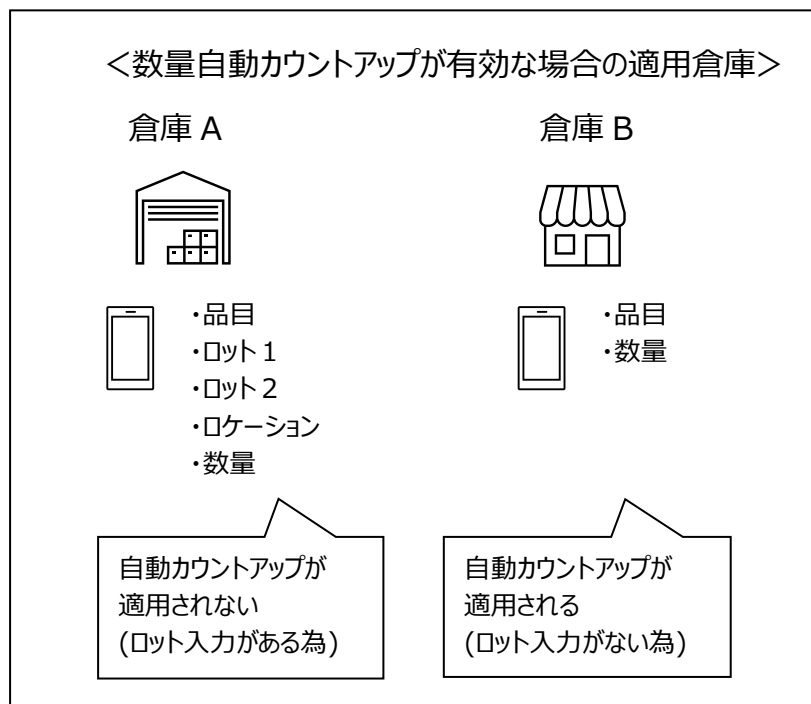


ヒント！

具体的な設定画面は「6 - 5 倉庫台帳」をご覧ください。

[4] 倉庫ごとの入力項目と数量自動カウントアップ°

マルチデバイスオプションの「数量自動カウントアップ」機能はロット入力がないことが前提です。
システム設定で、数量自動カウントアップが有効になっている場合、ロット入力のない倉庫に対して適用されます。



ヒント！

数量自動カウントアップの機能については、マルチデバイスオプションのマニュアルをご覧ください。

4-15 倉庫と倉庫間入出荷

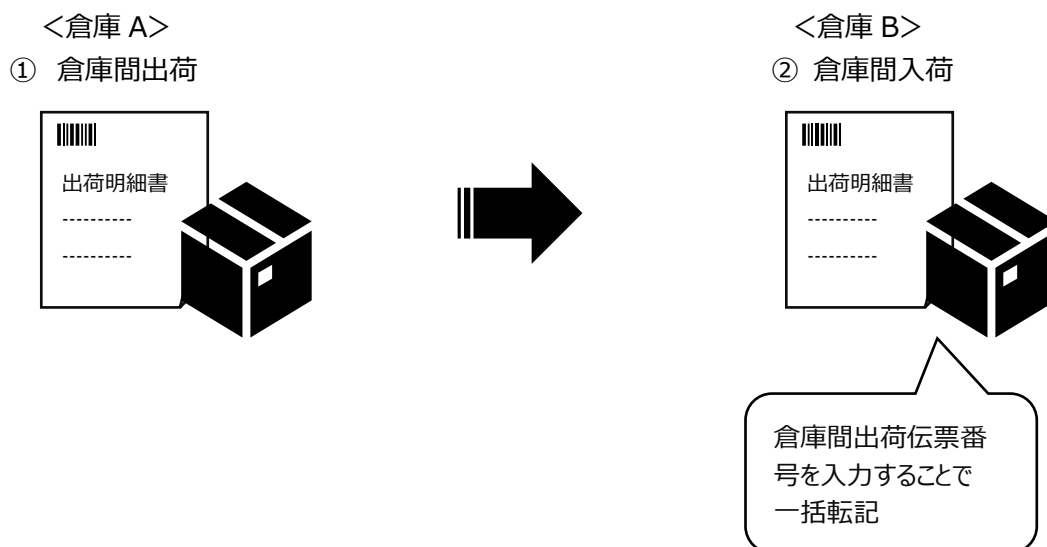
[1] 倉庫間の在庫移動

在庫品は倉庫別に管理・参照され、倉庫間の在庫品の移動には入出荷の「倉庫間入荷」「倉庫間出荷」の伝票を使用します。

「倉庫間出荷」を行うと、それらは出荷側倉庫の「積送ロケーション」と呼ばれる特殊なロケーションに存在するものとして扱われます。

「倉庫間入荷」では、倉庫間出荷伝票番号を入力することで、一括転記します。

倉庫間入荷により、出荷側倉庫の「積送ロケーション」の在庫が入荷側倉庫に移動します。



ヒント！

「倉庫間入荷伝票」とは、入荷実績伝票／入荷検品伝票の伝票区分＝「倉庫間入荷」です。
「倉庫間出荷伝票」とは、出荷実績伝票／出荷検品伝票の伝票区分＝「倉庫間出荷」です。

ヒント！

出荷側が「倉庫間出荷」を行い、入荷側が「倉庫間入荷」を行うことで、移動中の在庫を管理でき、実態にあった運用となります。

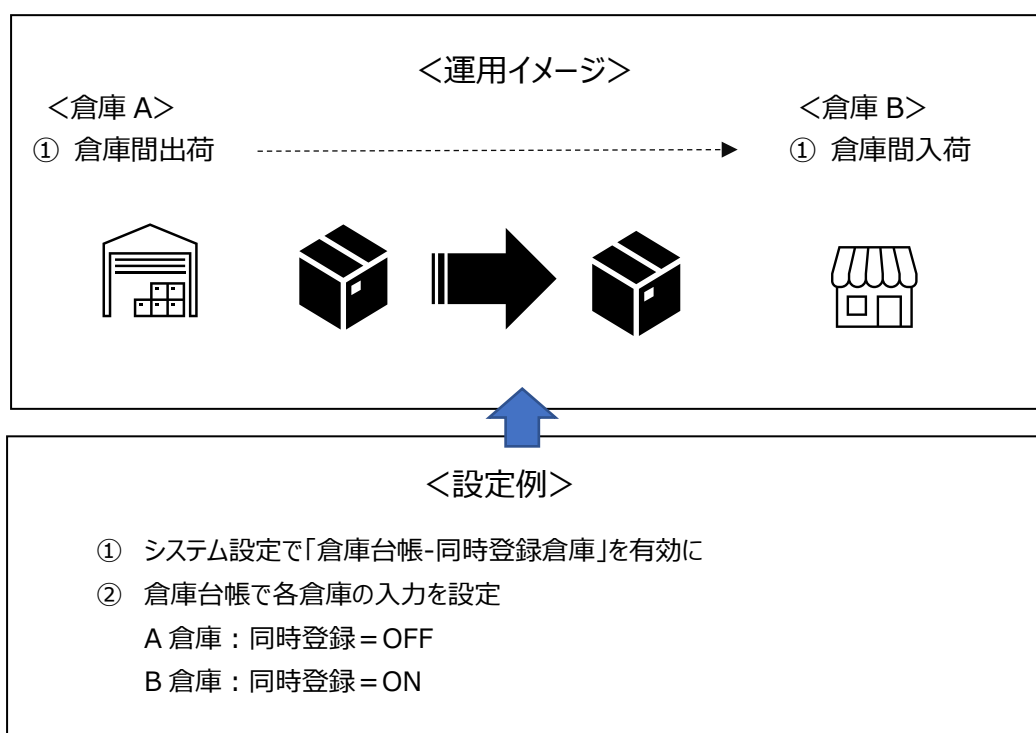
[2] 倉庫間入荷の同時登録

倉庫間で在庫を移動する際、倉庫間出荷と同時に倉庫間入荷を登録したいケースあります。

＜倉庫間出荷と同時に倉庫間入荷を登録したいケース＞

- ・ 特定の倉庫はスタッフがいない
- ・ 協力会社にある在庫も管理するが、協力会社のスタッフは入力しない
- ・ メイン倉庫の他に、ユーザーに近い販売や修理の前線拠点があり、前線拠点のスタッフには極力入力させたくない

こうしたケースに向けて、あらかじめ設定することで「特定の倉庫からの倉庫間出荷」または「特定の倉庫への倉庫間出荷」を登録した際は、倉庫間入荷を同時登録することができます。



ヒント！

入力は軽減されますが、移動中（積送中）の在庫は管理できません。
また、登録するユーザーは両倉庫への登録権限が必要です。

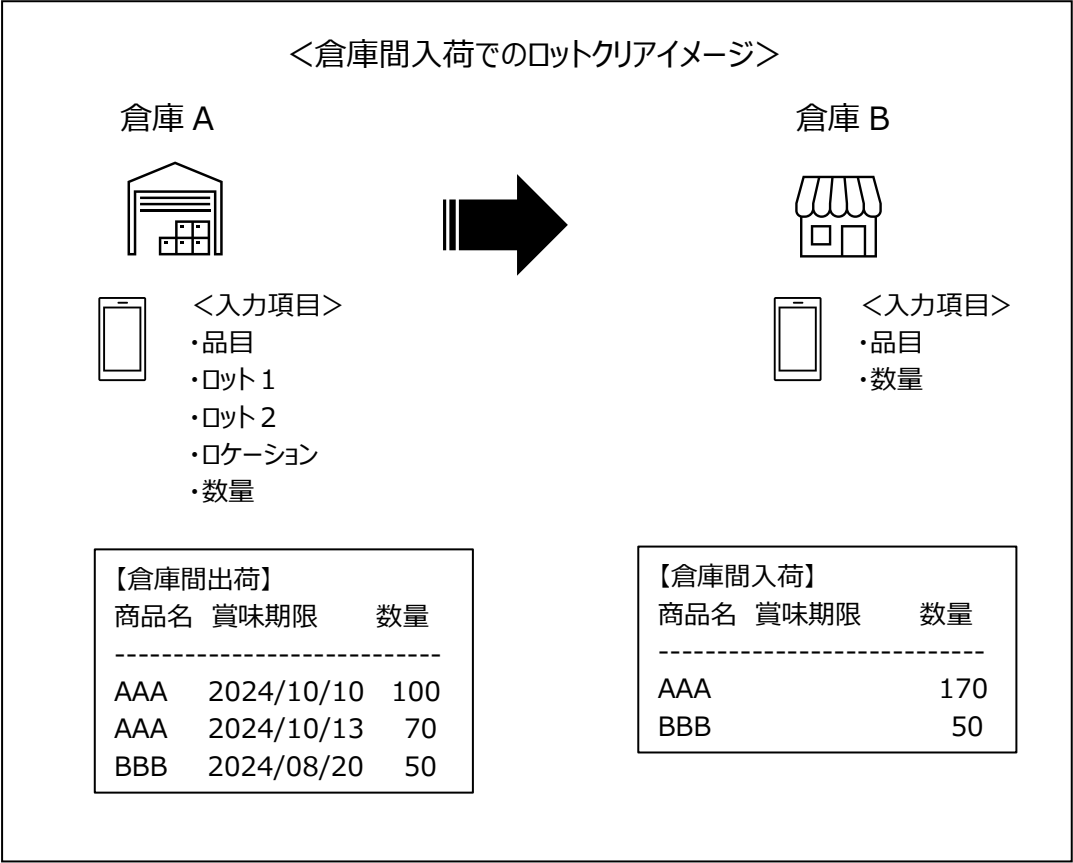
[3] 倉庫間入荷の整合性チェックとロットクリア

倉庫間出荷伝票を登録後、対応する倉庫間入荷伝票を登録すると、モノに関する管理項目（「品目」「ロット1」「ロット2」「在庫状態」）と数量が転記されます。

本アプリケーションではロケーションを追加するなどの変更は可能ですが、モノに関する管理項目と数量の整合性があっていないと倉庫間入荷伝票の登録はできません。

なお、倉庫ごとの入力項目を指定する運用で、入荷側倉庫はロット入力をしない場合、出荷内容に「ロット1」「ロット2」がセットされていれば「ロット1」「ロット2」は「なし」で転記されます。

この場合も本アプリケーションでは変更が可能ですが、ロット1・2は「なし」として整合性があっていないと倉庫間入荷伝票の登録はできません。



ヒント！

ロットクリアを実施した倉庫間入荷伝票は、転記の際、備考にクリアされたロットが挿入されます。

[4] 未入荷の倉庫間出荷の参照と在庫について

自倉庫に向かっている未入荷の倉庫間出荷（＝倉庫間入荷をしていない、自倉庫への倉庫間出荷）は、「出荷実績伝票一覧」と「入荷予定伝票一覧」の画面から確認できます。
それぞれの確認方法は以下の通りです。自身の運用に合わせて、適した方法で確認してください。

■ 出荷実績伝票一覧

出荷実績伝票一覧画面にて、以下の条件で絞り込み検索をすることで
自倉庫に向かっている未入荷の倉庫間出荷を確認できます。

【条件指定】

- ・ 出荷先倉庫 = 自倉庫（倉庫間入荷する倉庫）
- ・ 倉庫 = <条件なし> *1
- ・ 「対応倉庫間入荷」の「未入荷の倉庫間出荷のみ表示」にチェックをつける

*1 条件なしに設定できるのは

「所属倉庫＝全倉庫」または「全倉庫参照可」の権限を持つユーザーです。

第4章 在庫管理の基本

■入荷予定伝票一覧

入荷予定伝票画面からの確認手順は

「5-3 未入荷の倉庫間出荷の参照」をご覧ください。

なお、上記設定を ON にされた場合、在庫参照（品目別）の入荷予定残に未入荷の倉庫間出荷も反映されます。

詳しくは「4-18 [2] 品目別の現品数と出荷可能数の算出方法」をご覧ください。

ヒント！

入荷予定伝票一覧画面から確認するには、システム設定の変更が必要です。

設定方法は以下の通りです。

「システム設定」>「システム運用タブ」>「メニュー表示」の「未入荷の倉庫間出荷」を ON にしてください。

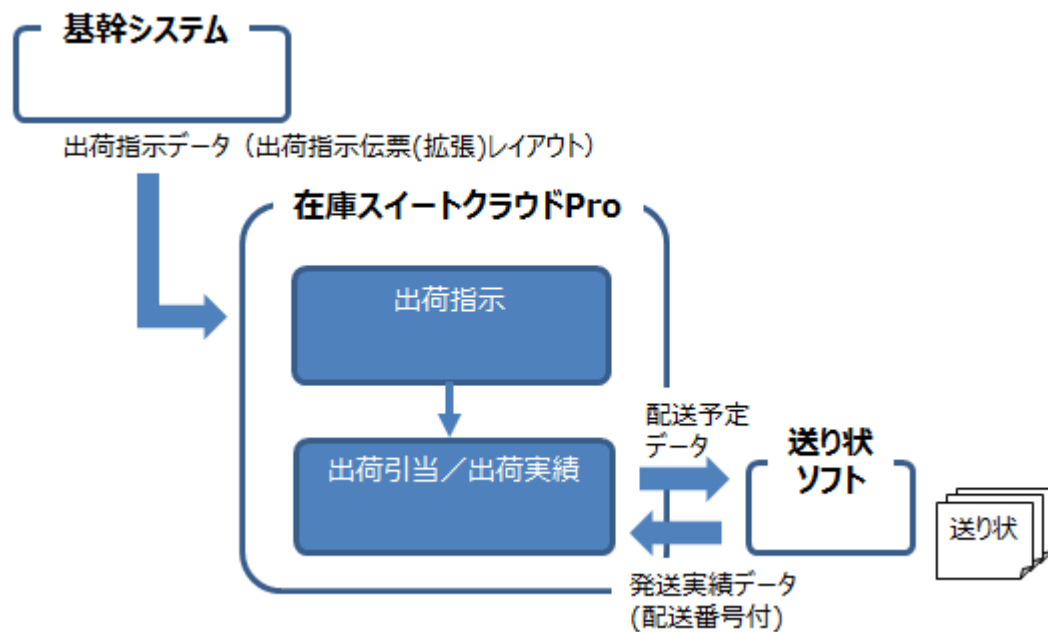
4-16 送り状連携

[1] 概要

基幹システムからインポートした出荷指示伝票を元に作成された出荷引当伝票や出荷実績(検品)伝票から配送予定データを出力できます。

送り状ソフトでは、配送予定データを取り込むことで、入力作業を行わず送り状が発行できます。

また、送り状ソフトからの発送実績データを取り込み、配送番号を出荷履歴に反映できます。



[2] 出荷指示への必要情報のセット

配送予定データを出力するには、出荷指示に必要な情報をセットしておく必要があります。

オンラインサポートでは、セットすべきポイントを紹介した資料を用意しています。

([該当ページはこちら](#))

[3] 配送予定データのエクスポート

予め、送り状ソフトに合わせた配送予定データ設定を行い、配送予定データをエクスポートします。
送り状ソフトでは、配送予定データを取り込み、送り状を発行します。

＜配送予定データ 設定から送り状印刷までの流れ＞

(1) 配送予定データ レイアウト定義の設定（システム管理者権限ユーザーのみ）

オンラインサポートでは、主な送り状ソフト向けのテンプレートファイルのダウンロードと、自社に合わせた変更ポイントを紹介しています。（[該当ページはこちら](#)）

配送予定データ設定画面でテンプレートファイルをインポート後、必要な個所を変更してください。

配送予定データ レイアウト定義

動作設定 配送予定エクスポート

定義名 e飛伝Ⅱ用テンプレート(出荷実績)

対象機能 出荷実績伝票

対象発送区分 13

日付形式 YYYYMMDD

☐ 項目行を出力する ☐ 本定義を使用しない

No.	ファイル項目名	在SC-項目種別	在SC-項目内容
1	住所録コード	ヘッダー	36:元伝票番号
2	お届け先電話番号	ヘッダー	30:直送先TEL
3	お届け先郵便番号	ヘッダー	27:直送先郵便番号
4	お届け先住所 1	ヘッダー(送り状用)	4:直送先住所(全16・16・16)1/3
5	お届け先住所 2	ヘッダー(送り状用)	5:直送先住所(全16・16・16)2/3
6	お届け先住所 3	ヘッダー(送り状用)	6:直送先住所(全16・16・16)3/3
7	お届け先名称 1	ヘッダー(送り状用)	19:直送先名称(全16・16)1/2
8	お届け先名称 2	ヘッダー(送り状用)	20:直送先名称(全16・16)2/2
9	お客様管理ナンバー	ヘッダー	36:元伝票番号

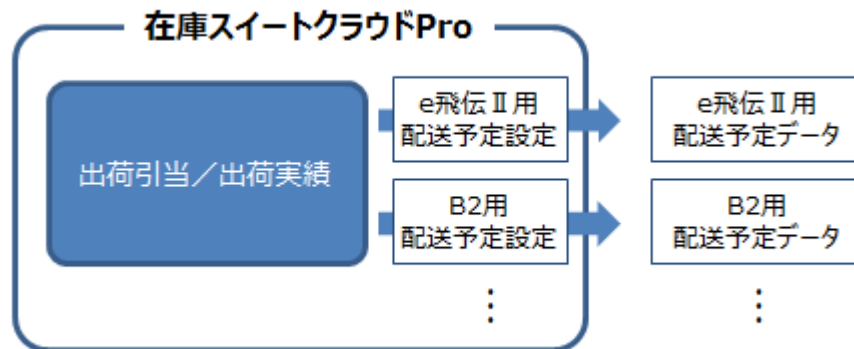
登録(U) 行挿入(A) 行削除(B) インポート(I) キャンセル(C)

(2) エクスポートの実行

出荷引当伝票または出荷実績伝票を元にエクスポートを行います。

(どちらが対象なのかはレイアウト設定で指定します)

対象の伝票画面一覧の[エクスポート]押下後、レイアウトを選択し、エクスポートを実行します。

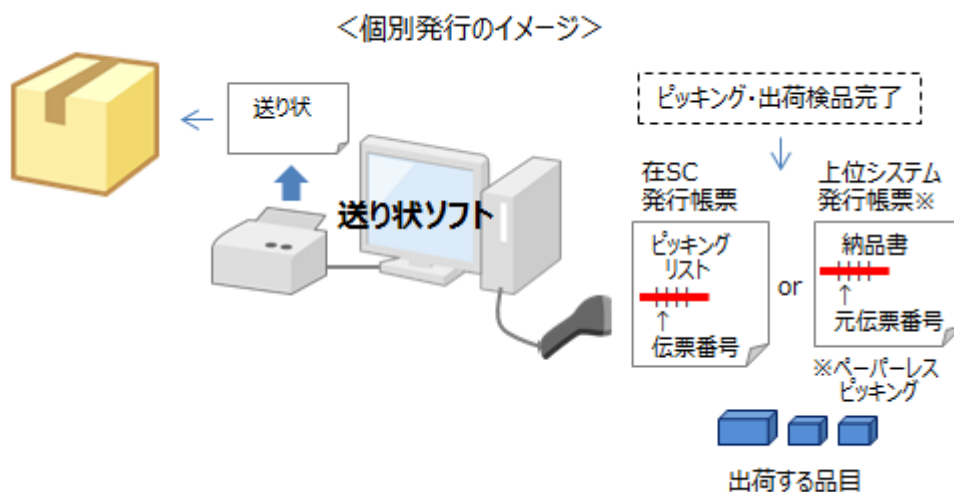


(3) 送り状ソフトでの取り込みと印刷

送り状ソフトで、エクスポートした配送予定データを取り込みます。

送り状ソフトの中には、一括発行の他に、お客様管理番号にセットされた情報（本サービスの伝票番号または元伝票番号）で呼び出し、個別に送り状を発行することが出来るものもあります。

個別発行では、送り状とピッキングリストや納品書の合わせ作業が不要です。



[4] 配送予定データ設定の対象機能について

配送予定データ設定の「対象機能」は、配送予定データの元となる本サービス内の伝票を指定します。

運用方法により適した指定は異なります。

レイアウト定義を設定する際は、あらかじめ自社に合った対象機能を確認ください。

運用	対象機能	特徴
本引当での出荷 かつ 出荷指示伝票に対し 分納※がない	出荷引当伝票(作業状態 = 引当)	出荷作業前に配送予定データを送り状ソフトに渡せる為、出荷から配送まで迅速に進みます。
それ以外	出荷実績伝票	出荷処理が終わった後、送り状ソフトに配送予定データを出力します。 どのような運用でも対応が可能ですが、出荷処理から送り状発行までタイムラグが発生します。

※分納とは、出荷指示伝票 1 枚に対し、複数日に渡り出荷され、出荷検品（実績）伝票が複数枚になること



[5] 配送予定データ設定のお客様管理番号について

多くの送り状ソフトでは、ユーザー側で運用している番号を設定する項目（以後、「お客様管理番号」と呼びます）を用意しています。

送り状ソフト	お客様管理番号
西濃運輸 カンガルー・マジックⅡ	管理番号
佐川急便 e 飛伝Ⅲ	「お届け先コード*1」と「お客様管理番号」
佐川急便 e 飛伝Ⅱ	「住所録コード*2」と「お客様管理ナンバー」
ヤマト運輸 B2	「お客様管理番号」
日本郵便 ゆうパックプリント R	「お客様側管理番号」

*1…e 飛伝Ⅲは「お客様管理番号」でのデータ呼び出しが出来ず、呼び出し可能な「お届け先コード」を活用します。

*2…e 飛伝Ⅱは「お客様管理ナンバー」でのデータ呼び出しが出来ず、呼び出し可能な「住所録コード」を活用します。

送り状ソフトでの個別発行では、お客様管理番号で該当の配送予定データを呼び出し、発行します。その為、お客様管理番号＝呼び出し時に読み取るバーコードです。

読み取るバーコードは、運用方法により異なります。

レイアウト定義を設定する際は、予め対象機能をご確認ください。

運用	お客様管理番号に設定する 在庫スイートクラウド項目内容
本サービスの 出荷指示書／ピッキングリストを使用	伝票番号
ペーパーレスピッキング※	元伝票番号

※ペーパーレスピッキングとは、基幹システムが発行する納品書などの帳票だけを使ったピッキングです。

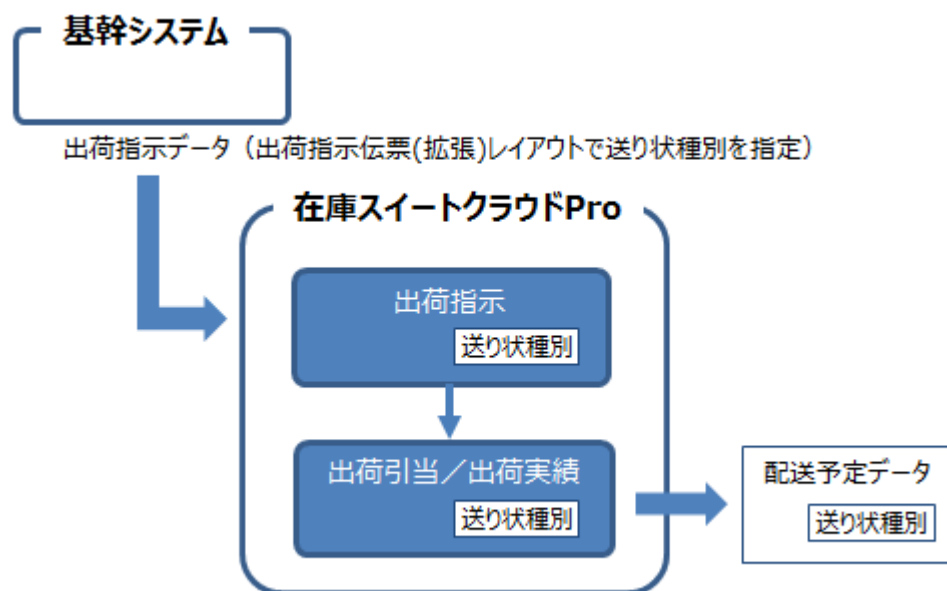
[6] 配送予定データ設定の送り状種別

一部の送り状ソフトでは、元払いか代引きかを指定する項目（以後、送り状種別）を持ちます。

送り状ソフト	送り状種別
西濃運輸 カンガルー・マジックⅡ	なし
佐川急便 e 飛伝Ⅲ	なし
佐川急便 e 飛伝Ⅱ	なし
ヤマト運輸 B2	「送り状種別」
日本郵便 ゆうパックプリント R	「発払／代引／着払」

出荷指示データのインポートにより、送り状種別を設定する事が出来ます。

送り状種別を持つ送り状ソフトを利用する場合は、配送予定データ設定を行うことで、出荷指示データに設定された送り状種別データが送り状ソフトに引き渡されます。



[7] 配送番号の反映

配送番号の反映では、送り状ソフトからの発送実績ファイルを活用し、本サービスの出荷履歴に配送番号をセットします。

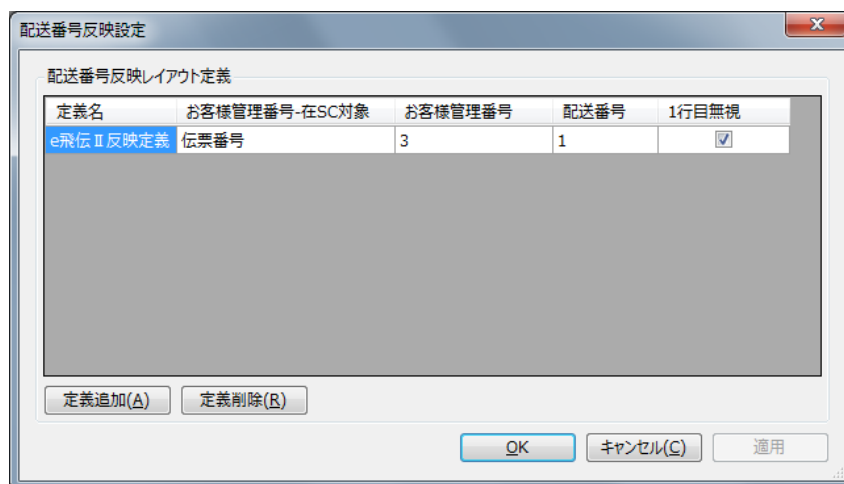
予め、送り状ソフトに合わせた配送番号反映設定を行い、発送実績ファイルをインポートします。

＜配送番号反映 設定から配送番号反映までの流れ＞

(1) 配送番号反映 レイアウト定義の設定（システム管理者権限ユーザーのみ）

オンラインサポートでは、主な送り状ソフト向けの標準設定を紹介しています。（[該当ページはこちら](#)）

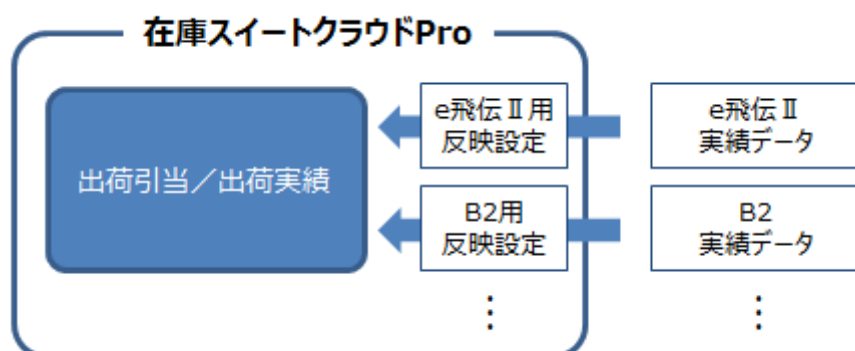
標準設定を確認し、必要な設定を行ってください。



(2) 反映の実行

送り状ソフトからの発送実績ファイルを活用し、本サービスの「発送伝票番号」項目に配送番号を反映させます。

発送実績ファイルと取込パターンを指定し、実行します。



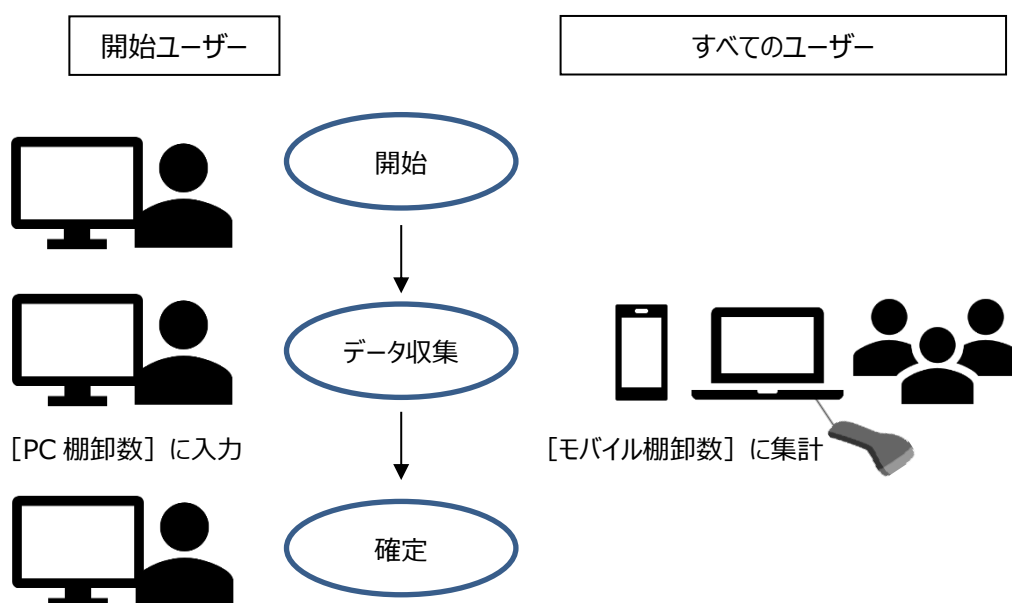
出荷引当伝票・出荷検品伝票の「発送伝票番号」は、拡張項目または発送伝票番号に値が設定されている場合、伝票画面での手入力も可能です。

4-17 棚卸

棚卸により、在庫情報を登録・修正します。運用開始時や期末などに棚卸を行い、PC上の在庫と実際の在庫のズレを修正します。

〔1〕棚卸の流れ

- (1) 棚卸の開始（ユーザー権限：システム管理者、物流担当者）
棚卸を行うには対象範囲を指定し〔開始〕をクリックします。
状態が棚卸中になります。
また、〔論理現品数〕にその時点の在庫数（現品数）がセットされます。
なお、同一倉庫内で同時に複数の棚卸を開始することはできません。
- (2) 棚卸データ収集（ユーザー権限：システム管理者、物流担当者、現場作業者）
PCまたはモバイル機器にて、棚卸データを収集します。
〔PC棚卸数〕と〔モバイル棚卸数〕の合算が〔合計棚卸数〕です。
〔PC棚卸数〕は棚卸開始ユーザーのみ入力できます。（直接入力またはインポート）
すべてのユーザーはモバイル機器からの入力（オプション）や、PCでの実棚入力ができ、それらは〔モバイル棚卸数〕に自動集計されます。
在庫の差異は、合計棚卸数と論理現品数（棚卸開始時の現品数）とのズレを示します。
- (3) 棚卸の確定（棚卸開始ユーザーのみ）
棚卸確定は棚卸開始ユーザーのみ実施できます。
棚卸データ収集が終わったら〔確定〕をクリックします。
棚卸の状態が確定に変わり、差異を確定時点の在庫数（現品数）に反映させます。
棚卸の確定処理には数分～十数分かかることがあります（棚卸対象のデータ数に比例します）。



[2] 一部棚卸

ゾーンや品目毎の一部棚卸を行うことができます。

一部棚卸を行う場合は、開始時に対象範囲を選択します。

開始後、対象外の棚卸データを追加することも可能ですが、その場合は赤で色分けして表示されます。

[3] 日次棚卸

「在庫スイートクラウド」では、ある期間内に動きのあった在庫に絞って日次棚卸を行うことができます。

日次棚卸を行う場合は、開始時に対象期間（日時）を指定します。伝票の登録日時に基づき、その期間内に入荷/出荷/振替が行われた品目が棚卸対象となります。

開始後、対象外の棚卸データを追加することも可能ですが、その場合は赤で色分けして表示されます。

[4] 棚卸開始ユーザーと PC 棚卸数

棚卸開始ユーザーだけが入力できる「PC 棚卸数」とすべてのユーザーが入力できる「モバイル棚卸数」は別管理され、それらの合算が棚卸の結果である「合計棚卸数」となります。

PC 棚卸数の特徴は以下の通りです。

- ・ 棚卸開始ユーザーは、棚卸画面の「PC 棚卸数」欄に EXCEL のように直接入力できます。
マイナス入力もでき、モバイル機器の操作ミス等の調整も行えます。
在庫が無かった場合には明示的に数量 0 も入力できます。
- ・ 棚卸開始ユーザーは、ファイルインポートも可能です。
結果は「PC 棚卸数」に加算されます。
- ・ 「PC 棚卸数」は予め初期値をセットすることも可能です。
リストを使った棚卸（棚卸準備表に記入し結果を PC に反映する方法）を行う場合、「論理現品数（帳簿在庫）」を初期値としてセットしておくことで、差異のあったものだけの修正で済みます。
初期値セットの設定方法については「7 - 1 [2] システム運用」をご覧ください。

[5] すべてのユーザーとモバイル棚卸数

棚卸開始ユーザーだけが入力できる「PC 棚卸数」とすべてのユーザーが入力できる「モバイル棚卸数」は別管理され、それらの合算が棚卸の結果である「合計棚卸数」となります。

モバイル棚卸数の特徴は以下の通りです。

- ・ モバイル機器よりバーコード読み取りなどで棚卸結果を入力でき、その結果は「モバイル棚卸数」に反映されます。
マイナスは入力できませんが、明示的に数量 0 は入力できます。
- ・ ダブルカウント（同一の「品目」「ロット 1」「ロット 2」「状態」「ロケーション」の入力を行う）を行うと、「上書」か「加算」かの選択が表示されます。

上書を選ぶと、入力した数量が「モバイル棚卸数」に上書きされ、これまでの結果は消えます。

加算を選ぶと、入力した数量がこれまでの「モバイル棚卸数」に加算されます。

- ・ モバイル機器と同様の入力を PC で行うのが「実棚入力」機能です。
実棚入力画面はモバイル扱いとなり、「モバイル棚卸数」に反映されます。
実棚入力の設定方法については「7 - 1 [2] システム運用」をご覧ください。
- ・ 棚卸開始ユーザーでも、棚卸画面の「モバイル棚卸数」欄を直接編集することはできません。

[6] モバイル棚卸数（詳細）

モバイル機器より入力された結果は、モバイル棚卸数に反映されますが、以下の入力方法で登録したものは、「いつ」「誰が」「何か」「いくつ」入力したのかまで記録されます。

- ・ マルチデバイスオプション（アプリケーション Version1.50 以降）
- ・ 実棚入力（アプリケーション Version3.10 以降）

確認方法ですが、棚卸画面で該当の「モバイル棚卸数」項目を右クリックし、「モバイル棚卸数（詳細）」を選ぶと専用画面が表示されます。

いつ、だれが、どのような内容を入力したのかを確認することで、ピンポイントで棚卸作業を追跡できます。

また、棚卸画面でのエクスポートでは、すべてのモバイル棚卸数（詳細）の内容を、モバイル棚卸入力履歴として出力できます。

「作業者ごとのすべての入力履歴を確認したい」といったときに、ご利用ください。

ヒント！

モバイル棚卸数（詳細）画面については「6 - 1 [7] モバイル棚卸数（詳細）」をご覧ください。

[7] 外部システムの在庫データとの比較

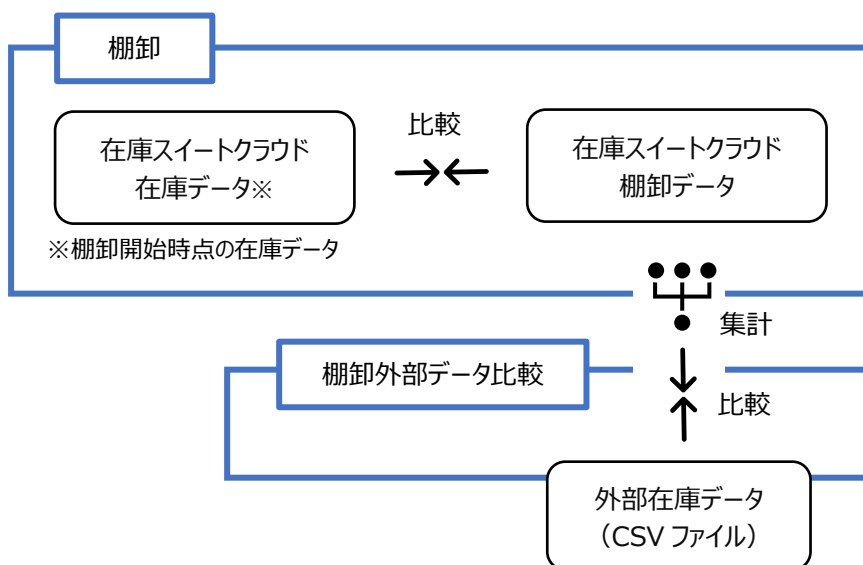
棚卸外部データ比較機能を使えば、外部システムが出力した在庫データ（CSV ファイル）と、棚卸内容を比較することができます。

多くの場合、在庫スイートクラウドでの在庫管理は外部システムの在庫管理より、細かく在庫を管理します。

（例：外部システムは「品目」で管理、在庫スイートクラウドは「品目」「ロケーション」「入荷日」で管理）
棚卸外部データ比較では、在庫スイートクラウドの棚卸内容を集計したうえで、外部データと比較を行います。

どのように集計するかは、ユーザーが柔軟に設定できます。

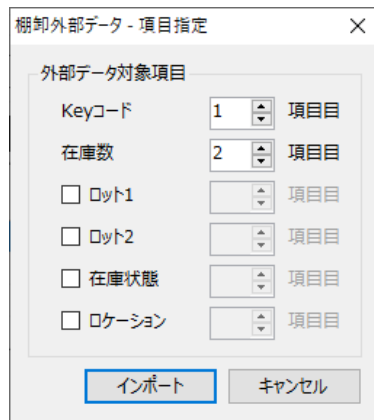
＜棚卸での在庫比較と外部データ比較のイメージ図＞



第4章 在庫管理の基本

以下の手順で利用します。

- ① 外部システムが出力した在庫データ（帳簿在庫）を準備します。形式は CSV です。
- ② 棚卸メイン画面の［外部データ比較］ボタン押下
- ③ 棚卸外部データ項目指定画面で、外部データの必要項目を指定し、①のファイルを取り込み



棚卸外部データ - 項目指定

外部データ対象項目

Keyコード 1 項目目

在庫数 2 項目目

☐ ロット1 項目目

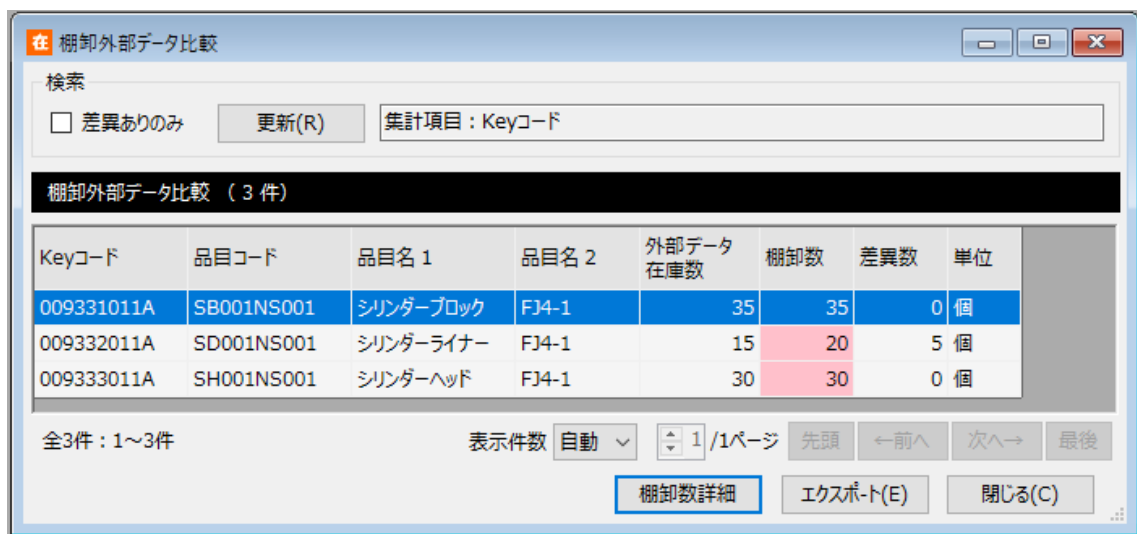
☐ ロット2 項目目

☐ 在庫状態 項目目

☐ ロケーション 項目目

インポート キャンセル

- ④ 棚卸外部データ比較画面で、③で指定した項目に沿って棚卸結果を集計し、外部データと比較（エクスポートも可能）



在 棚卸外部データ比較

検索

☐ 差異ありのみ 更新(R) 集計項目: Keyコード

棚卸外部データ比較 (3 件)

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	外部データ 在庫数	棚卸数	差異数	単位
009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	35	35	0	個
009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	15	20	5	個
009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	30	30	0	個

全3件: 1~3件 表示件数 自動 1 / 1ページ 先頭 ←前へ 次へ→ 最後

棚卸数詳細 エクスポート(E) 閉じる(C)

ヒント！

詳細については「6 - 1 [9] 棚卸外部データ比較」をご覧ください。

[8] 棚卸確定と棚卸中の入出荷について

[1] 棚卸の流れで説明したように、棚卸の確定は棚卸開始時の現品数と合計棚卸数の差異を、棚卸確定時点の在庫数に反映させることにより調整します。

よって、棚卸中に入荷登録を行っても、それらを棚卸対象から除外すれば問題はありません。

また、棚卸中に入荷した品目を出荷することも可能です。

同様に、棚卸のカウントが済んだ品目はすぐに出荷することも可能ですが、集計結果で差異（ズレ）が発生した時に現物での再確認が出来ません。

出荷証明書を記録しておくなど対策が必要となります。

この様に、システムとしては棚卸中の入出荷に対応していますが、運用は複雑になりますのでご注意ください。

[9] 棚卸日付について

棚卸画面には「棚卸日付」があります。

通常はシステム日付ですが、変更することも可能ですが、変更しても棚卸結果や在庫への反映に影響はありません。

在 棚卸

棚卸ヘッダ

棚卸番号	000000000000	棚卸日付	2020/10/19	棚卸対象	全体
倉庫	10: 自社倉庫			選択(Z)	
担当者	山田 太郎 (t_yamada)				
摘要					

4-18 在庫参照と在庫数について

[1] 在庫参照画面で確認可能な情報

在庫参照には、倉庫や品目のほかにロットやロケーション、在庫状態別といった実在庫レベルで確認できる「在庫参照（詳細）」画面と、それらを倉庫・品目別に集計した「在庫参照（品目別）」画面の2つの画面があります。

それぞれで確認できる情報は以下のとおりです。

<在庫参照 品目別・詳細での確認情報一覧>

品目別	モノ	品目（Keyコード）別
	保管場所	倉庫別
	数	現品数・出荷指示数・出荷引当数・出荷不能数・出荷可能数、入荷予定残、有効在庫
詳細	モノ	品目（Keyコード）・ロット1・ロット2・在庫状態別
	保管場所	倉庫・ロケーション別
	数	現品数・出荷引当数

[2] 品目別の現品数と出荷可能数の算出方法

品目別の現品数と各種在庫数は以下のルールに従い導かれます。

<品目別在庫参照の現品数と出荷可能数の算出ルール>

現品数	該当品目の詳細における、 ロット1・ロット2・全在庫状態・全ロケーションの現品数の合算
出荷指示数	該当品目の出荷指示伝票で組み込まれた数量の合算
出荷引当数	該当品目の出荷引当伝票で引当てられた数量の合算
出荷不能数	該当品目の詳細における、 在庫状態が「通常品」以外*1 + ロケーションが積送中 + （システム設定により）使用 期限切れの在庫 + （システム設定により）ロケーションが一括引当対象外ゾーン*2 － 在庫状態が「通常品」以外の出荷指示数
出荷可能数	品目別の、現品数 － 出荷指示数 － 出荷不能数
入荷予定残	該当品目の入荷予定伝票で組み込まれた数量の合算 + （システム設定により）未入荷の倉庫間出荷伝票の数量*3
有効在庫	品目別の、出荷可能数 + 入荷予定残

*1 通常の出荷で「出荷時の在庫状態 明細入力」があり・なしに関わらず、出荷不能数の算出方法は同じです。

*2 在庫参照（品目別）画面では、絞込条件にある「一括引当対象外を出荷不能で算出する」の指定により、一括引当対象外を出荷不能数として合算

*3 システム運用タブのメニュー表示「未入荷の倉庫間出荷」がオンの時に入荷予定残として合算

4-19 セット品について

[1] セット品とは

複数の品目で構成される品目を『セット品』と呼びます。

セット品台帳を登録すると、本アプリケーションでの伝票入力時や出荷指示／入荷予定ファイルのインポート時に展開入力が出来ます。

また、セット品とその構成品の在庫を把握できます。

[2] セット品台帳の登録イメージ

セット品台帳を登録して利用します。

予めセット品、構成品とも品目台帳に登録した後、セット品台帳にセット品の Key コード、構成品の Key コードと数量（セット品 1 個に対して必要な数量）を入力します。

例) セット品台帳登録イメージ

セット品 [品目 A]	

・品目 X	1 個
・品目 Y	2 個
・品目 Z	1 個

ヒント！

ファイルインポートでのセット品展開を行うには、システム設定の[インポート時のセット品展開]を
ONにする必要があります。

[3] セット品の展開入力について

セット品台帳を登録しておく、本アプリケーションでの伝票入力時に、セット品と数量を入力することで、構成品を一括で展開入力することが出来ます。

伝票入力時に展開入力する際は、入力補助画面を利用します。

(操作方法については、「3-2 [13] F4 キーによるセット品展開入力」をご覧ください。)

例 1) セット品の展開入力イメージ (入出荷の指示や実績、在庫調整以外の振替)

セット品 [品目 A] ×3
↓
・品目 X 3 個
・品目 Y 6 個
・品目 Z 3 個

例 2) セット品の生産展開入力イメージ (振替：在庫調整)

セット品 [品目 A] ×3
↓
・品目 A 3 個
・品目 X -3 個
・品目 Y -6 個
・品目 Z -3 個

ヒント！

展開入力ではロットやロケーションの初期値は空（なし）です。ロットやロケーション管理を行っている場合、それらを別途入力する必要があります。

振替：在庫調整でセット品、構成品それぞれのロットやロケーションを同時に入力するのが大変な場合、構成品の O U T と、セット品の I N は別で登録することをお勧めします。

構成品を展開入力する際、セット品情報を自動挿入することが出来ます。

システム設定により、挿入パターンを指定出来ます。

システム設定：セット品情報の挿入	内容
なし	セット品情報は挿入しません
摘要に挿入 *	セット品情報を摘要に挿入します。 セット品 Key コード+セット品の品目名 1・2 +【セット数】 既に摘要に設定されている情報があれば、後ろに挿入します。 ～+半角スペース 半角スペース+ セット品 Key コード+セット品の品目名 1・2 +【セット数】
品目名 1 に挿入 *	各構成品の品目名 1 に挿入します。 構成品の品目名 1 の前に挿入します。 セット品 Key コード+セット品の品目名 1・2 +【セット数】+半角スペース 半角スペース+構成品の品目名 1

*挿入した結果、各項目の最大長を超えた場合は、末尾を削除します。

[4] 在庫参照（構成品）の出荷可能数について

セット品台帳に値がセットされていると、在庫参照（構成品）画面を利用できます。
在庫参照（構成品）画面では、対象となるセット品とその構成品に関する在庫情報が確認できます。
特に構成品の出荷指示に関しては、現品数の他に、以下の 3 つの出荷指示を反映させて、出荷可能数を表示します。

- ・構成品に対する出荷指示
- ・対象のセット品に対する出荷指示
- ・構成品を含むその他のセット品に対する出荷指示

例) セット品 A に出荷指示 2、セット品 B に出荷指示 1、品目 X が現品 100 & 出荷指示 3 の場合

セット品 [品目 A] ----- ・品目 X 1 個 ・品目 Y 2 個 ・品目 Z 1 個 出荷指示 2	セット品 [品目 B] ----- ・品目 T 1 個 ・品目 X 1 個 出荷指示 1	品目 X 現品数 100 出荷指示 3
---	--	---

セット品 A の在庫参照（構成品）では、品目 X について、セット品への出荷指示も反映された出荷可能数を確認できます。

品目 X	
現品数	100
出荷指示	3 ... 品目 X に対し直接出された出荷指示数
セット展開数	2 ... セット品 A に対する出荷指示数の展開数
他セット展開数	1 ... セット品 A 以外で、X が含まれるセット品の総出荷指示数の展開数
出荷不能数	0 ... （不良品など）通常品以外の在庫状態の品目 X の数

出荷可能数	94 ... 品目 X の出荷可能数

なお、在庫参照（構成品）の画面は「5－9 [3] 在庫参照（構成品）画面」をご覧ください。

4-20 発注点割り込み警告と在庫マイナス警告

[1] 数量入力時の警告

数量の入力時には以下の2種類の警告が出る場合があります。

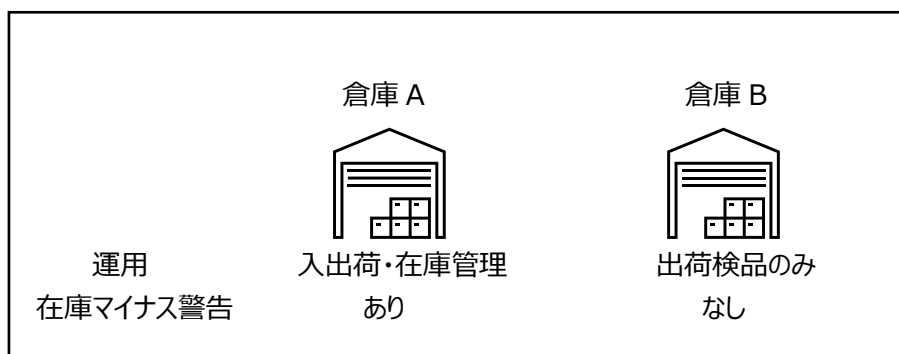
- ・ 発注点割り込み警告
品目台帳の「発注点」を設定した品目の有効在庫数が発注点数量を下回った場合、数量入力時に「発注点割り込み警告」が表示されます。
なお、発注点割り込み警告が表示されるのは、有効在庫数が発注点より多い状態から少ない状態へ減少した時のみです。
- ・ 在庫マイナス警告
品目別または詳細の現品数がマイナスの場合は、毎回警告が表示されます。

[2] 在庫マイナス警告の制御と想定運用

倉庫台帳の「在庫マイナス警告なし」をオンにした倉庫は、「数量」を入力した時も、履歴参照画面にも、在庫マイナスの警告が出ません。

「倉庫 A は在庫管理も行うが、倉庫 B は出荷検品のみ利用する」

といった運用の場合は、倉庫 B に対し「在庫マイナス警告なし」をオンにして運用します。



ヒント！

本節での在庫マイナス警告の説明は、在庫マイナス警告あり（「在庫マイナス警告なし」がオフ）の場合の内容です。

ヒント！

在庫マイナス警告なし（「在庫マイナス警告なし」がオン）の時に登録した内容は、その後、在庫マイナス警告あり（「在庫マイナス警告なし」がオフ）に変更しても、履歴参照画面には在庫マイナス警告は出ません。

[3] 警告のタイミングとチェック対象

警告は以下の2つのタイミングで表示されます。

- ・「数量」を入力した時（明細の数量欄直接入力または数量入力補助画面使用時※）
- ・伝票を登録しようとした時（伝票画面の「登録」ボタン押下時）

※数量入力補助画面で入力する場合は、補助画面に警告が表示されます。

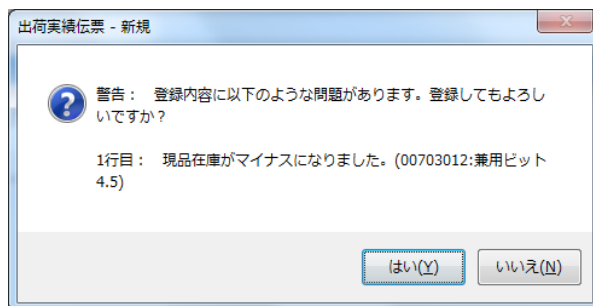
また、それぞれのタイミングではチェック方法（チェック対象）に違いがあります。

- ① 「数量」を入力した時
入力された明細だけを対象に、現在の在庫との比較を行います。
- ② 伝票を登録しようとした時
伝票全体を対象に、各明細の集計結果と現在の在庫とを比較します。

例えば、同一品目の異なるロットで2件の明細の出荷実績を登録した場合、各明細の①数量入力時に発注点割れ警告が表示されなくとも、②伝票登録時には明細2件の合計でチェックされるため発注点割れ警告が表示される可能性があります。

[4] 伝票登録時の警告

警告すべき内容が含まれる伝票を登録しようとすると、以下のような警告を表示します。

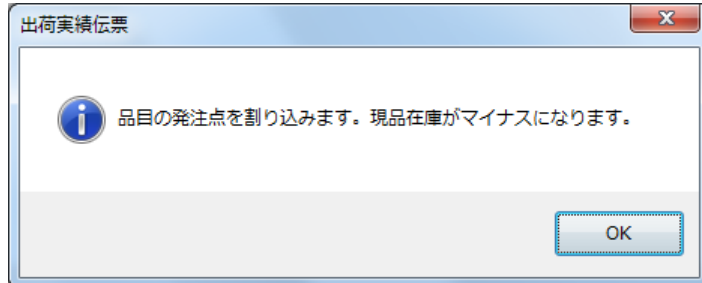


<伝票登録時の警告>

警告が表示された上で伝票を登録した場合、履歴参照画面の「警告／エラー」欄にそのメッセージが表示されます。

[5] 数量入力時の発注点割り込み警告

品目台帳の「発注点」を設定した品目の有効在庫数が発注点数量を下回った場合、数量入力時に「発注点割り込み警告」が表示されます。



＜直接入力時の警告＞

＜入力補助画面での警告＞

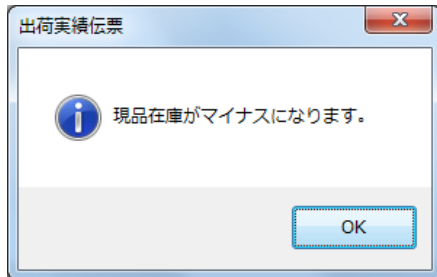
このような、発注点割り込み警告が表示された場合は、その旨を発注担当者などにご連絡されるとよいでしょう。なお、発注点割り込み警告が表示されるのは、有効在庫数が発注点より多い状態から少ない状態へ減少した時のみです。

ヒント！

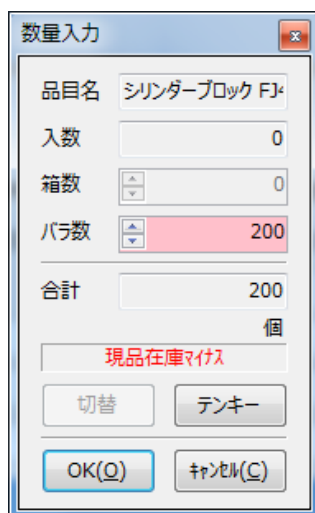
品目台帳の「発注点」は各倉庫別の設定です。

[6] 数量入力時の在庫マイナス警告

該当品目の品目別または詳細の現品数が 0 を下回った場合、画面に「在庫マイナス警告」が表示されます。



＜直接入力時の警告＞



＜入力補助画面での警告＞

在庫マイナス警告は、全ての品目に対して発生します。

在庫マイナス警告が表示された場合は、システムの運用面で何らかの問題があった可能性があります（入荷の登録忘れ、出荷数を大きい数で誤入力してしまった等）。履歴参照などを利用して確認されることをお勧めします。

在庫マイナス警告は、現品数が 0 を下回っている限り常に表示されます。

[7] 在庫参照（品目）での発注点割り込み品目の確認

発注点割り込み品目は在庫参照（品目別）画面で確認できます。

通常は現時点の発注点割れ品目を確認できますが、設定により本日割り込んだ品目のみの絞り込みにも対応できます。

詳しくは「 5 - 9 [2] 絞込条件」をご覧ください。

[8] 在庫参照（品目）「本日割り込んだ品目のみ表示」について

「 7 - 2 [4] 定期処理設定」にて、「本日割り込んだ品目のみの絞り込みを有効にする」をオンにすると、毎日深夜 0 時以降に発注点割れ品目一覧情報を保持します。

在庫参照（品目別）で「発注点割れの品目のみ表示する」「本日割り込んだ品目のみ表示する」をオンにして検索すると、発注点割れ品目一覧のうち、保持した前日の発注点割れ一覧と比較し、前日は割り込んでいなかったけれど、現時点で割り込んでいる品目一覧に絞り込みます。

[9] 発注点割れ品目の通知メール

「 7 - 2 [4] 定期処理設定」にて、「本日割り込んだ品目のみの絞り込みを有効にする」をオンにすることで、発注点割れの品目をメールで自動通知することができます。

チェックのタイミング	1 日 1 回、深夜 0 時以降に開始
宛先	「定期処理設定」で指定されたユーザーです（複数可）。 （メールアドレスはユーザー台帳で設定します。詳細は「 6 - 1 2 ユーザー台帳」をご覧ください。）
送り元	弊社サポート用アカウント(support@infusion.co.jp)
通知内容	発注点割れ品目一覧 ※定期処理設定の「発注点割れ通知内容」（すべて／本日のみ）で内容を選べます。 ※「本日のみ」としていても前日の発注点割れデータが無ければ、発注点割れの品目が「すべて」表示されます。 ※宛先のユーザーが参照可能な倉庫に限定されます。 ※通知する内容がなければ、通知メールは送信されません。

[1 0] セット構成品における発注点割り込み警告について

セット構成品の発注点割り込みも他の品目同様、在庫参照（品目別）における有効在庫数と発注点との比較です。

在庫参照（構成品）での有効在庫数ではありません。

4-2-1 ユーザー台帳と権限

[1] ユーザーの登録

在庫スイートクラウドは起動時に必ずログイン画面が表示され、「グループ ID」「ユーザー」「パスワード」を入力して利用します。

予めユーザー台帳にて使用ユーザーを登録する必要があります。

[2] 権限と実行可能な機能

各ユーザーには「システム管理者」「物流担当者」「現場作業員」「参照のみ」「仕入先担当者」のいずれかの権限を設定します。権限により、実行できる機能が決定されます。

(登録機能：○ = 登録・参照 △ = 参照のみ × = 登録・参照不可)

(参照機能：○ = 参照 × = 参照不可)

機能 権限	システム 管理 (※1)	台帳 データ (※2)	集計・ 分析	入荷予定 出荷指示 伝票	実績 伝票	棚卸 (※3)	在庫参照 履歴参照	現品票 発行
システム 管理者	○	○	○	○	○	○	○	○
物流 担当者	×	○	○	○	○	○	○	○
現場 作業員	×	×	×	△	○	○	○	○
参照のみ	×	△	○	△	△	△	○	○
仕入先 担当者	×	×	×	×	×	×	×	○

※1 システム管理とは「システム設定」と「IP アドレス制限設定／配送予定データ設定／配送番号反映設定／データバックアップ／リストア／データ整理／運用状況確認／クライアントログ保存／アクセスログ」を指します。(クライアントログ保存のみ、物流担当者も実行可能です)

※2 例外として、ユーザー台帳はシステム管理者のみが参照及び登録できます。

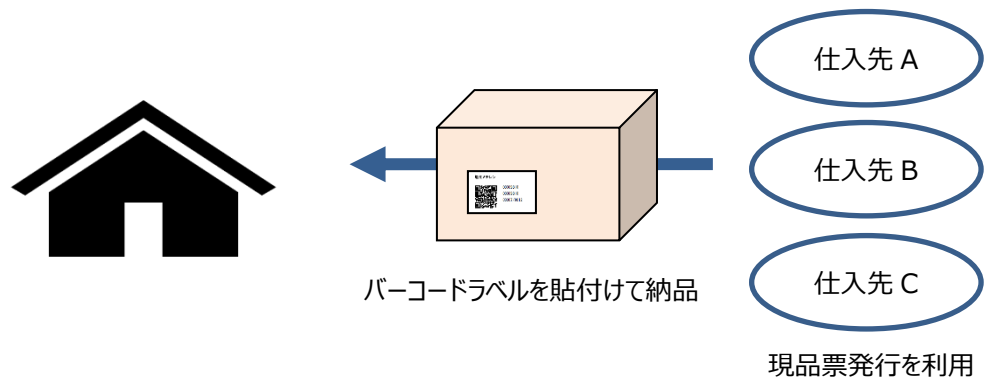
※3 棚卸の開始と確定はシステム管理者と物流担当者のみ可能です。

[3] システム管理者権限ユーザーの削除について

本サービスを運用するにあたり、1 名以上のシステム管理者権限ユーザーが必要です。ユーザーの削除や権限変更を行う結果、システム管理者権限ユーザーが居なくなる様な処理は受け付けられません。

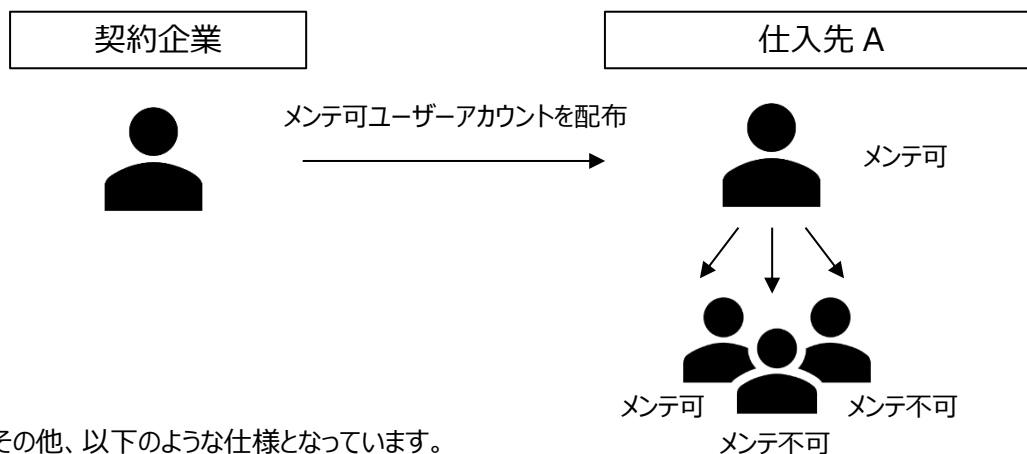
[4] 仕入先担当者権限について

仕入先担当者権限は、自社管理用のバーコードラベルの発行・貼付を仕入先に依頼するため、在庫スイトクラウドの現品票発行機能を仕入先に安全に提供することを想定したユーザー権限です。



本システムは、利用する方おひとりずつにユーザーIDとパスワードを設定して利用します。しかし、各仕入先のユーザーまで契約企業側がメンテナンスすると負担が大きくなることがあります。そのため、仕入先担当者権限のユーザーには「同一仕入先担当者のメンテナンス」の可／不可が設定できます。

契約企業側は、仕入先に対し「同一仕入先担当者のメンテナンス可」の1ユーザーを最初に提供すれば、その後は仕入先側で自社ユーザーの追加・変更・削除が可能となります。



その他、以下のような仕様となっています。

- ・ 仕入先別の最大ユーザー数をシステム設定に設定します。
- ・ 仕入先担当者によるユーザーメンテナンスは PC 操作のみです。（インポート／エクスポートは不可）
- ・ 仕入先担当者に品目一覧や在庫一覧を見せたくない場合を想定し、入力補助利用の有無を設定できます。

[5] ユーザー権限設定のポイント

ここまで記述してきた権限と所属倉庫設定のポイントをまとめます。

参照制限（参照・エクスポート）

- (1) 台帳データを参照できるか？

「現場作業者」は台帳の参照はできません。

- (2) システム設定とユーザー台帳を参照できるか？

ユーザー権限が「システム管理者」の場合のみ、参照できます。

- (3) どの倉庫の情報を参照できるのか？

「全倉庫」所属のユーザーは全ての倉庫を参照できます。

1つの特定倉庫または複数の倉庫に所属しているユーザーは、自身の所属倉庫のみ参照できます。

但し、[全倉庫参照可] がONの場合は全ての倉庫を参照できます。

書込制限（登録・インポート）

- (1) 実績伝票を登録できるか？

ユーザー権限が「システム管理者」「物流担当者」「現場作業者」の場合登録ができます。

- (2) 台帳を登録できるか？

ユーザー権限が「システム管理者」と「物流担当者」のみ、台帳の登録ができます。

- (3) システム設定・ユーザー台帳を登録できるか？

ユーザー権限が「システム管理者」の場合のみ、システム設定とユーザー台帳の登録ができます。

- (4) どの倉庫に対して登録できるのか？

「全倉庫」所属のユーザーは全ての倉庫に対して登録ができます。

1つの特定倉庫または複数の倉庫に所属しているユーザーは、自身の所属倉庫に対してのみ登録ができます。

※モバイルオプション及びメモリHT 中継ソフトは、複数の倉庫に所属しているユーザーによる登録に対応しておりません。

現品票発行以外の制限

- (1) 現品票発行機能だけを利用させたいか？

ユーザー権限が「仕入先担当者」の場合は、現品票発行機能だけが利用できます。

4-2-2 品目を特定するバーコードとその設定

【1】標準検索項目と専用検索項目

品目台帳の項目のうち、品目を特定するバーコード（品目バーコード）として扱われる項目は「Key コード」が基本です。

設定を変更することで「品目コード」にすることもできます。

この2項目が「標準検索項目」であり、これらは常に PC 画面に表示されます。

また、マルチデバイスオプションを加入すれば、同一品目に複数の JAN コードが存在する場合や、ITF/GS1(GTIN-14)で複数の梱包インジケータが存在する場合など、より複雑な検索にも対応できます。

設定を変更することで、各品目に JAN/UPC を最大 3 つ、ITF/GS1(GTIN-14)を最大 3 つ登録でき、それぞれに入数が設定でき、これらを「専用検索項目」と呼びます。

マルチデバイスオプションによるハンディターミナルやスマートフォンは、流通用バーコード（JAN や ITF、GS1-128 や GS1-Databar など）を読み取った際にバーコード種別を識別し、専用項目を検索します。

専用検索項目は、PC 画面には表示されません。

<標準検索項目>

- ・Key コード
- ・品目コード
- ※PC での表示 & 検索あり

<専用検索項目>

- ・JAN/UPC 1～3
- ・ITF/GS1(GTIN-14) 1～3
- ※マルチデバイスオプションのみ検索可
- ※PC での表示 & 検索なし

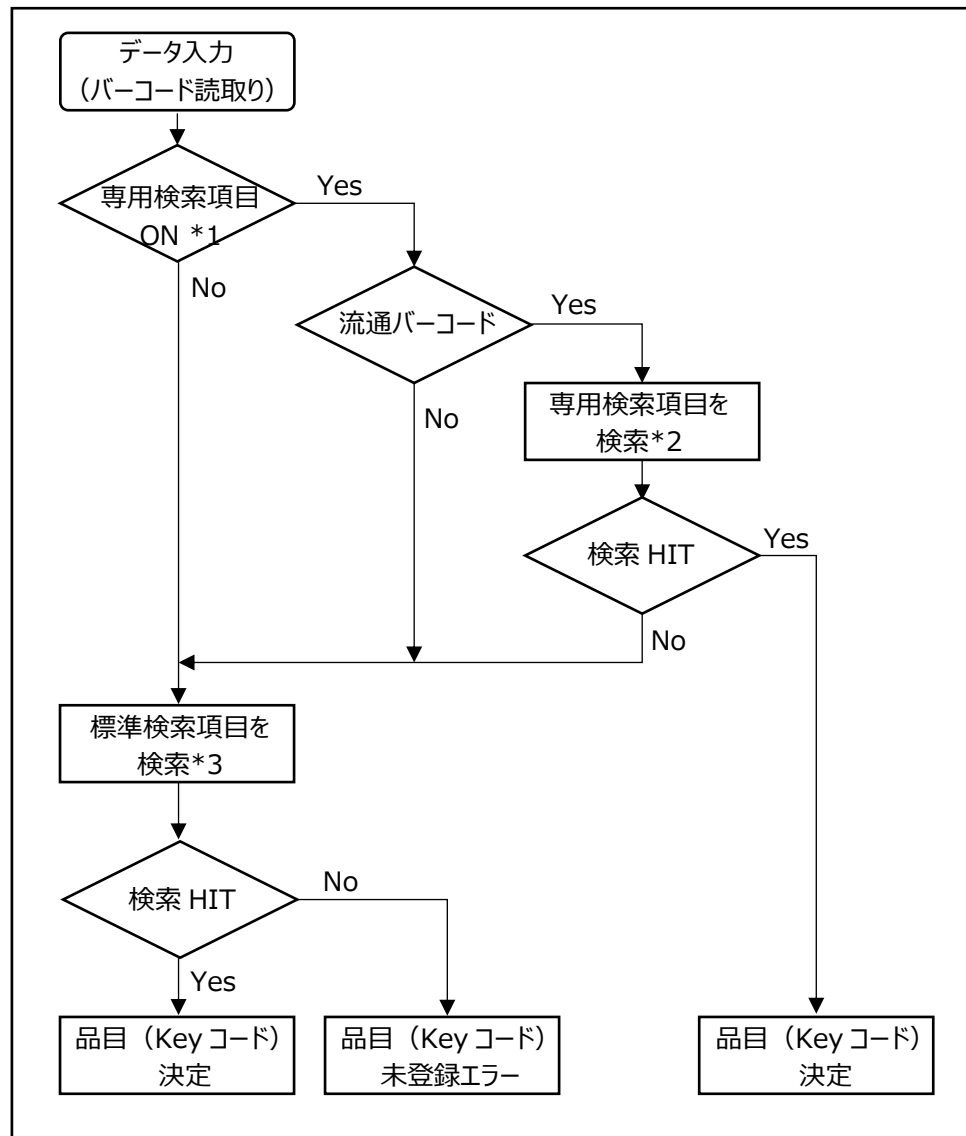
ヒント！

スマートフォンでも Bluetooth バーコードスキャナー経由での入力はキーボード扱いとなります。キー取込でもデータの内容より GTIN-12（UPC）、GTIN-13（JAN/EAN）、GTIN-14（ITF、GS1-128、GS1-Databar）の判定を行い、専用検索項目を利用することができます。その場合は、システム設定のモバイル(拡張)タブの「流通バーコード自動判定を有効にする」を ON に設定してください。

ヒント！

JAN/UPC の場合は、専用項目のほかに標準検索項目もあわせて検索します。

「標準検索項目」と「専用検索項目」の検索の流れは、以下の通りです。



- *1 専用検索項目を使用される場合は、システム設定の変更が必要です。
 [システム設定] > [モバイル(拡張)タブ] > [専用検索項目の利用]の
 「品目台帳-JAN/UPC」や「品目台帳- ITF/GS1(GTIN-14)」を ON にしてください。

第4章 在庫管理の基本

- *2 専用検索項目が「ON」の場合に、流通用バーコード（JAN や ITF など）を読み取るとシステムがバーコード種別を判定し、品目台帳の専用検索項目を検索します。

なお、バーコード種別の判断は、バーコード取込方式によって異なります。

（使用するデバイスなどにより方式が異なります）

- ・ 直接取込：JAN や ITF などのバーコード種別の情報も取り込み判定します。
- ・ キー取込：バーコードのデータ形式（桁数など）でバーコード種別を判定します。

キー取込の場合は、システム設定を変更が必要です。

〔システム設定〕＞〔モバイル(拡張)タブ〕＞

〔流通バーコード自動判定を有効にする〕を ON にしてください。

※バーコード取込の詳細は、「4－3〔1〕2つのバーコード取込方式とバーコード種による違い」で確認できます。

- *3 標準検索項目では、Key コード or 品目コードを選択し検索します。

なお、専用検索項目がヒットせず、標準検索項目を検索した場合は、システム設定の標準検索項目で設定している項目を検索します。

[2] 品目台帳への JAN の設定項目

JAN をどの品目台帳のどの項目に設定すべきかは、上位システムのデータの持ち方や、取り扱いアイテムの特性により判断します。

いくつかの例を掲載しますので、参考にしてください。

状況	本アプリケーションの設定項目
上位システムの商品マスターは、Key コードに JAN を設定している	品目台帳の Key コードに JAN を設定 (上位システムに合わせる)
上位システムの商品マスターは、Key コードとして社内コード、別項目 (1 項目) に JAN を設定している	PC 画面に表示させたい、または PC でも JAN を検索したい場合は、品目コードに JAN を設定。 そうでなければ、専用検索項目に JAN を設定。
1 つのアイテムに複数の JAN を設定する必要がある。(新・旧の JAN 対応)	専用検索項目に JAN を設定 (最大 3 つまで設定可能)

ヒント！

バーコード現品票や帳票 (バーコードあり) で印字されるバーコードは、内容は Key コードまたは品目コード (システム設定による)、バーコード種別は CODE-128 です。

マルチデバイスオプションでは、バーコード種別を判断し、検索する項目を自動的に切り替えるため、JAN もそれらのバーコードも問題なく扱えます。

[3] 専用検索項目へのデータ設定

JAN/UPC には、JAN(13 桁)・JAN 短縮(8 桁)・UPC-A(12 桁)・UPC-E(8 桁)のいずれかの値を設定します。

ITF/GS1(GTIN-14)には、GTIN-14(14 桁)を設定します。

[4] GS1 アプリケーション識別子への対応

GS1-128/GS1 Databar をハンディターミナルやスマートフォン（マルチデバイスオプション）で読み取ることで、GS1 アプリケーション識別子から品目やロットなどの入力を一括で行います。

対応する識別子は以下の通りです。

アプリケーション 識別子(AI)	内容	在庫スイートクラウド 対応項目
(01)	14 桁	ITF/GS1(GTIN-14)
(17)	「有効期限(6 桁)」※1	ロット 1
(30)	「数量(最大 8 桁)」※1	数量
(10)	「ロット(最大 20 桁)」※1 ※2	ロット 2
(21)	「シリアル(最大 20 桁)」※1 ※2	ロット 2

※1 GS1-128/GS1 Databar に情報が含まれている場合のみ、入力されます。

※2 「ロット」と「シリアル」の両方とも GS1-128/GS1 Databar バーコードに含まれている場合、ロット 2 には、「LOT123 / 00123」のように"/"で区切って入力します。

ヒント！

GS1-128 は、情報量が多い場合や表示スペースが小さい場合に 2 段バーコードになるケースがあります。

マルチデバイスオプションでは、GS1-128 の 2 段バーコード読み取りに対応しています。

読み取り可能な GS1-128 の 2 段バーコードの条件は以下の通りです。

- ・1 段目 先頭の AI が(01) かつ (17)(10)(21)が含まれない
- ・2 段目 先頭の AI が(17)

〔5〕本アプリで発行する品目バーコード

本アプリで発行する品目バーコードを含むラベルや帳票は大きく3つあります。

- (1) バーコードラベル
現品票発行画面より発行するバーコードラベルです。
- (2) 品目バーコード一覧
品目台帳一覧画面より発行する帳票です。
- (3) 入荷・出荷・振替 関連帳票
入荷・出荷・振替 関連帳票「～（バーコードあり）」では、明細ごとにバーコードを印字します。

バーコード化される内容は、システム設定により Key コードまたは品目コードから選べます。

4-23 現品票

[1] 現品票とは

在庫スイートクラウドでは、棚や通い箱、現物に「現品票」を貼り付けハンディターミナルやバーコードスキャナーで読み取ることで、作業時の品目・ロットなどの入力の手間を省き、かつ正確に入力することができます。

現品票には QR コード・バーコードの2種類があり、タックシールまたはラベルプリンター（指定機種）で発行できます。

<バーコード現品票>



<QRコード現品票>

ラベル入数の印字なし



ラベル入数の印字あり



ヒント！

現品票の QR コードにはラベル入数情報もセットすることができます。（セットは任意）
セットすると、数量の初期値として表示されるため、入荷から出荷まで開封されないアイテムの管理に便利です。

なお、セットしたラベル入数の印字の有無は、印刷時に選択できます。

第4章 在庫管理の基本

対応するラベルサイズは、1 - 4 帳票一覧をご参照ください。

また、対応するタックシールやラベルプリンターはオンラインサポートに随時掲載しています。

ヒント！

対応するタックシールのメーカー型番や、ラベルプリンター対応機種・対応ラベルは、オンラインサポート「構築情報」にてご覧ください。

<http://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/system.htm>

[2] 現品票の発行方法

現品票の発行は「現品票発行」画面から行います（メニュー [作業] → [入荷] → [現品票発行]）。

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	ロット 1	ロット 2	ラベル入数	枚数
WK 1821	24902710606407	15 A・20 A 兼用角型コンセント				1	3

<発行内容の入力>

この画面で、発行する現品票の内容と枚数を入力します。

入力する方法は以下の4通りがあります。

① 現品票発行画面での直接入力

伝票入力画面と同様の入力補助機能を使用できます（F4:品目、F3:在庫）。

各セルは自由に編集することができます。

QRコード現品票を発行する場合は必要な項目全てを入力してください。

バーコード現品票を発行する場合は [Keyコード] [品目名 1] [品目名 2] [枚数] を入力してください。（その他の欄を入力してもバーコード現品票には含まれません。）

② 伝票からの転記

入荷予定伝票、入荷実績伝票、出荷指示伝票、出荷引当伝票、出荷実績伝票の一覧画面にある [一括処理] ボタン→ [現品票へ転記] ボタン→ [現品票へ転記] 画面が表示される→ [OK] ボタンを押すことで、[現品票へ転記] 画面の選択に基づき、内容を現品票データに変換して発行画面を開くことができます。

③ インポート

現品票発行画面で CSV ファイルをインポートすることができます。

別のシステムと連携して入荷前に現品票を発行する際に便利です。

④ QRコード現品票読み込みによる入力

既に発行している QRコード現品票を読み込んで入力することができます。

同じ QRコード現品票の追加発行などに便利です。

<発行>

発行内容と枚数の入力後、印刷ボタンを押して現品票を印刷します。

ここで種類やサイズの選択と、印刷位置の指定等が可能です。

ヒント！

本アプリケーションで発行するバーコードは、システム設定により [Key コード] または [品目コード] です。なお、QR コードは常に Key コードです。

ヒント！

QR コード現品票を発行するには、システム設定＞[入力]タブ＞[特殊バーコード読み取り] [QR コード現品票]を ON にする必要があります。

ヒント！

システム設定でロット 1 やロット 2 を入荷日に設定することで、品目確定時に自動的に当日の日付が入力されます。

ヒント！

在庫スイートクラウドから現品票を発行せず、外部ツールで現品票を発行したい場合は、エクスポート機能をご利用ください。

この時、「QR コード用」で始まるファイル形式を選択すると、QR コード化している内容を含みます。一般的なラベル発行ソフトではこの形式のファイルを元にして同内容の QR コードが印刷しやすくなります。

注意！

ラベル印刷ではバーコードがラベル幅に収まるようにサイズを自動調整して印刷します。このため、バーコードの桁数が多いほど印刷が細くなり、スキャナーで読み取れなくなる可能性があります。プリンターの印字品質や読み取り機器の性能によるため一概には言えませんが、44 面ラベルではバーコード 15 桁程度までを目安としてください。

ヒント！

帳票やタックシールでのラベル発行では「通常使うプリンター」が指定されますが、ラベルプリンター発行では PC (アカウント) ・レイアウト毎に前回発行したプリンタードライバーが指定されます。

[3] シリアル現品票

シリアル付の現品票を発行することもでき、これを「シリアル現品票」と呼びます。

シリアルは、複数の PC で発行してもユニークになるよう、以下のようなルールで発番されます。

シリアル発番ルール
発行場所倉庫コード+YY(西暦下 2 桁)+M(月 1 桁)+通し番号
※M は、1～9 月 = 1～9、10 月=A,11 月=B,12 月=C
※通し番号は、発行毎に 1 増え、月が替わることにリセットされます。
通し番号の桁数はシステム設定で指定しますが、超えた場合は指定以上の桁数となります。

発行方法は、バーコード現品票とほぼ同じです。

但し、インポートやエクスポートはありません。

シリアル現品票には Key コードとシリアルの 2 つの情報が入っています。

バーコードと QR コードいずれでも発行できます。

ヒント！

シリアル現品票を発行するには、システム設定＞[帳票]タブ＞[現品票発行]
[シリアル現品票を利用する]を ON にする必要があります。

ヒント！

シリアル現品票のバーコードは、システム設定に関わらず Key コードがコード化されます。

ヒント！

バックアップファイルをリストアしても発番情報は引継がれます。
リストアしても、古いシリアルを発行することはありません。

注意！

シリアル現品票は発行機能だけの提供です。

シリアル現品票を活用してユニークな管理をしたい場合は専用アプリが必要となります。

4-24 独自バーコード

〔1〕独自バーコードとは

Key コードやロットなど、1つのバーコード／QR コードに各ユーザー独自のルールに従い、複数の情報を含めて運用されることがあります。

固定長または区切り文字によるルールを設定することで、本サービスの対応項目にセットさせることができます。

そうしたバーコード／QR コードを「独自バーコード」と呼びます。

例) 先頭 10 桁が Key コード、11 桁目から最後までがロット 1



〔2〕対応項目

独自バーコードで設定できる対応項目は以下の 4 項目です。

なお、品目を特定するために入力するコード（設定により Key コードまたは品目コード）は必ず含んでいる必要があります。

	項目名	必須	備考
1	Key コードまたは品目コード	○	品目バーコード読み取り検索項目の内容
2	ロット 1		
3	ロット 2		
4	数量		

[3] データ加工

独自バーコードを対応項目に分割した後、以下の様にスペースの除去が行われます。

また、システム設定により0の除去や小数点の挿入が可能です。

	項目名	固定長	可変長
1	Keyコードまたは品目コード	・ 前後のスペースを除去 ・ システム設定により先頭の0を除去が可能	・ 後ろのスペースを除去
2	ロット1	・ 前後のスペースを除去	
3	ロット2	・ 前後のスペースを除去	
4	数量	・ 前後のスペースを除去 ・ システム設定により小数点の挿入が可能	・ 前後のスペースを除去

ヒント！

QRコード現品票、独自バーコード対応はシステム設定により無効にできます。
利用しない場合は、無効にしてください。

4 - 2 5 推奨ロケーション

[1] 推奨ロケーションとは

「推奨ロケーション」は、品目毎の望ましい置き場所（ロケーション）を設定し、作業時にそれを通知する機能です。主に固定ロケーションで運用されている方に有効です。

推奨ロケーションを設定した場合、具体的には以下の効果があります。

＜入荷・振替・出荷の実績入力時に画面に推奨ロケーションを表示＞

これらの画面で品目が入力された際、その品目に推奨ロケーションが設定されていた場合、ロケーション欄に推奨ロケーションを初期値として表示させることができます。

この機能はシステム設定で ON / OFF を切り替えることができます（後述）。

なお、以下のような制限事項があります。

- ・品目より先にロケーションが入力されていた場合は、推奨ロケーションは表示しません。（上書きしません）
- ・振替の「ロケーション移動」の場合は「移動先ロケーション」に推奨ロケーションを表示します。

＜優先的な出荷引当＞

自動引当の際、ロット 1、ロット 2 が同じ在庫が複数のロケーションに存在している場合に、推奨ロケーションにある在庫が優先的に引当られます。（詳しくは「4 - 9 [3] 自動引当ルール」をご覧ください）

[2] 推奨ロケーションの設定

推奨ロケーションに関する設定には、各品目に対する推奨ロケーション自体の設定と、それを適用する作業（入荷・入荷返品・出荷・出荷返品・振替）の設定とがあります。

＜品目毎の「推奨ロケーション」の設定＞

品目台帳で「推奨ロケーション」を設定します。

＜伝票入力時の推奨ロケーションの適用対象の設定＞

入荷・入荷返品・出荷・出荷返品・振替のそれぞれに対し個別に設定できます。

設定を ON にした作業に対してのみ、伝票入力時の推奨ロケーションの表示機能が有効になります。

設定はシステム設定 [[ツール] → [システム設定] → [入力] → [伝票入力時の推奨ロケーションの適用]) で行います。

4-26 荷姿管理と入数

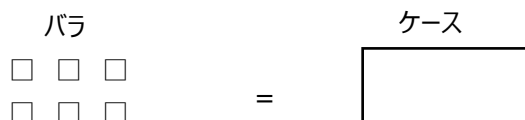
本システムは1つのアイテムで管理する単位は1つです。

バラとケースのように複数の単位で在庫管理する場合は Key コードを分けて管理します。

[1] 荷姿管理と品目台帳

例えば荷姿が「バラ」「ケース」の2種類ある場合を考えます。

バラを6個集めると1ケースとなる場合、このバラの品目の（ケース）入数は6となります。



入数=6

在庫スイートクラウドでは荷姿毎に品目台帳を登録することで、管理が可能です。

設定のポイントは以下に示します。

- ・ [Key コード] には荷姿毎に異なるコードを設定
- ・ 在庫参照や履歴参照で荷姿違いの同一品を確認しやすくするため、品目名などで同一情報を設定
- ・ 荷姿の小さいほうには（ケース）入数を設定

例)

Key コード	品目 CD	品目名 1	入数	単位
C12345	4909419891	チョコBOXABC	6	個
C12345-1	4909982413	チョコBOXABC	10 個入	ケース

[2] 荷姿の変更

上記例で、バラ1個を出荷する際にケース在庫しかない場合、ケースをバラすることがあります。

これを荷姿変更と呼びます。

在庫スイートクラウドにおいて、荷姿変更を行うには、在庫調整でケース情報をマイナスし、バラ情報をプラスしてください。

4 - 2 7 画像表示と設定

【1】表示できる画像数と表示領域

在庫参照画面や履歴画面などに、商品画像を表示させることができます。

各品目には最大3つの画像と1つのサムネイル画像を指定することができます。

表示領域は、

- ・画像1～3の表示領域は任意
- ・サムネイル画像の表示領域は大（128×128ピクセル）、中（96×96ピクセル）、小（64×64ピクセル）で選択できます。

元画像が表示領域と異なる場合は、画像を拡大または縮小して表示します。

扱える画像形式は、JPEG（JPG）、PNG、GIFです。

表示できる画像には、画像の保存場所の違いで外部サーバーを利用する「リンク画像」と、オプションにより追加したストレージを利用する「ストレージ画像」の2種類あり、それぞれ、設定方法が異なります。

＜画像に関する概要＞

1品目の画像数	最大3画像＋1つのサムネイル画像
画像表示領域	画像1～3は任意 サムネイル画像は大（128×128ピクセル）、中（96×96ピクセル）、小（64×64ピクセル）で選択
画像サイズ	必要以上に画像サイズが大きいと表示が遅くなることがありますので、適切な画像サイズで利用することをお勧めします。 マルチデバイスオプションで表示する場合、推奨サイズは500KBです。 画像サイズが大きいと表示されなくなることがあります。
扱える形式	JPEG（JPG）、PNG、GIF
画像の保存場所	・外部サーバーに保存 ・オプション（有償）により提供するストレージに保存 の2種類

[2] リンク画像

リンク画像とは、本システム以外の外部サーバーに配置されている画像です。

外部サーバーに直接リンクすることで表示します。

設定方法は、品目台帳に画像 URL を設定します。

画像 URL には、Web サーバー（Http サーバー）経由でアクセスできる画像への URL を指定してください。

The image displays two overlapping screenshots of a software window titled "品目台帳 - 参照" (Item Ledger - Reference).

The left screenshot shows the "登録内容" (Registration Content) tab. It contains various input fields for item information:

- Keyコード: 009331011A
- 品目コード: SB001NS001
- 品目名 1: シリンダーブロック
- 品目名 2: FJ4-1
- カナ: シリンダーブロックFJ4-1
- 略称:
- 品目分類: 01:自動車部品
- 推奨ロケーション:
- 単位: 個
- 単価: ¥182.00
- 標準原単価: ¥142.00
- 発注点:
- 入数:

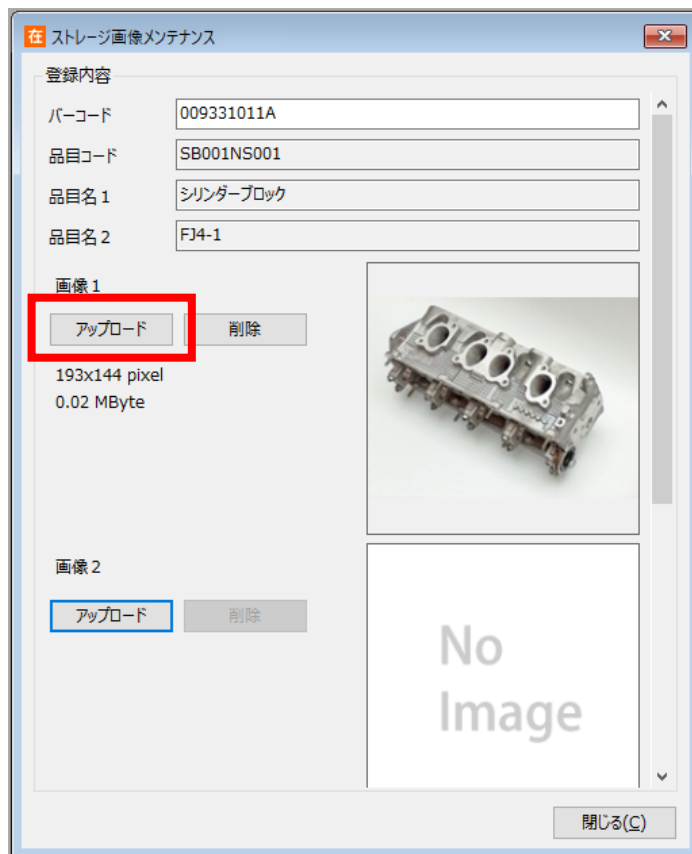
The right screenshot shows the "登録内容" (Registration Content) tab with the "Image 1" (画像 1) and "Image 2" (画像 2) sections. Both sections have a red box highlighting the URL input field, which contains the text: http://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/trial_sampledata/009.

The "Image 1" section also displays a thumbnail image of a cylinder head. The "Image 2" section has an empty thumbnail area.

Both screenshots have buttons at the bottom: "登録(R)" (Register), "コピー(Q)" (Copy), and "削除(D)" (Delete). The right screenshot also has a "閉じる(C)" (Close) button.

[3] ストレージ画像

ストレージ画像は、本システムの「画像ストレージオプション」を契約することで扱える画像です。
画像用ストレージが提供され、本アプリケーションの専用画面から画像をアップロードして扱います。



ヒント！

画像 1 ～ 3 やサムネイル画像にリンク画像が設定されていれば、ストレージ画像はアップロードできません。品目台帳のリンク設定をクリアしてから、アップロードしてください。

同じく、画像 1 ～ 3 やサムネイル画像にストレージ画像が設定されていれば、品目台帳へのリンク設定はできません。専用画面でストレージ画像を削除してから、品目台帳にリンク設定をしてください。

ヒント！

画像 1 ～ 3 やサムネイル画像の設定可能なサイズは、10MB までです。
容量が 10MB を超える画像は、リサイズしてからアップロードしてください。

注意！

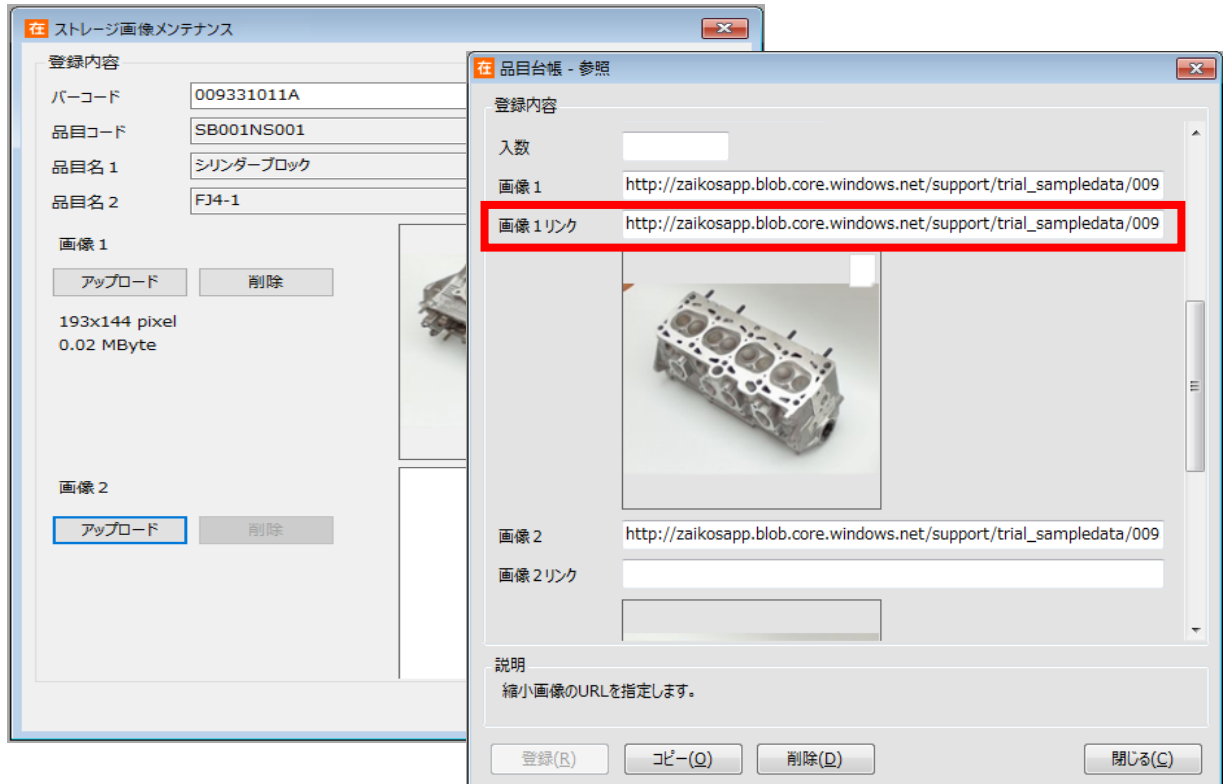
Key コードに「/」(スラッシュ)が含まれる場合は利用できません。
また、「%」(パーセント)が含まれる場合、その後に続く文字により利用できない場合があります。

[4] 画像へのリンク

リンク画像、ストレージ画像問わず、各画像には個別にリンクを設定することも出来ます。

設定方法は、品目台帳に設定します。

メーカー商品ページを設定するなど活用頂けます。



[5] サムネイル画像とポップアップ画面

在庫参照画面と履歴画面、品目台帳一覧には、画像表示が可能です。

条件指定画面の「画像を表示する」にチェックを入れることで、一覧画面にサムネイル画像が表示されます。

サムネイル画像を右クリックするとサムネイル画像サイズを選択出来ます。

在庫参照 (品目別)

検索

校正検索(L) 更新(R) 倉庫: 10:東京倉庫 / 品目分類: 01:自動車部品 / 画像を表示する

在庫参照 (品目別) - 検索結果 (4 件)

倉庫	Keyコード	品目コード	品目名1	品目名2	分類	画像	現品数	出荷 不能数	出荷 可能数	発注点	単位
10:東京倉庫	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品		1,488	3	1,185		個
10:東京倉庫	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01:自動車部品		150		150		個
10:東京倉庫	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01:自動車部品		100		100		個
10:東京倉庫	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品	No Image	578		338		個

詳細(B) エクスポート(E) 印刷(P) 閉じる(C)

ヒント！

在庫参照画面で、全品目を対象にサムネイル画像を表示させたい場合は、「在庫の無い品目も表示する」にもチェックします。また、複数倉庫の場合は、いずれかの倉庫を指定します。

在庫参照 (品目別) - 条件指定

検索条件

倉庫: 10:東京倉庫

Keyコード: ~

品目コード: ~

品目名1/品目名2: ~

品目分類: 01:自動車部品

☒ 在庫の無い品目も表示する ☒ 画像を表示する

☐ 発注点割れの品目のみ表示する

条件クリア(R) OK キャンセル(C)

第4章 在庫管理の基本

サムネイル画像をクリック（またはタッチ）すると、ポップアップ画面で画像または品目台帳情報が表示されます。（表示される画面はシステム設定で決まります）

ポップアップ画面（画像のみ）の場合、他の画像があれば矢印マーク、リンクが設定されていればリンクマークが表示されます。

矢印マークをクリックすると、画像が切り替わります。

リンクマークをクリックすると、リンク先情報が表示されます。

表示位置やサイズの変更が可能です。

表示位置や画像サイズは、Windows の（ユーザー）アカウント毎に記憶されます。

また、右クリックで、表示方法を「ウインドウに合わせる」「実際のサイズ」のいずれかに設定できます。



<ポップアップ画面（画像のみ）>

第4章 在庫管理の基本

ポップアップ画面（品目台帳情報）の場合、品目台帳の情報と共に、サムネイル画像と3つの画像が表示されます。

リンクが設定されていればリンクマークが表示されます。

画像 1～3 をクリック（またはタッチ）すると、ポップアップ画面で画像が表示されます。

ポップアップ画面（品目台帳情報）は、表示位置の変更が可能です。

表示位置や画像サイズは、Windows の（ユーザー）アカウント毎に記憶されます。

<ポップアップ画面（品目台帳情報）>

4－28 使用期限管理

〔1〕使用期限とは

本システムにおける「使用期限」は在庫を出荷できる期限です。

以下の機能より、使用期限切れ在庫の管理をおこない、出荷を禁止します。

- 出荷時の期限切れチェック（指示、引当含む）
- 在庫参照(品目別)の期限切れ出荷不能カウント、在庫参照(詳細)の期限切れ検索
- 期限切れ在庫の通知メール
- 期限切れ在庫の自動振替

〔2〕使用期限の前提条件・判定条件

本システムでは、ロット1またはロット2の用途を使用期限に指定することで、使用期限切れを管理します。

用途を「使用期限」に設定されたロット（以後、「対象ロット」と呼ばます）は、「YYYY/MM/DD」と「YYYY/MM」に統一されていることが前提です。（混在可）

使用期限切れ判定方法は、以下のとおりです。

- 対象ロットが、システム日付より古い日付のものを「期限切れ」とします。
但し、出荷指示伝票、出荷引当伝票、出荷検品／実績伝票（伝票区分＝返品、倉庫間出荷を除く）では、伝票日付より古い日付のものを「期限切れ」とします。
- 対象ロットの日付形式が「YYYY/MM」の場合は、月末として判定します。
例：対象ロットが「2020/11」の場合、
2020年11月30日までは期限内
2020年12月01日からは期限切れ
- 対象ロットが空の場合は判定しません（＝期限切れではありません）。
- 対象ロットが日付形式（＝YYYY/MM/DD または YYYY/MM）でない場合、単純な文字列比較で判定します。

例：システム日付（または伝票日付）が2021年3月20日の場合、

"3"	> "2021/03/20"	→ 期限内
"1"	< "2021/03/20"	→ 期限切れ
"11/25"	< "2021/03/20"	→ 期限切れ

[3] 使用期限に関する設定

本システムで使用期限を管理するには、システム設定でロット1またはロット2の入力形式を日付形式（「YYYY/MM/DD」、「YYYY/MM」、「YYYY/MM/DD & YYYY/MM」のいずれか）にした上で、用途を「使用期限」に設定してください。

システム設定

自社情報 システム運用 項目名 表示 入力 帳票 モバイル モバイル

品目バーコード読み取り
標準検索項目 Keyコード

特殊品目バーコード読み取り(I)
☒ QRコード現品票
☐ 独自バーコード

入力補助(I)
形式 用途
日付入力 ロット1 YYYY/MM/DD 使用期限
ロット2 なし (カレンダー入力補助あり)

伝票入力時の推奨ロケーションの適用(L)
適用対象の伝票 ☒ 入荷 ☐ 入荷返品
☒ 出荷 ☐ 出荷返品
☐ 振替

伝票コピー(C)
☒ 伝票コピー機能を有効にする

セット品展開入力
セット品展開の種別 検索に連入

説明

OK キャンセル(C) 適用(A)

また、期限切れ在庫のメール通知や自動振替を行うには、上記のシステム設定を行った後、「定期処理設定」にて通知先ユーザー等の設定を行ってください。
なお、通知先に設定するユーザーはメールアドレスが設定されている必要があります。

定期処理設定

発注点割れ
☒ 本日割り込んだ品目のみの絞り込みを有効にする

使用期限切れ
☒ 期限切れ在庫の自動振替
変更後状態 不良品

メール通知
通知内容
☒ 発注点割れ在庫
発注点割れ内容 本日のみ
☒ 使用期限切れ在庫

通知先ユーザー (最大10人)

ユーザー	所属倉庫	メールアドレス
▶ 鈴木 一郎 (i_suzuki)	全倉庫	i_suzuki@infusion.co.jp

追加(A)... 削除(D)

説明

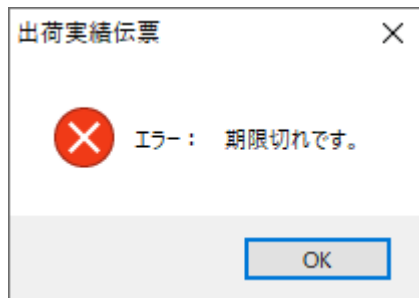
OK キャンセル(C)

[4] 出荷での使用期限切れチェック

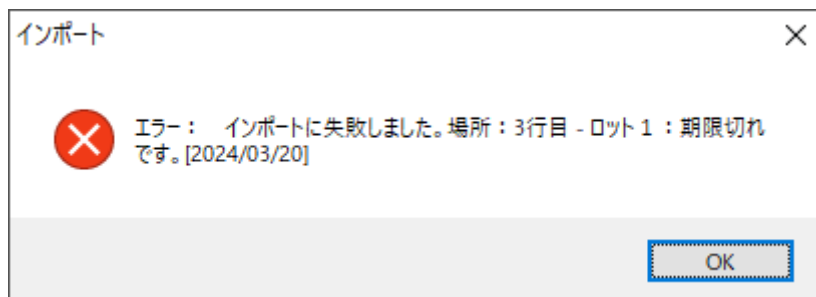
出荷指示伝票、出荷引当伝票、出荷検品／実績伝票（伝票区分＝返品、倉庫間出荷を除く）では、使用期限切れの在庫は登録できません。

対象ロットに使用期限切れの日付を入力した場合、エラーが表示されます。

（F3 押下による在庫からの転記時や現品票 QR コード読取時等も同様です。）



また、インポート時も同様にエラーとなります。



ヒント！

一括引当でも、使用期限切れ在庫は引当対象外となります。

[5] 在庫参照と使用期限切れ在庫

在庫参照（品目別）では、使用期限切れ在庫は出荷不能数としてカウントされます。
（検索条件「一括引当対象外を出荷不能で算出する」の影響は受けません。）

在庫参照（詳細）では、検索条件「期限切れ検索」を指定することで、期限切れや期限内の在庫を検索できます。



在庫参照（詳細） - 条件指定

検索条件

倉庫: 001:自社倉庫

Keyコード: ~

品目コード: ~

品目名: AND/OR検索 なし

品目分類: <条件なし>

ロット1: 期限切れ検索 期限切れのみ

ロット2: なしを指定する

在庫状態: <条件なし>

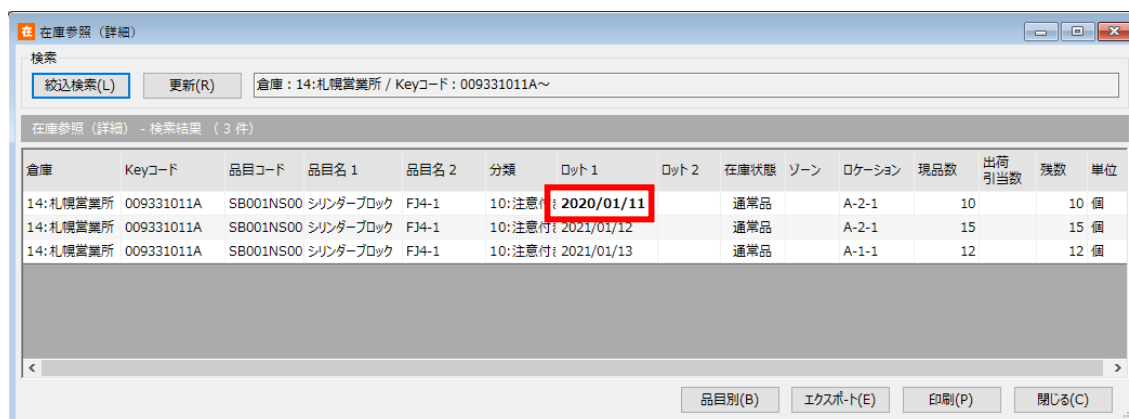
ゾーン: <条件なし>

ロケーション: ~

☐ 積送中を含めない ☐ 画像を表示する

条件クリア(R) OK キャンセル(C)

また、検索結果画面では使用期限切れ在庫の対象ロットは太字で表示されます。



在庫参照（詳細） - 検索結果 (3件)

倉庫	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	ロット 1	ロット 2	在庫状態	ゾーン	ロケーション	現品数	出荷引当数	残数	単位
14:札幌営業所	009331011A	SB001NS00	シリンダーブロック	FJ4-1	10:注意付	2020/01/11		通常品		A-2-1	10		10	個
14:札幌営業所	009331011A	SB001NS00	シリンダーブロック	FJ4-1	10:注意付	2021/01/12		通常品		A-2-1	15		15	個
14:札幌営業所	009331011A	SB001NS00	シリンダーブロック	FJ4-1	10:注意付	2021/01/13		通常品		A-1-1	12		12	個

品目別(B) エクスポート(E) 印刷(P) 閉じる(C)

[6] 使用期限切れ在庫の通知メール

「定期処理設定」で有効とすることで、使用期限切れの在庫をメールで自動通知することができます。

チェックのタイミング	1 日 1 回、深夜 0 時以降に開始
宛先	「定期処理設定」で指定されたユーザーです（複数可）。 （メールアドレスはユーザー台帳で設定します。詳細は「6 - 1 2 ユーザー台帳」をご覧ください。）
送り元	弊社サポート用アカウント(support@infusion.co.jp)
通知内容	使用期限切れ在庫一覧 ※宛先のユーザーが参照可能な倉庫に限定されます。 ※通知する内容がなければ、通知メールは送信されません。

[7] 使用期限切れ在庫の自動振替

「定期処理設定」で有効とすることで、在庫状態 = 通常品かつ使用期限切れの在庫が存在する場合、それらの在庫状態を自動的に設定した在庫状態へ振り替えることができます。
この時、振替伝票（在庫状態変更）が登録されます。

自動振替のタイミング	1 日 1 回、深夜 0 時以降に開始
作業担当者への登録内容	システム登録 *1
摘要欄への登録内容	【使用期限切れによる自動振替】

*1…システム埋め込みの特殊ユーザー

ヒント！

倉庫間出荷による積送中の在庫は自動振替の対象外です。
なお、期限切れ在庫は在庫状態に関わらず出荷できません。
（詳しくは「[4] 出荷での使用期限切れチェック」をご覧ください）

ヒント！

自動振替で登録された振替伝票を確認したい場合、
振替伝票一覧では摘要に含まれる文字列（例："使用期限切れ"）で、
履歴検索では摘要や担当者名（例："システム登録"）に含まれる文字列で絞り込むことができます。

4-29 注意メッセージ

[1] 注意メッセージとは

「このアイテムは、取り扱いミスがあったので、スタッフに注意を促したい」。

そんな時に利用するのが、注意メッセージです。

品目台帳に設定することで、作業指示の帳票や現品票、ハンディターミナル・スマートフォン（マルチデバイスオプションのみ）画面に、注意メッセージを印字・表示します。

ヒント！

品目台帳の注意メッセージの項目は、デフォルトで非表示となっています。

注意メッセージを活用される場合は、システム設定を以下の通りに変更してください。

〔システム設定〕＞〔システム運用〕タブ＞〔使用項目〕の「品目台帳・注意メッセージ」を ON

[2] 4種類のメッセージと印字・表示箇所

品目台帳に設定できる注意メッセージは4種類あります。

どれに設定するかで、印字／表示される箇所が決まります。

メッセージの種類	印字対象	表示対象
共通	入荷予定明細書 出荷指示書 ピッキングリスト	入荷メニュー*1 出荷メニューすべて 振替メニューすべて 棚卸
入荷	入荷予定明細書	入荷メニュー *2
出荷	出荷指示書 ピッキングリスト	出荷メニュー *3
現品票	注意付き現品票	—

*1・・・倉庫間入荷を除く

*2・・・入荷返品と倉庫間入荷を除く

*3・・・出荷返品を除く

[3] メッセージ印字サンプル

＜入荷予定明細書／出荷指示書／ピッキングリスト＞

数量 単位	備考 注意メッセージ
3 個	・LOTは右下に記載 ・出荷時ラベル貼付

- 備考の下に箇条書きで追加されます。
- 印字の優先順は、共通＞ 入荷・出荷です。

＜注意付き現品票＞

段ボール2段まで

ロータリーピーラー グリーン



095142

ヒント！

注意付き現品票の発行には、専用のラベルプリンターとラベルが必要です。詳しくはお問い合わせ下さい。

- 品目名の上に追加されます。（背景赤白抜き）

[4] メッセージ表示サンプル



- 品目名の下に追加されます。
- 印字の優先順は、共通＞入荷・出荷です。

ヒント！

マルチデバイスオプションで注意メッセージを表示するには、品目台帳の注意メッセージ設定のほか、システム設定の変更が必要です。

詳細は、「マルチデバイスオプション マニュアル」の「品目台帳の注意メッセージ設定」をご確認ください。

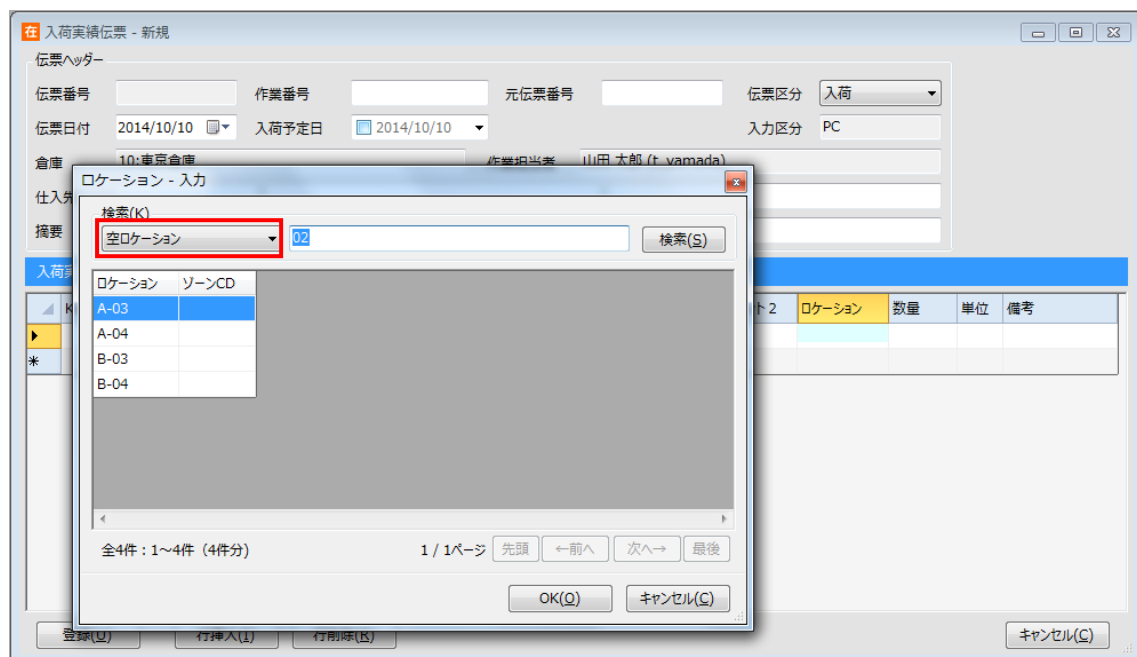
4-30 その他の便利な機能

ここでは「空ロケーション」について説明します。

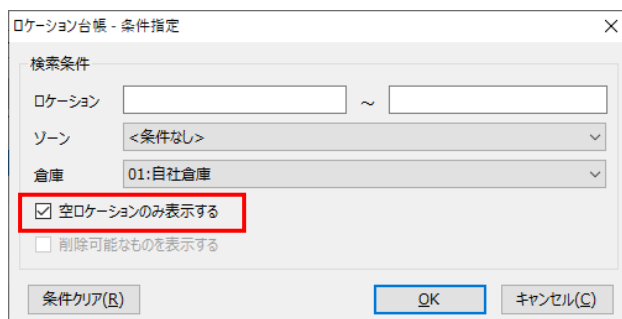
[1] 空ロケーション

ロケーション台帳に登録されていて、何も在庫が保管されていないロケーションのことを「空ロケーション」と言います。

伝票入力時のロケーション入力補助画面にて、空きロケーションの一覧を表示させることができます。なお、空ロケーションの判定は、在庫が保管されていない、又は保管されている在庫数が0以下（マイナス含む）の場合です。



また、ロケーション台帳の絞込検索でも空ロケーションを確認することができます。



第5章 日常操作

本章では、「出荷」「入荷」「振替」「在庫参照」といった日常的に用いる機能の利用方法について、具体的に説明します。

5－1 入荷（出荷）実績伝票と返品

入荷（出荷）実績の伝票入力を行います。

実績伝票の場合、伝票区分として「入荷」「返品」「倉庫間入荷」の 3 種類があります。（出荷の場合は「出荷」「返品」「倉庫間出荷」です。）

返品の場合は入荷（出荷）伝票の伝票区分を「返品」とします。

倉庫間での移動の場合は、伝票の伝票区分を「倉庫間入荷（出荷）」とします。

なお、出荷と入荷はほぼ同じ内容ですので、ここでは入荷で説明を行います。

[1] 入荷（出荷）実績伝票の登録

(1)伝票形式での入力項目とボタン

ヘッダ部		
伝票番号	表示	“000000000001”から始まる通し番号が自動的に割り当てられます。全倉庫共通の通し番号となります。新規伝票の場合は登録が確定した時点で決定されます。
作業番号	入力	任意の文字列が入力できます。伝票の識別や検索時のキーワードとして利用してください。
元伝票番号	入力	任意の文字列が入力できます。対応する受注・売上伝票番号などを入力してください。
伝票区分	入力(必)	「入荷」「入荷返品」「倉庫間入荷」（「出荷」「出荷返品」「倉庫間出荷」）のいずれかを選択します。初期値は「入荷」（「出荷」）です。
入力区分	表示	「PC」「モバイル」どちらで作成したのかを表示します。
伝票日付	入力(必)	この伝票の伝票日付です。初期値は PC のシステム日付です。
納期	入力	この出荷伝票の納期です。初期値はありません。
入荷予定日	入力	この伝票の予定日付です。初期値はありません。

第5章 日常操作

倉庫	表示	伝票が登録された倉庫を表示します。
作業担当者	入力(必)	伝票を登録するユーザーです。 入力補助画面(F4 またはダブルクリック)を使って入力します。初期値はログインユーザーです。
仕入先 (または出荷先)	入力	仕入先（出荷先）です。台帳に登録されていない仕入先（出荷先）も入力可能です。その際はコードに何も指定せずに名称を入力します。入力補助画面が使用できます。
直送先 (出荷のみ)	入力	出荷先と直送先が異なる場合に入力します。 直送先台帳に登録されていない直送先も入力可能です。その際は直送先コードに何も指定せずに直送先名や住所等を入力します(直送先横の「+」ボタンで住所等が表示されます)。 予め台帳に登録された直送先を入力する場合は、別の出荷先に関連付けられていると入力できません。
摘要	入力	任意の文字列を入力できます。
明細部		
Key コード	入力(必)	品目の Key コードです。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	入力	選択された品目の品目コードが表示されます。 品目バーコード読み取り検索項目が品目コードの場合は入力が可能です。入力補助画面も使用できます。
品目名 1	入力	選択された品目名 1 が表示されます。入力も可能です。
品目名 2	入力	選択された品目名 2 が表示されます。入力も可能です。
ロット 1	入力	選択された品目のロット 1 が表示されます。
ロット 2	入力	選択された品目のロット 2 が表示されます。
在庫状態	リスト	返品又は倉庫間入荷（出荷）される品目の在庫状態を選択します。 伝票区分が出荷の場合は表示されません。伝票区分が入荷（出荷）の場合は設定により表示・非表示が決まります。*1
ロケーション	入力	入力補助画面が使用できます。
数量	入力(必)	数量を入力します。入力補助画面が使用できます。
単位	入力	選択された品目の単位が表示されます。変更することも可能です。
理由	リスト	返品の原因を選択します。伝票区分が返品の場合のみ表示されます。
備考	入力	任意の文字列を入力できます。
フッタ部		
〔登録〕	—	登録する際に使用します。登録後は参照モードとなります。 なお、参照モードには〔登録〕は表示されません。
〔新規〕	—	新規モードで伝票画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。参照モード時のみ表示されます。
〔削除〕	—	参照モード時のみ〔削除〕が有効です。
〔修正〕	—	修正モードとなります。参照モード時のみ〔修正〕が有効です。
〔一覧〕	—	実績伝票一覧画面が表示されます。
〔入力補助〕	—	該当項目の入力補助画面を呼び出します。参照モード時は表示されません。
〔印刷〕	—	入荷明細書（出荷明細書）が印刷されます。
〔行挿入〕	—	該当明細行の上に新規明細行を挿入します。参照モード時は表示されません。
〔行削除〕	—	該当明細行を削除します。参照モード時は表示されません。

「閉じる」 「キャンセル」	—	表示されている画面を閉じます。 新規モードと参照モードでは「閉じる」、修正モードでは「キャンセル」になります。
--------------------------	---	--

*1・・・在庫状態について詳しくは「4-1 [3] モノに関する管理項目」をご覧ください。

[2] 倉庫間出荷の登録

出荷伝票において、伝票区分を「倉庫間出荷」とすると、「入荷伝票番号」欄があらわれます。

ここには、対応する倉庫間入荷伝票が表示されます。

また、対応する倉庫間入荷伝票が存在すれば修正・削除はできません。

但し、出荷元または出荷先倉庫の「同時登録倉庫」をオンにした場合は修正・削除が可能となります。

ヒント！

「倉庫間入荷伝票」とは、入荷実績伝票の伝票区分＝「倉庫間入荷」です。

[3] 倉庫間入荷の登録

入荷伝票において、伝票区分を「倉庫間入荷」とすると、「出荷伝票番号」入力欄があらわれます。

伝票実績伝票 - 新規

伝票ヘッダー

伝票番号 作業番号 元伝票番号 伝票区分 倉庫間入荷 ▼

伝票日付 2022/07/05 入荷予定日 入力区分 PC

倉庫 001:自社倉庫 作業担当者 山田 太郎 (t_yamada)

出荷元 出荷伝票番号 転記(P)

摘要

入荷実績明細

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	ロット1	ロット2	在庫状態	ロケーション	数量	単位	備考

登録(U) 行挿入(I) 行削除(R) 入力補助(F) キャンセル(C)

ここに、倉庫間出荷伝票の伝票番号を入力し、[転記] ボタンを押下すると、明細部に倉庫間出荷伝票の内容が一括転記されます。

なお、この時のロケーションは「なし」となります。また、該当する倉庫間出荷伝票番号が存在しない場合や、転記済みの場合はエラーとなります。

[4] 入荷伝票一覧について

入荷伝票一覧画面を表示するには、まず一覧表示を行うための絞り込み条件を入力します。

入荷実績伝票 - 条件指定

検索条件

伝票番号

~

仕入先コード

~

仕入先倉庫

<条件なし>

登録日時

2016/10/03 00:00

~

2016/10/03 23:59

伝票日付

2016/09/01

~

2016/10/03

入荷予定日

2016/10/03

~

2016/10/03

伝票区分

<条件なし>

入力区分

<条件なし>

作業番号

~

元伝票番号N

~

倉庫

01:自社倉庫

作業担当者

<条件なし>

摘要

対応入荷予定

予定伝票番号

~

作業状態

<条件なし>

差異

<条件なし>

条件クリア(R)

OK

キャンセル(C)

メイン部		
伝票番号	テキスト	絞り込む伝票番号の範囲を指定します。
仕入先コード	テキスト	絞り込む出荷先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使用できます。
仕入先倉庫	リスト	絞り込む仕入先倉庫を指定します。
登録日時	テキスト	絞り込む登録日時の範囲を入力します。
伝票日付	テキスト	絞り込む伝票日付の範囲を入力します。
入荷予定日	入力	絞り込む入荷予定日の範囲を入力します。
伝票区分	リスト	絞り込む伝票区分を選択します。
入力区分	リスト	絞り込む入力区分を選択します。
作業番号	テキスト	絞り込む作業番号の範囲を指定します。
元伝票番号	テキスト	絞り込む元伝票番号の範囲を指定します。
倉庫	リスト	絞り込む倉庫名を選択します。
作業担当者	リスト	絞り込む作業担当者を選択します。
摘要	テキスト	絞り込む摘要を指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。

第5章 日常操作

[OK]	—	絞込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

入荷実績伝票一覧

入荷	返品	倉庫間入荷
3 件	0 件	0 件

検索

絞込検索(L)

更新(R)

倉庫：10:自社倉庫

入荷実績伝票 - 検索結果 (3 件)

☐	倉庫	登録日時	伝票番号	伝票区分	仕入先CD	仕入先名	伝票日付	入荷予定日	作業番号	元伝票番号	対応
☐	10: 自社倉庫	2015/04/01 17:39	0000000000003	入荷			2015/03/12				
☐	10: 自社倉庫	2015/04/01 17:38	0000000000002	入荷			2015/03/04				
☐	10: 自社倉庫	2015/04/01 17:37	0000000000001	入荷			2015/03/01				

検品(K)

新規(N)

参照(B)

インポート(I)

エクスポート(E)

一括処理(Z)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
入荷：伝票枚数	表示	入荷伝票区分が「入荷」の伝票枚数
返品：伝票枚数	表示	入荷伝票区分が「返品」の伝票枚数
倉庫間入荷：伝票枚数	表示	入荷伝票区分が「倉庫間入荷」の伝票枚数
[絞込検索]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 倉庫コード(昇順) > 登録日時(降順) ※出荷実績伝票一覧画面も同様		
倉庫 登録日時 伝票番号 伝票区分 仕入先 CD 仕入先名 伝票日付 納期 入荷予定日 作業番号 元伝票番号 対応出荷指示 作業状態 差異 摘要	表示	条件で絞り込まれた伝票のヘッダ情報を表示します。

フッタ部		
[検品]		入荷予定画面番号を入力し、対応する入荷検品伝票を新規モードで呼び出します。
[新規]	—	新規モードで伝票画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[参照]	—	参照モードで伝票画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	入荷実績ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	入荷実績ファイルのエクスポート。
[一括処理]	—	選択された伝票の一括処理（現品票へ転記）を行います。
[印刷]	—	帳票種別とレイアウトを選択し印刷を行います。 絞り込まれた伝票全ての明細書が印刷されます。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

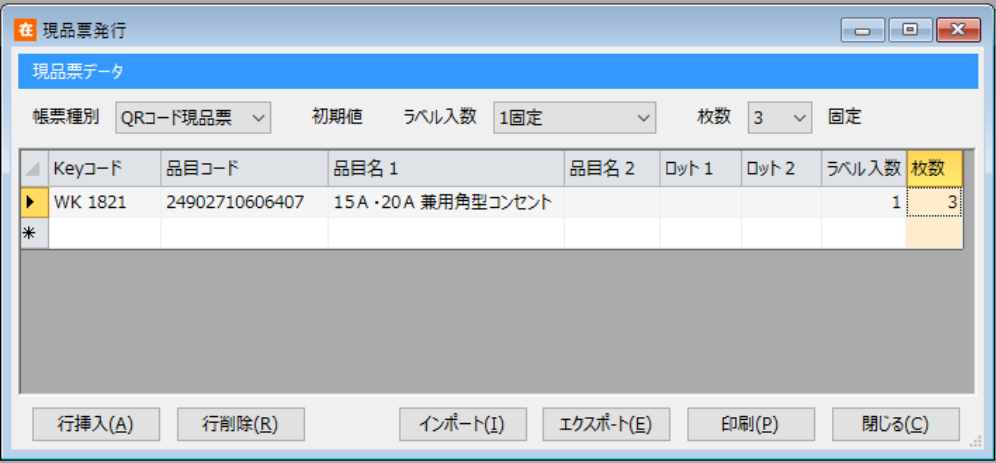
[5] 現品票発行

在庫品に貼る現品シール（製品シール）を発行する為の機能です。Excel 感覚でデータを入力し、シールラベルシートに印刷できます。CSV ファイルとしてエクスポートすることもできますので、外部のラベル印刷ソフトウェアとの連動が可能となります。

（現品票の詳しい利用方法については「4 - 2 3 現品票」をご覧ください。）

注意！

現品票発行で入力したデータは保存されませんが、枚数項目付加形式でエクスポートしたデータを保存し、インポートで読み込むことは可能です。



ヘッダ部		
帳票種別	リスト	バーコード／QRコードを選びます。バーコードを選ぶと「ラベル入数初期値」と明細の「ロット 1」「ロット 2」項目が非表示となります。
ラベル入数初期値	リスト	ラベル入数を「なし」「1 固定」「台帳設定値」から設定します。
枚数初期値	リスト	枚数を「なし」「1」～「10」から設定します。
明細部		
Key コード	入力	品目の Key コードを入力します。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	入力	品目コードを入力します。 品目バーコード読み取り検索項目が品目コードの場合は入力が可能です。 入力補助画面も使用できます。
品目名 1	入力	品目名 1 が表示されます。 入力も可能です。
品目名 2	入力	品目名 2 が表示されます。 入力も可能です。
ロット 1	入力	品目のロット 1 が表示されます。 入力も可能です。
ロット 2	入力	品目のロット 2 が表示されます。 入力も可能です。
枚数	入力	枚数を入力します。
フッタ部		
〔行挿入〕	—	該当明細行の上に新規明細行を挿入します。

[行削除]	—	該当明細行を削除します。
[インポート]	—	CSV ファイルを読み込んで入力画面に追加します。
[エクスポート]	—	入力データを CSV ファイルでエクスポートします。 [エクスポート] ボタンを押すと、ファイル名を指定するダイアログが表示されます。フォーマットの選択はこの画面の「ファイルの種類」で行ってください。
[印刷]	—	入力データを現品票として印刷します。 印刷できる現品票には以下の通りです。 ＜帳票種別 = QR コードの時＞ (*1) QR コード現品票 10 面 QR コード現品票 24 面 QR コード現品票 44 面 QR コード現品票 (ロングレンジ用) 4 面 ＜帳票種別 = バーコードの時＞ バーコード現品票 10 面 バーコード現品票 24 面 バーコード現品票 44 面 また、上記の形式はそれぞれ枠線の有無が選択できます。普通の A4 用紙でテスト印刷する際などに枠線有りになると便利です。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

*1 帳票レイアウト選択時、[ラベル入数の印字]をオンにすると、QR コード現品票にラベル入数が印字されます。

帳票印刷

レイアウト選択

帳票種別: QRコード現品票ラベル

レイアウト: 標準: QRコード現品票 10面 (枠線あり)

☒ ラベル入数の印字

プリンター

Microsoft Print to PDF

設定...

ラベル印刷設定

印刷開始ラベル: 1 行: 1 列

垂直方向印刷位置調整: 0.0 mm

説明

ラベル入数を印字するかどうかを指定します。

OK キャンセル(C)

ヒント！

本画面への直接入力だけでなく、インポートや伝票一覧画面からの転記で入力することもできます。詳しくは「4 - 2 3 [2] 現品票の発行方法」をご覧ください。

ヒント！

システム設定でロット1 やロット2 を入荷日に設定することで、品目確定時に自動的に当日の日付が入力されます。

5－2 入荷予定と入荷検品

入荷検品を PC で行う場合は、入荷予定→入荷検品の流れで伝票入力を行います。

[1] 入荷予定の登録

入荷予定入力には伝票形式画面と一覧画面があります。

入力方法は、伝票形式の入力と一覧画面からの入荷予定ファイルのインポートによる複数指示一括登録の 2 つの方法があります。

予定に基づき、入荷伝票の作成が行えます。

(1)伝票形式での入力項目とボタン

ヘッダ部		
伝票番号	表示 入力	“000000000001”から始まる通し番号が自動的に割り当てられます。 全倉庫共通の通し番号となります。新規伝票の場合は登録が確定した 時点で決定されます。
作業番号	入力	任意の文字列が入力できます。伝票の識別や検索時のキーワードとして 利用してください。
元伝票番号	入力	任意の文字列が入力できます。対応する受注・売上伝票番号などを入 力してください。
伝票日付	入力(必)	この出荷指示の伝票日付です。初期値は PC のシステム日付となります。
入荷予定日	入力	この入荷予定の入荷予定日付です。
倉庫	表示	この伝票が登録された倉庫を表示します。
登録担当者	入力(必)	伝票を登録するユーザです。入力補助画面(F4 またはダブルクリック)を使 って入力します。初期値はログインユーザです。

第5章 日常操作

仕入先	入力	仕入先です。台帳に登録されていない仕入先も入力可能です。その際はコードに何も指定せずに名称を入力します。入力補助画面が使用できます。
摘要	入力	任意の文字列を入力します。
実績伝票	表示	この指示伝票に基づく実績伝票が存在する場合、その伝票番号をリスト表示します。
[参照]	—	「実績伝票」のリストで選択した伝票を参照します。
作業状態	表示	この指示伝票の作業状態を表示します。
差異	表示	この指示伝票とそれに基づく実績伝票とに、欠品などによる差異があるかどうかを表示します。
明細部		
Key コード	入力(必)	入荷品目の Key コードです。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	表示	選択された品目の品目コードが表示されます。
品目名 1	表示	選択された品目の品目名 1 が表示されます。
品目名 2	表示	選択された品目の品目名 2 が表示されます。
ロット 1	入力	ロット 1 指定の入荷予定の場合に入力します。
ロット 2	入力	ロット 2 指定の入荷予定の場合に入力します。
ロケーション	入力	ロケーション指定の入荷予定の場合に入力します。
数量	入力(必)	数量を入力します。入力補助画面が使用できます。
残数	表示	予定数量から実績数量を差し引いた残りの数量を表示します。 (参照モード時のみ表示されます。)
単位	入力	選択された品目の単位が表示されます。
備考	入力	任意の文字列を入力できます。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。登録後は参照モードとなります。 なお、参照モード時は表示されません。
[新規]	—	新規モードにする場合に使用します。 なお、参照モード時のみ表示されます。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。但し、すでに「完了」や「一部済」の場合は削除することが出来ません。
[修正]	—	参照モード時のみ有効です。修正モードに移行します。但し、すでに「完了」や「一部済」の場合は修正することが出来ません。
[一覧]	—	入荷予定伝票一覧画面が表示されます。
[検品]	—	この入荷予定伝票に基づく新規検品画面を開きます。 参照モード時のみ表示されます。
[作業完了] または [完了取消]	—	この入荷予定伝票の作業を完了します。既に完了状態の場合は、それを取り消して「一部済」や「未作業」に戻します。 参照モード時のみ表示されます。
[印刷]	—	入荷予定明細書の印刷を行います。

第5章 日常操作

〔行挿入〕	—	該当明細行の上に新規明細行を挿入します。 参照モード時は表示されません。
〔行削除〕	—	該当明細行を削除します。参照モード時は表示されません。
〔入力補助〕	—	該当項目の入力補助画面を呼び出します。参照モード時は表示されません。
〔閉じる〕 〔キャンセル〕	—	画面を閉じます。 新規モードと参照モードでは「閉じる」、修正モードでは「キャンセル」になります。

[2] 入荷予定一覧について

入荷予定一覧画面を表示するには、まず一覧表示を行うための絞り込みを入力します。

入荷予定 - 条件指定

検索条件

伝票番号

~

仕入先コード

~

登録日時

☐ 2022/07/06 00:00

~

☐ 2022/07/06 23:59

伝票日付

☒ 2022/06/01

~

☐ 2022/07/06

入荷予定日

☐ 2022/07/06

~

☐ 2022/07/06

作業状態

<条件なし>

差異

<条件なし>

作業番号

~

元伝票番号

~

倉庫

001:自社倉庫

登録担当者

<条件なし>

摘要

条件クリア(R)

OK

キャンセル(C)

ヒント！

システム設定のシステム運用タブのメニュー表示「未入荷の倉庫間出荷」をオンにすると、入荷予定の他に未入荷の倉庫間出荷も呼び出すことができます。

詳しくは「5 - 3 未入荷の倉庫間出荷の参照」をご覧ください。

メイン部		
伝票番号	テキスト	絞り込む伝票番号の範囲を指定します。
仕入先コード	テキスト	絞り込む仕入先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使用できます。
登録日時	入力	
伝票日付	入力	絞り込む伝票日付の範囲を指定します。
納期	テキスト	絞り込む納期の範囲を指定します。
入荷予定日	テキスト	絞り込む入荷予定日の範囲を指定します。
作業状態	リスト	リストより絞り込む作業状態を選択します。
差異	リスト	リストより差異の有無を選択します。
作業番号	テキスト	絞り込む作業番号の範囲を指定します。
元伝票番号	テキスト	絞り込む元伝票番号の範囲を指定します。
倉庫	リスト	リストより絞り込む倉庫を選択します。

第5章 日常操作

登録担当者	リスト	絞り込む登録担当者を指定します。
摘要	テキスト	絞り込む摘要を指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞り込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

ヘッダ部		
総数	表示	絞り込まれた全伝票枚数です。
完了	表示	絞り込まれた全伝票枚数のうち作業状態が完了の枚数です。
未完了	表示	絞り込まれた全伝票枚数のうち未完了の枚数です。
一部済	表示	絞り込まれた全伝票枚数のうちの一部済の枚数とパーセンテージです。
一部済（差異）	表示	絞り込まれた全伝票枚数のうちの一部済（差異）の枚数とパーセンテージです。
未作業	表示	絞り込まれた全伝票枚数のうち作業状態が未作業の枚数とパーセンテージです。
[絞り込検索]	—	絞り込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞り込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞り込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 倉庫コード(昇順) > 伝票番号(降順)		
一括処理 チェックボックス	チェックボ ックス	一括処理の対象伝票を選択します。

倉庫 伝票番号 仕入 CD 出荷先名 伝票日付 納期 入荷予定日 作業番号 元伝票番号 作業状態 差異 摘要 登録日時	表示	条件で絞り込まれた出荷指示のヘッダ情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで伝票画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[参照]	—	参照モードで伝票画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	入荷予定ファイルのインポート。
[検品]	—	選択された入荷予定伝票に基づく新規検品画面を開きます。
[一括処理]	—	選択された入荷予定伝票の一括処理（自動検品・現品票へ転記・欠品完了・一括削除）を行います。
[印刷]	—	絞り込まれた指示全ての予定一覧表または入荷予定明細書が印刷されます。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[3] 入荷検品の進捗状況確認

入荷予定伝票一覧画面には「作業概要」が表示され、進捗状況がひと目で分かります。[更新] ボタンを押すと最新の状況が表示されます。

[4] 入荷予定の手動完了操作

入荷検品後、予定と実績に差異がなければ作業状態は自動的に「完了」になります。

また、伝票登録権限のあるユーザの場合、手動による入荷予定の完了操作を行うことができます。キャンセルの場合に利用します。

手動完了には以下の2通りの方法があります。

- ・ 一覧の各行の左端にあるチェックボックスをオンにして「作業完了」ボタンを押す（複数の指示伝票の一括完了）
- ・ 予定伝票画面を開いて「作業完了」ボタンを押す（一件の指示伝票の完了）

反対に完了状態を取り消すには以下の方法があります。

- ・ 完了状態の予定伝票画面を開いて「完了取消」ボタンを押す（一件の取消）

※複数の指示伝票の一括取消し機能はありません。

[5] 入荷検品用の帳票印刷

モバイル機器で検品を行う際は、最初に入荷予定明細書の印刷を行います。

作業現場では、最初に入荷予定明細書の伝票番号を読み取った後に、現品のバーコードや数量を入力します。

[6] 入荷検品伝票の登録

ここでは PC 画面による入荷検品の登録方法を紹介します。

(1) 入荷検品伝票画面

入荷検品伝票の入力を開始するには、以下の方法があります。

- ・ 入荷指示伝票一覧画面から作業対象の予定伝票を選択して〔検品〕ボタンを押す。
- ・ 作業対象の入荷予定伝票画面を開いて〔検品〕ボタンを押す。
- ・ 入荷実績伝票一覧画面の〔検品〕ボタンを押し、作業対象の予定伝票の番号を入力する。
- ・ 入荷検品伝票画面を開いて〔新規〕ボタンを押し、作業対象の予定伝票の番号を入力する。
- ・ ガイドメニューの〔検品〕ボタンを押し、作業対象の予定伝票の番号を入力する。

予定明細	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	予定数量	残数	実績合計	ロット 1	ロット 2	ロケーション	数量	単位
1	00703017	4962660063640	兼用ビット36m		40	0	40				40	本
2	00703014	4962660062278	兼用ビット22m		18	0	18				18	本

予定数量と同数の検品実績が表示されているので、検品実績を変更するには、対象となる明細行を選択した状態でダブルクリック、または〔明細入力〕ボタンを押します。（入荷検品入力画面が開きます。）

第5章 日常操作

(2) 入荷検品入力画面

画面上部に指示内容が表示され、それに基づいて実績明細の入力を行います。予定と違う実績を入力しようとするとエラーまたは警告メッセージが表示されます。

入荷予定						
伝票番号	000000000001 - 1					
品目	4962660063640 兼用ビット36m					
Keyコード	ロット1	ロット2	ロケーション	残数	単位	備考
00703017				40	本	

検品実績						
Keyコード	ロット1	ロット2	ロケーション	数量	単位	備考
▶ 1	00703017			40	本	
*						

ヒント！

複数の入荷予定伝票に対し、一括で自動検品登録することが可能です。
詳しくは、「4 - 10 一括処理」をご覧ください。

[7] 入荷検品の削除

作成した入荷検品伝票は削除することが可能です。

それぞれの一覧画面より該当の伝票を参照モードで呼び出し、[削除] ボタンを押下することで削除されます。

5-3 未入荷の倉庫間出荷の参照

システム設定のシステム運用タブのメニュー表示「未入荷の倉庫間出荷」をオンにすると、入荷予定メニューから自倉庫に向かっている未入荷の倉庫間出荷伝票を確認できます。

ヒント！

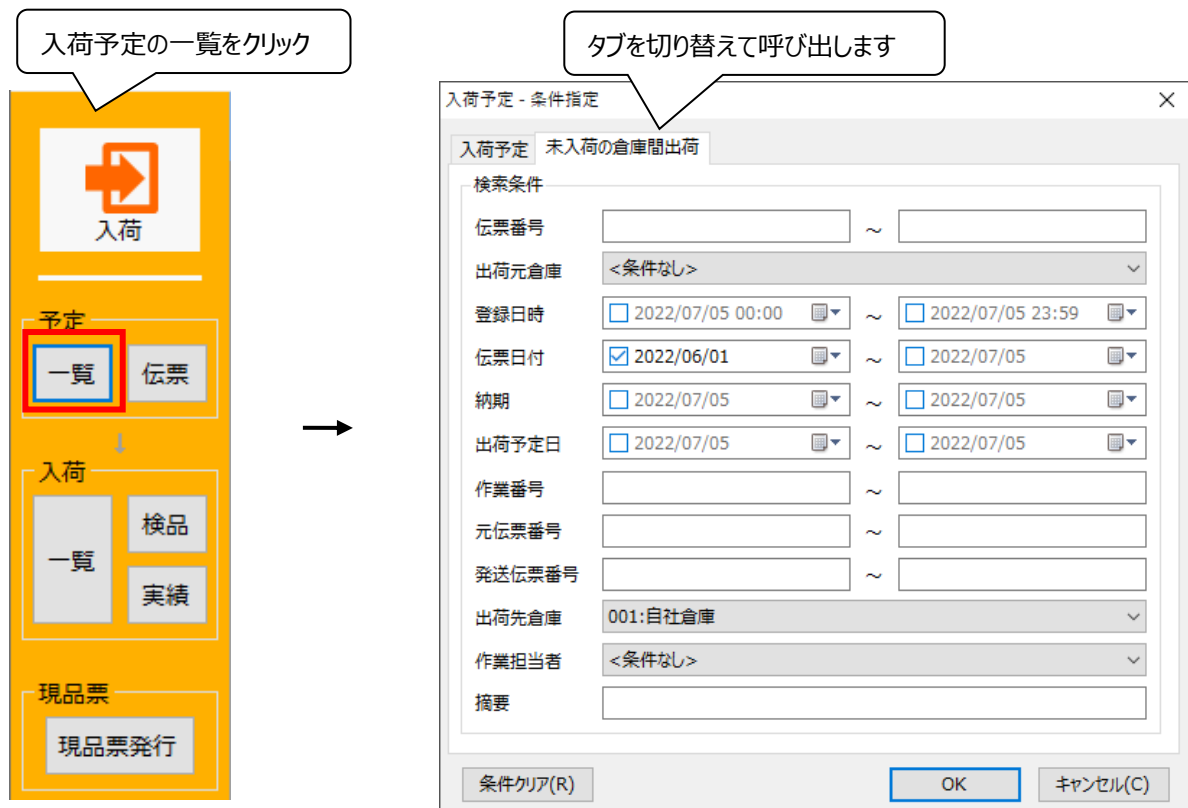
概要は「4-15 [4] 未入荷の倉庫間出荷の参照と在庫について」をご覧ください。

[1] 参照方法について

未入荷の倉庫間出荷伝票一覧画面を表示するには、入荷予定の一覧を呼び出します。タブを切り替えることにより、表示される伝票一覧が変わります。

- ・入荷予定タブ：入荷予定伝票一覧
- ・未入荷の倉庫間出荷タブ：未入荷の倉庫間出荷伝票一覧

※入荷予定タブの項目は、5-2 [2] 入荷予定一覧についてと同様です。



メイン部		
伝票番号	テキスト	絞り込む伝票番号の範囲を指定します。
出荷元倉庫	リスト	リストより絞り込む出荷元倉庫を選択します。
登録日時	入力	絞り込む登録日時の範囲を指定します。
伝票日付	入力	絞り込む伝票日付の範囲を指定します。
納期	入力	絞り込む納期の範囲を指定します。
出荷予定日	入力	絞り込む出荷予定日の範囲を指定します。
作業番号	テキスト	絞り込む作業番号の範囲を指定します。
元伝票番号	テキスト	絞り込む元伝票番号の範囲を指定します。
発送伝票番号	テキスト	絞り込む発送伝票番号の範囲を指定します。
出荷先倉庫	リスト	リストより絞り込む出荷先倉庫を選択します。
作業担当者	リスト	絞り込む作業担当者を指定します。
摘要	リスト	絞り込む摘要を指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[O K]	—	絞り込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

[2] 未入荷の倉庫間出荷伝票一覧について

未入荷の倉庫間出荷伝票一覧

総数
1 件

検索
絞り込み検索(L) 更新(R) 伝票日付: 2022/06/01~ / 出荷先倉庫: 001:自社倉庫

未入荷の倉庫間出荷伝票一覧 - 検索結果 (1 件)

☐	出荷先倉庫	伝票番号	出荷元倉庫CD	出荷元倉庫名	伝票日付	納期	出荷予定日	作業番号	元伝票番号	摘要	登録日時
☒	001:自社倉庫	000000029802	10	東京倉庫	2022/07/05						2022/07/05 15:05:03

対応伝票(B) エクスポート(E) 一括処理(Z) 印刷(P) 閉じる(C)

ヒント！

一覧画面の項目は通常の入荷予定伝票と異なり、出荷実績伝票に近いものになります。

第5章 日常操作

ヘッダ部		
総数	表示	絞り込まれた全伝票枚数です。
[絞り込検索]	—	絞り込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞り込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞り込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 倉庫コード(昇順) > 登録日時(降順)		
一括処理 チェックボックス	チェックボ ックス	一括処理の対象伝票を選択します。
出荷先倉庫 伝票番号 出荷元倉庫 CD 出荷元倉庫名 伝票日付 納期 出荷予定日 作業番号 元伝票番号 摘要 登録日時	表示	条件で絞り込まれた出荷実績ヘッダ情報を表示します。
フッタ部		
[対応伝票]	—	出荷実績伝票画面を。
[エクスポート]	—	出荷実績ファイルのエクスポートと同じです。
[印刷]	—	絞り込まれた指示全ての出荷一覧または出荷明細書が印刷されます。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

5 - 4 出荷指示

検品を行う場合は、事前に指示入力を行わなければなりません。ここでは、指示入力の具体的な方法を説明します。

[1] 出荷指示の登録

出荷指示は伝票形式画面と一覧画面があります。

入力方法は、伝票形式の入力と一覧画面からの出荷指示ファイルのインポートによる複数指示一括登録の2つの方法があります。

出荷指示に基づき、出荷検品伝票の作成が行えます。

(1)伝票形式での入力項目とボタン

ヘッダ部		
伝票番号	表示 入力	“000000000001”から始まる通し番号が自動的に割り当てられます。 全倉庫共通の通し番号となります。新規伝票の場合は登録が確定した 時点で決定されます。
作業番号	入力	任意の文字列が入力できます。伝票の識別や検索時のキーワードとして 利用できます。なお、一括引当時に作業番号をセットする場合は、引当 前は空欄にしておきます。
元伝票番号	入力	任意の文字列が入力できます。対応する受注・売上伝票番号などを入 力してください。
伝票区分	入力(必)	「出荷」「倉庫間出荷」のいずれかを選択します。 初期値は「出荷」です。
伝票日付	入力(必)	この出荷指示の伝票日付です。初期値は PC のシステム日付となります。

第5章 日常操作

納期	入力	この出荷指示の納期です。
出荷予定日	入力	この出荷指示の出荷予定日付です。
倉庫	表示	この伝票が登録された倉庫を表示します。
登録担当者	入力(必)	伝票を登録するユーザーです。入力補助画面(F4 またはダブルクリック)を使って入力します。初期値はログインユーザーです。
出荷先	入力	出荷先です。台帳に登録されていない出荷先も入力可能です。その際はコードに何も指定せずに名称を入力します。入力補助画面が使用できます。 出荷先タブで、カナ・郵便番号・住所・電話番号・FAX 番号・担当者・敬称も入力できます。
直送先	入力	出荷先と直送先が異なる場合に入力します。 直送先台帳に登録されていない直送先も入力可能です。 予め台帳に登録された直送先を入力する場合は、別の出荷先に関連付けられていると入力できません。 直送先タブで、カナ・郵便番号・住所・電話番号・FAX 番号・担当者・敬称も入力できます。
摘要	入力	任意の文字列を入力します。
出荷引当／ 出荷検品	表示	この指示伝票に基づく出荷引当伝票または出荷検品伝票が存在する場合、その伝票番号をリスト表示します。
[参照]	—	「実績伝票」のリストで選択した伝票を参照します。
作業状態	表示	この指示伝票の作業状態を表示します。
差異	表示	この指示伝票とそれに基づく実績伝票とに、欠品などによる差異があるかどうかを表示します。
明細部		
Key コード	入力(必)	出荷すべき品目の Key コードです。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	表示	選択された品目の品目コードが表示されます。
品目名 1	表示	選択された品目の品目名 1 が表示されます。
品目名 2	表示	選択された品目の品目名 2 が表示されます。
ロット 1	入力	ロット 1 指定の出荷指示の場合に入力します。
ロット 2	入力	ロット 2 指定の出荷指示の場合に入力します。
在庫状態	リスト	出荷、倉庫間出荷される品目の在庫状態を選択します。 伝票区分が出荷の場合、システム設定の「出荷時の在庫状態 明細入力」が OFF だと表示されません。
ロケーション	入力	ロケーション指定の出荷指示の場合に入力します。
数量	入力(必)	出荷すべき数量を入力します。入力補助画面が使用できます。
残数	表示	指示数量から実績数量を差し引いた残りの数量を表示します。 (参照モード時のみ表示されます。)
単位	入力	選択された品目の単位が表示されます。
備考	入力	任意の文字列を入力できます。
フッタ部		

第5章 日常操作

〔登録〕	—	登録する際に使用します。登録後は参照モードとなります。 なお、参照モード時は表示されません。
〔新規〕	—	新規モードにする場合に使用します。 なお、参照モード時のみ表示されます。
〔削除〕	—	参照モード時のみ有効です。但し、すでに「完了」や「引当」の場合は削除することが出来ません。
〔修正〕	—	参照モード時のみ有効です。修正モードに移行します。但し、すでに「完了」や「引当」の場合は修正することが出来ません。
〔一覧〕	—	出荷指示伝票一覧画面が表示されます。
〔検品〕	—	この出荷指示伝票に基づく新規引当画面を開きます。 参照モード時のみ表示されます。
〔作業完了〕 または 〔完了取消〕	—	この出荷指示伝票の作業を完了します。既に完了状態の場合は、それを取り消して「未作業」に戻します。 参照モード時のみ表示されます。
〔印刷〕	—	出荷指示書の印刷を行います。
〔行挿入〕	—	該当明細行の上に新規明細行を挿入します。参照モード時は表示されません。
〔行削除〕	—	該当明細行を削除します。参照モード時は表示されません。
〔入力補助〕	—	該当項目の入力補助画面を呼び出します。参照モード時は表示されません。
〔閉じる〕 〔キャンセル〕	—	画面を閉じます。 新規モードと参照モードでは「閉じる」、修正モードでは「キャンセル」になります。

[2] 出荷指示一覧

出荷指示一覧画面を表示するには、まず一覧表示を行うための絞り込みを入力します。

出荷指示伝票 - 条件指定

検索条件

伝票番号

~

出荷先コード

~

直送先コード

~

出荷先倉庫

<条件なし>

登録日時

2019/10/25 00:00

~

2019/10/25 23:59

伝票日付

2019/09/01

~

2019/10/25

納期

2019/10/25

~

2019/10/25

出荷予定日

2019/10/25

~

2019/10/25

伝票区分

すべて

作業状態

<条件なし>

差異

<条件なし>

作業番号

~

元伝票番号

~

倉庫

10: 自社倉庫

登録担当者

<条件なし>

摘要

条件クリア(B)

OK

キャンセル(C)

メイン部		
伝票番号	テキスト	絞り込む伝票番号の範囲を指定します。
出荷先コード	テキスト	絞り込む出荷先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使用できます。
直送先コード	テキスト	絞り込む直送先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使用できます。
出荷先倉庫	リスト	絞り込む出荷先倉庫を指定します。
登録日時	テキスト	絞り込む登録日時の範囲を指定します。
伝票日付	テキスト	絞り込む伝票日付の範囲を指定します。
納期	テキスト	絞り込む納期の範囲を指定します。
出荷予定日	テキスト	絞り込む出荷予定日の範囲を指定します。
伝票区分	リスト	絞り込む伝票区分を選択します。
作業状態	リスト	リストより絞り込む作業状態を選択します。
差異	リスト	リストより差異の有無を選択します。
作業番号	テキスト	絞り込む作業番号の範囲を指定します。

第5章 日常操作

元伝票番号	テキスト	絞り込む元伝票番号の範囲を指定します。
倉庫	リスト	リストより絞り込む倉庫を選択します。
登録担当者	テキスト	絞り込む登録担当者を指定します。
摘要	テキスト	絞り込む摘要を指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞り込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

出荷指示伝票一覧

総数	完了	未完了	引当	一部引当	未作業
4 件	0 件	4 件	0 件 (0.0%)	0 件 (0.0%)	4 件 (100.0%)

検索
絞込検索(L) 更新(R) 伝票日付: 2019/09/01 ~ / 倉庫: 10:自社倉庫

出荷指示伝票 - 検索結果 (4 件)

☐	倉庫	伝票番号	伝票区分	出荷先CD	出荷先名	伝票日付	納期	出荷予定日	作業番号	元伝票番号	作業状態	差異
☐	10:自社倉庫	000000033792	出荷	C1001	和幸商事株式会社	2019/10/28					未作業	☒
☐	10:自社倉庫	000000033791	出荷	C1001	和幸商事株式会社	2019/10/25	2019/10/30	2019/10/29		113	未作業	☒
☐	10:自社倉庫	000000033790	出荷	C1001	和幸商事株式会社	2019/10/25				112	未作業	☒
☐	10:自社倉庫	000000033789	出荷	C1001	和幸商事株式会社	2019/10/25				111	未作業	☒

新規(N) 参照(B) インポート(I) エクスポート(E) 引当(K) 一括処理(Z) 印刷(P) 閉じる(C)

ヘッダ部		
総数	表示	絞り込まれた全伝票枚数です。
完了	表示	絞り込まれた全伝票枚数のうち作業状態が完了の枚数です。
未完了	表示	絞り込まれた全伝票枚数のうち未完了の枚数です。
引当	表示	絞り込まれた全伝票枚数のうちの引当の枚数とパーセンテージです。
一部引当	表示	絞り込まれた全伝票枚数のうちの一部引当の枚数とパーセンテージです。
未作業	表示	絞り込まれた全伝票枚数のうちの未作業の枚数とパーセンテージです。
[絞込検索]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順: 倉庫コード(昇順) > 伝票番号(降順)		
一括処理 チェックボックス	チェック ボックス	一括処理の対象伝票を選択します。

第5章 日常操作

倉庫 伝票番号 伝票区分 出荷先 CD 出荷先名 伝票日付 納期 出荷予定日 作業番号 元伝票番号 作業状態 差異 摘要 登録日時	表示	条件で絞り込まれた出荷指示のヘッダ情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで伝票画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[参照]	—	参照モードで伝票画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	出荷指示ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	出荷指示ファイルのエクスポート。
[引当]	—	選択された出荷指示伝票に基づく新規出荷引当画面を開きます。
[一括処理]	—	選択された出荷指示伝票の一括処理（仮引当の場合は自動検品、本引当の場合は一括引当・指示残クリア・現品票へ転記・欠品完了・一括削除）を行います。
[印刷]	—	絞り込まれた指示全ての指示一覧表または出荷指示書が印刷されます。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

5－5 出荷検品（仮引当）

仮引当では、入荷検品と同様、出荷指示を登録した後は、出荷検品入力を行います。
出荷指示→出荷検品は転記入力にて効率的に管理、運用頂けます。

〔1〕 出荷検品伝票の登録・削除

仮引当での出荷検品伝票の操作は、入荷検品伝票と同じです。
詳しくは、「5－2〔6〕 入荷検品伝票の登録」、「5－2〔7〕 入荷検品の削除」をご覧ください。

5-6 出荷引当と出荷検品（本引当）

本引当において、出荷指示を登録した後は、出荷引当→出荷検品の流れで伝票入力を行います。
 出荷指示→出荷引当や、出荷引当→出荷検品は基本的に自動作成や転記入力にて効率的に管理、運用頂けます。

[1] 一括引当の流れ

出荷指示伝票一覧画面で選択した出荷指示伝票を一括で自動引当を行い、出荷引当伝票を登録する操作の流れを説明します。

<一括引当の流れ>

①対象伝票をチェックし、[一括処理]ボタンを押下します。

出荷指示伝票一覧

総数	完了	未完了	引当	一部引当	未作業
4 件	0 件	4 件	0 件 (0.0%)	0 件 (0.0%)	4 件 (100.0%)

検索
 絞り込み検索(L) 更新(R) 伝票日付: 2019/09/01~ / 倉庫: 10:自社倉庫

出荷指示伝票 - 検索結果 (4 件)

☒	倉庫	伝票番号	伝票区分	出荷先CD	出荷先名	伝票日付	納期	出荷予定日	作業番号	元伝票番号	作業状態	差異
☒	0:自社倉庫	000000033792	出荷	C1001	和幸商事株式会社	2019/10/28					未作業	☒
☒	10:自社倉庫	000000033791	出荷	C1001	和幸商事株式会社	2019/10/25	2019/10/30	2019/10/29		113	未作業	☒
☒	10:自社倉庫	000000033790	出荷	C1001	和幸商事株式会社	2019/10/25				112	未作業	☒
☒	10:自社倉庫	000000033789	出荷	C1001	和幸商事株式会社	2019/10/25				111	未作業	☒

新規(N) 参照(B) インポート(I) エクスポート(E) 引当(K) 一括処理(Z) 印刷(P) 閉じる(C)

ヒント！

一括引当を行うには、以下の条件がいずれも成立している必要があります。

- ・「作業状態」=「未作業」または「一部引当」であること
- ・伝票区分が「出荷」または「倉庫間出荷」に統一されていること

②[一括引当]ボタンを押下します。

一括処理

実行する処理を選択してください。
(チェック済みの伝票が対象です)

☒ 作業番号をセットする
160427-01

一括引当

指示残クリア

現品票へ転記

欠品完了

一括削除

キャンセル(C)

摘要への記録
なし

＜作業番号セット機能について＞

「作業番号をセットする」にチェックを入れると、入力欄が現れます。これは同一の一括引当で作成された出荷引当伝票（と対応する出荷指示伝票）をグルーピングする為に、同じ値をセットする機能です。

本機能を利用するには、選択されている出荷指示伝票の作業番号は空である必要があります。また指定する作業番号はこれまで使用されたものとは違う番号にする必要があります。

処理中は以下のような進捗画面が表示されます。

引当処理中です。しばらくお待ち下さい。

(3/4)

中止(C)

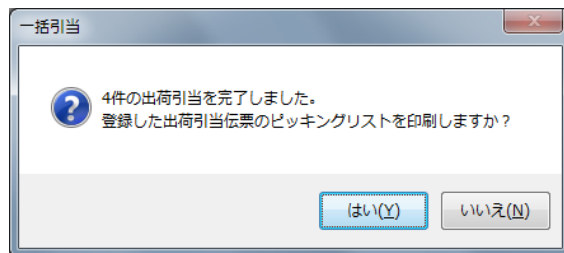
ヒント！

一度に処理できる一括引当の件数は、出荷指示伝票として 1,000 件です。

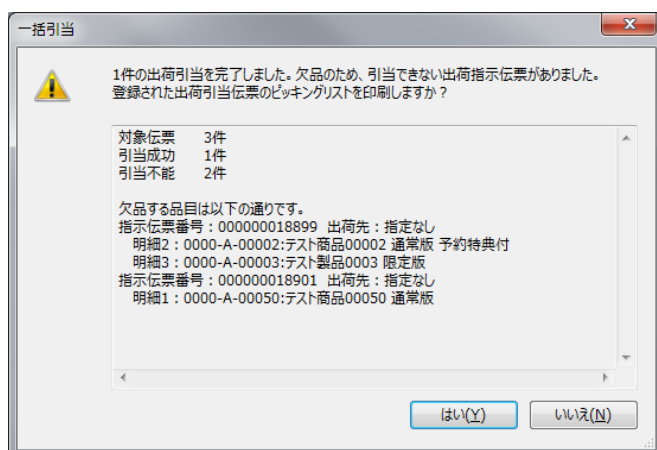
第5章 日常操作

③完了メッセージが表示されます。

[はい]を押すと、続けてピッキングリストの印刷となります。

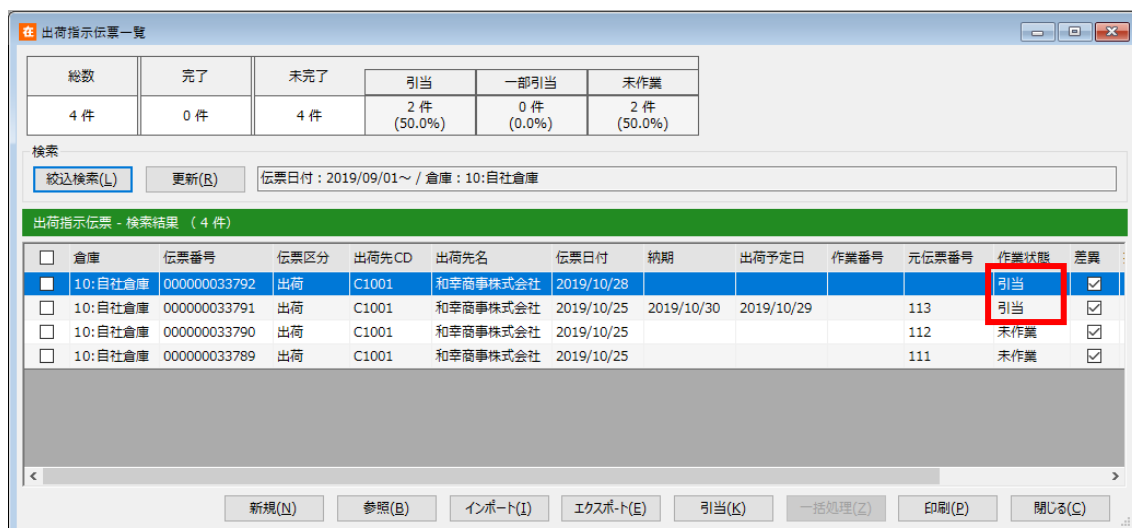


一部に欠品が発生すると以下のように欠品等の結果も表示されます。同様に[はい]を押すと、引当に成功した伝票を対象に印刷します。



④ピッキングリストの印刷

トータルピッキングが「なし」「旧」いずれかの場合、システム設定で指定したピッキングリストが発行されます。印刷前にプレビュー画面が表示されますので、[印刷]ボタンで印刷を実行してください（トータルピッキング「旧」でトータル・シングル両方のピッキングリストを発行する場合、プレビューは表示されません）。一括引当が完了すると、引当が成功した出荷指示伝票の作業状態が「引当」に変わります。



ヒント！

この画面を閉じた後も、ピッキングリストの再印刷は可能です。詳しくは「5 - 6 [3] 出荷引当伝票一覧とピッキングリストの再発行」をご覧ください。

[2] 個別での出荷引当伝票の登録

(一括引当ではなく) 各出荷指示伝票を個別に引当を当てる場合、出荷引当伝票を新規で呼び出し必要に応じて修正後、登録します。出荷引当伝票を新規で呼び出すには以下の方法があります。

- ・出荷指示伝票一覧で該当の伝票を選択し [引当] ボタンを押下
- ・出荷指示伝票 - 参照モードの [引当] ボタンを押下
- ・ガイドメニューの [出荷] → [引当] ボタンを押下後、出荷指示伝票番号入力
- ・出荷引当伝票一覧の [新規] ボタン押下後、出荷指示伝票番号入力

明細には引当候補が初期値として表示されています。[登録] ボタン押下で出荷引当伝票が作成されます。

ヘッダ情報で編集可能な項目は、伝票日付・作業担当者・摘要です。

標準 出荷先 直送先

伝票ヘッダ

伝票番号 作業番号 伝票区分 出荷

伝票日付 2019/10/25 納期 出荷予定日

倉庫 10:目社会庫 作業担当者 山田 太郎 (t_yamada)

出荷先 C1001 和幸商事株式会社

直送先

摘要

出荷指示

伝票番号 000000033792 参照(B) 作業状態 未作業 元伝票番号

指示 明細	Keyコード	品目コード	品目名1	品目名2	指示 数量	残数	引当 合計	ロット1	ロット2	ロケーション	引当 数量	単位	備考
1	WK 1821	24902710606407	15A・20A 兼用角型コ		2	2							
1	2 00703014	4962660062278	兼用ビット22m		20	0	20			B-2	20	本	

登録(U) 明細入力(I) 明細削除(R)

引当内容を初期表示します。
満数引当てられなかった明細行は、青で表示します。

明細を修正したい場合は
[明細入力] ボタンを押下します。

出荷引当入力

出荷指示

伝票番号 000000033792 - 2

品目 4962660062278 兼用ビット22m

Keyコード	ロット1	ロット2	ロケーション	残数	単位	備考
00703014				20	本	

引当明細

	Keyコード	ロット1	ロット2	ロケーション	引当数量	単位	備考
1	00703014			B-2	15	本	
2	00703014			A-1	5	本	

行挿入(I) 行削除(R) 入力補助(E) OK キャンセル(C)

引当内容を修正します。

[3] 出荷引当伝票一覧とピッキングリストの再発行

出荷引当伝票一覧では、引当伝票の参照／削除やトータル／シングルピッキングリストの発行が可能です。一括引当の流れの中で印刷したピッキングリストの再発行や別のレイアウトの発行もできます。また、トータルピッキング「あり」の場合は、この画面でピッキング方式の指定とそれに伴うピック No.のセット、ピッキングリストの発行を行います。

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 倉庫コード(昇順) > 伝票番号(降順※) ※トータルピッキングが「旧」以外で検索条件「古い方から」を指定時は昇順。		
倉庫 伝票番号 伝票区分 出荷先 CD 出荷先名 伝票日付 納期 出荷予定日 作業番号 元伝票番号 明細数 ピック No. 対応出荷指示 作業状態 摘要 登録日時	表示	条件で絞り込まれた出荷引当のヘッダ情報を表示します。 (ピック No.はトータルピッキング「旧」の場合、表示しません。)
フッタ部		

第5章 日常操作

[新規]	—	入力された出荷指示伝票に基づく新規出荷引当画面を開きます。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[参照]	—	参照モードで伝票画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。参照モードで呼び出し後、削除することも出来ます。
[検品]	—	選択された出荷引当伝票に基づく新規出荷検品伝票画面を開きます。
[一括処理]	—	選択された出荷引当伝票の一括処理（ピック No.セット&発行・ピック No.削除・自動検品・現品票へ転記・一括削除）を行います。 ※ピック No.セット&発行・ピック No.削除は、トータルピッキング「あり」時のみ可。
[印刷]	—	絞り込まれた出荷引当伝票に対応するピッキングリストやトータルピッキングリストが印刷されます。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[4] 出荷検品の登録

引当を実施し、（シングル）ピッキングリストを発行。ピッキングリストの内容に沿って現場ではピッキング & 出荷作業を行い、出荷が終われば出荷検品を登録します。出荷検品伝票を新規で呼び出すには以下の方法があります。

- ・出荷引当伝票一覧画面で該当の伝票を選択し [検品] ボタンを押下
- ・出荷引当伝票 - 参照モードの [検品] ボタンを押下
- ・ガイドメニューの [出荷] → [検品] ボタンを押下後、出荷引当伝票番号入力
- ・出荷実績伝票一覧の [検品] ボタン押下後、出荷引当伝票番号入力

ヒント！

出荷引当伝票番号入力は、ピッキングリストの左上のバーコードをバーコードスキャナーで読み取ることも可能です。

[登録] ボタン押下で、出荷検品伝票が作成されます。その際、対象の出荷引当伝票は消し込まれ、在庫から出荷数が引き落とされます。

出荷検品伝票 - 新規

標準 出荷先 直送先

伝票ヘッダー

伝票番号 000000020115 作業番号 入力区分 PC

伝票日付 2014/10/23 納期 2014/09/03 出荷予定日 2014/09/02

倉庫 10:東京倉庫 作業担当者 山田 太郎 (t_yamada)

出荷先 C1001 和幸商事株式会社

直送先 R0001 コモン陸運 昭和島配送センター

摘要 TEST

出荷指示

伝票番号 0000000000003 参照(B) 作業状態 引当 (差異) 元伝票番号 113

出荷検品伝票で編集できる内容はヘッダ項目の伝票日付と作業担当者と摘要のみです。

出荷検品明細

指示 明細	Keyコード	品目コード	品目名1	品目名2	指示 数量	実績 合計	ロット 1	ロット 2	ロケーション	数量	単位	備考
1	1	009333102A	BS001NS001 バルブスプリング	H10	80	80	140718		B-01	25	個	
2	1						140721		B-01	55	個	
3	2	0093331011A	SB001NS001 シリンダーブロック	FJ4-1	100	100	140719		A-02	100	個	

登録(U) キャンセル(C)

ヒント！

伝票明細の内容を修正する場合は、出荷引当伝票を修正してから出荷検品伝票を登録してください。

[5] 出荷引当／出荷検品の削除

作成した出荷引当伝票や出荷検品伝票は削除することが可能です。

それぞれの一覧画面より該当の伝票を参照モードで呼び出し、[削除] ボタンを押下することで削除されます。

出荷検品伝票では、出荷引当伝票の状態に戻すのか、出荷引当伝票も削除するのを選んで削除します。

伝票番号 000000020115 作業番号 入力区分 PC

伝票日付 2014/10/22 納期 2014/09/03 出荷予定日 2014/09/02

倉庫 10:東京倉庫 作業担当者 山田 太郎 (t.yamada)

出荷先 C1001 和幸商事株式会社

直送先 R0001 コモン陸運 昭和島配送センター

摘要 TEST

出荷指示 伝票番号 000000000003 参照(B) 作業状態 完了 元伝票番号 113

指示明細	Keyコード	品目コード	品目名1	品目名2	指示数量	実績合計	ロット1	ロット2	ロケーション	数量	単位	備考
1	1	009333102A	BS001NS001 バルブスアング	H10	80	80	140718		B-01	25	個	
2	1						140721		B-01	55	個	
3	2	0093331011A	SB001NS001 シリンダーブロック	FJ4-1	100	100	140719		A-02	100	個	

新規(N) 削除(D) 修正(E) 一覧(L)

警告： 対応する出荷引当伝票も削除しますか？

はい(Y) いいえ(N)

「はい」を選ぶと、出荷引当伝票まで削除されます。
「いいえ」を選ぶと、出荷引当伝票に戻ります。

ヒント！

複数の出荷引当伝票対し、一括で自動検品登録することや削除することが可能です。
詳しくは、「4 - 10 一括処理」をご覧ください。

[6] 検品開始後の出荷引当の修正・削除

モバイル機器で検品を開始すると、対象の出荷引当伝票の修正・削除ができなくなります。
修正・削除を行いたい場合は、以下の手順を行ってください。

<修正>

- ①出荷検品伝票を登録
- ②出荷検品伝票を削除し、出荷引当伝票に戻します。
- ③出荷引当伝票の修正

<削除>

- ①出荷検品伝票を登録
- ②出荷検品伝票・出荷引当伝票を削除

※出荷検品伝票の削除については「[5] 出荷引当／出荷検品の削除」をご覧ください。

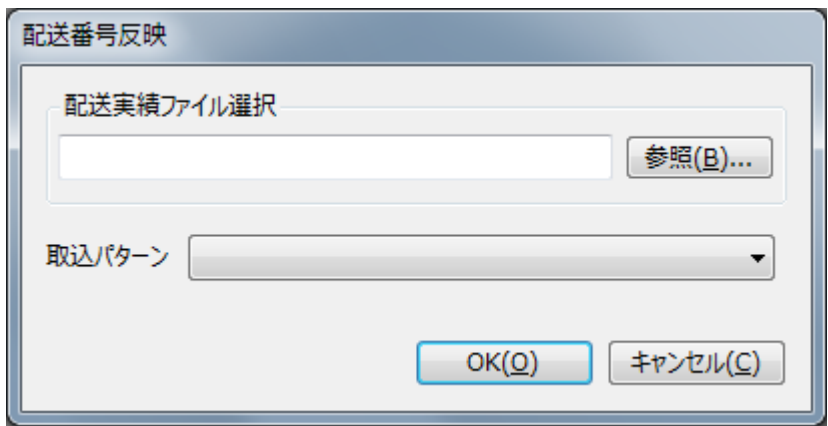
5－7 配送番号反映

配送番号反映は、送り状ソフトの配送実績ファイルから、在庫スイートクラウドの出荷データに配送番号を反映します。

なお、本機能を利用するには、予め配送番号反映設定を行う必要があります。

[1] 配送番号の反映

配送実績ファイルと取込パターンを選択し、実行します。



メイン		
配送実績ファイル選択	入力	配送実績ファイルを選択します。
取込パターン	リスト	取込パターンを選択します。
フッタ部		
[OK]	—	実行します。
[キャンセル]	—	実行せずに、画面を閉じます。

5－8 振替

ロケーション移動や在庫の状態変更などを行う場合は、振替伝票入力を行います。

移動の場合は伝票区分を「移動」とします。

在庫状態変更の場合は伝票区分を「在庫状態変更」とします。

破棄の場合は伝票区分を「破棄」とします。

在庫調整の場合は伝票区分を「在庫調整」とします。

ロット1 変更の場合は伝票区分を「ロット1 変更」とします。

ロット2 変更の場合は伝票区分を「ロット2 変更」とします。

汎用変更の場合は伝票区分を「汎用変更」とします。

[1] 登録

振替伝票には伝票形式画面と一覧画面があります。

(1)伝票形式での入力項目とボタン

ヘッダ部		
伝票番号	自動	“000000000001”から始まる通し番号が自動的に割り当てられます。 新規伝票の場合は登録が確定した時点で決定されます。
伝票日付	入力(必)	振替伝票の伝票日付です。 初期値はP Cのシステム日付となります。
伝票区分	リスト	「移動」「在庫状態変更」「破棄」「在庫調整」「ロット1 変更」「ロット2 変更」「汎用変更」のいずれかを選択します。
入力区分	表示	〔PC〕〔モバイル〕どちらで作成した振替伝票なのかを表示します。
倉庫	表示	伝票が登録された倉庫を表示します。
作業担当者	入力(必)	伝票を登録するユーザーです。入力補助画面(F4 またはダブルクリック)を使って入力します。初期値はログインユーザーです。
摘要	入力	任意の文字列を入力できます。

第5章 日常操作

明細部		
Key コード	入力(必)	振替を行う品目の Key コードを入力します。入力補助画面が使用できます。
品目コード	表示	選択された品目の品目コードが表示されます。 品目バーコード読み取り検索項目が品目コードの場合は入力が可能です。入力補助画面も使用できます。
品目名 1	入力	選択された品目名 1 が表示されます。入力もできます。
品目名 2	入力	選択された品目名 2 が表示されます。入力もできます。
ロット 1	入力	選択された品目のロット 1 を入力します。
変更後 ロット 1	入力	変更後のロット 1 を入力します。 伝票区分：ロット 1 変更の場合のみ入力可能です。
ロット 2	入力	選択された品目のロット 2 を入力します。
変更後 ロット 2	入力	変更後のロット 2 を入力します。 伝票区分：ロット 2 変更の場合のみ入力可能です。
ロケーション	入力	振替を行う品目のロケーションです。 入力補助画面が使用できます。
送り先 ロケーション	入力	振替を行う品目の送り先ロケーションです。伝票区分：移動の場合のみ入力可能です。 入力補助画面が使用できます。
在庫状態	リスト	品目の在庫状態を選択します。
変更後 在庫状態	リスト	品目の変更後の在庫状態を選択します。 伝票区分：在庫状態変更の場合のみ選択可能です。
数量	入力(必)	振替を行う数量を入力します。入力補助画面が使用できます。 在庫調整の場合は、項目名が「増減数」に変わり、在庫を増やすときはプラス、減らすときはマイナスの数を入力します。
単位	入力	選択された品目の単位が表示されます。変更することも可能です。
理由	リスト	伝票区分：在庫状態変更・破棄の場合のみ選択します。
備考	入力	任意の文字列を入力できます。
フッタ部		
〔登録〕	—	登録する際に使用します。登録後は参照モードとなります。 なお、参照モードには「登録」は表示されません。
〔新規〕	—	新規モードにする場合に使用します。 なお、参照モードのみ「新規」が表示されます。
〔削除〕	—	参照モード時のみ「削除」が有効です。
〔修正〕	—	参照モード時のみ「修正」が有効です。修正モードとなります。
〔一覧〕	—	振替伝票一覧画面が表示されます。
〔印刷〕	—	帳票レイアウトを選択し印刷を行います。 該当振替伝票の明細書が印刷されます。
〔行挿入〕	—	該当明細行の上に新規明細行を挿入します。
〔行削除〕	—	該当明細行を削除します。
〔入力補助〕	—	該当項目の入力補助画面を呼び出します。参照モード時は表示されません。
〔閉じる〕 〔キャンセル〕	—	新規モードと参照モードでは「閉じる」、修正モードでは「キャンセル」になります。

[2] 振替伝票一覧について

振替伝票一覧画面を表示するには、まず一覧表示を行うための絞り込み条件を入力します。

振替伝票 - 条件指定

検索条件

伝票番号

~

登録日時

☐ 2023/09/07 00:00

~

☐ 2023/09/07 23:59

伝票日付

☒ 2023/08/01

~

☐ 2023/09/07

伝票区分

<条件なし>

入力区分

<条件なし>

作業番号

~

元伝票番号

~

倉庫

10:自社倉庫

作業担当者

<条件なし>

摘要

条件クリア(R)

OK

キャンセル(C)

メイン部		
伝票番号	テキスト	絞り込む伝票番号の範囲を指定します。
登録日時	テキスト	絞り込む登録日時の範囲を指定します。
伝票日付	テキスト	絞り込む伝票日付の範囲を指定します。
伝票区分	リスト	絞り込む伝票区分を選択します。
入力区分	リスト	絞り込む入力区分を選択します。
作業番号	テキスト	絞り込む作業番号の範囲を指定します。
元伝票番号	テキスト	絞り込む元伝票番号の範囲を指定します。
倉庫	リスト	絞り込む倉庫名を選択します。
作業担当者	リスト	絞り込む作業担当者を選択します。
摘要	テキスト	絞り込む摘要を指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[O K]	—	絞り込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

第5章 日常操作

振替伝票一覧

移動	在庫状態変更	破棄	在庫調整	ロット1変更	ロット2変更	汎用変更
1 件	1 件	0 件	1 件	0 件	0 件	0 件

検索

絞込検索(L) 更新(R) 倉庫: 10: 自社倉庫

振替伝票 - 検索結果 (3 件)

倉庫	登録日時	伝票番号	伝票区分	伝票日付	作業番号	元伝票番号	摘要
10: 自社倉庫	2015/02/09 12:00	0000000000003	在庫調整	2015/02/09			
10: 自社倉庫	2015/02/09 12:00	0000000000002	在庫状態変更	2015/02/09			
10: 自社倉庫	2015/02/09 12:00	0000000000001	移動	2015/02/09			

新規(N) 参照(B) インポート(I) エクスポート(E) 印刷(P) 閉じる(C)

ヘッダ部		
移動	表示	伝票区分が「移動」の伝票枚数
在庫状態変更	表示	伝票区分が「在庫状態変更」の伝票枚数
破棄	表示	伝票区分が「破棄」の伝票枚数
在庫調整	表示	伝票区分が「在庫調整」の伝票枚数
ロット 1 変更	表示	伝票区分が「ロット 1 変更」の伝票枚数
ロット 2 変更	表示	伝票区分が「ロット 2 変更」の伝票枚数
汎用変更	表示	伝票区分が「汎用変更」の伝票枚数
[絞込検索]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順: 倉庫コード(昇順) > 登録日時(降順)		
倉庫 登録日時 伝票番号 伝票区分 伝票日付 摘要	表示	条件で絞り込まれた振替伝票のヘッダ情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで伝票画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[参照]	—	参照モードで伝票画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	振替実績ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	振替実績ファイルのエクスポート。

[印刷]	—	帳票種別とレイアウトを選択し印刷を行います。 絞り込まれた伝票全ての明細書が印刷されます。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

ヒント！

Ver 2.86 以前は、倉庫間出荷と倉庫間入荷の対応があっていない場合でも登録することができました。そのため、原因が特定しづらい状態で、積送中ロケーションに在庫データが残ることがありました。（Ver 2.90 以降ではそうした登録はできないようになりました）

積送中ロケーションの在庫データのメンテナンスを行いたい場合、システム設定の[メニュー表示]で[積送中メンテナンス]を ON にすると、[作業] → [その他] → [積送中メンテナンス] より、振替伝票の在庫調整画面が表示されます。これはロケーションが「積送中」に固定した特殊な画面であり、積送中在庫をメンテナンスする場合にのみ利用する画面です。

5－9 在庫参照

在庫参照には、品目ごとの現在の在庫状況などが確認できる品目別在庫参照画面と、ロット・在庫状態などの詳細情報が確認できる詳細在庫参照画面があります。
また、絞込検索で特定の条件の品目やロケーションに絞って参照することもできます。

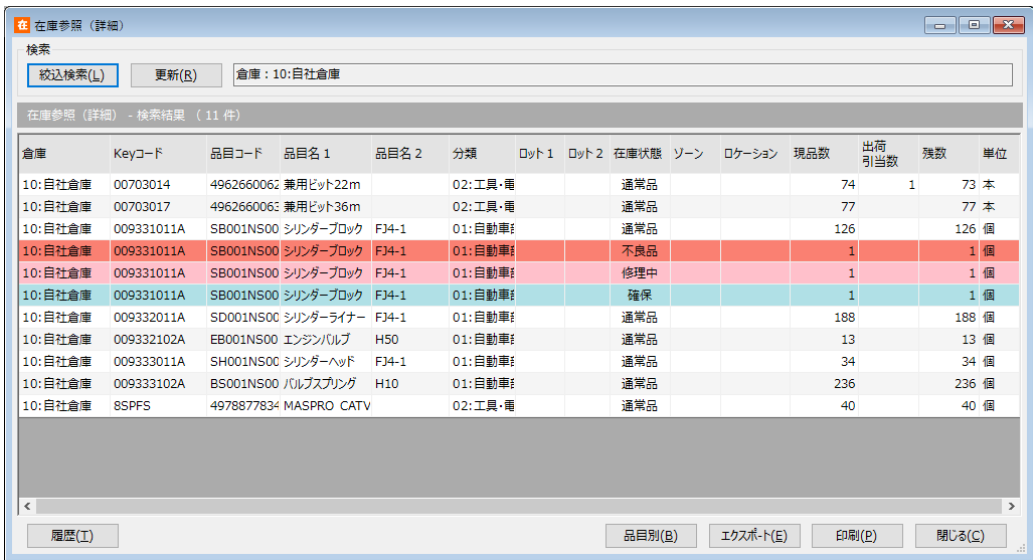
[1] 在庫参照画面

<在庫参照（品目別）画面>



倉庫	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	現品数	出荷指示数	出荷引当数	出荷不能数	出荷可能数	入荷予定数	有効在庫	発注点	単位
10: 自社倉庫	00703014	49626600622	兼用ビット22m		02: 工具・電材	74	1	1		73		73		本
10: 自社倉庫	00703017	49626600636	兼用ビット36m		02: 工具・電材	77				77		77		本
10: 自社倉庫	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01: 自動車部	129			3	126	1	127		個
10: 自社倉庫	009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	01: 自動車部	188				188		188		個
10: 自社倉庫	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01: 自動車部	13				13		13		個
10: 自社倉庫	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01: 自動車部	34				34		34		個
10: 自社倉庫	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01: 自動車部	236				236		236		個
10: 自社倉庫	8SPFS	49788778349	MASPRO CATV		02: 工具・電材	40				40		40		個

<在庫参照（詳細）画面>



倉庫	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	ロット 1	ロット 2	在庫状態	ゾーン	ロケーション	現品数	出荷引当数	残数	単位
10: 自社倉庫	00703014	4962660062	兼用ビット22m		02: 工具・電			通常品			74	1	73	本
10: 自社倉庫	00703017	4962660063	兼用ビット36m		02: 工具・電			通常品			77		77	本
10: 自社倉庫	009331011A	SB001NS00	シリンダーブロック	FJ4-1	01: 自動車			通常品			126		126	個
10: 自社倉庫	009331011A	SB001NS00	シリンダーブロック	FJ4-1	01: 自動車			不良品			1		1	個
10: 自社倉庫	009331011A	SB001NS00	シリンダーブロック	FJ4-1	01: 自動車			修理中			1		1	個
10: 自社倉庫	009331011A	SB001NS00	シリンダーブロック	FJ4-1	01: 自動車			確保			1		1	個
10: 自社倉庫	009332011A	SD001NS00	シリンダーライナー	FJ4-1	01: 自動車			通常品			188		188	個
10: 自社倉庫	009332102A	EB001NS00	エンジンバルブ	H50	01: 自動車			通常品			13		13	個
10: 自社倉庫	009333011A	SH001NS00	シリンダーヘッド	FJ4-1	01: 自動車			通常品			34		34	個
10: 自社倉庫	009333102A	BS001NS00	バルブスプリング	H10	01: 自動車			通常品			236		236	個
10: 自社倉庫	8SPFS	4978877834	MASPRO CATV		02: 工具・電			通常品			40		40	個

*詳細在庫参照画面では、在庫状態によって色分け表示されます。
また、ロットの用途が使用期限の場合、期限切れのロットは太字で表示されます。

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
品目別在庫	表示	絞込条件に合致した品目の在庫一覧です。 ソート順： 倉庫コード(昇順) > Keyコード(昇順)
詳細在庫	表示	絞込条件に合致した詳細在庫の一覧です。 ソート順： 倉庫コード(昇順) > Keyコード(昇順) > 在庫状態(昇順) > ロット1(昇順) > ロット2(昇順) > ゾーンコード(昇順) > ロケーションコード(昇順)
フッタ部		
履歴	表示	選択している在庫品の履歴を表示します(履歴参照画面が開きます)。
詳細	表示	選択している品目の詳細在庫情報を表示します。
セット構成品	表示	選択している品目がセット品の場合、構成品の在庫情報を表示します。 (このボタンはセット品台帳を設定されている場合のみ表示されます)
品目別	表示	選択している品目の品目別在庫情報を表示します。
[エクスポート]	—	在庫一覧情報ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票種別とレイアウトを選択し印刷を行います。 ロケーション別在庫情報も含んでいます。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

ヒント！

〔履歴〕 ボタン押下時、履歴参照は以下の条件で絞り込まれます。

- ・ 在庫参照（品目別）から開いた場合
選択行の倉庫と品目(Keyコード)が一致するものに絞り込まれます。
- ・ 在庫参照（詳細）から開いた場合
選択行の倉庫・品目(Keyコード)・ロット1・ロット2 が一致するものに絞り込まれます。
(ロケーションと在庫状態では絞り込まれません。)
また、ロットについては振替(ロット1変更・ロット2変更)の項目「変更後ロット1」「変更後ロット2」も対象とします。
例：ロット1が "AAA" の在庫を選択した時、「ロット1 変更」の履歴は
"AAA"→"BBB"
"BBB"→"AAA"
いずれもヒットします。

[2] 絞込条件指定画面

在庫参照を行うには、最初に条件を入力します。
条件入力も品目別と詳細別があります。

在庫参照（品目別） - 条件指定

検索条件

倉庫

<条件なし>

Keyコード

~

品目コード

~

品目名

AND/OR検索

なし

品目分類

<条件なし>

☐ 在庫の無い品目も表示する

☒ 画像を表示する

☐ 発注点割れの品目のみ表示する

☒ 一括引当対象外を出荷不能で算出する

☐ 本日割り込んだ品目のみ表示する

条件クリア(R)

OK

キャンセル(C)

メイン部（品目別）		
倉庫	表示	倉庫名が表示されます。
Keyコード	入力	絞込む Key コードを入力します。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	入力	絞込む品目コードを入力します。 入力補助画面が表示できます。
品目名	入力	絞込む品目名を入力します。 検索対象の項目は品目名 1・品目名 2・略称です。 AND または OR 検索を行う場合は、スペースを空けて複数のキーワードを指定してください。
AND/OR 検索	リスト	品目名の AND または OR 検索の有無を指定します。
品目分類	リスト	絞込む分類を選択します。
在庫のない品目も表示する	チェック	現品数・出荷不能数・出荷指示数・入荷予定数・有効在庫ともに 0 の品目の、表示の有無を指定します。
発注点割れの品目のみ表示	チェック	発注点割れの品目のみの表示の有無を指定します。この条件を指定すると自動的に「在庫のない品目も表示する」も指定されます。
本日割り込んだ品目のみ表示する	チェック	本日割り込んだ品目のみの表示の有無を指定します。 定期処理設定の「本日割り込んだ品目のみの絞り込みを有効にする」がオンの場合に表示されます。 「発注点割れの品目のみ表示」がオンの場合のみ指定できます。
画像を表示する	チェック	サムネイル画像の表示の有無を指定します。
一括引当対象外を出荷不能で算出する	チェック	一括引当対象外ゾーンにある在庫を、出荷不能数として算出するか否かを指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。

第5章 日常操作

[OK]	—	絞込みを行い、一覧を表示します。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

在庫参照（詳細） - 条件指定 ×

検索条件

倉庫

10:自社倉庫

▼

Keyコード

~

品目コード

~

品目名

AND/OR検索

なし

▼

品目分類

<条件なし>

▼

ロット1

~

☐ なしを指定する

期限切れ検索

<条件なし>

▼

ロット2

☐ なしを指定する

在庫状態

<条件なし>

▼

ゾーン

<条件なし>

▼

ロケーション

~

☐ なしを指定する

☐ 積送中を含めない

☐ 画像を表示する

条件クリア(R)

OK

キャンセル(C)

メイン部（詳細別）		
倉庫	表示	倉庫名が表示されます。
Key コード	入力	絞込む Key コードを入力します。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	入力	絞込む品目コードを入力します。 入力補助画面が表示できます。
品目名	入力	絞込む品目名を入力します。 検索対象の項目は品目名 1・品目名 2・略称です。 AND または OR 検索を行う場合は、品目名にスペースを空けて複数のキーワードを指定してください。
AND/OR 検索	リスト	品目名の AND または OR 検索の有無を指定します。
品目分類	リスト	絞込む分類を選択します。
ロット 1	入力	絞込むロット 1 を入力します。 (システム設定の「日付入力-ロット 1」の形式が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。また、用途が使用期限に設定されていると期限切れ検索が可能になります。)
ロット 2	入力	絞込むロット 2 を入力します。 (システム設定の「日付入力-ロット 2」の形式が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。また、用途が使用期限に設定されていると期限切れ検索が可能になります。)
在庫状態	リスト	絞込む在庫状態を選択します。

ゾーン	リスト	絞込むゾーンを選択します。
ロケーション	入力	絞込むロケーションを入力します。 入力補助画面が表示できます。
積送中を含めない	チェック	倉庫間出荷をしたけれど、まだ相手側が倉庫間入荷をしていない在庫 ＝積送中在庫の表示の有無を指定します。
画像を表示する	チェック	サムネイル画像の表示の有無を指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞込みを行い、一覧を表示します。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

[3] 在庫参照（構成品）画面

セット品台帳に登録がある場合は、在庫参照（品目別）画面のフッタに「セット構成品」ボタンが表示されます。

「セット構成品」を押下すると、選択されたセット品を対象とした、在庫参照（構成品）画面が表示されます。

<在庫参照（構成品）画面>

在庫参照 (構成品)

セット商品 - 10: 自社倉庫

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	現品数	出荷指示数		出荷不能数	出荷可能数	入荷予定残	有効在庫	発注点	単位
SET007030		兼用ビットセット (4.5×3/22/36mm入り)		02: 工具・電材	0				0		0		セット

構成品

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	現品数	出荷指示数	セット展開数	他セット展開数	出荷不能数	出荷可能数 (展開含む)	入荷予定残 (展開含む)	有効在庫 (展開含む)	発注点	単位
00703012	4962660660474	兼用ビット4.5		02: 工具・電材	0					0		0		本
00703014	4962660062278	兼用ビット22m		02: 工具・電材	74	1				73		73		本
00703017	4962660063640	兼用ビット36m		02: 工具・電材	77					77		77		本

更新(R)

閉じる(C)

明細部（構成品）		
現品数	表示	各構成品の現品数
出荷指示数	表示	各構成品に対する出荷指示数
セット展開数	表示	対象のセット品に対する出荷指示数の展開数
他セット展開数	表示	対象のセット品以外で、各構成品が含まれるセット品の総出荷指示数の展開数
出荷不能数	表示	各構成品の出荷不能数
出荷可能数（展開含む）		各構成品の、現品数 － 出荷指示数 － セット展開数 － 他セット展開数 － 出荷不能数
入荷予定残		各構成品の入荷予定残
有効在庫（展開含む）		各構成品の、出荷可能数 ＋ 入荷予定残
フッタ部		

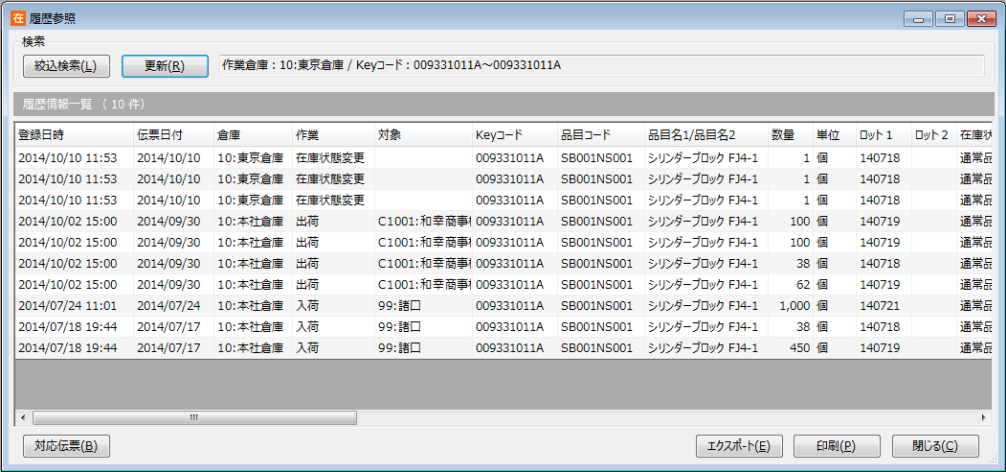
第5章 日常操作

[更新]	—	画面を更新します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

5 - 1 0 履歴参照

「履歴参照」は、全ての作業実績を時系列で参照できる機能です。

[1] 履歴参照画面



ヘッダ部		
[絞り込み検索]	—	絞り込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞り込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞り込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 登録日時(降順) > 作業(入荷/出荷/振替/棚卸の順) > 伝票番号(降順) > 明細番号(昇順)		
登録日時	表示	登録した日時を表示します。
伝票日付	表示	伝票日付を表示します。
倉庫	表示	伝票を登録した倉庫を表示します。
作業	表示	行った作業を表示します。
対象	表示	出荷先や入荷先などの対象者を表示します。
Keyコード	表示	品目のKeyコードを表示します。
品目コード	表示	品目コードを表示します。
品目名	表示	品目名を表示します。
数量	表示	数量を表示します。 ※「作業」=「棚卸/棚卸差異」の場合、「合計棚卸数」の他に「論理現品数」をカッコで表示します。
単位	表示	単位を表示します。
ロット1	表示	ロット1を表示します。
ロット2	表示	ロット2を表示します。
在庫状態	表示	在庫状態を表示します。
ロケーション	表示	ロケーションを表示します。
作業担当者	表示	作業担当者を表示します。

第5章 日常操作

理由	表示	理由を表示します。
摘要	表示	摘要を表示します。
備考	表示	備考を表示します。
警告／エラー	表示	警告／エラーを表示します。
伝票-明細番号	表示	伝票番号と明細番号を表示します(ハイフンで連結)。
作業番号	表示	作業番号を表示します。
元伝票番号	表示	元伝票番号を表示します。
フッタ部		
[対応伝票]	—	選択した明細行の対応伝票を伝票画面で表示します。
[エクスポート]	—	履歴参照ファイルへのエクスポート。
印刷	—	帳票種別を選択し印刷を行います。 絞り込まれた全ての履歴が印刷されます。
閉じる	—	履歴参照画面を閉じます。

指定した明細行でダブルクリックすることでも対応伝票を伝票画面で表示することができます。

[2] 絞込条件指定画面

履歴参照 - 条件指定

検索条件

登録日時

2020/02/17 00:00 ~ 2020/02/17 00:00

伝票日付

2020/01/01 ~ 2020/02/17

作業倉庫

10: 自社倉庫

作業

<条件なし>

Keyコード

~

品目コード

~

品目名

品目分類

<条件なし>

連番

なしを指定する

入荷日

~

なしを指定する

在庫状態

<条件なし>

ロケーション

~

なしを指定する

作業担当者ID

作業担当者名

理由コード

~

理由詳細

摘要

備考

警告／エラー

☐ 警告／エラーのあるデータのみ表示

☒ 画像を表示する

出荷

出荷先コード

~

出荷先名

直送先コード

~

直送先名

出荷先倉庫

<条件なし>

入荷

仕入先コード

~

仕入先名

出荷元倉庫

<条件なし>

振替

送り先ロケーション

~

なしを指定する

変更後在庫状態

<条件なし>

変更後連番

なしを指定する

変更後入荷日

~

なしを指定する

伝票番号

~

明細番号

~

作業番号

~

元伝票番号

~

発送伝票番号

~

条件クリア(R)

OK

キャンセル(C)

第5章 日常操作

メイン部		
登録日時	入力	絞り込む登録日時の範囲を指定します。
伝票日付	入力	絞り込む伝票日付の範囲を指定します。
作業倉庫	リスト	絞り込む作業倉庫を選択します。
作業	リスト	絞り込む作業を選択します。
Key コード	入力	絞り込む Key コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
品目コード	入力	絞り込む品目コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
品目名	入力	絞り込む品目名を指定します。 検索対象の項目は品目名 1・品目名 2 です。
品目分類	リスト	絞り込む品目分類を選択します。
ロット 1	入力	絞り込むロット 1 を指定します。 (システム設定の「日付入力-ロット 1」が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。)
ロット 2	入力	絞り込むロット 2 の範囲を指定します。 (システム設定の「日付入力-ロット 2」が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。)
在庫状態	リスト	絞り込む在庫状態を選択します。
ロケーション	入力	絞り込むロケーションの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
作業担当者 ID	入力	絞り込む作業担当者 ID (ユーザー ID) を指定します。
作業担当者名	入力	絞り込む作業担当者名を指定します。
理由コード	入力	絞り込む理由コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
理由詳細	入力	絞り込む理由詳細を指定します。
摘要	入力	絞り込む摘要を指定します。
備考	入力	絞り込む備考を指定します。
警告/エラー	入力	警告/エラーのあるデータのみを表示するか否かを指定します。
画像を表示する	チェック	サムネイル画像の表示の有無を指定します。
出荷		
出荷先コード	入力	絞り込む出荷先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
出荷先名	入力	絞り込む出荷先名を指定します。
直送先コード	入力	絞り込む直送先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
直送先名	入力	絞り込む直送先名を指定します。
入荷		
仕入先コード	入力	絞り込む仕入先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
仕入先名	入力	絞り込む仕入先名を指定します。
振替・棚卸後		
送り先・棚卸後 ロケーション	入力	絞り込む送り先又は棚卸後のロケーションの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
変更後・棚卸後 在庫状態	リスト	絞り込む変更後又は棚卸後の在庫状態を選択します。

第5章 日常操作

変更後ロット1	入力	絞り込む変更後のロット1を指定します。
変更後ロット2	入力	絞り込む変更後のロット2を指定します。
伝票番号	入力	絞り込む伝票番号の範囲を指定します。
明細番号	入力	絞り込む明細番号の範囲を指定します。
作業番号	入力	絞り込む作業番号の範囲を指定します。
元伝票番号	入力	絞り込む元伝票番号の範囲を指定します。
発送伝票番号	入力	絞り込む発送伝票番号の範囲を指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞り込みを行い、一覧を表示します。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

5-1-1 在庫移動表

在庫数の増減を表示するには在庫移動表画面を開きます。
月別又は日別で在庫の動きが確認できます。

[1] 在庫移動表画面

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	種類	2015/03/01	2015/03/02	2015/03/03	2015/03/04	2015/03/05	2015/03/06
00703014	49626600622	兼用ビット22m		02: 工具・電材	入						
					出						
					在	0	0	0	0	0	0
00703017	49626600636	兼用ビット36m		02: 工具・電材	入						
					出						
					在	0	0	0	0	0	0
009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01: 自動車部品	入	51			90		
					出						
					在	51	51	51	141	141	
009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	01: 自動車部品	入	200					
					出						
					在	200	200	200	200	200	
009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01: 自動車部品	入	50					
					出						
					在	50	50	50	50	50	
009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01: 自動車部品	入	38					
					出						

ヘッダ部		
[絞り込条件]	—	絞り込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞り込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞り込条件を表示します。
明細部		
ソート順： Key コード(昇順)		
Key コード 品目コード 品目名 1 品目名 2 分類	表示	品目の情報を表示します。
種類	表示	その行に表示する数量の種類を表示します。
数量	表示	項目名には対象月（または対象日）が表示されます。 種類によって表示する数量は以下のようになります。 入：対象月（日）の在庫の増加数(*1) 出：対象月（日）の在庫の減少数(*2) 在：対象月（日）の在庫数

フッタ部		
[グラフ]	—	選択した品目のグラフ画面を開きます。
[エクスポート]	—	表示中の集計結果を CSV ファイルに書き出します。
[印刷]	—	表示中の集計結果を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

*1・・・在庫の増加数は、以下の伝票区分の数量を集計した値になります。

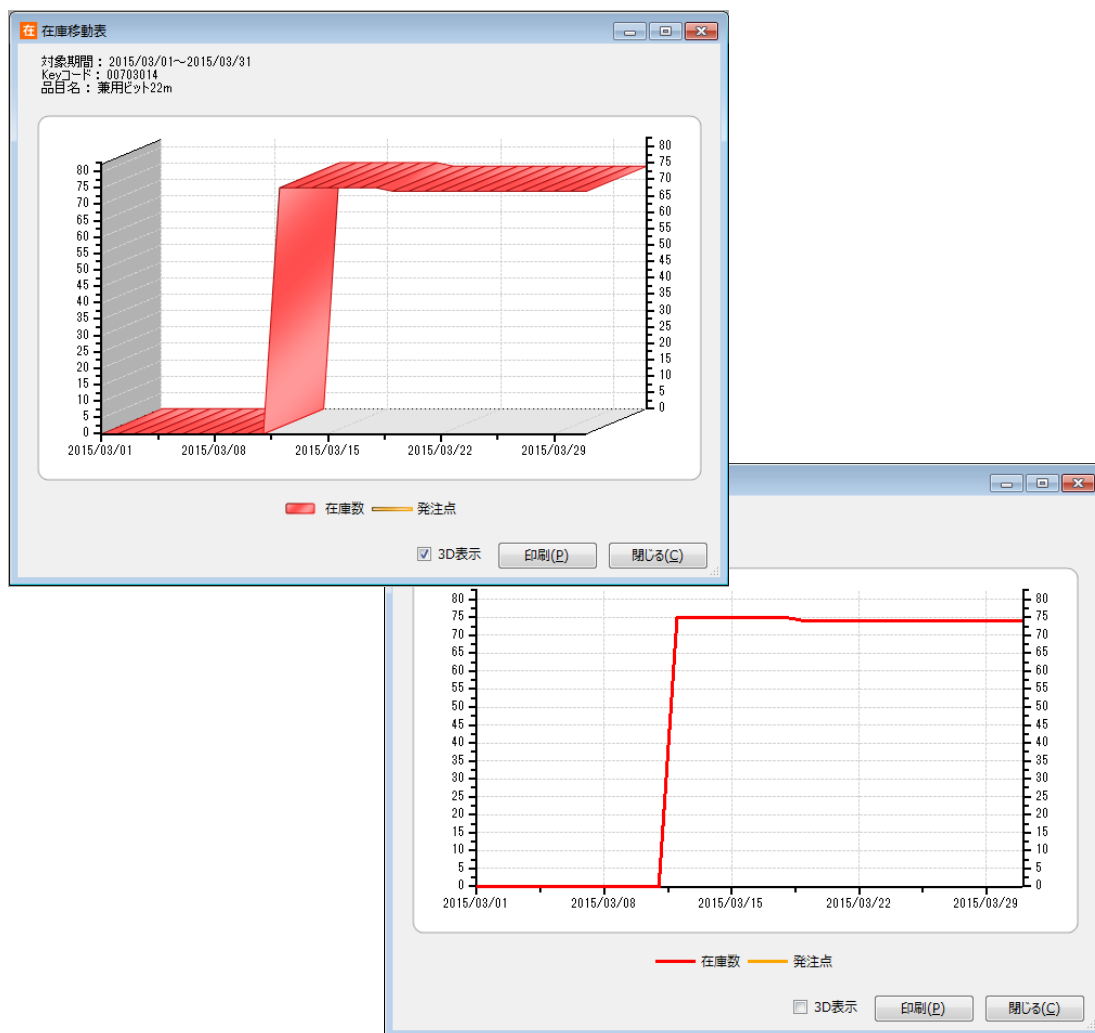
入荷・倉庫間入荷・出荷返品・汎用変更（増加）・在庫調整（増加）・棚卸（差異・増加）

*2・・・在庫の減少数は、以下の伝票区分の数量を集計した値になります。

入荷返品・出荷・倉庫間出荷・破棄・汎用変更（減少）・在庫調整（減少）・棚卸（差異・減少）

[2] 在庫移動表グラフ画面

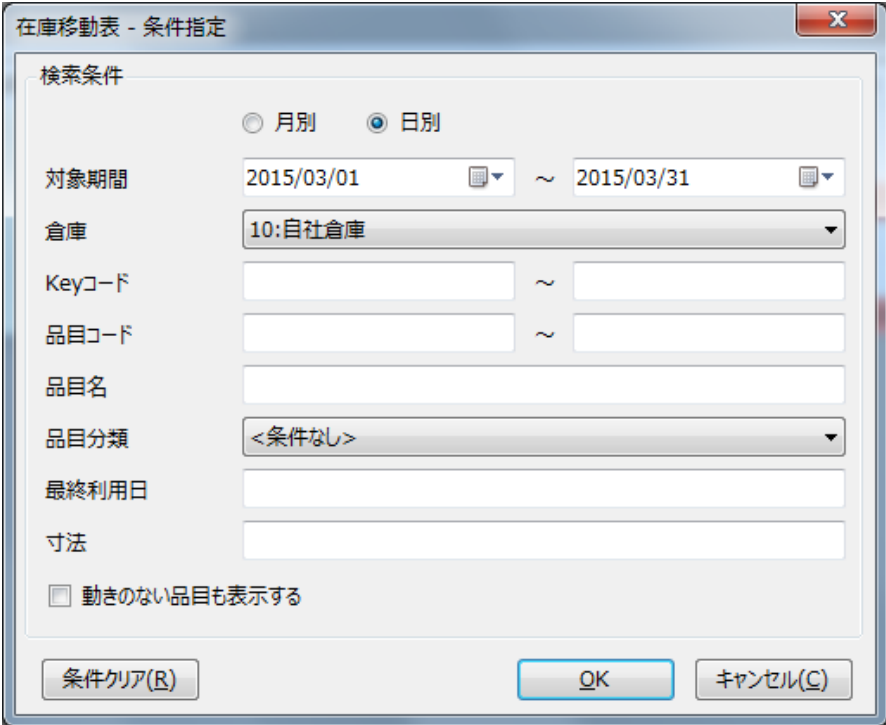
在庫数の増減をグラフで表示します。（上：3D 表示 下：2D 表示）



ヘッダ部		
対象期間	—	対象期間を表示します。
key コード	—	品目の Key コードを表示します。

品目名	—	品目名を表示します。
グラフ		
在庫数	表示	在庫数を表示します。グラフに表示している在庫数は検索の絞り込条件が「月別」の場合でも日ごとのデータになります。
発注点	表示	発注点を表示します
フッタ部		
3D 表示	チェック	チェックのオン/オフで在庫数のグラフの 3D/2D 表示を切り替えます。
[印刷]	—	グラフのイメージを印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[3] 絞り込条件指定画面



在庫移動表 - 条件指定

検索条件

☐ 月別 ☒ 日別

対象期間 2015/03/01 ~ 2015/03/31

倉庫 10: 自社倉庫

Keyコード ~

品目コード ~

品目名

品目分類 <条件なし>

最終利用日

寸法

☐ 動きのない品目も表示する

条件クリア(R) OK キャンセル(C)

メイン部		
月別/日別	選択ボタン	対象期間を月別/日別に指定するかを選択します。
対象期間	入力	対象期間を指定します。 (日別の場合は、対象期間の開始と終了を指定します。 範囲が 1 年以内になるように指定してください。)
倉庫	リスト	絞り込む倉庫を指定します。
Key コード	入力	絞り込む Key コードを入力します。 入力補助画面が使えます。

第5章 日常操作

品目コード	入力	絞り込む品目コードを入力します。 入力補助画面が使えます。
品目名	入力	絞り込む品目名を入力します。 検索対象の項目は品目名 1・品目名 2・略称です。
品目分類	リスト	絞り込む品目分類を選択します。
ロット 1	入力	絞り込むロット 1 を入力します。 (システム設定の「日付入力-ロット 1 」が「なし」以外に設定されていると、範囲指定方の検索になります。)
ロット 2	入力	絞り込むロット 2 を入力します。 (システム設定の「日付入力-ロット 2 」が「なし」以外に設定されていると、範囲指定方の検索になります。)
動きのない品目も 表示する	チェック	対象期間内の在庫が 0 で、在庫の増減もない品目の、表示の有無を指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞り込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

5-12 在庫高集計

現時点の在庫金額を表示するには在庫高集計画面を開きます。

[1] 在庫高集計画面

在庫高集計

検索

絞込検索(L)

更新(R)

倉庫: 10: 自社倉庫

在庫高 - 集計結果 (8 件)

在庫高

¥210,704.00

日付

2015/04/01

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	標準原単価	現品数	金額
00703014	4962660062278	兼用ビット22m		02: 工具・電材	¥982.00	74	¥72,668.00
00703017	4962660063640	兼用ビット36m		02: 工具・電材	¥982.00	98	¥96,236.00
009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01: 自動車部品	¥142.00	141	¥20,022.00
009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	01: 自動車部品	¥77.00	200	¥15,400.00
009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01: 自動車部品	¥62.00	18	¥1,116.00
009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01: 自動車部品	¥21.00	38	¥798.00
009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01: 自動車部品	¥18.00	248	¥4,464.00
8SPFS	4978877834911	MASPRO CATV 8分配器 10~2150MHz		02: 工具・電材		40	
合計						857	¥210,704.00

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込条件]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
在庫高	表示	現在の在庫金額を表示します。
日付	表示	集計日付(システム日付)を表示します。
明細部		
ソート順: Keyコード(昇順)		
Keyコード 品目コード 品目名 1 品目名 2 分類	表示	品目の情報を表示します。
標準原単価	表示	品目台帳に登録された標準原単価を表示します。
現品数	表示	現時点の現品在庫数を表示します。
金額	表示	原価 × 現品数
フッタ部		

[エクスポート]	—	表示中の集計結果を CSV ファイルに書き出します。
[印刷]	—	表示中の集計結果を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 集計方法について

品目台帳上の「標準原単価」を元に計算します。登録されていない場合は単価 0 円として計算されます。

[3] 絞込条件指定画面

在庫高集計 - 条件指定

検索条件

倉庫 10: 自社倉庫

Keyコード ~

品目コード ~

品目名

AND/OR検索 なし

品目分類 <条件なし>

ロット1 ~

期限切れ検索 <条件なし>

ロット2

在庫状態 <条件なし> ~

ゾーン <条件なし>

ロケーション

☐ 積送中を含めない

条件クリア(R) OK キャンセル(C)

メイン部		
倉庫	リスト	絞り込む倉庫を指定します。
Key コード	入力	絞り込む Key コードを入力します。 入力補助画面が使えます。
品目コード	入力	絞り込む品目コードを入力します。 入力補助画面が使えます。
品目名	入力	絞り込む品目名を入力します。 検索対象の項目は品目名 1・品目名 2・略称です。
品目分類	リスト	絞り込む品目分類を選択します。

第5章 日常操作

ロット1	入力	絞り込むロット1を入力します。 (システム設定の「日付入力-ロット1」の形式が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。また、用途が使用期限に設定されていると期限切れ検索が可能になります。)
ロット2	入力	絞り込むロット2を入力します。 (システム設定の「日付入力-ロット2」の形式が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。また、用途が使用期限に設定されていると期限切れ検索が可能になります。)
在庫状態	リスト	絞り込む在庫状態を選択します。
ゾーン	リスト	絞り込むゾーンを選択します。
ロケーション	入力	絞り込むロケーションを入力します。 入力補助画面が使えます。
積送中を含めない	チェック	在庫状態が積送中の在庫品を含まず表示する場合はチェックします。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞り込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

5-13 出荷高（単価）別ABC分析

「出荷高（単価）別ABC分析」は、品目を出荷高の大きい順にABCの3ランクに分けてリストアップします。
集計結果から重点管理する品目を区別することができます。

[1] 出荷高（単価）別ABC分析画面

順位	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	推奨ロケーション	単価	合計 出荷数量	単位	▼ 出荷高	構成比	累計 構成比	区分
1	00703017	4962660063640	兼用ビット36m		02:工具・電材		¥1,400.00	21	本	¥29,400.00	77.13%	77.13%	A
2	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01:自動車部品		¥88.00	40	個	¥3,520.00	9.23%	86.37%	B
3	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品		¥182.00	12	個	¥2,184.00	5.73%	92.10%	C
4	00703014	4962660062278	兼用ビット22m		02:工具・電材		¥1,400.00	1	本	¥1,400.00	3.67%	95.77%	
5	009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	01:自動車部品		¥100.00	12	個	¥1,200.00	3.15%	98.92%	
6	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品		¥21.00	12	個	¥252.00	0.66%	99.58%	
7	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01:自動車部品		¥40.00	4	個	¥160.00	0.42%	100.00%	
合計								102		¥38,116.00			

ヘッダ部		
[絞り条件]	—	絞り条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞り条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞り条件を表示します。
明細部		
ソート順： 出荷高(降順) > Keyコード(昇順)		
Keyコード 品目コード 品目名 1 品目名 2 分類 推奨ロケーション	表示	品目の情報を表示します。
単価	表示	品目台帳に登録された単価を表示します。
合計出荷数量	表示	出荷数量の合計を表示します。
単位	表示	品目の単位を表示します。
出荷高	表示	単価×合計出荷数量
構成比	表示	総出荷高に対する構成比を表示します。

累計構成比	表示	構成比の累計を表示します。
区分	表示	累計構成比が～70%を「A」、70%～90%を「B」、90%～を「C」として表示します。
フッタ部		
[エクスポート]	—	表示中の集計結果を CSV ファイルに書き出します。
[印刷]	—	表示中の集計結果を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 集計方法について

出荷実績伝票のうち、伝票区分が「出荷」のものが集計対象となります。「返品」「倉庫間出荷」は集計されません。

出荷高は品目台帳上の「単価」を元に計算します。登録されていない場合は単価 0 円として計算されます。

[3] 絞り込条件指定画面

メイン部		
伝票日付	入力	絞り込む伝票日付の範囲を指定します。
納期	入力	絞り込む納期の範囲を入力します。
出荷予定日	入力	絞り込む出荷予定日の範囲を入力します。
倉庫	表示	倉庫名が表示されます。
出荷先コード	入力	絞り込む出荷先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。

第5章 日常操作

直送先コード	入力	絞り込む直送先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
作業番号	入力	絞り込む作業番号の範囲を指定します。
元伝票番号	入力	絞り込む元伝票番号の範囲を指定します。
摘要	入力	絞り込む摘要を指定します。（一部一致検索）
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞り込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

5－14 出荷高（標準原単価）別ABC分析

「出荷高（単価）別ABC分析」は、品目を出荷高の大きい順にABCの3ランクに分けてリストアップします。
集計結果から重点管理する品目を区別することができます。

[1] 出荷高（標準原単価）別ABC分析画面

出荷高（標準原単価）別ABC分析

検索

絞り検索(L)

更新(R)

伝票日付：2015/03/01～2015/03/31 / 倉庫：10:自社倉庫

出荷高（標準原単価）別ABC分析 - 集計結果（7件）

順位	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	推奨ロケーション	標準原単価	合計出荷数量	単位	▼ 出荷高	構成比	累計構成比	区分
1	00703017	4962660063640	兼用ビット36m		02:工具・電材		¥982.00	21	本	¥20,622.00	76.34%	76.34%	A
2	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01:自動車部品		¥62.00	40	個	¥2,480.00	9.18%	85.52%	B
3	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品		¥142.00	12	個	¥1,704.00	6.31%	91.83%	
4	00703014	4962660062278	兼用ビット22m		02:工具・電材		¥982.00	1	本	¥982.00	3.64%	95.47%	
5	009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	01:自動車部品		¥77.00	12	個	¥924.00	3.42%	98.89%	C
6	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品		¥18.00	12	個	¥216.00	0.80%	99.69%	
7	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01:自動車部品		¥21.00	4	個	¥84.00	0.31%	100.00%	
合計								102		¥27,012.00			

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞り条件]	—	絞り条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞り条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞り条件を表示します。
明細部		
ソート順： 出荷高(降順) > Keyコード(昇順)		
Keyコード 品目コード 品目名 1 品目名 2 分類 推奨ロケーション	表示	品目の情報を表示します。
標準原単価	表示	品目台帳に登録された標準原単価を表示します。
合計出荷数量	表示	出荷数量の合計を表示します。
単位	表示	品目の単位を表示します。
出荷高	表示	単価×合計出荷数量
構成比	表示	総出荷高に対する構成比を表示します。

累計構成比	表示	構成比の累計を表示します。
区分	表示	累計構成比が～70%を「A」、70%～90%を「B」、90%～を「C」として表示します。
フッタ部		
[エクスポート]	—	表示中の集計結果を CSV ファイルに書き出します。
[印刷]	—	表示中の集計結果を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 集計方法について

出荷実績伝票のうち、伝票区分が「出荷」のものが集計対象となります。「返品」「倉庫間出荷」は集計されません。

出荷高は品目台帳上の「標準原単価」を元に計算します。登録されていない場合は標準原単価 0 円として計算されます。

[3] 絞り込み条件指定画面

メイン部		
伝票日付	入力	絞り込む伝票日付の範囲を指定します。
納期	入力	絞り込む納期の範囲を入力します。
出荷予定日	入力	絞り込む出荷予定日の範囲を入力します。
倉庫	表示	倉庫名が表示されます。

第5章 日常操作

出荷先コード	入力	絞り込む出荷先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
直送先コード	入力	絞り込む直送先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
作業番号	入力	絞り込む作業番号の範囲を指定します。
元伝票番号	入力	絞り込む元伝票番号の範囲を指定します。
摘要	入力	絞り込む摘要を指定します。（一部一致検索）
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞り込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

5－15 出荷頻度別ABC分析

「出荷頻度別ABC分析」は品目を出荷頻度の高い順にABCの3ランクに分けてリストアップします。集計結果から品目のロケーションを見直すことで、出荷効率の向上につながります。

[1] 出荷頻度別ABC分析画面

出荷頻度別ABC分析

検索

絞込検索(L)

更新(R)

伝票日付: 2015/03/01~2015/03/31 / 倉庫: 10:自社倉庫

出荷頻度別ABC分析 - 集計結果 (7件)

順位	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	推奨ロケーション	合計出荷数量	単位	▼出荷回数	構成比	累計構成比	区分
1	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01:自動車部品		40	個	2	25.00%	25.00%	A
2	00703014	4962660062278	兼用ビット22m		02:工具・電材		1	本	1	12.50%	37.50%	
3	00703017	4962660063640	兼用ビット36m		02:工具・電材		21	本	1	12.50%	50.00%	
4	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品		12	個	1	12.50%	62.50%	B
5	009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	01:自動車部品		12	個	1	12.50%	75.00%	
6	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01:自動車部品		4	個	1	12.50%	87.50%	C
7	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品		12	個	1	12.50%	100.00%	

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込条件]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順: 出荷回数(降順) > Keyコード(昇順)		
Keyコード 品目コード 品目名 1 品目名 2 分類 推奨ロケーション	表示	品目の情報を表示します。
合計出荷数量	表示	出荷数量の合計を表示します。
単位	表示	品目の単位を表示します。
出荷回数	表示	出荷回数を表示します。同じ品目が同一伝票に複数ある場合も1回とカウントします。
構成比	表示	総出荷回数に対する構成比を表示します。
累計構成比	表示	構成比の累計を表示します。

区分	表示	累計構成比が～70%を「A」、70%～90%を「B」、90%～を「C」として表示します。
フッタ部		
[エクスポート]	—	表示中の集計結果を CSV ファイルに書き出します。
[印刷]	—	表示中の集計結果を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 集計方法について

出荷実績伝票のうち、伝票区分が「出荷」のものが集計対象となります。「返品」「倉庫間出荷」は集計されません。

[3] 絞込条件指定画面

メイン部		
伝票日付	入力	絞り込む伝票日付の範囲を指定します。
納期	入力	絞り込む納期の範囲を入力します。
出荷予定日	入力	絞り込む出荷予定日の範囲を入力します。
倉庫	表示	倉庫名が表示されます。
出荷先コード	入力	絞り込む出荷先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
直送先コード	入力	絞り込む直送先コードの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
作業番号	入力	絞り込む作業番号の範囲を指定します。

第5章 日常操作

元伝票番号	入力	絞り込む元伝票番号の範囲を指定します。
摘要	入力	絞り込む摘要を指定します。（一部一致検索）
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞り込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

5－16 在庫高別ABC分析

「在庫高別ABC分析」は、品目を在庫高の大きい順にABCの3ランクに分けてリストアップします。品目別の在庫高を確認することで、在庫量の適正化に役立てます。

[1] 在庫高別ABC分析画面

在庫高別ABC分析

検索

絞り込み検索(L)

更新(R)

対象日付: 2015/04/01 / 倉庫: 10: 自社倉庫

在庫高別ABC分析 - 集計結果 (8 件)

順位	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	推奨ロケーション	標準原単価	現品数	単位	在庫高	構成比	累計構成比	区分
1	00703017	4962660063640	兼用ビット36m		02: 工具・電材		¥982.00	98	本	¥96,236.00	45.67%	45.67%	A
2	00703014	4962660062278	兼用ビット22m		02: 工具・電材		¥982.00	74	本	¥72,668.00	34.49%	80.16%	B
3	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01: 自動車部品		¥142.00	141	個	¥20,022.00	9.50%	89.66%	C
4	009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	01: 自動車部品		¥77.00	200	個	¥15,400.00	7.31%	96.97%	
5	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01: 自動車部品		¥18.00	248	個	¥4,464.00	2.12%	99.09%	
6	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01: 自動車部品		¥62.00	18	個	¥1,116.00	0.53%	99.62%	
7	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01: 自動車部品		¥21.00	38	個	¥798.00	0.38%	100.00%	
8	8SPFS	4978877834911	MASPRO CATV 8分配器 10〜		02: 工具・電材			40	個		0.00%	100.00%	
合計								857		¥210,704.00			

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込条件]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 在庫高(降順) > Keyコード(昇順)		
Keyコード 品目コード 品目名 1 品目名 2 分類 推奨ロケーション	表示	品目の情報を表示します。
標準原単価	表示	品目台帳に登録された標準原単価を表示します。
現品数	表示	現品数を表示します。
単位	表示	品目の単位を表示します。
在庫高	表示	標準原単価×現品数
構成比	表示	総現品数に対する構成比を表示します。
累計構成比	表示	構成比の累計を表示します。

区分	表示	累計構成比が～70%を「A」、70%～90%を「B」、90%～を「C」として表示します。
フッタ部		
[エクスポート]	—	表示中の集計結果を CSV ファイルに書き出します。
[印刷]	—	表示中の集計結果を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 集計方法について

在庫高は品目台帳上の「標準原単価」を元に計算します。登録されていない場合は標準原単価 0 円として計算されます。

[3] 絞込条件指定画面

在庫高別ABC分析 - 条件指定

検索条件

対象日付 2015/04/01

倉庫 10:自社倉庫

Keyコード ~

品目コード ~

品目名

品目分類 <条件なし>

条件クリア(R) OK キャンセル(C)

メイン部		
対象日付	入力	対象日付を指定します。 一覧に表示する現品数は、指定した対象日付時点の値になります。
倉庫	表示	倉庫名が表示されます。
Key コード	入力	絞り込む Key コードを入力します。 入力補助画面が使えます。
品目コード	入力	絞り込む品目コードを入力します。 入力補助画面が使えます。
品目名	入力	絞り込む品目名を入力します。 検索対象の項目は品目名 1・品目名 2・略称です。
品目分類	リスト	絞り込む品目分類を選択します。

第5章 日常操作

フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[O K]	—	絞込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

5-17 滞留在庫

「滞留在庫」は一定期間出荷のない在庫をリストアップします。
集計結果から常備在庫すべき品目を見直し、在庫量の適正化に役立てます。

[1] 滞留在庫画面

滞留在庫一覧

検索

絞り検索(L)

更新(R)

倉庫: 10: 自社倉庫

滞留在庫一覧 - 検索結果 (8 件)

倉庫	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	現品数	単位	最終入荷日	最終出荷日
10: 自社倉庫	00703014	4962660062278	兼用ビット22m		02: 工具・電材	74	本	2015/03/12	2015/03/19
10: 自社倉庫	009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	01: 自動車部品	188	個	2015/03/01	2015/03/23
10: 自社倉庫	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01: 自動車部品	129	個	2015/03/04	2015/03/23
10: 自社倉庫	00703017	4962660063640	兼用ビット36m		02: 工具・電材	77	本	2015/03/12	2015/03/23
10: 自社倉庫	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01: 自動車部品	13	個	2015/03/12	2015/03/23
10: 自社倉庫	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01: 自動車部品	34	個	2015/03/01	2015/03/27
10: 自社倉庫	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01: 自動車部品	236	個	2015/03/01	2015/03/27
10: 自社倉庫	8SPFS	4978877834911	MASPRO CATV 8分配器 10~2150MHz		02: 工具・電材	40	個	2015/03/04	

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞り条件]	—	絞り条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞り条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞り条件を表示します。
明細部		
ソート順： 倉庫コード(昇順) > 最終出荷日(昇順) > 最終入荷日(昇順) > Keyコード(昇順)		
Keyコード 品目コード 品目名 1 品目名 2 分類	表示	品目の情報を表示します。
現品数	表示	現品数を表示します。
単位	表示	品目の単位を表示します。
最終入荷日	表示	最終入荷日を表示します。
最終出荷日	表示	最終出荷日を表示します。
フッタ部		
[エクスポート]	—	表示中の集計結果を CSV ファイルに書き出します。
[印刷]	—	表示中の集計結果を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 最終入荷日と最終出荷日について

最終入荷日は、伝票区分が「入荷」の入荷実績伝票のうち一番新しい伝票日付を表示します。
最終出荷日は、伝票区分が「出荷」の出荷実績伝票のうち一番新しい伝票日付を表示します。
一度も「入荷」「出荷」のない品目の場合、最終入荷日、最終出荷日は表示されません。

[3] 絞り込条件指定画面

滞留在庫 - 条件指定

検索条件

倉庫

10:自社倉庫

Keyコード

~

品目コード

~

品目名

品目分類

<条件なし>

現品数

以上

最終出荷日

2015/04/01

以前

条件クリア(R)

OK

キャンセル(C)

メイン部		
倉庫	表示	倉庫名が表示されます。
Keyコード	入力	絞り込む Key コードを入力します。 入力補助画面が使えます。
品目コード	入力	絞り込む品目コードを入力します。 入力補助画面が使えます。
品目名	入力	絞り込む品目名を入力します。 検索対象の項目は品目名 1・品目名 2・略称です。
品目分類	リスト	絞り込む品目分類を選択します。
現品数	入力	絞り込む現品数を入力します。
最終出荷日	入力	絞り込む最終出荷日を指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[O K]	—	絞り込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

5－18 在庫回転率

「在庫回転率」は品目を回転率の高い順にリストアップします。
各品目の回転率を確認し、在庫量の適正化に役立てます。

[1] 在庫回転率画面

在庫回転率

検索

絞り検索(L)

更新(R)

対象期間：2015/03/02～2015/04/01 / 倉庫：10:自社倉庫

在庫回転率 - 集計結果 (8 件)

順位	Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	▼ 回転率	回転期間(月)	平均在庫数	出荷数	単位
1	009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	01:自動車部品	15.24	0.79	31.5	40	個
2	00703017	4962660063640	兼用ビット36m		02:工具・電材	6.55	1.83	38.5	21	本
3	009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	01:自動車部品	1.60	7.50	90	12	個
4	009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	01:自動車部品	1.33	9.00	36	4	個
5	009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	01:自動車部品	0.74	16.17	194	12	個
6	009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	01:自動車部品	0.60	20.17	242	12	個
7	00703014	4962660062278	兼用ビット22m		02:工具・電材	0.32	37.00	37	1	本
8	8SPFS	4978877834911	MASPRO CATV 8分配器 10～2150MHz		02:工具・電材	0.00		20	0	個

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞り条件]	—	絞り条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞り条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞り条件を表示します。
明細部		
ソート順： 回転率(降順) > Keyコード(昇順)		
Keyコード 品目コード 品目名 1 品目名 2 分類	表示	品目の情報を表示します。
回転率	表示	出荷数÷平均在庫数 (絞り条件の対象期間が1年間以外の場合は、1年間に換算した回転率を表示します。また、平均在庫数が0の場合は何も表示しません。)
回転期間 (月)	表示	12÷回転率 (回転率が0の場合は何も表示しません。)
平均在庫数	表示	(期首の在庫数+期末の在庫数) ÷ 2
出荷数	表示	出荷数の合計を表示します。

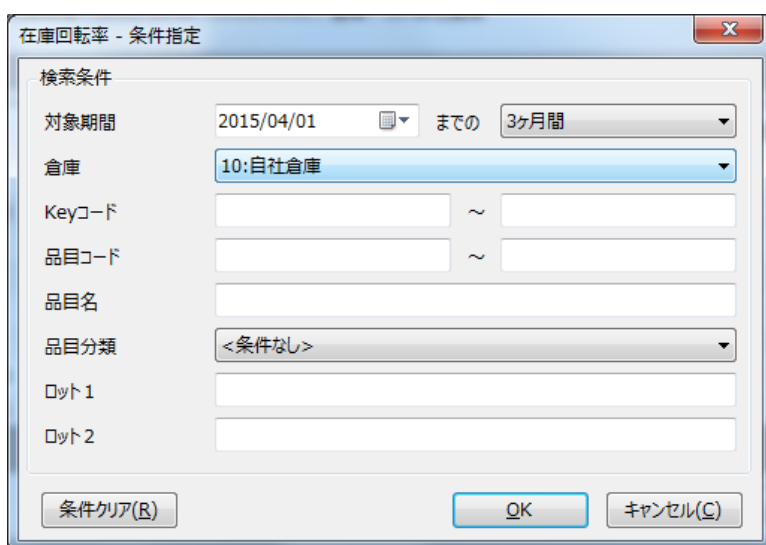
単位	表示	品目の単位を表示します。
フッタ部		
[エクスポート]	—	表示中の集計結果を CSV ファイルに書き出します。
[印刷]	—	表示中の集計結果を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 回転率と回転期間について

回転率とは、1 年間でその品目が何回転したかを表す値です。回転率が多い品目は入出荷の多い品目と言えます。逆に回転率の低い品目は、入出荷の効率が悪い可能性があり、在庫を必要以上に多く抱えていないか、または滞留在庫になっていないかチェックする必要があります。

また、回転期間とは 1 回転するのに何ヶ月かかっているかを表す値です。回転期間が短い品目ほど入出荷が多く、在庫の効率がよいことになります。

[3] 絞り込条件指定画面



在庫回転率 - 条件指定

検索条件

対象期間: 2015/04/01 [カレンダーアイコン] までの 3ヶ月間

倉庫: 10:自社倉庫

Keyコード: [入力欄] ~ [入力欄]

品目コード: [入力欄] ~ [入力欄]

品目名: [入力欄]

品目分類: <条件なし>

ロット1: [入力欄]

ロット2: [入力欄]

条件クリア(R) OK キャンセル(C)

メイン部		
対象期間 開始日	選択	対象期間の開始日を指定します。
対象期間	リスト	対象期間を「1 年間」「半年間」「3 ヶ月間」「1 ヶ月」より選択します。
倉庫	表示	倉庫名が表示されます。
Key コード	入力	絞り込む Key コードを入力します。 入力補助画面が使えます。

第5章 日常操作

品目コード	入力	絞り込む品目コードを入力します。 入力補助画面が使えます。
品目名	入力	絞り込む品目名を入力します。 検索対象の項目は品目名 1・品目名 2・略称です。
品目分類	リスト	絞り込む品目分類を選択します。
ロット 1	入力	絞り込むロット 1 を入力します。 (システム設定の「日付入力-ロット 1 」が「なし」以外に設定されていると、範囲指定方の検索になります。)
ロット 2	入力	絞り込むロット 2 を入力します。 (システム設定の「日付入力-ロット 2 」が「なし」以外に設定されていると、範囲指定方の検索になります。)
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞り込みを行い、一覧表示を行います。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

5 – 1 9 ストレージ画像メンテナンス

本画面は「画像ストレージオプション」を契約することで表示されます。
本画面でストレージ画像の登録や削除を行います。

[1] ストレージ画像メンテナンス画面

在 ストレージ画像メンテナンス

登録内容

バーコード 009331011A

品目コード SB001NS001

品目名 1 シリンダーブロック

品目名 2 FJ4-1

画像 1

アップロード 削除

193x144 pixel
0.02 MByte

画像 2

アップロード 削除

No Image

閉じる(C)

Key コード	入力(必)	品目の Key コードを入力します。入力補助画面が使用できます。
品目コード 品目名 1 品目名 2	表示	選択された品目の品目コードや品目名 1・2 が表示されます。
[アップロード] [削除]	—	ストレージ画像のアップロードや削除を行います。

第6章 運用管理のための操作

本章では、棚卸や各種台帳登録などの運用上必要な操作を説明します。

6－1 棚卸

在庫スイートクラウドの運用を始める前には棚卸を行う必要があります。また期末など必要に応じて棚卸を行ってください。

[1] 棚卸と状態

棚卸の作業は棚卸画面で行います。
棚卸の状態には「棚卸中」と「確定」があります。
[棚卸開始] ボタンをクリックすることにより「棚卸中」になります（同一倉庫内で、ある棚卸が「棚卸中」の時、別の棚卸を開始することはできません）。
[更新] ボタンのクリックにより、モバイルからの棚卸データを集計（加算）し最新の結果を表示します。
PC 上からは [PC 棚卸] 欄より直接数量を入力できます。
終了時は [確定] ボタンをクリックします。これにより現在の在庫が更新されます。
なお、「棚卸中」でも棚卸画面を閉じることは可能です。

棚卸ヘッダ

棚卸番号000000000362

棚卸日付2020/08/20

棚卸対象全体

倉庫10:目社倉庫

担当者山田 太郎 (t_yamada)

摘要

検索

絞り込み検索(L)

更新(R)

状態

棚卸中

棚卸開始(K)

確定

中止

棚卸明細 (3 件)

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	ロット1	ロット2	在庫状態	ロケーション	論理現品数	PC棚卸数	モバイル棚卸数	合計棚卸数	差
▶ 009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1			通常品	A-1	0	10		10	
009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1			通常品	A-1	0	20		20	
009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1			通常品	A-1	0	30		30	

全3件 : 1~3件

表示件数 500

1 / 1ページ

先頭

←前へ

次へ→

最後

行追加(A)

行削除(R)

外部データ比較

インポート(I)

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
棚卸番号	表示	“000000000001”から始まる通し番号が自動的に割り当てられます。新規伝票の場合は登録が確定した時点で決定されます。
棚卸日付	入力(必)	棚卸日付です。初期値はP Cのシステム日付です。変更が可能です。
倉庫	表示	作業倉庫が表示されます。
担当者	表示	作業担当者が表示されます。(変更できません)
摘要	入力	任意の文字列を入力できます。

第6章 運用管理のための操作

〔棚卸開始〕	—	棚卸を開始します。 棚卸の状態が〔棚卸中〕になります。
〔確定〕	—	棚卸を終了し、棚卸データを在庫データとして確定します。 棚卸の状態が〔棚卸中〕から〔確定〕になります。
〔中止〕	—	棚卸を中止します。
状態	表示	棚卸の状態が表示されます。
〔対象選択〕	—	一部棚卸を行う場合の棚卸対象を選択します。
〔更新〕	—	現在の選択条件で明細を更新します。
棚卸対象	—	現在の選択条件が表示されます。
〔絞込検索〕	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
〔更新〕	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： ロケーション(昇順) > 品目コード(昇順) > Key コード(昇順) > 在庫状態(昇順) > ロット1 (昇順) > ロット2 (昇順)		
Key コード 品目コード 品目名 1 品目名 2 ロット 1 ロット 2 在庫状態 ロケーション	表示	棚卸の対象となる在庫品の情報が表示されます。
論理現品数	表示	棚卸開始時の現品数が表示されます。
PC 棚卸数	入力	PC から直接数量入力できます。モバイル以外での棚卸データはこちらより入力します。0 やマイナスも入力可能です。棚卸の結果、在庫がなかった事を明確にする場合は 0 を入力してください。 システム設定で、棚卸開始時に論理現品数を初期値として表示するように設定することもできます。設定方法は「7 - 1 [2] システム運用」をご覧ください。
モバイル棚卸数	表示	モバイル機器からの棚卸データの合計数を表示します。 棚卸の結果、在庫がなかった事を明確にするには 0 を入力してください。本項目に反映されます。 最新情報を表示にするには〔更新〕をクリックしてください。
合計棚卸数	表示	PC 棚卸数とモバイル棚卸数の合計を表示します。
差異数	表示	棚卸合計数と論理現品数の差が表示されます。
単位	表示	品目の単位が表示されます。
差異	チェック	差異数が 0 でない場合、チェックされます。
備考	入力	任意の文字列を入力できます。
フッタ部		
〔行追加〕	—	新規の行を追加します。
〔行削除〕	—	該当明細行を削除します。 棚卸対象外の行のみ削除できます。
〔棚卸外部データ比較〕	—	集計項目を選択し外部データとの比較を行います。
〔インポート〕	—	棚卸実績ファイルをインポートします。

第6章 運用管理のための操作

〔エクスポート〕	—	棚卸実績ファイルをエクスポートします。
〔印刷〕	—	帳票種別とレイアウトを選択し、棚卸表を印刷します。
〔閉じる〕	—	画面を閉じます。 作業中に閉じても、棚卸は続行されます。 棚卸結果を確定するには〔確定〕ボタンをクリックします。

ヒント！

棚卸画面では項目名をクリックすることで、並び替えが行われます。

棚卸画面での項目名クリックによる並び替えは、対象全体での並び替えです。

また、並び替え結果は、帳票やエクスポートにも反映します。

[2] 棚卸対象選択

ゾーンや品目での一部棚卸、期間を指定した日次棚卸など、棚卸対象を制限することが出来ます。
棚卸開始前に、棚卸の「対象選択」ボタンをクリックすると、棚卸対象の選択画面が表示されます。

棚卸対象選択

● 条件指定

Keyコード ~

品目分類

<条件なし>

在庫状態

<条件なし>

ゾーン

● 全体(A)

○ ソーン(Z)

選択

ソーン

ソーンなし

A:Aソーン

B:Bソーン

ロケーション ~

☐ なしを指定する

○ 日次棚卸

登録日時
(作業日時)

2020/02/17 00:00

 ~

2020/02/17 15:56

条件クリア(R)

OK

キャンセル(C)

メイン部		
条件指定		
Key コード	入力	Key コードで棚卸対象を絞り込みます。 入力補助画面が使用できます。
品目分類	リスト	棚卸対象にする品目分類を選択します。
[参照・設定]	—	品目分類で「複数分類」を選択した場合のみ表示されます。 複数分類選択画面を表示します。
在庫状態	リスト	棚卸対象にする在庫状態を選択します。
ゾーン	チェック	棚卸対象にするゾーンを選択します。 リストから複数のゾーンを指定することができます。
ロケーション	入力	ロケーションで棚卸対象を絞り込みます。 入力補助画面が使用できます。
日次棚卸		
登録日時 (作業日時)	入力	日次棚卸の対象とする期間を指定します。伝票の登録日時に基づき、 指定された期間内に入荷/出荷/振替のいずれかが行われた品目が対象となります。 〔F5〕キーで前回の日次棚卸以降～現在の時刻がセットされます。

288

フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[OK]	—	絞込みを行い、棚卸一覧を表示します。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

[3] 複数分類選択画面

複数の品目分類を指定する場合は「複数分類」を選択し、複数分類選択画面にて品目分類を指定します。

棚卸対象選択

● 条件指定

Keyコード ~

品目分類

複数分類 →

参照・設定

在庫状態

条件なし

ゾーン

棚卸対象：複数分類選択 - 編集

☐ 指定なし

☒ 01:分類A

☒ 02:分類B

☐ 03:分類C

☐ 04:分類D

☐ 05:分類E

☐ 06:分類F

選択：2件 総数：10件

OK

キャンセル(C)

ロケーション ~ ☐ なしを指定する

○ 日次棚卸

登録日時
(作業日時)

2022/04/07 00:00

 ~

2022/04/07 11:36

条件クリア(R)

OK

キャンセル(C)

メイン部		
品目分類	リスト	品目分類を選択します。品目分類を 1 つのみ指定する場合は、棚卸対象選択画面で特定の品目分類を指定してください。
選択	表示	選択した品目分類の件数を表示します。
総数	表示	品目分類の総数を表示します。
フッタ部		
[修正]	—	編集モードに変わります。参照モード時のみ表示されます。
[閉じる]	—	画面を閉じます。
[OK]	—	編集内容を決定して参照モードに戻ります。編集モード時のみ表示されます
[キャンセル]	—	編集内容をキャンセルして参照モードに戻ります。

[4] 絞込条件指定画面

帳簿在庫（論理現品数）や実地棚卸数といった棚卸データを、絞り込んで表示することが出来ます。
絞込は、エクスポートや帳票出力にも反映します。

棚卸表明細 - 条件指定

検索条件

Keyコード

~

品目コード

~

品目名

品目分類

<条件なし>

連番

☐ なしを指定する

入荷日

~

☐ なしを指定する

在庫状態

<条件なし>

ゾーン

<条件なし>

ロケーション

~

☐ なしを指定する

差異

☐ 差異ありのみ

条件クリア(R)

OK

キャンセル(C)

メイン部（品目別）		
Key コード	入力	絞込む Key コードを入力します。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	入力	絞込む品目コードを入力します。 入力補助画面が表示できます。
品目名	入力	絞込む品目名を入力します。 検索対象の項目は品目名 1・品目名 2・略称です。
品目分類	リスト	絞込む分類を選択します。
ロット 1	入力	絞り込むロット 1 を指定します。 （システム設定の「日付入力-ロット 1 」が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。）
ロット 2	入力	絞り込むロット 2 の範囲を指定します。 （システム設定の「日付入力-ロット 2 」が「なし」以外に設定されていると、範囲指定での検索になります。）
在庫状態	リスト	絞り込む在庫状態を選択します。
ゾーン	チェック	絞り込むゾーンを選択します。
ロケーション	入力	絞り込むロケーションの範囲を指定します。 入力補助画面が使えます。
差異	チェック	論理現品数と合計棚卸数で差異のあるものを指定します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[O K]	—	絞込みを行い、一覧を表示します。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

[5] 行追加

棚卸中に、棚卸の [追加] ボタンをクリックすると、行追加画面が表示されます。

棚卸 - 行追加

Keyコード

品目コード

品目名

連番

入荷日

在庫状態

通常品

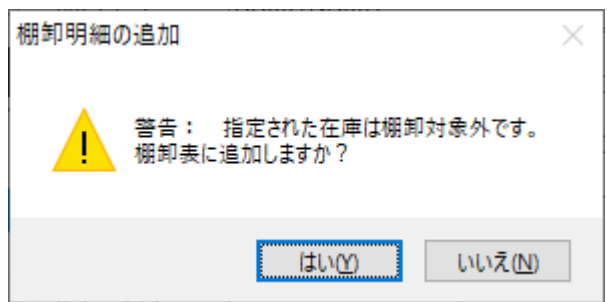
ロケーション

OK

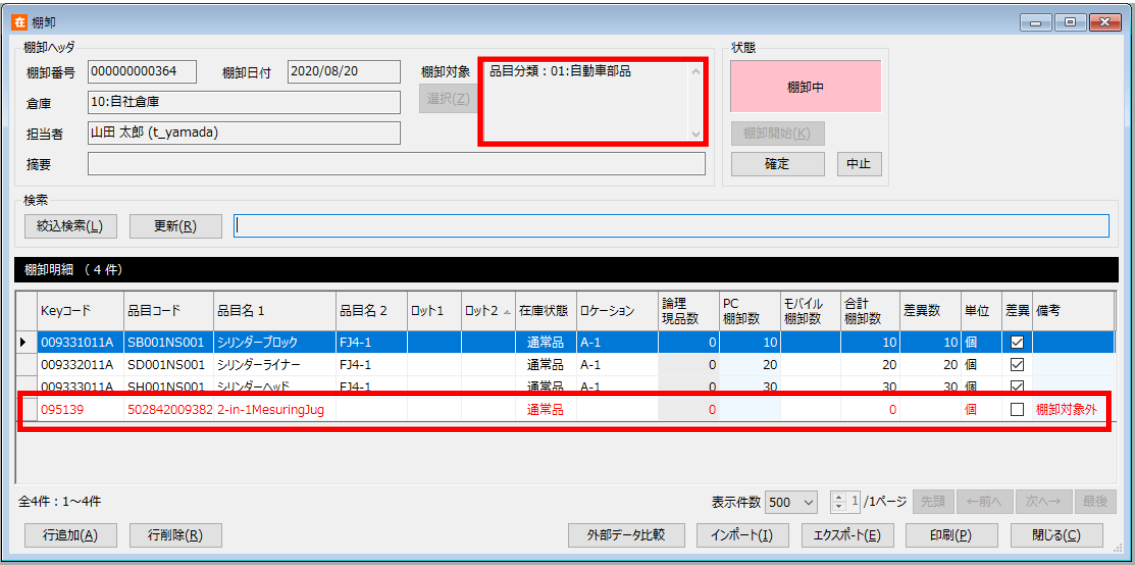
キャンセル(C)

メイン部		
追加する在庫		
Key コード	入力	Key コードを入力します。 入力補助画面が使用できます。
品目コード	表示	品目コードを表示します。品目バーコード読み取り検索項目が品目コードの場合は入力も可能です。
品目名	表示	品目名を表示します。
ロット 1	入力	ロット 1 を入力します。
ロット 2	入力	ロット 2 を入力します。
在庫状態	選択	在庫状態を選択します。
ロケーション	入力	ロケーションを入力します。 入力補助画面が使用できます。
フッタ部		
[O K]	—	入力した在庫を棚卸表から検索します。棚卸表に無かった場合は新規の行として追加できます。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

第 6 章 運用管理のための操作



一部棚卸や日次棚卸で棚卸対象外の在庫を追加する場合は、警告メッセージが表示されます。[はい] をクリックすると、指定された在庫を棚卸表に追加します。
棚卸対象外の在庫は棚卸表には赤で色分けして表示され、備考の欄に「棚卸対象外」と表示されます。



[6] 実棚入力

実地棚卸入力機能です。
本画面からの入力はモバイル機器扱いとなり、数値は[モバイル棚卸数]に反映します。

棚卸 - 実棚入力

ロケーション

A-01

Keyコード

009331011A

品目コード

SB001NS001

品目名

シリンダーブロック FJ4-1

ロット1

ロット2

在庫状態

通常品

数量

10

個

論理数

0

HT実棚

3

設定(S)

OK

クリア

入力補助(E)

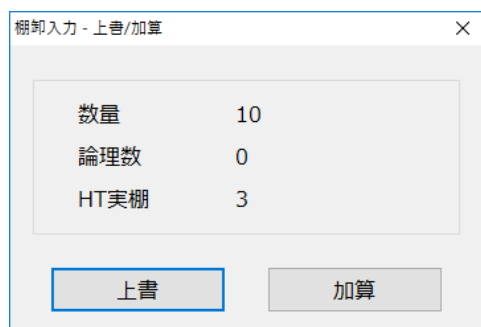
閉じる(C)

メイン部		
カウンター (画面右上)	表示	[O K] 押下で内容を反映する度にカウントアップします。カウンターは入力操作を分かりやすくするための表示であり、内容反映には影響しません。画面を閉じるとはじめてからカウントアップします。
ロケーション	テキスト	ロケーションを入力します。
Key コード	テキスト	Key コードを入力し品目を特定します。
品目コード	表示／テキスト	通常は、品目コードを表示します。 品目バーコード読み取り検索項目が品目コードの場合は、品目コードを入力し品目を特定します。
品目名	表示	品目名を表示します。
ロット1、ロット2	テキスト	ロット1、ロット2を入力します。
在庫状態	リスト	在庫状態を指定します。
数量	テキスト	数量を入力します。 棚卸画面の[モバイル棚卸数]に反映されます。
論理数	表示	同じロケーション・品目・ロット1・ロット2・在庫状態の論理現品数を表示します。
HT 実棚	表示	同じロケーション・品目・ロット1・ロット2・在庫状態の入力済みモバイル棚卸数を表示します。
フッタ部		
[O K]	—	内容を反映します。
[クリア]	—	内容をクリアします。

[入力補助]	—	入力項目の入力補助画面を呼び出します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。
[設定]	—	本画面の入力に関する設定を行います。 設定内容は Windows の（ユーザー）アカウント毎に記憶されます。

ヒント！

HT 実棚に 1 以上の数が表示されている場合、[OK] を押すと [上書] または [加算] の選択ができます。（下図参照）



棚卸入力 - 上書/加算	
数量	10
論理数	0
HT実棚	3

上書 加算

この例の場合、反映した結果のモバイル棚卸数（HT 実棚）は、
[上書] だと 10、[加算] だと 13 となります。

ヒント！

本画面は、ノート P C / タブレット P C とバーコードスキャナーを利用した現場入力を想定しており、他の画面より文字がひとまわり大きくなっています。

注意！

本画面は、スマートフォンやハンディターミナルの画面とは一部仕様が異なります。

[7] モバイル棚卸数（詳細）

マルチデバイスオプションに加入またはシステム設定で「実棚入力を使用する」が有効な場合、棚卸画面の明細で右クリックメニュー[モバイル棚卸数（詳細）]が表示されます。

PC 棚卸数	モバイル 棚卸数	合計 棚卸数	差異数	単位	差異	備考
	25	25	20	個	☒	

コピー(C)
 列幅を内容に合わせる(A)
 一覧フォントサイズ
 モバイル棚卸数（詳細）

[モバイル棚卸数詳細]をクリックすると選択した棚卸明細について、モバイル棚卸入力履歴情報が表示されます。

モバイル棚卸数（詳細）

モバイル棚卸数（詳細） （3件）

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	ロット1	ロット2	在庫状態	ロケーション	モバイル 棚卸数	単位
009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1			通常品	A-1	25	個

登録日時	作業担当者	モバイル 入力数	単位	上書	削除済
2020/08/20 14:20:20	鈴木 一郎 (i_suzuki)	10	個		☐
2020/08/20 11:20:30	山田 太郎 (t_yamada)	15	個	上書	☐
2020/08/18 10:20:15	山田 太郎 (t_yamada)	5	個		☒

全3件：1～3件
 表示件数 自動 1 /1ページ
 先頭 ←前へ 次へ→ 最後
 閉じる(C)

ヒント！

モバイル棚卸数（詳細）画面で表示されるのは

- ・マルチデバイスオプション（アプリケーション Version1.50 以降）で入力
- ・実棚入力で入力

のいずれかの場合です。

第6章 運用管理のための操作

ヘッダ部		
Key コード 品目コード 品目名 1 品目名 2 ロット 1 ロット 2 在庫状態 ロケーション モバイル棚卸数 単位	表示	棚卸明細情報を表示します。
明細部		
ソート順：登録日時(降順)		
登録日時	表示	棚卸入力を行った日時を表示します。
作業担当者	表示	棚卸入力作業を行った担当者を表示します。
モバイル入力数	表示	モバイル機器で入力した棚卸数を表示します。
単位	表示	品目の単位を表示します。
上書	表示	上書登録かどうかを表示します。
削除済	表示	上書登録の結果、削除された明細はチェックが ON になります。
フッタ部		
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[8] 棚卸外部データ項目指定

外部データ対象項目を指定します。

棚卸外部データ - 項目指定

外部データ対象項目

Keyコード

1

項目目

在庫数

2

項目目

☐ ロット1

項目目

☐ ロット2

項目目

☐ 在庫状態

項目目

☐ ロケーション

項目目

インポート

キャンセル

メイン部		
Key コード 在庫数	入力	Key コード・在庫数が外部データ CSV ファイルの何番目の項目かを指定します。
ロット 1 ロット 2 在庫状態 ロケーション	入力	使用する項目にチェックを入れ、各項目が外部データ CSV ファイルの何番目の項目かを指定します。
フッタ部		
[インポート]	—	外部データのインポートを行い、棚卸外部データ比較画面を表示します。
[キャンセル]	—	画面を閉じます。

[9] 棚卸外部データ比較

棚卸外部データと棚卸結果との比較結果を表示します。

在 棚卸外部データ比較

検索

☐ 差異ありのみ 更新(R) 集計項目：Keyコード

棚卸外部データ比較 (3 件)

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	外部データ 在庫数	棚卸数	差異数	単位
009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	35	35	0	個
009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	15	20	5	個
009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	30	30	0	個

全3件：1～3件 表示件数 自動 1 /1ページ 先頭 ←前へ 次へ→ 最後

棚卸数詳細

エクスポート(E)

閉じる(C)

ヘッダ部		
差異ありのみ	入力	外部データ比較結果を差異ありのみに絞り込む場合は、チェックを ON にして[更新]ボタンをクリックします。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： ロケーション(昇順) > 品目コード(昇順) > Key コード(昇順) > 在庫状態(昇順) > ロット 1 (昇順) > ロット 2 (昇順)		
Key コード 品目コード 品目名 1 品目名 2 ロット 1 ロット 2 在庫状態 ロケーション	表示	棚卸明細の情報が表示されます。 ロット 1・ロット 2・在庫状態・ロケーションは、棚卸外部データ項目指定画面で指定した場合のみ表示されます。
外部データ在庫数	表示	外部データの在庫数が表示されます。
棚卸数	表示	棚卸明細の合計棚卸数を集計項目で集計した数量を表示します。
差異数	表示	棚卸数と外部データ在庫数の差が表示されます。
単位	表示	品目の単位が表示されます。
フッタ部		
[棚卸数詳細]	—	選択した行の棚卸数詳細を棚卸画面で表示します。
[エクスポート]	—	棚卸外部データ比較ファイルをエクスポートします。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

ヒント！

棚卸外部データ比較は棚卸外部データをインポートした PC でのみ実施しており、確認できるのもその PC のみです。

棚卸外部データ比較のデータは画面を閉じると破棄されます。データを残したい場合は、エクスポートを行ってください。

棚卸外部データ比較は何度でも実施できます。

ヒント！

棚卸外部データ比較の概要については「4 - 1 7 [7] 外部システムの在庫データとの比較」をご覧ください。

[1 0] 棚卸一覧

棚卸一覧画面を表示するには、まず一覧表示を行うための絞り込み条件を入力します。

棚卸一覧 - 条件指定

検索条件

棚卸番号

~

棚卸日付

2020/02/17

~

2020/02/17

棚卸状態

<条件なし>

棚卸対象

倉庫

10:自社倉庫

摘要

条件クリア(R)

OK

キャンセル(C)

メイン部		
棚卸番号	テキスト	絞り込む棚卸番号の範囲を指定します。
棚卸日付	テキスト	絞り込む棚卸日付の範囲を指定します。
棚卸状態	リスト	絞り込む棚卸状態を選択します。
棚卸対象	テキスト／ リスト	絞り込む棚卸対象を入力します（一部一致による検索）。 リストから「全体」「日次棚卸」を選択することもできます。
倉庫	リスト	絞り込む倉庫を選択します。
摘要	テキスト	絞り込む摘要を入力します。
フッタ部		
[条件クリア]	—	条件をクリアします。
[O K]	—	絞り込みを行い、棚卸一覧を表示します。
[キャンセル]	—	キャンセルします。

第 6 章 運用管理のための操作

棚卸一覧

検索

絞込検索(L)

更新(R)

倉庫 : 10:東京本社

棚卸 - 検索結果 (1 件)

倉庫	棚卸番号	棚卸日付	棚卸状態	担当者	対象	摘要	登録日時
10:東京本社	0000000000002	2014/04/08	棚卸中	山田 太郎 (t_yamada)	バーコード : 009~009		

参照(B)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件を変更する為に条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	表示	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順 : 棚卸番号(昇順)		
倉庫 棚卸番号 棚卸日付 棚卸状態 担当者 対象 摘要 登録日時	表示	条件で絞り込まれた棚卸のヘッダ情報を表示します。
フッタ部		
[参照]	—	棚卸を参照します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6 – 2 品目台帳

在庫スイートクラウドで扱う品目はこの品目台帳に登録されている必要があります。
品目台帳の登録時に Key コードが空だった場合、自動的に [品目コード] を [Key コード] として転記します。既にそのコードが別の品目の [Key コード] として登録済みの場合は登録できません。

[1] 品目台帳画面

品目台帳 - 新規

登録内容

Keyコード

品目コード

品目名 1

品目名 2

カナ

略称

品目分類 指定なし

推奨ロケーション

単位

単価

標準原単価

発注点

入数

画像 1

画像 1 リンク

説明

品目のKeyコードを入力します。他のKeyコードとの重複は不可。省略不可。桁数は1桁～32桁。半角文字（'を除く）が入力可能です。

登録(R) コピー(Q) 削除(D) 閉じる(C)

メイン部		
Key コード	入力(必)	他の Key コードとの重複はできません。省略もできません。
品目コード	入力	任意の品目コードを入力します。重複・省略可能です。
品目名 1	入力	品目の名称を入力します。
品目名 2	入力	規格・色・サイズなど、品目 1 とは分けたい場合に利用します。
カナ	入力	品目名のフリガナを入力します。
略称	入力	品目名の略称を入力します。 品目台帳の検索で条件に「品目名」を指定した場合の検索対象は品目名 1・品目名 2・略称になります。 マルチデバイスオプションでは、品目台帳の「略称」が設定されていれば略称を表示、設定されていなければ、品目名 1 + 品目名 2 を表示します。

第6章 運用管理のための操作

品目分類	リスト	分類台帳に登録されている内容がリストで表示されます。
推奨 ロケーション	リスト	この品目の推奨ロケーションを選択します。 ロケーション台帳に登録されている内容がリストで表示されます。本項目は倉庫毎に設定されます。
単位	入力	品目の単位を入力します。品目台帳で既に入力された単位があれば、リスト表示されますので選択することも可能です。
単価	入力	最小単位（バラ）ひとつあたりの販売金額です。
標準原単価	入力	最小単位（バラ）ひとつあたりの原価です。 在庫高を集計する場合にこの金額が用いられます。
発注点	入力	この品目の発注点を入力します。この値が「発注点割り込み通知」の基準値となります。本項目は倉庫毎に設定されます。
入数	入力	1箱に入っている品目数です。 箱に複数の品目が入っている場合に登録します。登録することで箱数での数量入力が可能となります。
JAN/UPC コード1～3	入力	JAN/UPCを入力します。重複して設定することはできません。
JAN/UPC コード1～3入数	入力	JAN/UPC 1～3に紐づく入数です。
ITF/GS1(GTIN-14)コード1～3	入力	ITF/GS1(GTIN-14)を入力します。重複して設定することはできません。
ITF/GS1(GTIN-14)コード1～3 入数	入力	ITF/GS1(GTIN-14) 1～3に紐づく入数です。
画像1～3	入力	商品画像の配置先を指定します。
画像1～3 リンク	入力	商品画像をタッチすると呼び出されるリンク先を指定します。
サムネイル画像	入力	在庫参照や履歴画面で表示されるサムネイル画像を指定します。
予備項目 1～10	入力	予備項目
注意メッセージ (共通)	入力	帳票やマルチデバイスオプションで表示される、注意メッセージ(共通)を指定します。
注意メッセージ (入荷)	入力	帳票やマルチデバイスオプションで表示される、注意メッセージ(入荷)を指定します。
注意メッセージ (出荷)	入力	帳票やマルチデバイスオプションで表示される、注意メッセージ(出荷)を指定します。
注意メッセージ (注意付き 現品票)	入力	注意付き現品票で表示される、注意メッセージ(注意付き現品票)を指定します。
ロット1入力	ラジオ ボタン	ロット1の入力が必須かどうかを指定します。※
ロット2入力	ラジオ ボタン	ロット2の入力が必須かどうかを指定します。※
トレース情報入力	ラジオ ボタン	トレース情報の入力が必須かどうかを指定します。※
フッタ部		

第6章 運用管理のための操作

[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには「登録」は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

※現時点では未対応です。

[2] 品目台帳一覧画面

品目台帳一覧

検索

絞込検索(L)

更新(R)

分類 : 01:自動車部品

品目台帳 - 検索結果 (5 件)

Keyコード	品目コード	品目名1	品目名2	カナ	分類	推奨ロケーション	入数	単位	単価	標準原単価	発注点
009331011A	SB001NS001	シリンダーブロック	FJ4-1	シリンダーブロックFJ4-1	01:自動車部品			個			
009332011A	SD001NS001	シリンダーライナー	FJ4-1	シリンダーライナーFJ4-1	01:自動車部品			個			
009332102A	EB001NS001	エンジンバルブ	H50	エンジンバルブH50	01:自動車部品			個			
009333011A	SH001NS001	シリンダーヘッド	FJ4-1	シリンダーヘッドFJ4-1	01:自動車部品			個			
009333102A	BS001NS001	バルブスプリング	H10	バルブスプリングH10	01:自動車部品			個			

全5件 : 1~5件 (5件分)

1 / 1ページ

先頭

←前へ

次へ→

最後

新規(N)

コピー(O)

参照(B)

インポート(I)

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順 : Key コード(昇順)		
Key コード 品目コード 品目名 1 品目名 2 カナ 分類 推奨ロケーション 入数,単位 単価 標準原単価 発注点	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	品目台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	品目台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票種別とレイアウトを選択し、品目台帳一覧を印刷します。 絞り込まれたリストが印刷されます。 帳票種別は、[品目一覧表][品目バーコードラベル] から選択します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6－3 品目分類台帳

在庫スイートクラウドで扱う品目分類はこの品目分類台帳に登録されている必要があります。

[1] 品目分類台帳画面

品目分類台帳 - 新規

登録内容

分類コード

分類名

説明

品目分類コードを入力します。他の品目分類コードとの重複は不可。省略不可。桁数は1桁～4桁。数字、英字、記号（'を除く）が入力可能です。

登録(R) コピー(Q) 削除(D) 閉じる(C)

メイン部		
分類コード	入力(必)	品目分類コードを入力します。他の品目分類コードとの重複はできません。省略もできません。
分類名	入力	品目分類の名称を入力します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 品目分類台帳一覧画面

分類台帳一覧

検索

絞込検索(L)

更新(R)

分類台帳 - 検索結果 (9 件)

分類CD	分類名	
01	自動車部品	
02	工具・電材	
03	医薬/医療材料	
04	雑貨	
05	飲料	
11	端材	
12	保守パーツ	
13	スポーツ用品	
14	雑貨2	

全9件 : 1~9件 (9件分)

1 / 1ページ

先頭

←前へ

次へ→

最後

新規(N)

コピー(O)

参照(B)

インポート(I)

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 分類コード(昇順)		
分類 CD 分類名	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	品目分類台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	品目分類台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	品目分類台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6 - 4 セット品台帳

在庫スイートクラウドで扱うセット品このセット品台帳に登録されている必要があります。
また、セット品台帳に登録するセット品や構成品は、予め品目台帳に登録してある必要があります。

[1] セット品台帳画面

セット商品台帳 - 新規

登録内容

セット商品

構成品

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	構成数	単位	
*							

説明

セット商品のKeyコードを入力します。

登録(R)

行挿入(I)

行削除(L)

コピー(O)

削除(D)

閉じる(C)

メイン部（セット品）		
セット品	入力(必)	セット品の Key コードを入力します。
メイン部（構成品）		
Key コード	入力(必)	構成品の Key コードを入力します。
構成数	入力(必)	セット品（数量 1）に対する、構成品の構成数を入力します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[行挿入]	—	該当明細行の上に新規明細行を挿入します。参照モード時は表示されません。
[行削除]	—	該当明細行を削除します。参照モード時は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] セット品台帳一覧画面

在

セット商品台帳一覧

検索

絞込検索(L)

更新(R)

セット商品台帳 - 検索結果 (3 件)

Keyコード	品目コード	品目名 1	品目名 2	分類	
SET007030		兼用ビットセット (4.5×3/22/36mm入り)		02:工具・電材	
SET007031		兼用ビットセット (4.5/22/36mm入り)		02:工具・電材	
SET007032		兼用ビットセット (4.5/22×2/36mm入り)		02:工具・電材	

全3件 : 1～3件 (3件分)

1 / 1ページ

先頭

←前へ

次へ→

最後

新規(N)

コピー(O)

参照(B)

インポート(I)

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： Key コード(昇順)		
Key コード 品目コード 品目名 1 品目名 2 分類	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	セット品台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	セット品台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	セット品台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6－5 倉庫台帳

在庫スイートクラウドで扱う倉庫はこの倉庫台帳に登録されている必要があります。

[1] 倉庫台帳画面

倉庫台帳 - 新規

登録内容

倉庫コード

倉庫名

在庫マイナス警告なし

☐

同時登録倉庫

☐

使用項目

ロット

☒ システム設定に従う ☐ 未使用

ロケーション

☒ システム設定に従う ☐ 未使用

説明

倉庫コードを入力します。他の倉庫コードとの重複は不可。省略不可。桁数は1桁～6桁。半角文字（' /を除く）が入力可能です。

登録(R)

コピー(O)

削除(D)

閉じる(C)

メイン部		
倉庫コード	入力(必)	他の倉庫コードとの重複はできません。省略もできません。
倉庫名	入力	倉庫の名称を入力します。
在庫マイナス警告なし	チェックボタン	伝票登録時に在庫マイナス警告を表示させない場合はオンにします。オンにして伝票登録した場合、履歴参照画面にも在庫マイナス警告が表示されません。
同時登録倉庫	チェックボタン	別の倉庫担当者が同時登録を行う場合はオンにします。オンにすると、この倉庫を出荷先・出荷元とする倉庫間出荷時に対応する倉庫間入荷も登録します。
使用項目 ロット	ラジオボタン	モバイル機器でロットを表示するかどうかを選択します。未使用の場合は倉庫間入荷時にロットをクリアします。
使用項目 ロケーション	ラジオボタン	モバイル機器でロケーションを表示するかどうかを選択します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには[登録]は表示されません。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 倉庫台帳一覧画面

倉庫台帳一覧

検索

絞込検索(L)

更新(R)

倉庫台帳 - 検索結果 (40 件)

倉庫コード	倉庫名	在庫マイナス警告なし	同時登録倉庫	使用項目-ロット	使用項目-ロケーション
10	自社倉庫	☒	☒	システム設定に従う	システム設定に従う
11	大阪営業所	☐	☐	システム設定に従う	システム設定に従う
12	名古屋営業所	☐	☐	システム設定に従う	システム設定に従う
13	福岡営業所	☐	☐	システム設定に従う	システム設定に従う
14	札幌営業所	☐	☐	システム設定に従う	システム設定に従う
15	仙台営業所	☐	☐	システム設定に従う	システム設定に従う
16	横浜営業所	☐	☐	システム設定に従う	システム設定に従う

全40件 : 1~7件

表示件数 自動 1 / 6ページ

先頭 ← 前へ 次へ→ 最後

新規(N)

コピー(O)

参照(B)

インポート(I)

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 倉庫コード(昇順)		
倉庫コード 倉庫名 在庫マイナス警告なし 同時登録倉庫 使用項目-ロット 使用項目-ロケーション	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。
[インポート]	—	倉庫台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	倉庫台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票レイアウトを選択し、倉庫台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6 – 6 ゾーン台帳

[1] ゾーン台帳画面

在

ゾーン台帳 - 新規

✕

登録内容

ゾーンコード

ゾーン名

倉庫

一括引当対象外☐

説明

ゾーンコードを入力します。同じ倉庫内で、他のゾーンコードとの重複は不可。省略不可。桁数は1桁～2桁。数字、英字、記号（'を除く）が入力可能です。「-」を指定すると、ロケーションなしを一括引当対象外にするためのゾーンを登録できます。

登録(R)

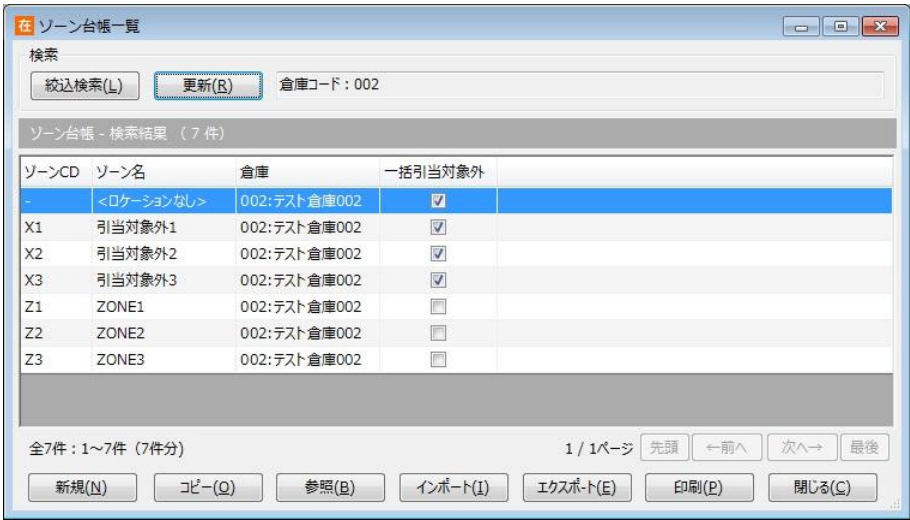
コピー(Q)

削除(D)

閉じる(C)

メイン部		
ゾーンコード	入力(必)	ゾーンコードを入力します。他のゾーンコードとの重複はできません。省略もできません。半角ハイフン「-」を指定すると、ロケーションなしを一括引当対象外にするためのゾーンを登録できます。
ゾーン名	入力	ゾーンの名称を入力します。
倉庫	リスト	関連付ける倉庫を選択します。
一括引当対象外	チェックボタン	一括引当対象外のゾーンを設定します。 ゾーンコードが半角ハイフンの場合は、「ロケーションなし」が引当対象外となります。 一括引当対象外ゾーンについては「 4 – 9 [5] 一括引当対象外ゾーン」をご覧ください。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] ゾーン台帳一覧画面



ヘッダ部		
[絞り込み検索]	—	絞り込み条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞り込み条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞り込み条件を表示します。
明細部		
ソート順： 倉庫コード(昇順) > ゾーンコード(昇順)		
ゾーン CD ゾーン名 倉庫 一括引当対象外	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	ゾーン台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	ゾーン台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	ゾーン台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6-7 ロケーション台帳

ロケーション管理するには、あらかじめロケーション台帳にロケーションを登録する必要があります。

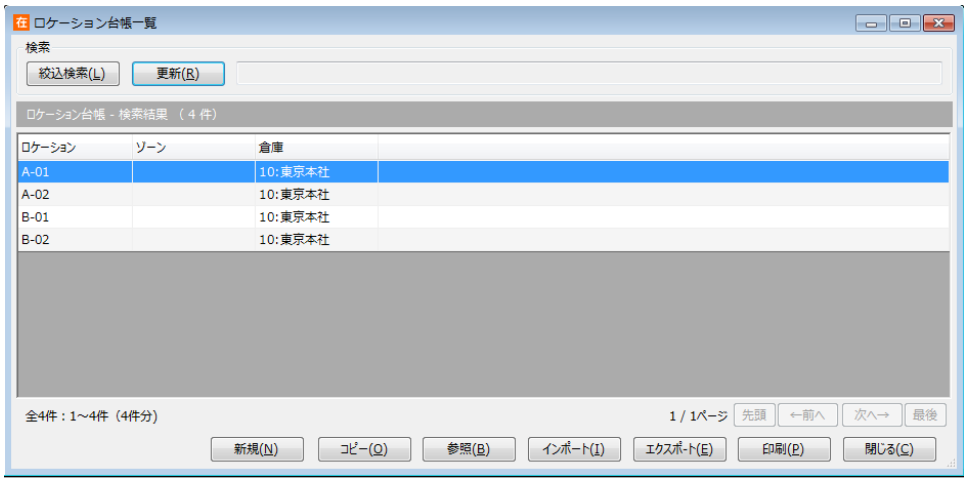
[1] ロケーション台帳画面

メイン部		
ロケーション	入力(必)	ロケーションを入力します。他のロケーションとの重複はできません。省略もできません。
ゾーン	リスト	関連付けるゾーンを選択します。
倉庫	リスト	関連付ける倉庫を選択します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

注意！

ゾーンはゾーン台帳に登録されたものから選ぶ必要があります。
データインポートの場合、未登録のゾーンが含まれるとエラーとして扱われ、インポートできませんので注意してください。

[2] ロケーション台帳一覧画面



ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 倉庫コード(昇順) > ロケーション(昇順)		
ロケーション ゾーン 倉庫	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	ロケーション台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	ロケーション台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票種別とレイアウトを選択し、ロケーション台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6－8 出荷先台帳

出荷伝票では出荷先を入力できます。

台帳に登録されていない出荷先を入力する事も出来ますが、予め台帳に登録しておくことでスムーズな入力や検索が可能となります。

[1] 出荷先台帳画面

在 出荷先台帳 - 新規

登録内容

出荷先コード

名称1

名称2

名称カナ

略称

出荷先担当者

敬称

郵便番号

住所1

住所2

電話番号 FAX番号

説明

出荷先コードを入力します。他の出荷先コードとの重複は不可。省略不可。桁数は1桁～15桁。数字、英字、記号（'を除く）が入力可能です。

登録(R) コピー(C) 削除(D) 閉じる(C)

第6章 運用管理のための操作

メイン部		
出荷先コード	入力(必)	出荷先コードを入力します。他の出荷先との重複はできません。省略もできません。
名称 1	入力	出荷先の名称を入力します。
名称 2	入力	支店名など名称 1 とは分けたい場合に利用します。
名称カナ	入力	出荷先の名称カナを入力します。
略称	入力	出荷先名称の略称を入力します。 出荷先台帳の検索で条件に「名称」(出荷先名)を指定した場合の検索対象は名称 1・名称 2・略称になります。 マルチデバイスオプションでは、出荷先台帳の「略称」が設定されていれば略称を表示、設定されていなければ、名称 1 + 名称 2 を表示します。
出荷先担当者	入力	出荷先担当者を入力します。
敬称	入力 / リスト	敬称を入力します。全台帳で既に入力された敬称があれば、リスト表示されますので選択することも可能です。
郵便番号	入力	郵便番号を入力します。
住所 1	入力	住所を入力します。
住所 2	入力	ビル名など住所 1 と区別したい場合に入力します。
電話番号	入力	電話番号を入力します。
FAX 番号	入力	F A X 番号を入力します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 出荷先台帳一覧画面

出荷先台帳一覧

検索

絞込検索(L)

更新(R)

出荷先台帳 - 検索結果 (5 件)

出荷先CD	名称1	名称2	郵便番号	住所1	住所2	電話	FAX	
C1001	和幸商事株式会社		589-0021	大阪府大阪狭山市今熊1-1-	第一ビル 1F	06-3111-111	06-3555-111	
C1002	第三コーポレーション		589-0057	大阪府大阪市天王寺区小宮	第二ビル 2F	06-3222-222	06-3222-222	
C1003	株式会社エヌオーイー		589-0851	大阪府豊中市三和町12-00	第三ビル 3F	06-3333-333	06-3333-333	
C1004	サミー株式会社		589-0034	大阪府大阪市住吉区長狭町	第四ビル 4F	06-3444-444	06-3444-444	
C1005	アシケル株式会社	大阪事業所	589-0833	大阪府松原市丹南2-3-8	丹南ビル 5F	06-3555-555	06-3555-555	

全5件 : 1~5件 (5件分)

1 / 1ページ

先頭

←前へ

次へ→

最後

新規(N)

コピー(Q)

参照(B)

インポート(I)

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 出荷先コード(昇順)		
出荷先 CD 名称 1 名称 2 郵便番号 住所 1 住所 2 電話,FAX	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	出荷先台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	出荷先台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票レイアウトを選択し、出荷先台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6－9 直送先台帳

出荷伝票では出荷先のほかに直送先を入力できます。

台帳に登録されていない直送先を出荷伝票に入力する事も出来ますが、予め直送先台帳に登録しておくことでスムーズな入力や検索が可能となります。

[1] 直送先台帳画面

登録内容

直送先コード

名称1

名称2

名称カナ

略称

直送先担当者

敬称

郵便番号

住所1

住所2

電話番号 FAX番号

出荷先

説明

直送先コードを入力します。他の直送先コードとの重複は不可。省略不可。桁数は1桁～15桁。数字、英字、記号（'を除く）が入力可能です。

登録(R) コピー(Q) 削除(D) 閉じる(C)

第6章 運用管理のための操作

メイン部		
直送先コード	入力(必)	直送先コードを入力します。他の直送先コードとの重複はできません。省略もできません。
名称 1	入力	直送先の名称を入力します。
名称 2	入力	支店名など名称 1 とは分けたい場合に利用します。
名称カナ	入力	直送先の名称カナを入力します。
略称	入力	直送先名称の略称を入力します。 直送先台帳の検索で条件に「名称」(直送先名)を指定した場合の検索対象は名称 1・名称 2・略称になります。 マルチデバイスオプションでは、直送先台帳の「略称」が設定されていれば略称を表示、設定されていなければ、名称 1 + 名称 2 を表示します。
直送先担当者	入力	直送先担当者を入力します。
敬称	入力 / リスト	敬称を入力します。全台帳で既に入力された敬称があれば、リスト表示されますので選択することも可能です。
郵便番号	入力	郵便番号を入力します。
住所 1	入力	住所を入力します。
住所 2	入力	ビル名など住所 1 と区別したい場合に入力します。
電話番号	入力	電話番号を入力します。
FAX 番号	入力	F A X 番号を入力します。
出荷先	入力	関連付ける出荷先を選択します。 関連付けを行うと、伝票入力時に関連付けられた出荷先が選択された場合のみ、直送先リストに表示されます。 関連付けがなければ全ての出荷先のリストに表示されます。 入力補助画面が使用できます。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

注意！

出荷先コードは出荷先台帳に登録されたものから選ぶ必要があります。
データインポートの場合、未登録の出荷先コードが含まれるとエラーとして扱われ、インポートできませんので注意してください。

[2] 直送先台帳一覧画面

直送先台帳一覧

検索

絞込検索(L)

更新(R)

直送先台帳 - 検索結果 (2 件)

直送先CD	名称1	名称2	郵便番号	住所1	住所2	電話	FAX	出荷先
R0001	コモン陸運	昭和島配送センター						
R1002	第三コーポレーション	港北営業所	222-0033	横浜市港北区新羽	1-2-3	045-238-0288		C1002:第三コーポレーション

全2件 : 1~2件 (2件分)

1 / 1ページ

先頭

←前へ

次へ→

最後

新規(N)

コピー(O)

参照(B)

インポート(I)

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 直送先コード(昇順)		
直送先 CD 名称 1 名称 2 郵便番号 住所 1 住所 2 電話,FAX 出荷先	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	直送先台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	直送先台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票レイアウトを選択し、直送先台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6-10 仕入先台帳

入荷伝票では仕入先を入力できます。

台帳に登録されていない仕入先を入力する事も出来ますが、予め台帳に登録しておくことでスムーズな入力や検索が可能となります。

[1] 仕入先台帳画面

仕入先台帳 - 新規

登録内容

仕入先コード

名称1

名称2

名称カナ

略称

仕入先担当者

敬称

郵便番号

住所1

住所2

電話番号 FAX番号

説明

仕入先コードを入力します。他の仕入先コードとの重複は不可。省略不可。桁数は1桁～15桁。数字、英字、記号（'を除く）が入力可能です。

登録(R) コピー(C) 削除(D) 閉じる(C)

第6章 運用管理のための操作

メイン部		
仕入先コード	入力(必)	仕入先コードを入力します。他の仕入先コードとの重複はできません。省略もできません。
名称 1	入力	仕入先の名称を入力します。
名称 2	入力	支店名など名称 1 とは分けたい場合に利用します。
名称カナ	入力	仕入先の名称カナを入力します。
略称	入力	仕入先名称の略称を入力します。 仕入先台帳の検索で条件に「名称」(仕入先名)を指定した場合の検索対象は名称 1・名称 2・略称になります。 マルチデバイスオプションでは、仕入先台帳の「略称」が設定されていれば略称を表示、設定されていなければ、名称 1 + 名称 2 を表示します。
仕入先担当者	入力	仕入先担当者を入力します。
敬称	入力 / リスト	敬称を入力します。全台帳で既に入力された敬称があれば、リスト表示されますので選択することも可能です。
郵便番号	入力	郵便番号を入力します。
住所 1	入力	住所を入力します。
住所 2	入力	ビル名など住所 1 と区別したい場合に入力します。
電話番号	入力	電話番号を入力します。
FAX 番号	入力	F A X 番号を入力します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 仕入先台帳一覧画面

仕入先台帳一覧

検索

絞込検索(L)

更新(R)

仕入先台帳 - 検索結果 (5 件)

仕入先CD	名称1	名称2	郵便番号	住所1	住所2	電話	FAX
S1001	和泉製作所		589-0026	大阪府和泉市テクノステージ1-1-0	第一ビル 1F	06-3111-1111	06-3555-5556
S1002	株式会社高槻商会		589-0053	大阪府高槻市唐崎中2-2-0	第二ビル 2F	06-3222-2222	06-3444-4445
S1003	西日本物流	堺支店	231-0868	大阪府堺市大野芝町3-3-0	第三ビル 3F	06-3333-3333	06-3555-5556
S1004	環屋川工業		589-0034	大阪府環屋川市太妻元町999-0	第四ビル 4F	06-3444-4444	06-3444-4445
S1005	株式会社NNC		589-0833	大阪府吹田市樫切山2-3-8	樫切山ビル 5F	06-3555-5555	06-3555-5556

全5件 : 1~5件 (5件分)

1 / 1ページ

先頭

←前へ

次へ→

最後

新規(N)

コピー(Q)

参照(B)

インポート(I)

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 仕入先コード(昇順)		
仕入先 CD 名称 1 名称 2 郵便番号 住所 1 住所 2 電話,FAX	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	仕入先台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	仕入先台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票レイアウトを選択し、仕入先台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6 – 1 1 理由台帳

返品や振替、棚卸(差異あり)において、明細ごとに理由を登録するには、理由台帳に予め登録する必要があります。

なお、台帳に登録された理由は、返品、振替、棚卸において全て利用可能です。

[1] 理由台帳画面

メイン部		
理由コード	入力(必)	理由コードを入力します。他の理由コードとの重複はできません。省略もできません。
詳細	入力	理由の詳細を入力します。
フッタ部		
[登録]	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには [登録] は表示されません。
[コピー]	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
[削除]	—	参照モード時のみ有効です。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

[2] 理由台帳一覧画面

理由台帳一覧

検索

絞込検索(L)

更新(R)

理由台帳 - 検索結果 (4 件)

理由CD	詳細	
A01	経年変化	
A02	取扱ミス	
A03	製造不良	
A04	出荷先都合	

全4件 : 1~4件 (4件分)

1 / 1ページ

先頭

←前へ

次へ→

最後

新規(N)

コピー(Q)

参照(B)

インポート(I)

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順：理由コード(昇順)		
理由 CD 詳細	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	理由台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	理由台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票レイアウトを選択し、理由台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6 – 1 2 ユーザー台帳

ユーザーID を、起動時に設定しログインすることで在庫スイートクラウドを起動します。
在庫スイートクラウドを利用する為にはユーザー台帳への登録が必要です。

[1] ユーザー台帳画面

ユーザー台帳 - 参照

登録内容

ユーザーID: t_yamada

所属倉庫: 全倉庫

パスワード: ●●●●

氏名: 山田 太郎

カナ: ヤマダ タロウ

権限: システム管理者 ☒ 全倉庫参照可

有効期限: 9998/12/31 ☒ 有効期限なし

メールアドレス:

電話番号:

メモリHT用ID:

説明
このウィンドウを閉じます。

登録(R) コピー(Q) 削除(D) 閉じる(C)

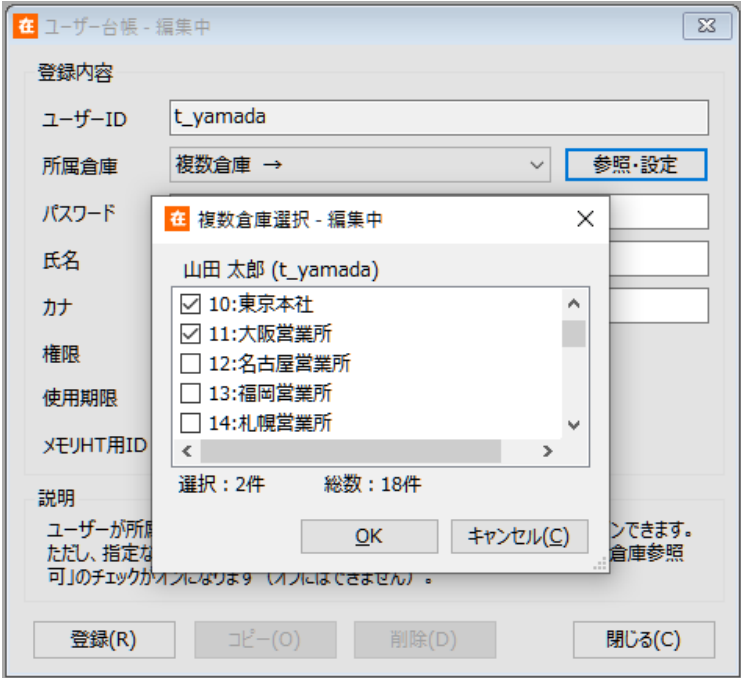
メイン部		
ユーザーID	入力(必)	ユーザーIDを入力します。他のユーザーIDとの重複はできません。省略もできません。大文字/小文字は区別しません。
所属倉庫	リスト	ユーザーが所属する倉庫を選択します。ユーザーは所属する倉庫にのみログインできます。
[参照・設定]	—	所属倉庫で「複数倉庫」を選択した場合のみ表示されます。複数倉庫選択画面を表示します。
パスワード	入力	ログイン時のパスワードを入力します。省略可能です。大文字/小文字を区別します。
氏名	入力	ユーザーの氏名を入力します。
カナ	入力	ユーザーのカナを入力します。
権限	リスト	ユーザーの権限を選択します。
仕入先	リスト	仕入先担当者限定項目。 仕入先を選択します。

第6章 運用管理のための操作

同一仕入先担当者のメンテナンス可	チェックボタン	仕入先担当者限定項目。 同一仕入先担当者のメンテナンス（追加・変更・削除）の可／不可を設定します。
有効期限	入力	ユーザー毎の有効期限の設定です。該当ユーザーに有効期限を設定しない場合は、有効期限なしにチェックします。
メールアドレス	入力	ユーザーのメールアドレスです。 定期処理設定の通知先ユーザーのメールアドレスとして使用します。
電話番号	入力	ユーザーの電話番号です。
メモリ HT 用 ID	入力	メモリ HT オプション利用時にのみ設定出来ます。 メモリ HT 用 ID を設定します。
フッタ部		
〔登録〕	—	登録する際に使用します。 なお、参照モードには〔登録〕は表示されません。
〔コピー〕	—	参照しているデータを新規登録画面に転記します。
〔削除〕	—	参照モード時のみ有効です。
〔閉じる〕	—	画面を閉じます。

[2] 複数倉庫選択画面

複数の倉庫を指定する場合は「複数倉庫」を選択し、複数倉庫選択画面にて倉庫を指定します。



メイン部		
ユーザー	表示	編集中のユーザーを表示します。
所属倉庫	リスト	ユーザーが所属する倉庫を選択します。所属倉庫を 1 つのみ指定する場合は、ユーザー台帳画面の所属倉庫で特定の倉庫を指定してください。
選択	表示	選択した倉庫の件数を表示します。
総数	表示	倉庫の総数を表示します。
フッタ部		
[修正]	—	編集モードに変わります。参照モード時のみ表示されます。
[閉じる]	—	画面を閉じます。
[OK]	—	編集内容を決定して参照モードに戻ります。編集モード時のみ表示されます
[キャンセル]	—	編集内容をキャンセルして参照モードに戻ります。

[3] ユーザー台帳一覧画面

ユーザー台帳一覧

検索

絞込検索(L)

更新(R)

ユーザー台帳 - 検索結果 (3 件)

ユーザーID	氏名	カナ	所属倉庫	権限	全倉庫参照	有効期限	メールアドレス	電話番号
t_yamada	山田 太郎	ヤマダ タロウ	全倉庫	システム管理者	☒		t_yamada@infusion.co.jp	045-472-0938
h_satou	佐藤 晴夫	サトウ ハルオ	16:横浜営業所	現場作業者	☐	2022/03/31		
i_suzuki	鈴木 一郎	スズキ イチロウ	16:横浜営業所	物流担当者	☒		i_suzuki@infusion.co.jp	045-472-0938

全3件 : 1~3件

表示件数 自動 1 / 1ページ

先頭 ← 前へ 次へ → 最後

新規(N)

コピー(O)

参照(B)

インポート(I)

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる(C)

ヘッダ部		
[絞込検索]	—	絞込条件入力画面を表示します。
[更新]	—	現在の絞込条件で表示を更新します。
条件	—	現在の絞込条件を表示します。
明細部		
ソート順： 所属倉庫(全倉庫/複数倉庫/単一倉庫の倉庫コード) > ユーザーID(昇順)		
ユーザーID 氏名 カナ 所属倉庫 権限 全倉庫参照 有効期限 メールアドレス 電話番号	表示	台帳一覧情報を表示します。
フッタ部		
[新規]	—	新規モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[コピー]	—	選択したデータを転記した新規登録画面を表示します。
[参照]	—	参照モードで台帳画面を呼び出します。但し、登録中の場合は呼び出せません。
[インポート]	—	ユーザー台帳ファイルのインポート。
[エクスポート]	—	ユーザー台帳ファイルへのエクスポート。
[印刷]	—	帳票種別とレイアウトを選択し、ユーザー台帳一覧を印刷します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

6-13 データベースのメンテナンス

在庫スイートクラウドは円滑な運用を行う為に、データベースに関するメンテナンス機能があります。
なお、メンテナンスを行う場合の注意点は以下の通りです。

- ・ メンテナンスを行う場合は全てのウィンドウを閉じる必要があります。
- ・ データベースのメンテナンスは、システム管理者権限を持ったユーザーのみが実行できます。他のユーザーでログインした場合、メニューを選択できません。
- ・ リストア（データの復元）を行う場合は、他のユーザーがログインしていないことを確認してください。ログイン中のユーザーがいる場合は、リストアを実行できません。
- ・ バックアップ処理中は、ログイン中のユーザーによるデータ参照のみ可能となります。処理完了までデータの登録・更新・削除および新規ログインはできません。

[1] バックアップ

データベースのバックアップを取ることで、重要データ削除などの問題発生時に元の状態に復旧することが可能となります。

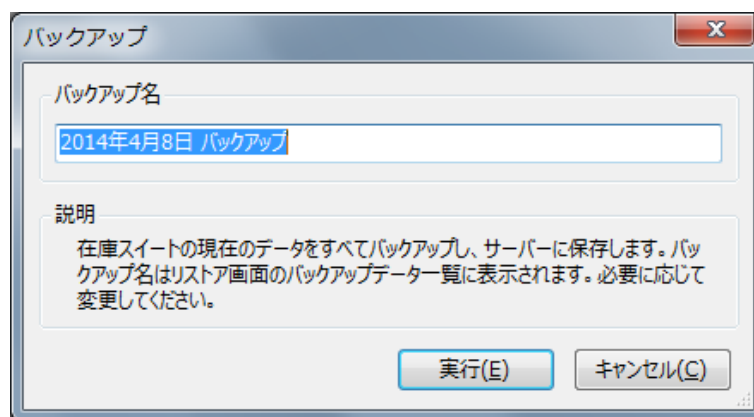
(1) 操作方法

〔ツール〕 → 〔バックアップ〕 でバックアップ画面を開きます。

バックアップデータの説明文を〔バックアップ名〕の欄に記入することができます。

(500 文字まで)。

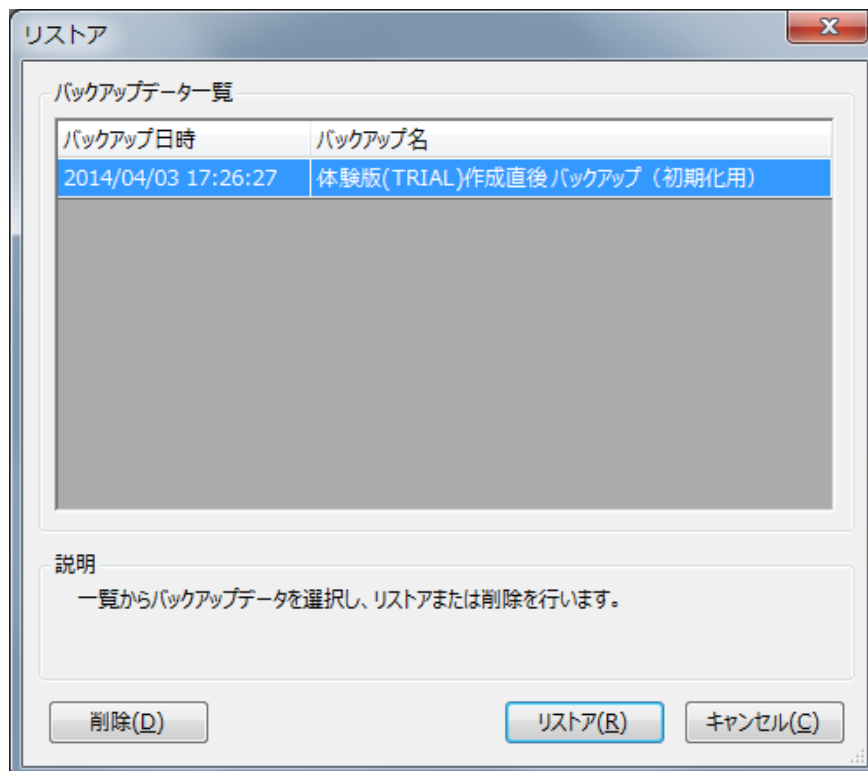
〔OK〕 クリックでバックアップを実行します。



バックアップデータはクラウドサーバー上(Azure)に保管されます。

[2] リストア

バックアップデータを取込む（リストアする）事で、バックアップ時点の状態に戻ります。リストアを行なうには
[ツール] → [リストア] を選択します。



なお、リストア実行時は、他のユーザーはログアウトしておいてください。
バックアップデータを一覧から選択し、[OK] クリックでリストアされます。
リストア完了後は自動的に在庫スイートクラウドが再起動されます。

[削除] ボタンクリックで選択したバックアップデータが削除されます。削除すると復旧は出来ませんのでご注意ください。

[3] 初期化

サービス開始時には初期化用のバックアップデータを用意していますので、初期化の際は本バックアップデータをリストアしてください。

なお、残したい台帳データがあれば、リストア前に台帳ファイルをエクスポートし、初期化バックアップデータをリストア後、台帳ファイルをインポートします。

[4] データ整理

〔整理対象日付〕に指定された日付と、各伝票の伝票日付を比較し、整理対象日付以前（同日含む）の伝票をデータベースから一括削除します。

データ整理を行うには〔ツール〕→〔データ整理〕を選択します。

データ整理実行前に自動的にバックアップも行われます。リストアの際に別のバックアップデータと区別できるよう任意のバックアップ名を入力することができます（最大 1000 文字）。〔OK〕ボタン押下でデータ整理を行います。

ヒント！

データ整理は長時間かかる可能性があるため、はじめは 1 か月など短い期間で行ってください。
（あまりにも時間がかかるときは〔キャンセル〕ボタン押下で中止し、短い期間でやり直してください）

入荷予定や出荷指示の場合、対応する検品実績伝票を含めて整理対象日付より後の日付のものがあれば、削除されず残ります。また、入荷予定や出荷指示が完了していない場合も同様に残ります。

例)

2020/06/20 以前のデータ整理を実行			
	<ケース 1：両方削除>	<ケース 2：両方残る>	<ケース 3：両方残る>
出荷指示伝票	伝票日付：06/09[完了]	伝票日付：06/09[完了]	伝票日付：06/09[一部済]
	↓	↓	↓
出荷検品伝票	伝票日付：06/15	伝票日付：06/30	伝票日付：06/15

倉庫間出荷の場合、対応する倉庫間入荷伝票が未登録のものは、整理対象日付以前の伝票でも削除されません。また、対応する倉庫間入荷伝票を含めて整理対象日付より後の日付のものがあれば、削除されず残ります。

例)

2020/06/20 以前のデータ整理を実行		
	<ケース 1 : 残る>	<ケース 2 : 両方残る>
倉庫間出荷伝票	伝票日付 : 06/09	伝票日付 : 06/09
		↓
倉庫間入荷伝票	未登録	伝票日付 : 06/30

6-14 運用状況確認

在庫スイートクラウドは円滑な運用を行なう為に、使用データ量などの利用状況を確認することができます。また、項目名称の変更などお客様ご自身で行える設定があります。

〔運用状況確認〕は、そうしたお客様特有の運用状況を一覧で確認できる画面です。

画面の内容は印刷やファイルエクスポートも可能ですので、システムの診断情報や問題発生時の調査のための情報として弊社サポート宛てにお送りいただく事もございます。

本機能を利用するには、システム管理者権限が必要です。

運用状況確認		
カテゴリー	項目	値
システム設定	画面表示項目：品目コード	表示
	画面表示項目：品目台帳予備項目	非表示
	メニュー表示：入荷予定と入荷検品	表示
	メニュー表示：出荷指示・引当と出荷検品	表示
	メニュー表示：現品票発行	表示
	台帳自動更新：入荷予定	しない
	台帳自動更新：出荷指示	しない
	台帳自動更新：入荷実績	しない
	台帳自動更新：出荷実績	しない
	台帳自動更新：振替	しない
	出荷引当	本引当
	出荷引当：ロット1を引当条件に含める	有効
	出荷引当：ロット2を引当条件に含める	有効
	出荷引当：ロケーション毎の引当優先順位	残数の少ない方を優先
	出荷引当：一括引当時の動作モード	満数
	出荷引当：一括引当時のトータルピッキングリスト	指定なし
	出荷引当：一括引当時のシングルピッキングリスト	標準：ピッキングリスト（バーコードあり）
	自動入出荷検品：入荷	無効
	自動入出荷検品：出荷	無効
	棚卸：棚卸数初期値	初期値なし
	棚卸：履歴エラー表示	棚卸差異を履歴エラーとして表示しない
	伝票入力時の推奨ロケーションの適用	なし
	日付入力補助を表示項目	ロット1

エクスポート(E)

印刷(P)

閉じる

6-15 クライアントログ保存

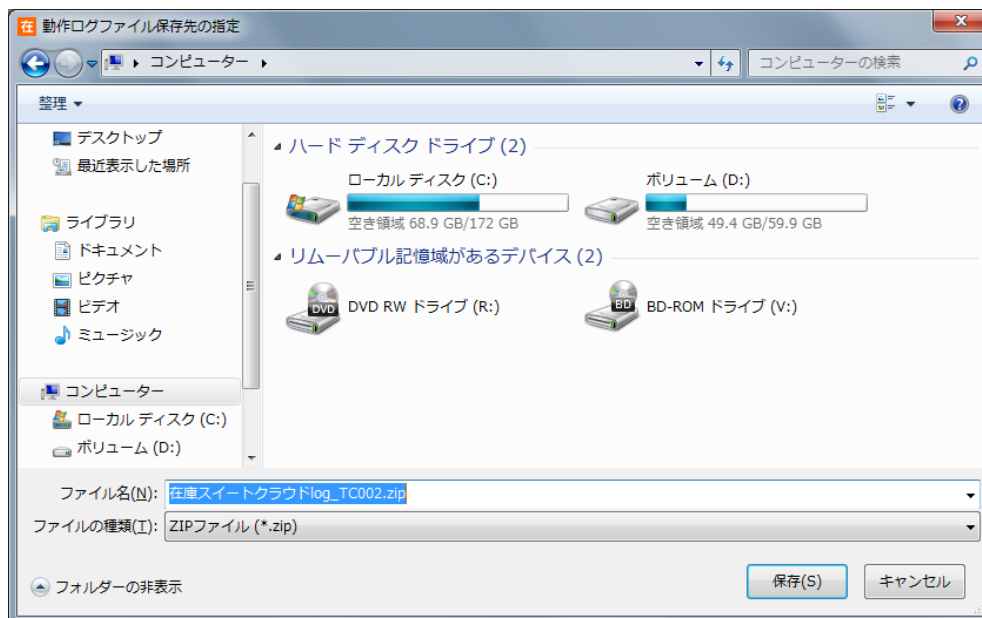
〔運用状況確認〕と同様、システム診断のための機能です。

日常運用の中で使用することは無く、問題発生時の調査のために使用します。

在庫スイートクラウドは起動・終了やエラー等の動作情報を日付別のログファイルとして PC 内に記録しており、〔クライアントログ保存〕によってそれら全てのログファイルを 1 個の圧縮ファイルにして任意の場所に保存できます。問題発生時に、調査のための情報としてそのファイルをお送りいただく弊社サポート担当よりお願いする場合がございます。

操作方法

システム管理者または物流担当者在庫スイートクラウドにログインし、
〔ツール〕→〔クライアントログ保存〕で保存先指定画面を開きます。

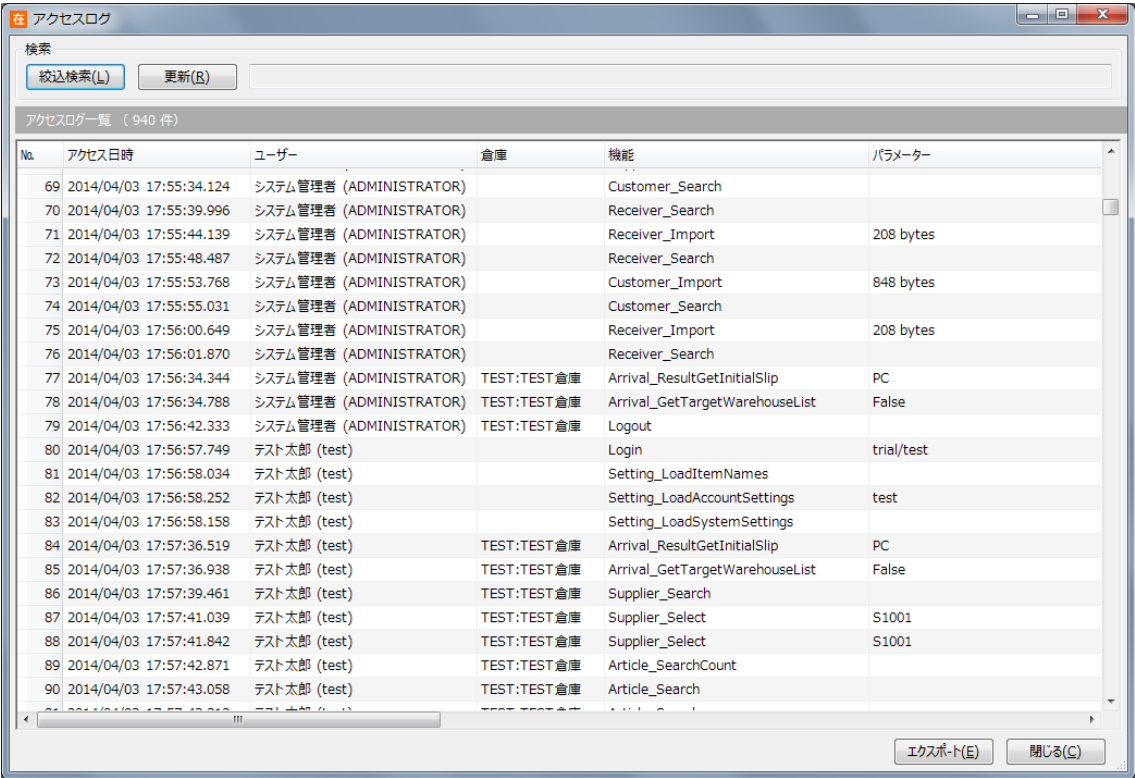


保存先とファイル名を指定して〔保存〕を押すとファイルが作成されます。

（圧縮処理に数分間かかる場合があります）

6 – 1 6 アクセスログ

本画面でサーバーへのアクセスログを確認できます。
履歴画面では確認できない、IP アドレスやデータ参照、削除、ダウンロードなどの実施記録も確認できます。
アクセスログは 1 年間保存されます。
本機能を利用するには、システム管理者権限が必要です。



主な項目	内容
アクセス日時	処理を行った日時
ユーザー	処理を行ったユーザー
機能	機能名称でどのような処理を行ったかを確認できます。 機能名称の詳細は、「別紙 アクセスログ機能一覧」をご確認ください。
パラメーター	PC やモバイル機器からサーバーへ渡している情報を確認できます。 例) 伝票登録 → 伝票のヘッダ情報と明細件数 在庫参照 → 参照検索条件 などを確認できます。
結果	機能（処理）に対しての結果を確認できます。 例) 伝票登録 → 登録が成功したかどうか 在庫参照 → 検索でヒットした明細数 などを確認できます。
処理時間	サーバーの処理時間(秒単位)を表示します。 処理時間が 0.000 秒未満の場合は「0.000」と表示されます。

第7章 システム設定・ユーザー別設定

7-1 システム設定

在庫スイートクラウドの運用前にはじめに行わなければならないのが、システム設定です。

メニューの [ツール] から [システム設定] を選ぶと、システム設定画面が起動します。

システム設定には、[自社情報] [システム運用] [項目名] [表示] [入力] [帳票] [モバイル設定] [モバイル設定(拡張)] [権限] がありますので、それぞれ設定してください。

本機能を利用するには、システム管理者権限が必要です。

[モバイル設定] は、モバイルオプションまたはマルチデバイスオプション加入時のみ表示されます。

[モバイル設定(拡張)] は、マルチデバイスオプション加入時のみ表示されます。

[権限] の「ストレージ画像メンテナンス」は、画像ストレージオプション加入時のみ表示されます。

[1] 自社情報

システム設定

×

自社情報

システム適用

項目名

表示

入力

帳票

モバイル

モバイル

▼

▶

グループ名

グループ名(G) 株式会社インフュージョン

自社情報

会社名1 株式会社インフュージョン

会社名2 横浜本社

カナ(K) インフュージョン

郵便番号(P) 222-0033

住所1(J) 神奈川県横浜市港北区新横浜2-3-8

住所2(M) KDX新横浜ビル

電話番号(I) 045-472-0938

FAX番号(E) 045-472-0934

説明

OK

キャンセル(C)

適用(A)

グループ名		
グループ名	入力	グループIDと紐づく名称です。タイトルバーに表示する組織名や社名を設定します。空の場合は表示されません。
自社設定		
会社名 1	入力	会社名を入力します。
会社名 2	入力	支店名など会社名 1 と区別したい場合に入力します。
カナ	入力	会社名のカナを入力します。
郵便番号	入力	郵便番号を入力します。
住所 1	入力	住所を入力します。
住所 2	入力	ビル名など住所 1 と区別したい場合に入力します。
電話番号	入力	電話番号を入力します。
FAX 番号	入力	F A X 番号を入力します。

[2] システム運用

システム設定

自社情報

システム運用

項目名

表示

入力

帳票

モバイル

モバイル

数量

小数入力

☒ 禁止（整数のみ許可）

☐ 許可

小数桁

2

在庫管理(Z)

☐ 通常品以外の在庫状態を拡張する

入荷時の在庫状態

通常品

☐ 明細入力

出荷時の在庫状態

☐ 明細入力

在庫参照(品目別)の初期条件指定

☐ 一括引当対象外を出荷不能で算出する

使用項目

☒ 品目コード

☒ 品目名 2

☐ 品目台帳-予備項目

☐ 品目台帳-注意メッセージ

☐ 品目台帳-ロット入力

☐ 品目台帳-トレース情報入力

☐ 倉庫台帳-同時登録倉庫

☐ 倉庫台帳-使用項目

メニュー表示

☒ 入荷予定と入荷検品

☒ 出荷指示・引当と出荷検品

☐ 未入荷の倉庫間出荷

説明

OK

キャンセル(C)

適用(A)

数量		
小数入力	選択ボタン	小数許可の場合は設定した小数桁で固定表示。小数禁止の場合は整数のみの表示ですが、途中で設定を変更して小数値が存在する場合は有効桁までを表示します。
小数桁	入力	数量の小数桁を設定します。
在庫管理		
通常品以外の在庫状態を拡張する	チェックボタン	通常品以外の在庫状態を標準の 3 種類(不良品・修理中・確保)より増やす場合にオンにします。オンにした在庫状態の項目名や背景色は項目名タブにて設定します。
入荷時の在庫状態	リスト	入荷実績伝票（伝票区分＝入荷）で、直後の在庫品にセットされる在庫状態です。
明細入力	チェックボタン	入荷実績伝票（伝票区分＝入荷）で、在庫状態を入力できるようにするかどうかを設定します。
出荷時の在庫状態 明細入力	チェックボタン	出荷指示伝票、出荷引当伝票、出荷検品伝票、出荷実績伝票（伝票区分＝出荷）で、在庫状態を入力できるようにするかどうかを設定します。

第7章 システム設定・ユーザー別設定

一括引当対象外を出荷不能で算出する	チェックボタン	一括引当対象外ゾーンのロケーションに保管されている在庫を出荷不能として算出するかどうかを設定します。
使用項目		
品目コード	チェックボタン	画面に品目コードを表示するかどうかを設定します。伝票、在庫参照、履歴参照など、システム全体に作用します。
品目名2	チェックボタン	画面に品目名2を表示するかどうかを設定します。伝票、在庫参照、履歴参照など、システム全体に作用します。
品目台帳-予備項目	チェックボタン	品目台帳の予備項目1～10を表示するかどうかを設定します。
品目台帳-注意メッセージ	チェックボタン	注意メッセージを表示するかどうかを設定します。
品目台帳-ロット入力	チェックボタン	品目台帳のロット入力を表示するかどうかを設定します。
品目台帳-トレース情報入力	チェックボタン	品目台帳のトレース情報入力を表示するかどうかを設定します。
倉庫台帳-同時登録倉庫	チェックボタン	倉庫台帳の同時登録倉庫を表示するかどうかを設定します。
倉庫台帳-使用項目	チェックボタン	倉庫台帳の使用項目を表示するかどうかを設定します。
メニュー表示		
入荷予定と入荷検品	チェックボタン	入荷予定・検品に関するメニューやボタンを表示するかどうかを設定します。
出荷指示・引当と出荷検品	チェックボタン	出荷指示・引当・検品に関するメニューやボタンを表示するかどうかを設定します。
未入荷の倉庫間出荷	チェックボタン	未入荷の倉庫間出荷に関するメニューやボタンを表示するかどうかを設定します。
現品票発行	チェックボタン	現品票発行に関するメニューやボタンを表示するかどうかを設定します。
配送番号反映	チェックボタン	配送番号反映に関するメニューやボタンを表示するかどうかを設定します。
積送中メンテナンス	チェックボタン	積送中メンテナンスに関するメニューを表示するかどうかを設定します。本機能はメニューバーにのみ表示されます。
インポート時台帳自動更新		
入荷予定	チェックボタン	入荷予定伝票インポート時に伝票に関係する台帳（品目/仕入先/ロケーション）を自動更新するかどうかを指定します。
出荷指示	チェックボタン	出荷指示伝票インポート時に伝票に関係する台帳（品目/出荷先/直送先/ロケーション）を自動更新するかどうかを指定します。
入荷実績	チェックボタン	入荷実績伝票インポート時に伝票に関係する台帳（品目/仕入先/ロケーション/理由）を自動更新するかどうかを設定します。
出荷実績	チェックボタン	出荷実績伝票インポート時に伝票に関係する台帳（品目/出荷先/直送先/ロケーション/理由）を自動更新するかどうかを設定します。
振替	チェックボタン	振替伝票インポート時に伝票に関係する台帳（品目/ロケーション/理由）を自動更新するかどうかを設定します。
出荷引当		

第7章 システム設定・ユーザー別設定

仮引当・本引当	選択ボタン	出荷検品の実施方法を選択します。
ロット1を引当条件に含める	チェックボタン	出荷引当時にロット1を引当条件に含めるかどうかを指定します。
ロット2を引当条件に含める	チェックボタン	出荷引当時にロット2を引当条件に含めるかどうかを指定します。
ロケーション毎の引当優先順位	選択ボタン	出荷引当時のロケーション毎の引当優先順位を指定します。 なお、推奨ロケーションが設定されていれば、本設定よりも推奨ロケーションが優先されます。
一括引当時の動作モード	選択ボタン	一括引当の動作モードを指定します。
トータルピッキング	リスト	トータルピッキングを行うかどうかを選択します。 ※現時点では、「あり」にした場合のPC・ハンディターミナル・スマートフォンの検品機能に対応していません。トータルピッキングを行う際は「旧」を指定してください。
トータル(Pick) トータル(最終) シングル	リスト	ピッキング方式に従って、一括引当時またはピック No.セット時に発行するピッキングリスト帳票を指定します。 トータルピッキング「なし」選択時は、シングルのみ設定します。 トータルピッキング「旧」選択時は、トータル(Pick)とシングルを設定します。
検品		
自動入出荷検品	チェックボタン	自動入荷検品、自動出荷検品を有効にするかどうかを指定します。有効にすると、出荷引当一覧に自動出荷検品ボタンが表示されます。
出荷検品で数量超過を許可する	チェックボタン	出荷検品（仮引当）運用時、実績の合計数量が出荷指示数を超過することを許可するかどうかを設定します。（本引当運用時の動作には影響しません）
送り状ソフト連携		
送り状ソフト連携機能を使用する	チェックボタン	送り状ソフト連携機能（配送予定データ設定、配送番号反映設定、配送予定データエクスポート、配送番号反映）を有効にするかを設定します。
棚卸		
棚卸数初期値	選択ボタン	棚卸開始時、論理現品数（帳簿在庫数）を棚卸数の初期値にするかどうかを指定します。「開始時に選択する」を指定すると棚卸開始時に選択する画面が表示されます。
実棚入力を使用する	チェックボタン	PCでの実棚入力を使用するかを設定します。

[3] 項目名

システム設定

×

自社情報

システム運用

項目名

表示

入力

帳票

モバイル

モバイル

品目台帳

Keyコード

品目コード

品目名 1

品目名 2

予備項目 1

予備項目 2

予備項目 3

予備項目 4

予備項目 5

予備項目 6

予備項目 7

予備項目 8

予備項目 9

予備項目 1 0

明細

ロット 1

ロット 2

ロケーション

備考

トレース情報

在庫状態

不良品

修理中

確保

入荷

作業番号

元伝票番号

出荷

作業番号

元伝票番号

説明

項目「Keyコード」の表示名称を変更します。ここで指定した名称が、システム全体の各画面で使用されます。設定可能な文字数は8字までです。

OK

キャンセル(C)

適用(A)

※ここで指定した名称がシステム全体の各画面で使用されます。

品目台帳		
Key コード	入力	Key コード項目の表示名称を変更します。
品目コード	入力	品目コード項目の表示名称を変更します。
品目名 1	入力	品目名 1 項目の表示名称を変更します。
品目名 2	入力	品目名 2 項目の表示名称を変更します。
予備項目 1 ～ 1 0	入力	予備項目 1 ～ 1 0 項目の表示名称を変更します。
明細		
ロット 1	入力	ロット 1 項目の表示名称を変更します。
ロット 2	入力	ロット 2 項目の表示名称を変更します。
ロケーション	入力	ロケーションの表示名称を変更します。
備考	入力	備考項目の表示名称を変更します。
トレース情報	入力	トレース情報の表示名称を変更します。
在庫状態		

第7章 システム設定・ユーザー別設定

不良品	入力・ボタン	在庫状態項目の〔不良品〕の表示名称及び背景色を変更します。
修理品	入力・ボタン	在庫状態項目の〔修理品〕の表示名称及び背景色を変更します。
確保	入力・ボタン	在庫状態項目の〔確保〕の表示名称及び背景色を変更します。
状態 4～9	入力・ボタン	在庫状態項目の〔状態 4〕～〔状態 9〕の表示名称及び背景色を変更します。本設定はシステム運用タブで有効にした在庫状態のみ表示されます。
※在庫状態の名称変更以前に作成された伝票データがある場合、変更後は新しい在庫状態名称で表示されます。但し、棚卸のデータについてのみ、変更前の在庫状態名称のまま残ります。		
※設定した背景色は詳細在庫参照画面や入力補助画面(在庫)で表示されます。		
入荷		
作業番号	入力	入荷伝票の作業番号項目の表示名称を変更します。
元伝票番号	入力	入荷伝票の元伝票番号項目の表示名称を変更します。
出荷		
作業番号	入力	出荷伝票の作業番号項目の表示名称を変更します。
元伝票番号	入力	出荷伝票の元伝票番号項目の表示名称を変更します。
振替		
作業番号	入力	振替伝票の作業番号項目の表示名称を変更します。
元伝票番号	入力	振替伝票の元伝票番号項目の表示名称を変更します。

[4] 表示

システム設定

×

自社情報システム適用項目名表示入力帳票モバイルモバイル

履歴参照のエラー表示

☐ 棚卸差異を履歴エラーとして表示する(E)

画像ポップアップ

サムネイル画像表示の初期条件

チェックなし

画像ポップアップ画面

画像のみ

☐ 標準原単価表示

☐ 現場作業権限ユーザーも表示

説明

OK

キャンセル(C)

適用(A)

履歴参照のエラー表示		
棚卸差異	チェック ボタン	棚卸差異を履歴エラーとして表示するか否かを設定します。
画像ポップアップ		
サムネイル画像 表示の 初期条件	リスト	条件指定画面で「画像を表示する」チェックの初期値を設定します。
画像ポップアップ 画面	リスト	サムネイル画像をクリック（またはタッチ）した際に表示されるポップアップ画面の内容を設定します。
原価表示	チェック ボタン	画像ポップアップ画面が品目台帳情報の時、原価表示を含めるかどうかを設定します。
現場作業権 限ユーザーも表 示	チェック ボタン	画像ポップアップ画面が品目台帳情報の時、現場作業権限ユーザーにも表示するかどうかを設定します。

[5] 入力

システム設定

自社情報

システム通用

項目名

表示

入力

伝票

モバイル

モバイル

品目バーコード読み取り

標準検索項目

Keyコード

特殊品目バーコード読み取り(I)

☒ QRコード現品票

☐ 独自バーコード

入力補助(I)

日付入力

ロット 1

形式

なし

用途

ロット 2

なし

伝票入力時の推奨ロケーションの適用(L)

適用対象の伝票

☐ 入荷

☐ 入荷返品

☐ 出荷

☐ 出荷返品

☐ 振替

伝票コピー(C)

☐ 伝票コピー機能を有効にする

セット品展開入力

セット品情報の挿入

なし

説明

OK

キャンセル(C)

適用(A)

品目バーコード読み取り		
標準検索項目	リスト	システム運用タブの使用項目で品目コードが ON の時、品目バーコードを読んだ際の標準の検索項目を指定します。 詳しくは、「4 - 1 [3] モノに関する管理項目」をご覧ください。
特殊品目バーコード読み取り		
QR コード 現品票	チェック ボタン	QR コード現品票の対応について指定します。
独自バーコード	チェック ボタン	独自バーコードの対応について指定します。 標準検索項目が品目コードの場合、独自バーコード全体が品目コードと同一になる設定はできません。 詳しくは、「4 - 2 4 独自バーコード」をご覧ください。
入力補助		

第7章 システム設定・ユーザー別設定

日付入力	リスト	ロット1・ロット2を日付項目として使用する場合の形式と用途を指定します。 形式を設定すると、ロット入力時に指定の日付形式に整形します。 「なし」以外を指定した場合は、カレンダー形式の日付入力補助画面が使用可能となります。 また、用途に「入荷日」を指定すると、マルチデバイスオプションの入荷実績・入荷検品、及び PC とマルチデバイスオプションの QR コード現品票発行時に当日の日付が自動入力されます。
伝票入力時の推奨ロケーションの適用		
適用対象の伝票	チェックボタン	実績伝票や振替伝票の品目確定時、ロケーション欄に初期値として品目の推奨ロケーションを表示するよう設定します。
伝票コピー		
伝票コピー機能を有効にする	チェックボタン	伝票コピー機能について指定します。
セット品展開入力		
セット品情報の挿入	リスト	セット品展開入力時、セット品情報の挿入について指定します。
インポート時のセット品展開	チェックボタン	入荷予定や出荷指示のインポート時に、セット品の展開を行うかどうかを指定します。
インポート 出荷指示		
区切り行とする伝票番号の桁数	リスト	出荷指示伝票インポート時、区切り行とする「伝票番号」の桁数を指定します。

[6] 帳票

システム設定

×

自社情報システム通用項目名表示入力帳票モバイルモバイル

明細書の印刷内容(R)

ロケーションと在庫状態を印刷する

☐ 入荷実績☐ 出荷実績

ゾーン毎に印刷する

☐ 入荷予定☐ 入荷実績

☐ 出荷指示☐ 出荷引当☐ 出荷実績

注意メッセージの表示

☐ 入荷予定明細書

☐ 出荷指示書☐ ピッキングリスト

現品票発行(G)

☐ シリアル現品票を利用する通し番号桁数4

☐ 注意付き現品票を利用する

共通設定

明細書／現品票／品目台帳バーコードKeyコード

説明

OK

キャンセル(C)

適用(A)

明細書の印刷内容		
ロケーションと在庫状態を印刷する	チェックボタン	入荷実績明細書、出荷実績明細書にロケーションと在庫状態の印刷の有無を設定します。
ゾーン毎に印刷する	チェックボタン	出荷指示書、入荷予定明細書、ピッキングリスト、入荷明細書、出荷明細書にゾーン毎の印刷を設定します。
注意メッセージの表示		
入荷予定明細書	チェックボタン	入荷予定明細書について注意メッセージの印刷の有無を設定します。
出荷指示書	チェックボタン	出荷指示書について注意メッセージの印刷の有無を設定します。
ピッキングリスト	チェックボタン	ピッキングリストについて注意メッセージの印刷の有無を設定します。
現品票発行		
シリアル現品票を利用する	チェックボタン	現品票発行画面において、シリアル現品票発行の有無を設定します。
通し番号桁数	入力	シリアルに含まれる通し番号の桁数を設定します。

注意付き現品票を利用する	チェックボタン	注意付き現品票の利用の有無を設定します。
共通設定		
明細書／現品票／品目台帳バーコード	リスト	帳票の明細書や現品票、品目台帳で印字するバーコードの値を設定します。

[7] モバイル（オプション）

モバイルオプションまたはマルチデバイスオプション加入時に有効となります。

システム設定

×

自社情報システム運用項目名表示入力帳票モバイルモバイル

メニュー選択

入荷

☒ 入荷実績☒ 入荷検品☒ 入荷返品☒ 倉庫間入荷

出荷

☒ 出荷実績☒ 出荷検品☒ 出荷返品☒ 倉庫間出荷

振替

☒ 移動☒ 在庫状態変更☒ 移動&在庫状態変更

☒ 棚卸☒ 在庫参照

使用項目

ヘッダ

☒ 入荷実績☒ 入荷返品☒ 出荷実績☒ 出荷返品

明細

☒ ロット1☒ ロット2☒ ロケーション

項目名

説明

OK

キャンセル(C)

適用(A)

メニュー選択		
各メニュー	チェック ボタン	各メニューの表示の有無を設定します。 ※倉庫間入荷・倉庫間出荷・在庫状態変更・移動 & 在庫状態変更は マルチデバイスオプション加入時のみ表示されます。
使用項目 ヘッド		
入荷実績	チェック ボタン	各メニューのヘッドを入力するかどうかを設定します。 オフの場合は、ヘッド入力を自動でスキップして明細入力のみ行います。
入荷返品	チェック ボタン	
出荷実績	チェック ボタン	
出荷返品	チェック ボタン	
使用項目 明細		
ロット 1	チェック ボタン	ロット 1 項目の使用を設定します。使用しない場合、モバイル機器ではロッ ト 1 の表示・入力が無くなります。*1

第7章 システム設定・ユーザー別設定

ロット2	チェック ボタン	ロット2 項目の使用を設定します。使用しない場合、モバイル機器ではロット2 の表示・入力が無くなります。*1
ロケーション	チェック ボタン	ロケーション項目の使用を設定します。使用しない場合、モバイル機器ではロケーションの表示・入力が無くなります。*2
項目名		
品	入力	品目の項目名を設定します。
L1	入力	ロット1 の項目名を設定します。
L2	入力	ロット2 の項目名を設定します。
入力ヒント		
入数	入力	各項目の入力ヒントに表示する名称を設定します。 ここで指定した名称がモバイル機器の数量詳細入力画面で使用されま す。
箱数	入力	
バラ数	入力	
ロケーション初期値		
ロケーション初期 値	選択 ボタン	ロケーションの初期値を設定します。 ※「前回入力値(全て)」を選択した場合、入荷検品/出荷検品は対象 外です。 ※本設定はロケーションが「都度入力」の場合のみ有効です。
入荷設定		
検品対象（初 期値）	選択 ボタン	入荷検品の際の初期値として、入荷予定伝票番号を読み取るか、元伝 票番号を読み取るかを設定します。
入荷検品 ENT 確定	チェック ボタン	ロット1、ロット2 について、入荷検品の際、ENT キーでの確定を許可する かを設定します。
手動による検品 済みを許可する	チェック ボタン	入荷検品で入荷予定数に達しなくても対象行を検品済みにする機能につ いて許可するかどうかを指定します。
出荷設定		
検品対象（初 期値）	選択 ボタン	出荷検品の際の初期値として、出荷引当伝票番号（ピッキングリスト番 号）を読み取るか、元伝票番号を読み取るかを設定します。
元伝票番号入 力時の複数ヒッ トを許可する	チェック ボタン	出荷検品（本引当）運用時、元伝票番号入力で該当する出荷引当 伝票が複数存在することの許可/禁止を指定します。（仮引当運用時の 動作には影響しません）
出荷検品 ENT 確定	チェック ボタン	品目、ロケーション、ロット1、ロット2、数量について、出荷検品の際、 ENT キーでの確定を許可するかを設定します。
手動による検品 済みを許可する	チェック ボタン	出荷検品（仮引当）運用時、出荷指示数に達しなくても対象行を検品 済みにする機能について許可するかどうかを指定します。（本引当運用時 の動作には影響しません）
棚卸設定		
在庫状態入力 をスキップする	チェック ボタン	在庫状態の入力を自動でスキップするかどうかを選択します。 自動スキップの場合は、「通常品」が自動入力されます。
論理現品数を 表示する	チェック ボタン	モバイル機器で論理現品数を表示するかどうかを指定します。

*1 倉庫台帳の使用項目-ロットが未使用の場合、ロットが非表示となります。

*2 倉庫台帳の使用項目-ロケーションが未使用の場合、ロケーションが非表示となります。

[8] モバイル（拡張）（オプション）

マルチデバイスオプション加入時に有効となります。

システム設定

システム運用項目名表示入力帳票モバイルモバイル(拡張)権限

バーコード取込

キー取込時の処理

☐ 流通バーコード自動判定を有効にする

直接取込時の処理

読み取りシンボル

☒ QR☒ CODE128/GS1-128

☒ JAN☐ ITF

☐ UPC-A☐ UPC-E

☐ CODE39☐ CODE93

☐ Codabar(NW-7)

UPC-A

☐ 先頭に"0"を付加する

CODE39

☐ チェックデジットの照合を有効にする

☐ 読み取りデータからチェックデジットを取り除く

Codabar(NW-7)

☐ スタートストップキャラクタを出力する

説明

OK

キャンセル(C)

適用(A)

キー取込時の処理		
流通バーコード自動判定を有効にする	チェックボタン	流通バーコード自動判定を行うかどうかを指定します。キー取込でのバーコード種の判定を有効にする場合はオンにしてください。
直接取込時の処理 読み取りシンボル		
各バーコード種別	チェックボタン	カメラでの読み取りを許可するバーコード種別をオンにします。
直接取込時の処理 UPC-A		
先頭に"0"を付加する	チェックボタン	UPC-A 読み取り時、先頭に 0 を付加する場合にチェックします。
直接取込時の処理 CODE39		
チェックデジットの照合を有効にする	チェックボタン	CODE39 読み取り時、チェックデジットの照合を行うかどうかを設定します。
読み取りデータからチェックデジットを取り除く	チェックボタン	チェックデジットの照合を行う場合、読み取りデータからチェックデジットを取り除くかどうかを設定します。

第7章 システム設定・ユーザー別設定

直接取込時の処理 Codabar(NW-7)		
スタートストップキャラクターを出力する	チェックボタン	Codabar(NW-7)読み取り時、スタートストップキャラクターを出力する場合にチェックします。
品目バーコード取込後 専用検索項目の利用		
品目台帳-JAN/UPC	チェックボタン	専用検索項目 JAN/UPC を利用する場合にチェックします。
品目台帳-ITF/GS1 (GTIN-14)	チェックボタン	専用検索項目 ITF/GS1 を利用する場合にチェックします。
インジケータ違いも検索する	チェックボタン	上記「品目台帳-ITF/GS1(GTIN-14)」有効時、ITF/GS1(GTIN-14)に一致する品目がない場合に異なる梱包インジケータの品目も検索します。
品目バーコード取込後 標準検索項目の自動切換		
CODE128	リスト	特定の種類のバーコードに対して、標準検索項目を自動的に切り替える場合に設定します。
JAN/UPC	リスト	
ITF	リスト	
表示項目		
注意メッセージ	チェックボタン	注意メッセージ(共通/入荷/出荷)を表示するかどうかを設定します。
カメラアイコン表示		
数量	チェックボタン	数量入力時にカメラアイコンを表示するかどうかを設定します。
数量自動カウントアップ		
入荷実績	チェックボタン	各メニューで品目入力に数量を自動カウントアップするかどうかを設定します。伝票区分が入荷または出荷の場合のみ有効です。 以下の場合に設定可能です。 ・システム運用タブの倉庫台帳-使用項目がオフかつモバイルタブの使用項目でロット1・ロット2がともにオフ ・システム運用タブの倉庫台帳-使用項目がオン(ロット1・ロット2のどちらかがオンの場合、倉庫台帳の使用項目-ロットが未使用の倉庫のみ設定が有効になります) ・システム運用タブの入荷時の在庫状態 明細入力がオフ(入荷実績) ・システム運用タブの出荷時の在庫状態 明細入力がオフ(出荷実績、出荷検品)
出荷実績	チェックボタン	
出荷検品	チェックボタン	
自動ログアウト		
ログアウト時間	リスト	無操作の状態で自動ログアウトするまでの時間を選択します。
現品票発行 テンプレート設定		
[参照・設定]*1	—	現品票発行で使用するテンプレートを設定します。
Android 向け設定 全体 半角英数記号のみ		
品目	チェックボタン	品目(Keyコード/品目コード)入力時、半角英数字記号のみ入力可能なソフトウェアキーを使用します。HID スキャナーで誤読が発生する場合はこの設定をオンにすると誤読が改善される可能性があります。
Android 向け設定 モデル別設定		

[参照・設定]*2	—	通常はカメラアイコン表示、数量入力時のソフトウェアキー自動起動が有効です。ハンディターミナルの場合は、これらの動作を変更することで快適にご使用いただけるようになります。 1 件以上設定するとボタンの右に設定数を表示します。
-----------	---	--

ヒント！

キー取込、直接取込については、「4 - 3 [1] 2つのバーコード取込方式とバーコード種による違い」をご覧ください。

*1 現品票発行 テンプレート設定の[参照・設定]ボタン押下で
現品票発行 テンプレート設定画面が表示されます。

現品票発行 テンプレート設定

設定内容

キー割り当て	レイアウト名	レイアウトアイコン	画面項目
▶ 1	株式会社ABC向けラベル	バーコード	ロットなし
2	XYZ商事向けラベル	QRコード	ロットあり

追加(A)

削除(D)

説明

OK

キャンセル(C)

設定内容		
キー割り当て	選択	キー割り当てを指定します。 レイアウトファイルをプリンターへ転送する際に設定した値を指定してください。
レイアウト名	入力(必)	レイアウト名を指定します。
レイアウト アイコン	選択	モバイル機器で表示するアイコンを表示します。
画面項目	選択	画面項目を指定します。 ロットやラベル入数を印刷する場合は「ロットあり」を指定してください。
[追加]	—	新しい行を末尾に追加します。
[削除]	—	選択されている行を削除します。

*2 Android 向け設定 モデル設定の[参照・設定]ボタン押下で
Android 端末 動作設定画面が表示されます。

Android端末 動作設定

設定内容

モデル	カメラアイコン表示	数量入力 ソフトウェアキー自動起動	フッターメニュー 背景色			
			1	2	3	4
▶ BHT-M60-QWG-A10	☐	☐	F1	F2	F3	F4
	☒	☒	F1	F2	F3	F4

追加(A)

削除(D)

色変更(E)

説明

OK

キャンセル(C)

設定内容		
モデル	入力(必)	Android 端末のモデルの名称を指定します。
カメラアイコン表示	チェックボタン	ハンディターミナルは、カメラでの読み取りが不要なため OFF にします。
数量入力ソフトウェアキー自動起動	チェックボタン	数字のテンキーボタンのあるハンディターミナルは OFF にします。
フッターメニュー背景色	表示	フッターメニューの背景色を設定します。(フッターメニューの左から順に 1～4) [色変更]ボタン押下またはセルをダブルクリックして背景色の変更が可能です。
[追加]	—	新しい行を末尾に追加します。
[削除]	—	選択されている行を削除します。
[色変更]	—	フッターメニューの背景色を変更する際に使用します。

ヒント！

モデルの名称は、マルチデバイスオプション Android アプリの設定・確認＞デバイス情報で確認できます。

[9] 権限

システム設定

×

項目名

表示

入力

帳票

モバイル

モバイル(拡張)

権限

◀▶

現場作業権限

追加機能

☐ ストレージ画像メンテナンス

仕入先担当者権限

仕入先別最大ユーザー数

1

▲▼

機能

☒ 現品票発行

☐ 品目入力補助

☐ 在庫入力補助

説明

OK

キャンセル(C)

適用(A)

現場作業権限		
ストレージ画像メンテナンス	チェックボタン	画像ストレージオプション加入時のみ表示されます。 現場作業権限に対しストレージ画像メンテナンスを許可する場合にチェックします。
仕入先担当者権限		
仕入先別最大ユーザー数	入力	1つの仕入先に対する最大ユーザー数を設定します。
品目入力補助	チェックボタン	仕入先担当者に対し品目入力補助の利用について設定します。
在庫入力補助	チェックボタン	仕入先担当者に対し在庫入力補助の利用について設定します。

7-2 その他管理者設定

在庫スイートクラウドの運用前に必要に応じて設定するのが、その他管理者設定です。

メニューの〔ツール〕〔その他管理者設定〕から設定画面が起動します。

〔IP アドレス制限設定〕〔配送予定データ設定〕〔配送番号反映設定〕〔定期処理設定〕があります。

本機能を利用するには、システム管理者権限が必要です。

[1] IP アドレス制限設定

IP アドレス制限を設定すると、本サービスへのアクセスを自社のネットワークだけに許可し、社外からのアクセスを遮断できます。グローバル IP アドレスは、複数指定できます。

IPアドレス制限設定

☒ IPアドレス制限を有効にする

許可IPアドレス範囲

現在のクライアントIPアドレス: xxx.xxx.xxx.xxx +

備考	開始IPアドレス	終了IPアドレス
拠点A	xxx.xxx.xxx.xxx	xxx.xxx.xxx.xxx
▶ 拠点B	yyy.yyy.yyy.yyy	yyy.yyy.yyy.yyy

追加(A) 削除(D)

説明

許可するIPアドレスの範囲を入力します。行の追加・削除はボタンで行います。備考欄には任意の文字列を設定できます(「〇〇倉庫固定IP」など)。

OK キャンセル(C) 適用

ヒント！

バックアップファイルをリストアしても IP アドレス制限設定は（バックアップを取った時の設定ではなく）従来設定が引継がれます。

[2] 配送予定データ設定

各社の送り状ソフトに渡す予定データのレイアウトを設定します。
設定内容はファイルへのエクスポートやインポートが出来ます。
主な送り状ソフト向けには、設定用のテンプレートファイルを用意しており、テンプレートファイルをインポート後、自社に合わせて変更することで簡単に設定出来ます。

配送予定データ設定 - 新規

配送予定データレイアウト定義

動作設定

配送予定エクスポート

定義名

対象機能

出荷引当伝票(作業状態=引当)

対象発送区分

日付形式

YYYY/MM/DD

☐ 項目行を出力する

☐ 本定義を使用しない

No.	ファイル項目名	在SC-項目種別	在SC-項目内容
-----	---------	----------	----------

登録(U)

行挿入(A)

行削除(B)

インポート(I)

キャンセル(C)

ヘッダ部		
定義名	入力(必)/リスト	新規モードでは、定義名を入力します。 参照モードでは、定義名を選択します。
対象機能	リスト(必)	配送予定データを作成する際の、本サービス内の対象を指定します。
対象発送区分	入力	発送区分とは配送方法を特定するコードです。指定された発送区分のみエクスポート対象となります。出荷指示に発送区分が指定されている場合に設定してください。
日付形式	リスト(必)	送り状ソフトに日付形式を合わせます。
項目行を出力する	チェックボタン	配送予定データの先頭行に項目名を出力するかどうかを指定します。
本定義を使用しない	チェックボタン	配送予定データのエクスポートで本定義を表示させない場合はオンにします。
明細部（左）		
ファイル項目名	入力	明細部左側は、エクスポートするファイルの項目名を入力します。 なお、エクスポートファイルに項目名は出力されません。
明細部（右）		
在 SC-項目種別	リスト(必)	明細部右側は、出力するデータ内容を指定します。 「ヘッダ」「ヘッダ(配送用)」「固定値」より選択します。
在 SC-項目内容	リスト/入力	「ヘッダ」「ヘッダ(配送用)」はリスト選択、「固定値」は入力します。

第7章 システム設定・ユーザー別設定

フッタ部		
[登録]	—	新規／修正モードで登録する際に使用します。
[新規]	—	参照→新規モードに移行します。
[削除]	—	修正モードで、該当の定義を削除する際に使用します。
[修正]	—	参照→修正モードに移行します。
[行挿入]	—	新規／修正モードで行挿入します。
[行削除]	—	新規／修正モードで行削除します。
[インポート]	—	新規モードで設定ファイルをインポートします。
[エクスポート]	—	参照モードで設定ファイルをエクスポートします。
[キャンセル]	—	新規／修正→参照モードに移行します。
[閉じる]	—	画面を閉じます。

注意！

在 SC-項目内容のリストには、項目名の前に数字が付いています。（例：1:～）

この数字はリスト内の順を示すものです。

バージョンアップで項目が増えたなどの理由で、リスト内の順が変わり、同じ項目でも前の数字が変わることがあります。

定義内容は項目名で保存されており、そうした場合でも影響は受けません。

配送予定データ設定 - 新規

配送予定データレイアウト定義

動作設定 配送予定エクスポート

定義名 e飛伝Ⅱ用テンプレート(出荷実績)

対象機能 出荷実績伝票

対象発送区分

日付形式 YYYYMMDD

☐ 項目行を出力する ☐ 本定義

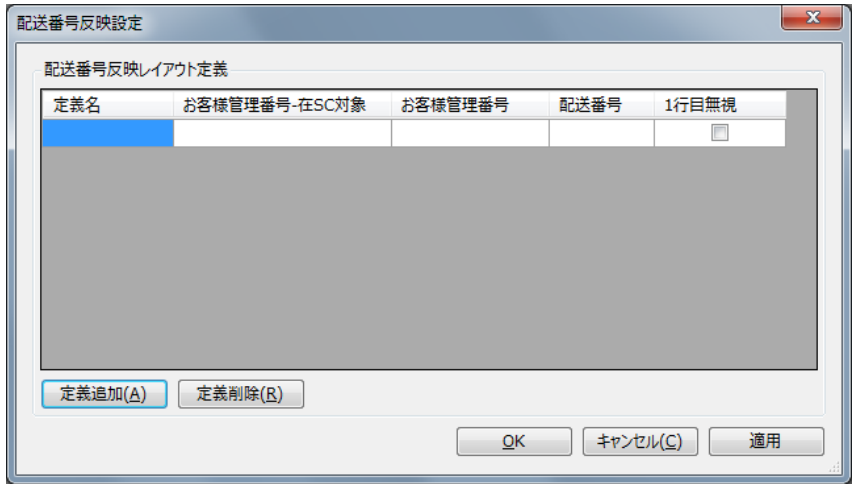
1:出荷先住所(全16・16・16)1/3
2:出荷先住所(全16・16・16)2/3
3:出荷先住所(全16・16・16)3/3
4:直送先住所(全16・16・16)1/3
5:直送先住所(全16・16・16)2/3
6:直送先住所(全16・16・16)3/3
7:出荷先住所(全25・25・25)1/3
8:出荷先住所(全25・25・25)2/3
9:出荷先住所(全25・25・25)3/3
10:直送先住所(全25・25・25)1/3
11:直送先住所(全25・25・25)2/3
12:直送先住所(全25・25・25)3/3
13:出荷先住所(全16・16)1/2
14:出荷先住所(全16・16)2/2
15:直送先住所(全16・16)1/2
16:直送先住所(全16・16)2/2
17:出荷先名称(全16・16)1/2
18:出荷先名称(全16・16)2/2
19:直送先名称(全16・16)1/2
20:直送先名称(全16・16)2/2
21:出荷予定日(空の場合はシステム日付)
6:直送先住所(全16・16・16)3/3
19:直送先名称(全16・16)1/2
20:直送先名称(全16・16)2/2
36:元伝票番号

No.	ファイル項目名	在SC-項目種別
1	住所録コード	ヘッダー
2	お届け先電話番号	ヘッダー
3	お届け先郵便番号	ヘッダー
4	お届け先住所 1	ヘッダー(送り状用)
5	お届け先住所 2	ヘッダー(送り状用)
6	お届け先住所 3	ヘッダー(送り状用)
7	お届け先名称 1	ヘッダー(送り状用)
8	お届け先名称 2	ヘッダー(送り状用)
9	お客様管理ナンバー	ヘッダー

登録(U) 行挿入(A) 行削除(R) インポート(I) キャンセル(C)

[3] 配送番号反映設定

各社の送り状ソフトからの実績ファイルより、配送番号（問い合わせ番号）を本サービスの「発送伝票番号」に反映させる為の設定です。



配送番号反映設定		
定義名	入力(必)	定義名を入力します。
お客様管理番号 -在 SC 対象	リスト(必)	送り状ソフトのお客様管理番号にセットされている本サービスの対象データを選択します。
お客様管理番号	入力(必)	送り状ソフトからの実績ファイル内におけるお客様管理番号の列番号（1スタート）を入力します。送り状
配送番号	入力(必)	送り状ソフトからの実績ファイルにおける配送番号の列番号（1スタート）を入力します。
1 行目無視	チェックボタ ン	送り状ソフトからの実績ファイルの 1 行目を無視するかを設定します。
[定義追加]	—	新たな定義を追加する際に使用します。
[定義削除]	—	設定済みの定義を削除する際に使用します。

[4] 定期処理設定

定期処理設定画面は管理者の場合のみ表示されます。
設定できる内容は下記となります。

- ・発注点割れの前日比較
- ・使用期限切れの自動振替 *1
- ・発注点割れ在庫のメール通知
- ・使用期限切れ在庫のメール通知 *1

*1 使用期限切れの設定は、システム設定でロット1・2いずれかの用途を「使用期限」とした場合のみ表示されます。

定期処理設定

発注点割れ

☒ 本日割り込んだ品目のみの絞り込みを有効にする

使用期限切れ

☒ 期限切れ在庫の自動振替

変更後状態

不良品

メール通知

通知内容

☒ 発注点割れ在庫

発注点割れ内容

本日のみ

☒ 使用期限切れ在庫

通知先ユーザー（最大10人）

ユーザー	所属倉庫	メールアドレス
▶ 鈴木 一郎 (i_suzuki)	全倉庫	i_suzuki@infusion.co.jp

追加(A)...

削除(D)

説明

OK

キャンセル(C)

発注点割れ設定		
本日割り込んだ品目のみの絞り込みを有効にする	チェックボタン	発注点割れの在庫が発生した際に前日分として、発注点割れの在庫データを保存するかどうかを指定します。 オンにすると、発注点割れ内容を指定できます。 また、在庫参照(品目別)の条件指定画面に「本日割り込んだ品目のみ表示する」チェックボックスが追加され、次の日以降になると発注点割れの比較が正しく行われます。 ※オンにした当日は前日のデータがないため、正しく比較されません。
使用期限切れ設定		
期限切れ在庫の自動振替	チェックボタン	使用期限切れの在庫が発生した際に自動的に振替登録するかどうかを指定します。 オンにすると、変更後状態を指定できます。
変更後状態	リスト	自動振替時の変更後在庫状態を通常品以外から選択します。
メール通知設定		
発注点割れ在庫	チェックボタン	発注点割れの在庫が発生した際にメールで通知するかどうかを指定します。 オンにすると、通知先ユーザーを指定できます。
発注点割れ内容	リスト	発注点割れメール通知の内容を選択します。 「本日割り込んだ品目のみの絞り込みを有効にする」がオンの場合、「すべて」、「本日のみ」から選択できます。
使用期限切れ在庫	チェックボタン	使用期限切れの在庫が発生した際にメールで通知するかどうかを指定します。 オンにすると、通知先ユーザーを指定できます。
通知先ユーザー	リスト	発注点割れ・使用期限切れ在庫の通知先ユーザーを指定します（最大10人）。 通知先にするユーザーには、メールアドレスの設定が必須です。（メールアドレスはユーザー台帳で設定します。） 参照可能な倉庫の情報のみ通知されます。 [追加]ボタンでユーザー入力補助画面が開きます。 [削除]ボタンで選択中のユーザーを削除します。

[5] CSV インポートマッピング設定

あらかじめ取り込む CSV ファイルの形式や取り込む方法を設定しておくことで、外部システムが出力した CSV ファイルを直接インポートできるようになります。

インポートの際に、選択した設定に従い取り込みを行います。

詳細は CSV インポートマッピング機能のマニュアルページをご覧ください。

<https://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/manual.htm>

「CSV インポートマッピング」

7-3 ユーザー別設定

ユーザー毎に行う設定があります。
メニューの [ツール] から [ユーザー別設定] を選ぶと、設定画面が起動します。

[1] 最大表示件数

ユーザー毎に各画面で表示できる最大件数を設定できます。
最大件数が多いと検索結果が大量にあった場合、動作が遅くなります。
利用する PC のスペックや通信スピードなどに応じて適宜設定してください。

ユーザー別設定

最大表示件数

伝票一覧(D)

100

在庫参照(Z)

300

台帳一覧(M)

10,000

履歴参照(I)

300

説明

OK

キャンセル(C)

適用(A)

最大表示件数		
伝票一覧	入力	最大 3,000 件まで設定可能です。
台帳一覧	入力	最大 1,000,000 件まで設定可能です。
在庫参照	入力	最大 3,000 件まで設定可能です。
履歴参照	入力	最大 3,000 件まで設定可能です。

ヒント！

最大表示件数を超えた場合は、メッセージを表示し可能な範囲で表示します。

[2] パスワード再設定

ユーザーは自身のパスワードを変更することができます。
必要に応じて適宜変更してください。

パスワード再設定

ユーザーID

t_yamada

パスワード

再入力

登録(R)

閉じる(C)

パスワード再設定		
パスワード	入力	新たなパスワードを入力します。
再入力	入力	新たなパスワードを再度入力します。

ヒント！

パスワードを忘れてしまいログインできない場合は、システム管理者権限をもつユーザーが対象ユーザーのパスワードを再設定してください。
なお、パスワードの再設定は、ユーザー台帳画面から行います。

株式会社 インフュージョン

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-3-8 KDX 新横浜ビル

Tel 045-472-0938

在庫スイトクラウド Pro 本体マニュアル

2025 年 09 月 03 日 第 6.3 版

本書に掲載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本製品はグレースシティ株式会社の FlexGrid for .NET・ActiveReports for .NET を使用しています。

FlexGrid for .NET Copyright (C) 2007 ComponentOne LLC.

ActiveReports for .NET Copyright (C) 2007 DataDynamics, Ltd.